

トヨタ純正

トヨタ純正 SDナビゲーション 取扱書 詳細版

SDナビゲーション
「NSDN-W60」

取扱書 詳細版



■この取扱書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全のために」(i~ivページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、
安全にご使用ください。
その後大切に保管し、わからないとき再読してください。

トヨタ自動車株式会社

TOYOTA SDナビゲーション

このたびはトヨタ純正SDナビゲーションをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。本書は紛失しないよう車の中に保管してください。なお、本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡しください。

本機は、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するのですが、精度により、まれに不適切な案内をする場合があります。案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがうとともに道路状況に即した運転を心がけてください。規制標識の変更などにより目的地案内で表示されるルートは、車両進入禁止などのルートを案内する場合があります。

この取扱書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

	警告	記載事項を守らないと生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること。
	注意	注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどのおそれがあります。
	アドバイス	より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

安全のために

	警告	
●	本機はDC12V θアース車専用です。	
	大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。 火災の原因になります。	
●	本機の取り付け、取り外し、配線の変更はしないでください。	
	不適切な取り付けや配線の場合、故障や車両火災などの事故につながるおそれがあり危険です。 本機の取り付け、取り外しは安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。	
●	SDメモリーカードは、乳幼児の手の届かないところに保管してください。	
	誤って飲み込むと、窒息するおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。	
●	運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。	
	安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。	



注意

- **実際の交通規制を守ってください。**
本機の表示するデジタル地図は、道路の変更、通行止めなどは表示されません。また、ルート案内で表示されるルートは推奨ルートであり、災害、工事などでも道路状況が変わります。実際の交通規制を必ず守って運転してください。
- **走行中の操作は危険ですので、停車して安全を確認の上、操作してください。**
安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。
なお、本機は安全のため、走行中一部の機能が使えなくなります。
走行中は一部の細街路を消去します。
- **モニター収納動作中、手などをはさまないように注意してください。**
手などをはさんでケガをしたり、ディスプレイの故障の原因になります。
- **車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。**
車外の音が聞こえにくいくと、交通事故の原因になります。
- **画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。**
事故、火災、感電の原因になるおそれがあります。また、煙や異音がでたり、異臭がする場合には、すぐにオーディオ機能の電源をOFFにしてお買い上げの販売店にご相談ください。
- **本機を分解したり、調整することは、絶対にさけてください。**
本機内部は、精密な構造になっているので、万一不具合が生じた場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。故障の原因になります。
- **バッテリー上がりにはご注意ください。**
エンジンを停止させたまま、本機を長時間作動することは避けてください。
バッテリー上がりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。
- **車内温度は上げすぎたり、下げすぎたりしないでください。**
夏期は車内の温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げるからお使いください。
冬期は車内の温度が低くなることがありますので、車内の温度を上げるからお使いください。
そのまま使用すると故障の原因になります。
- **ラジオアンテナにモーターアンテナをご使用のときはアンテナを折らないように注意してください。**
本機ではFM多重放送のVICS情報を常時受信するため、オーディオの電源をOFFにしてもモーターアンテナは下がらません。モーターアンテナをご使用のときは、ナビゲーションの車両情報設定にてモーターアンテナ車に設定してください(P.4-16参照)。
モーターアンテナ車に設定するとオーディオ機能の電源をOFFにしたときにアンテナが下がります。駐車場など天井の低い場所にはいる前は、必ずオーディオ機能の電源をOFFにしてアンテナが収納されたことを確認してください。
アンテナを下げずに天井の低い場所にはいると、アンテナが折れるなどの故障の原因になります。



注意

●A/T車の場合

- ・ディスクを取り出す際、Pレンジで干渉する場合はNレンジに切り替えてから操作してください。(コラムA/Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。)
- ・チルト位置を設定する際、PまたはR、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)

●M/T車の場合

- ・ディスクを取り出す際、1・3・5（R）ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。
- ・チルト位置を設定する際、1・3・5（R）ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。

●プログラム読み込みが終了するまで電源を切らないでください。

バッテリーとの接続が断たれた場合や、電圧が下がった場合には本機にダウンロードされているプログラムが消去されてしまいます。この場合には次回起動時の初期画面（オープニング画面）表示中に、再度プログラムのダウンロードが行われます。プログラム読み込みが終了するまでしばらくそのままお待ちください。

プログラムの読み込み中に電源が断たれると、ナビが起動しなくなるなど思わぬ故障の原因になります。

●ディスプレイ部の上にコップや缶など異物を置いたり、強い力を加えないでください。

故障の原因になります。



アドバイス

●現在地の表示について

本機をお買い上げ後、初めてご使用になる時や、長時間バッテリーをはずしておいた場合には、自車の現在地を正しく表示しないことがあります、しばらくするとGPSの測位によって表示位置を修正します。

●結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部のレンズが結露して正常に作動しないことがあります。このようなときは1時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ正常に作動するようになります。何時間たっても正常に戻らない場合は販売店にご相談ください。

●画面のムラについて

寒冷時にエンジンスイッチをONにしたあと、バックライトの特性上、光ムラが発生したり輝度が低下して画面が暗くなる場合があります。しばらくすると自然にもとの輝度に戻ります。

●タッチパネルについて

本機の画面に市販の液晶保護フィルムを貼り付けると、タッチスイッチが反応しなくなる場合がありますので使用しないでください。

●本機は精密機器であり、静電気、電気的なノイズ、振動などにより記録されたデータが消失する場合があります。ご購入後、お客様が本機に記録される情報内容やデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にメモをとったりバックアップをとるなどして保管してください。

●なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。

①本機の故障、誤作動、または不具合などにより、あるいは本機が電気的なノイズの影響などを受けたことにより、お客様が本機に記録された情報内容やデータなどが変化・消失した場合。

②お客様または第三者が本機の使用を誤ったことにより、お客様が本機に記録された情報内容やデータなどが変化・消失した場合。

③本機の故障・修理に際し、お客様が本機に記録された情報内容やデータなどが変化・消失した場合。

※なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。

●本書に掲載されている画面は実際の画面と異なる場合があります。また、製品の仕様などの変更により本書の内容と製品が一致しない場合がありますのでご了承ください。

●取扱書で使用されている画面と実際の画面は、データベースの作成時期・種類によって異なることがあります。

●地図データを使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害にも、弊社はその責任を負いかねます。

●地図データの誤字・脱字・位置ずれなど表記または内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。

●地図データに含まれる機能がお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。

もくじ

1.はじめに		目的別早見表 主な特長 お使いになる前に 電源を入れるには 各部の名称とはたらき ディスク・SDメモリーカードの出し入れ ディスプレイの角度を調整するには ナビゲーション・オーディオの切り替え 画面の調整 画面の設定 セキュリティ機能の設定	1-1 1-9 1-11 1-14 1-15 1-17 1-25 1-26 1-28 1-32 1-34	
ナビゲーション	2.基本編	初期設定	簡単初期設定ガイドについて 2-1	
		メニュー	ナビメニューについて 2-8	
		共通の操作	リスト画面の切り替え方 2-10 スイッチの意味がわからないときには 2-12 英語で表示・案内するには 2-13	
		地図の表示	現在地を表示するには 2-14 地図にオーディオ情報を表示するには 2-15 地図スクロールするには 2-16 地図の縮尺をかえるには 2-17 地図の向きをかえるには 2-20 3D表示にするには 2-21 2画面表示にするには 2-23 地図・文字を拡大表示するには 2-25 市街図を表示するには 2-26 高速略図画面を表示するには 2-27	
		ルート案内	ルート案内について 2-29	
		ルートを設定する	目的地を設定しルートを探索するには 2-31 5ルートを確認・選択するには 2-35	
		ルート案内の種類	案内画面について 2-37 案内をもう一度聞きたいときは 2-44	
			ルート設定の詳細操作	目的地を追加・並び替え・消去するには 3-1 通過道路を指定・修正・解除するには 3-8 乗降ICを指定するには 3-13 ルートの再探索 3-15 区間ごとの探索条件を設定するには 3-17
			ルートを確認する	ルートの詳細情報を確認するには 3-18 デモでルートを確認するには 3-19 オンラインスクロールを使うには 3-20 走行軌跡について 3-23
			ルート案内の詳細操作	ルート案内を中止・再開するには 3-24 案内の音量を調節するには 3-25
3.応用編		50音で地図を表示するには 3-26 施設で地図を表示するには 3-30 電話番号で地図を表示するには 3-32 郵便番号で地図を表示するには 3-34 住所で地図を表示するには 3-35 メモリ地点で地図を表示するには 3-37 履歴で地図を表示するには 3-38 マップコードで地図を表示するには 3-39 周辺施設で地図を表示するには 3-40 目的と場所から地図を表示するには 3-42 施設ランドマークを地図に表示するには 3-45 近くの施設を検索するには 3-48 建物の情報を表示するには 3-50		
情報検索				

ナビゲーション	4.設定編	各種設定	ナビ設定を行うには 4-1
		ナビゲーションのカスタマイズ	ナビメニュー「目的地を探す」をカスタマイズするには 4-18 ショートカットスイッチを設定するには 4-19
		メモリ地点	メモリ地点を登録・修正・消去するには 4-20 迂回メモリ地点を登録・修正・消去するには 4-33 SD地点登録 4-39 メモリ地点を読み込む 4-42
		VICS	VICSを使うには 4-44
		その他の機能	補正機能 4-57 地図SDメモリーカードについて 4-59
		5.情報機能	情報画面について 5-1 FM多重放送を見るには 5-2 メンテナンスを使うには 5-6 操作説明デモを行うには 5-16 電話帳を見るには 5-17 カレンダーを見るには 5-18
6.オプション		VICSを機能アップするには 6-1 ETCシステムの操作 6-3 バックガイドモニターの映像を見るには 6-6 マルチビューバックガイドモニターの映像を見るには 6-45 バックモニターの映像を見るには 6-53 ブラインドドローナーモニター/サイドモニターシステムの操作 6-58	
オーディオ	7.オーディオ	共通の操作	電源の入れ方・音量調整のしかた 7-1 テレビ・オーディオの切り替え 7-3 音の調整 7-7
	8.テレビ	ワンセグ	ワンセグをお使いになる前に 8-1 ワンセグを見るには 8-3 番組表を見るには 8-10 ワンセグの設定を行うには 8-12
			緊急警報放送（EWS）を見るには 8-14
			DTV 地上デジタルテレビ放送を見るには 8-15
		VTR 映像機器のモニターとして使うには 8-24	
	9.ラジオ・交通情報	FM/AM ラジオを聞くには 9-1	
		交通情報 交通情報を聞くには 9-4	
	10.DVD・CD・MP3/WMA	DVD DVDプレーヤーをお使いになる前に 10-1	
		CD CDプレーヤーでCDを聞くには 10-38	
		MP3/WMA MP3/WMAプレーヤーで音楽を聞くには 10-41	
11.SD AUDIO		SD AUDIO SD AUDIOをお使いになる前に 11-1 目的別早見表 11-10	
12.外部機器	CD	CDを録音するには 11-12	
	SD AUDIO	SD AUDIOを聞くには 11-16	
	SD AUDIO	SD AUDIOを編集するには 11-28	
	iPod	iPodで音楽を聞くには 12-1	
	USB	USBメモリーで音楽を聞くには 12-8	
	AUX	ポータブルオーディオ機器を接続して使う(AUX) 12-18	
	後席ディスプレイ	後席ディスプレイを使うには 12-21	
	ステアリングスイッチ	ステアリングスイッチ 12-26	

- 1
はじめに**
 - 2
基本編**
 - 3
応用編**
 - 4
設定編**
 - 5
情報機能**
 - 6
オプション**
 - 7
オーディオ**
 - 8
テレビ**
 - 9
ラジオ
交通情報**
 - 10
DVD
CD
MP3/WMA**
 - 11
SD AUDIO**
 - 12
外部機器**
 - 13
ハンズ
フリー**
 - 14
知ってお
いてください**

メモ

13.ハンズフリー	ハンズフリーをお使いになる前に 13-1 ハンズフリーの準備をするには 13-8 電話をかけるには 13-12 電話を受けるには 13-20 通話中に操作するには 13-23 簡易画面で操作するには 13-26 ハンズフリーの設定をするには 13-27
14.知っておいてください	自車位置精度について 14-1 VICS各メディアの特性・受信について 14-3 ルート探索について 14-5 ルート案内について 14-7 情報の保持について 14-9 こんなメッセージが表示されたとき 14-10 故障とお考えになる前に 14-13 地図データベースについて 14-17 Gracenote音楽認識サービスのご利用について 14-18 アンテナのお手入れについて 14-19 商標について 14-19 アフターサービスについて 14-20 仕様 14-21 用語さくいん 14-23 凡例 14-25

1
はじめに

2
基本編

3
応用編

4
設定編

5
情報機能

6
オプション

7
オーディオ

8
テレビ

9
ラジオ
交通情報

10
DVD
CD
MP3/WMA

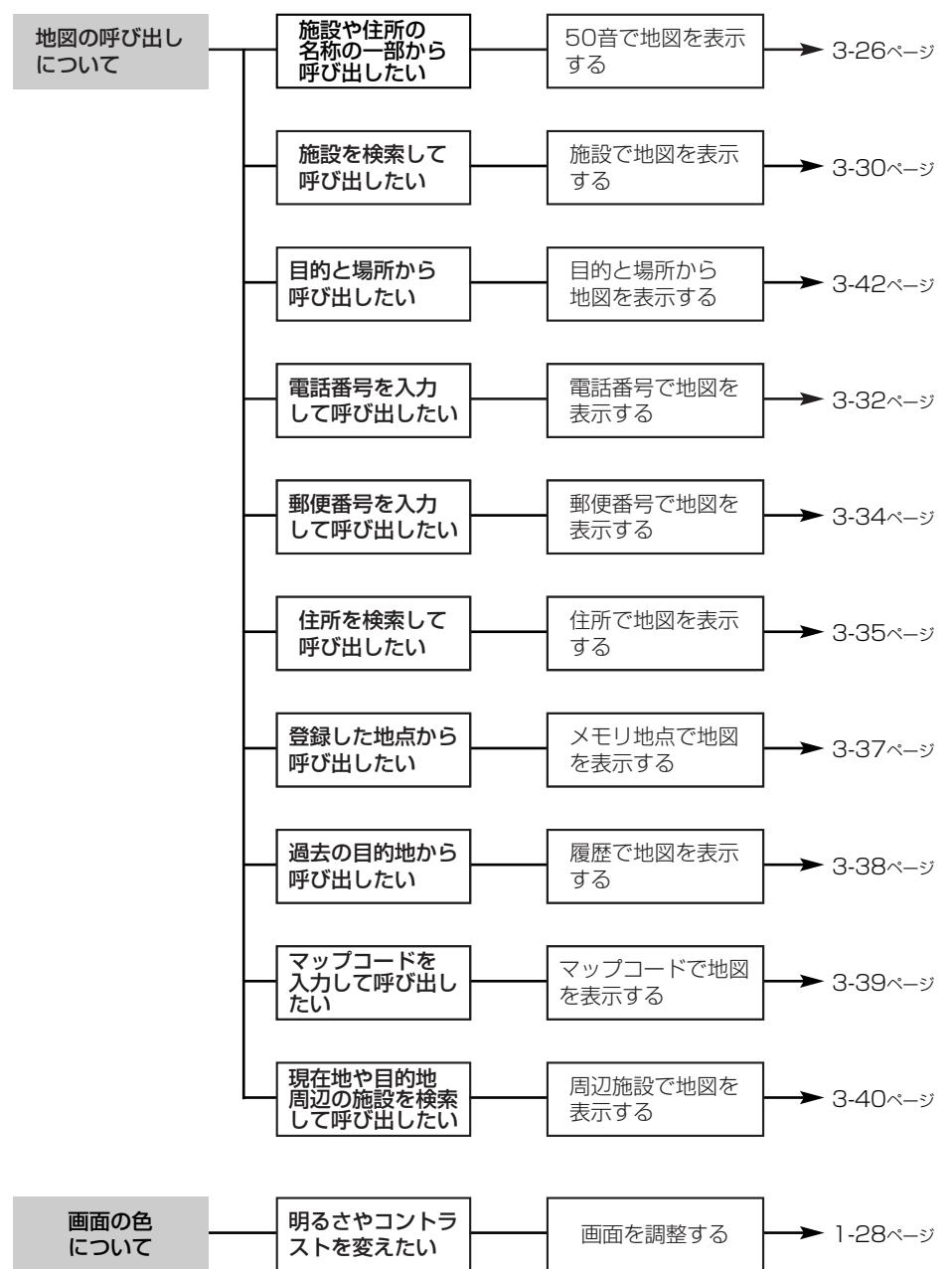
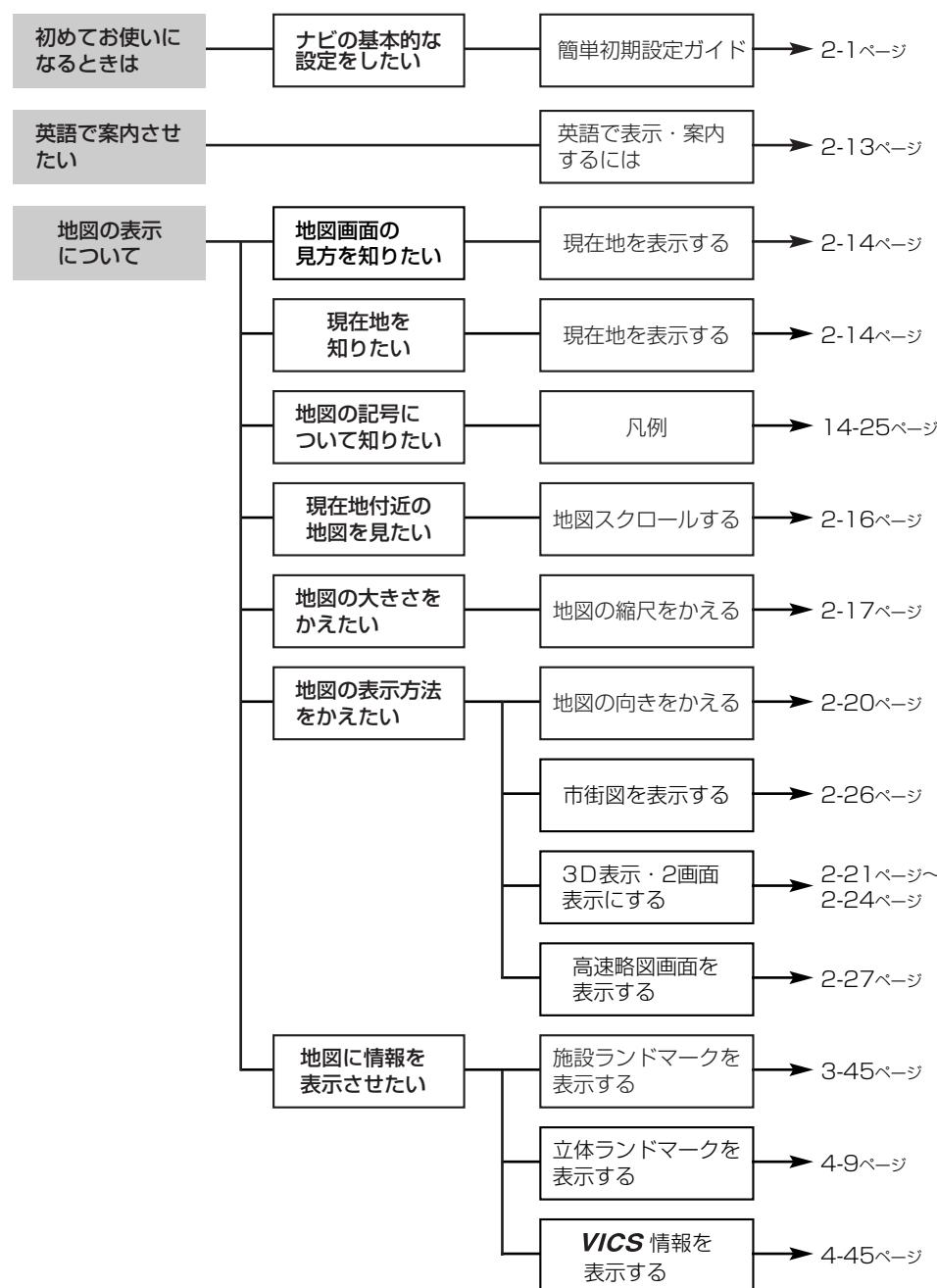
11
SD AUDIO

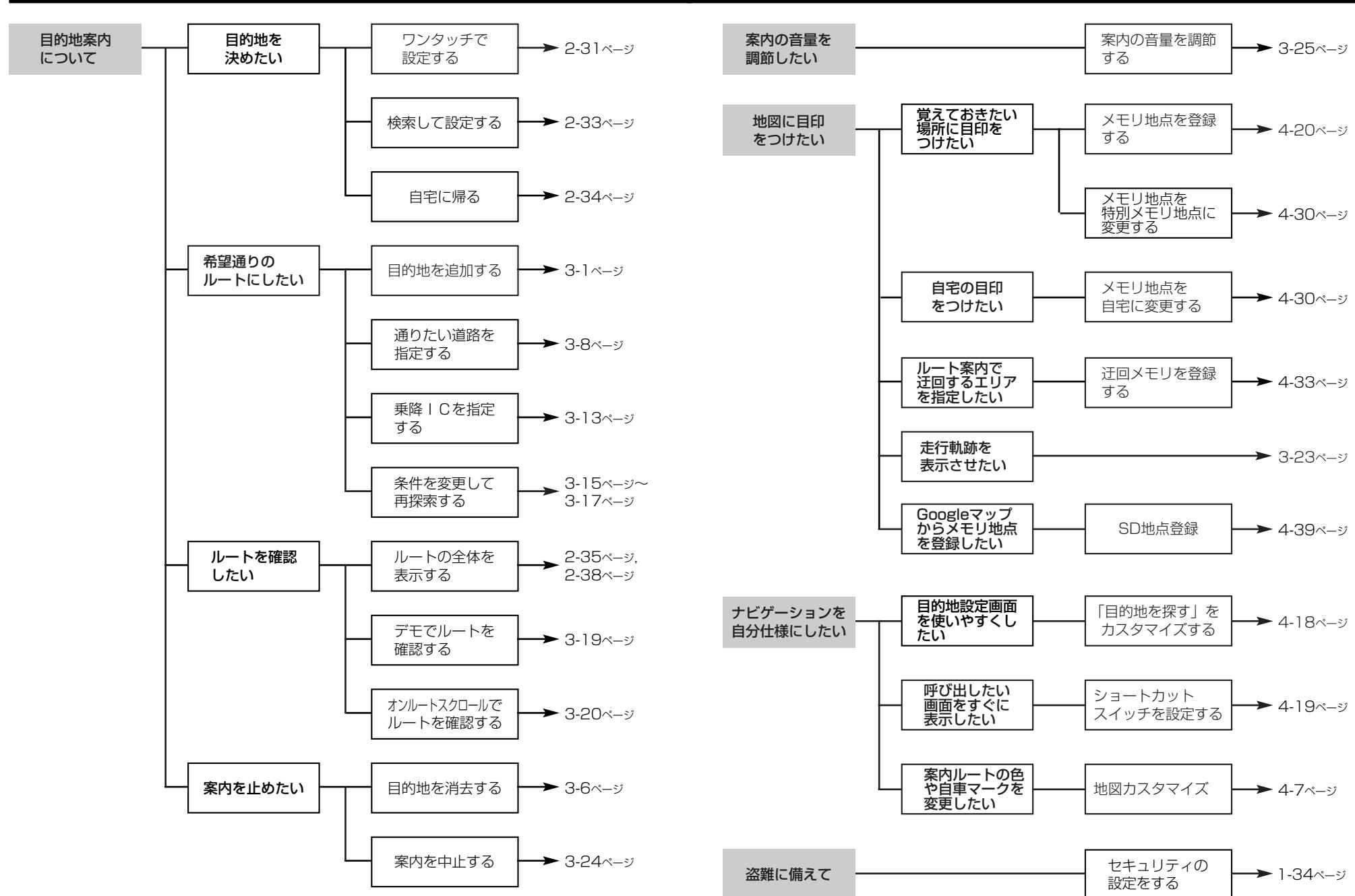
12
外部機器

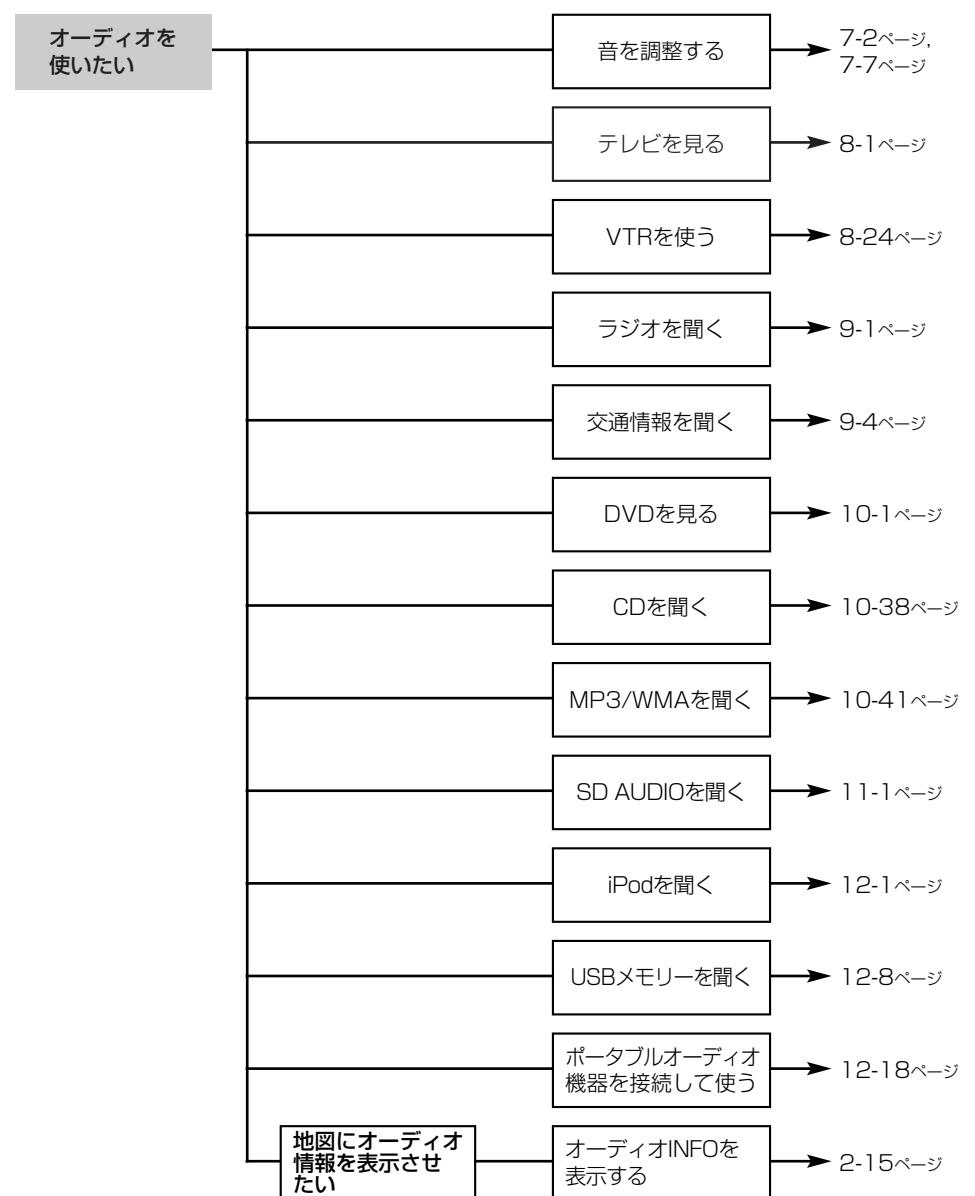
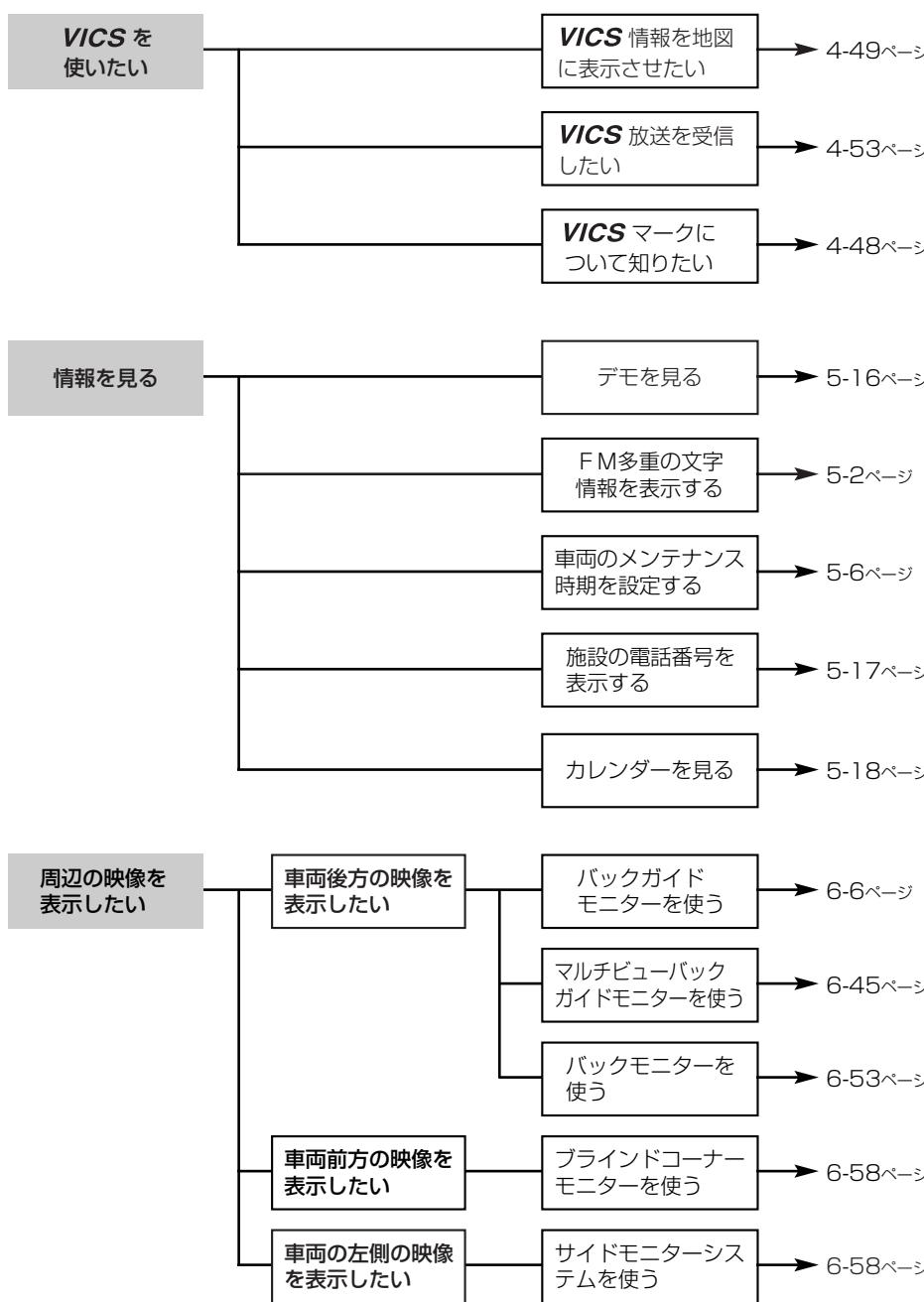
13
ハンズ
フリー

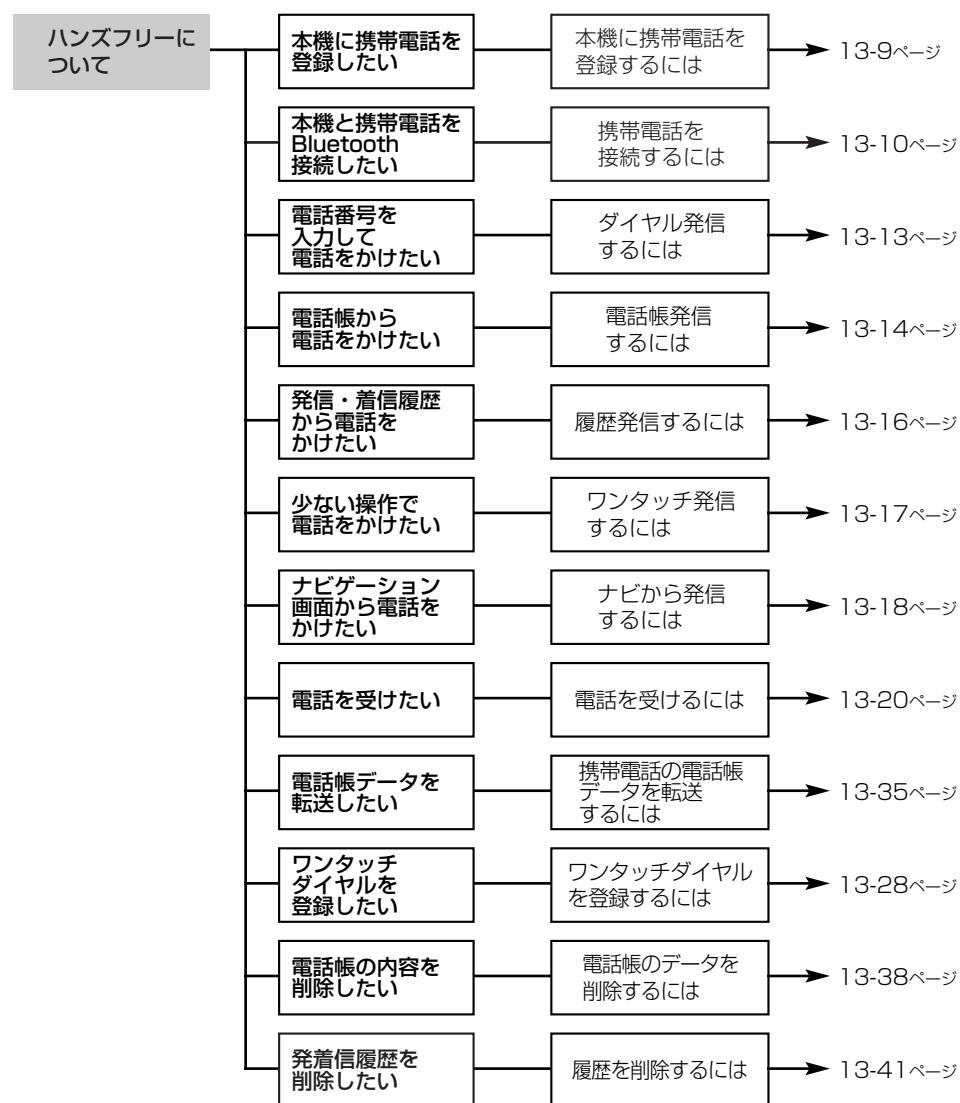
14
知ってお
いてください

目的別早見表







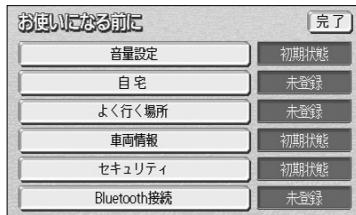


主な特長

1
はじめに主
な
特
長1
はじめに主
な
特
長

簡単初期設定ガイド

初めて本機を起動したときに表示されます。案内音量・自宅・よく行く場所・車両情報・セキュリティ・Bluetooth接続の設定ができます。(P.2-1参照)



英語表示・案内

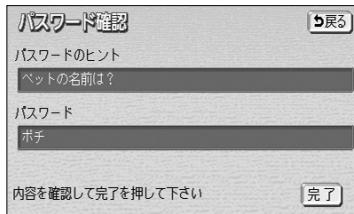
地図の表示や案内音声を英語に切り替えることができます。(P.2-13参照)

(日本語)



セキュリティ

インジケーターの点滅により盗難を抑止します。また万が一の盗難に備えパスワードロックにより個人情報を保護します。(P.1-34参照)



ハンズフリー機能

Bluetooth携帯電話を本機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。(P.13-1参照)



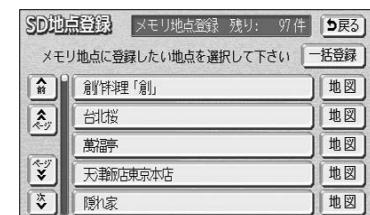
シンプルなナビメニュー

分かりやすいシンプルなメニュー画面で、簡単に操作ができます。(P.2-8参照)



SD地点登録

Googleマップで検索した地点を、SDメモリーカードを経由して本機のメモリ地点に登録することができます。(P.4-39参照)



ワンセグチューナー内蔵

携帯電話などの移動体端末向けサービスのワンセグを視聴することができます。(P.8-3参照)



SD AUDIO録音・再生機能

CDからSDメモリーカードに録音することができます。また、SD AUDIO形式でSDメモリーカードに保存した音楽データを再生することができます。(P.11-1参照)



オーディオINFO

地図を表示しているときでも、オーディオ情報を簡易に表示することができます。(P.2-15参照)



地図カスタマイズ

お好みにあった自車マークのデザイン、目的地までのルートの色などを設定することができます。(P.4-7参照)



iPod/USBメモリー再生機能

別売のUSB/VTRケーブルを購入した場合、お手持ちのiPodまたは音楽データを保存したUSBメモリーを接続して、音楽を聞くことができます。(P.12-1、P.12-8参照)



豊富なオプション機能

別売の地上デジタルTVチューナー、ETCユニット、ブラインドコーナーモニター、サイドモニター、バックガイドモニターなど多数のオプション機器を接続することができます。(P.6-1、P.8-15参照)



お使いになる前に

●悪路走行時について

悪路走行中などで振動が激しい場合、地図データを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常に戻ります。

●精密機器のため取り扱いに注意

極端な高温や低温の中でのご使用は誤作動や故障の原因になりますので周囲の温度には注意してください。

また本機内部に金属物や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因になりますのでご注意ください。

●ディスクの取り扱いに注意

- ・ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなどの誤動作の原因になる場合があります。特にケースからの出し入れにご注意ください。
- ・ラベル面に紙などをはったりしないでください。デッキ内部でラベルがはがれて故障の原因になります。
- ・ディスクは曲げたり、キズをつけないでください。

●ディスクの保管上の注意

・長時間使用しないときは、汚れ、ゴミ、キズ、そりなどを避けるため、ディスクは必ずケースに入れて保管してください。

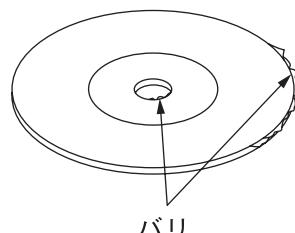
・ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあるため、次のような場所に置くことは避けてください。

1. 長時間直射日光のあたる場所。
2. 湿気やゴミ、ほこりの多い場所。
3. 暖房器具の熱が直接あたる場所。
4. 車のシート、ダッシュボードの上。

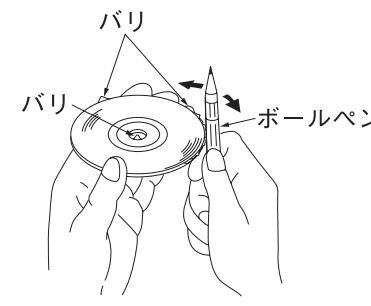
●新しいディスクの使用上の注意

新しいディスクには、ときによりディスクのセンターホールや外周にバリが残っていることがあります。このようなディスクをご使用になるとディスクが正しくセットされず、動作しないことがあります。

このような場合には、あらかじめディスクのセンターホール内側や、外周のバリを細い棒状のもの（例えばボールペンなど）で取り除いてからお使いください。



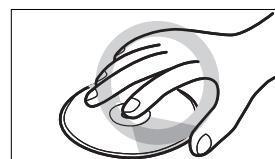
バリについて



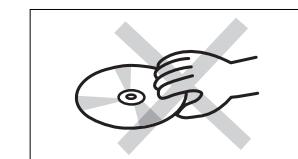
バリの取り除きかた

●ディスクのクリーニングについて

- ・ディスクに汚れやゴミがついたときは、水を含ませたやわらかい布でふいたあと、乾いた布でふいてください。
- ・ディスクをふきとる際には、ディスクの内側中心から外側方向へ軽くふきとってください。
- ・ベンジン、アナログ式レコード盤クリーナー、静電防止剤を使いますと、ディスクを傷めるので使用しないでください。



ディスクの持ち方



ディスクのクリーニング

●SDメモリーカードの取り扱いに注意

・濡れたり汚れたりした手で、SDメモリーカードに触れないでください。故障の原因になります。

・SDスロットにはSDメモリーカード以外のものを入れないでください。故障の原因になります。

・SDメモリーカードは次の場所で使用・保管をしないでください。故障の原因になったり、本機に悪影響をおよぼすことがあります。

静電気が発生するところ
電気的ノイズが発生するところ
高温・多湿のところ

結露するところ
腐食性があるところ

・SDメモリーカードは精密電子機器です。次の事項を必ず守ってください。故障の原因になります。

折り曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えるしないでください。
ホコリ・ゴミが付着している状態で、SDスロットに挿入しないでください。

SDスロットに挿入するときは、正しい向きで、奥までしっかりと差し込んでください。

・保管するときや持ち運ぶときは、市販のケースに入れてください。
SDメモリーカードに大きな力が加わると、壊れるおそれがあります。

●FM多重放送の受信について

- ・本機ではFM多重放送のVICS情報を常時受信するため、オーディオの電源をOFFにしてもモーターアンテナは下がりません。モーターアンテナをご使用のときは、ナビゲーションの車両情報設定にてモーターアンテナ車に設定してください。モーターアンテナ車に設定するとオーディオ機能の電源をOFFにしたときにアンテナが下がります。駐車場など天井の低い場所にはいる前は、必ずオーディオ機能の電源をOFFにしてアンテナが収納されたことを確認してください。アンテナを下げずに天井の低い場所にはいると、アンテナが折れるなどの故障の原因になります。

●お手入れの仕方

<本機の清掃>

- ・エンジン、シンナー類を使いますと、ケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

<ディスプレイ部の清掃>

- ・画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。
- ・手で押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理しております。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

●著作権について

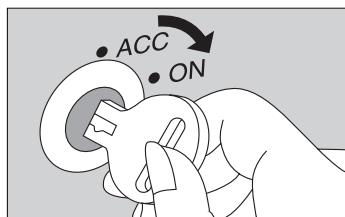
- ・本機は著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用はマクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

●データの補償に関する免責事項について

- ・本機は、CDの音楽をSDメモリーカードに保存できます。本機の故障・修理・誤動作、または不具合等により、SDメモリーカードに保存されたデータ等が変化・消失する場合があります。お客様がSDメモリーカードに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

電源を入れるには

本機は車のエンジンをかけると自動的にナビゲーションの電源が入ります。
エンジンを切ると電源も切れます。



- (1) 車のエンジンスイッチをONまたはACCにします。

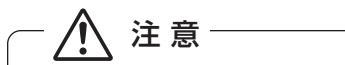
- ナビゲーションの電源が入ります。

- 初期画面（オープニング画面）が表示されます。

- ナビゲーション画面が表示されます。
- 初めて本機を起動したときは、簡単初期設定ガイド画面が表示されます。（P.2-1参照）



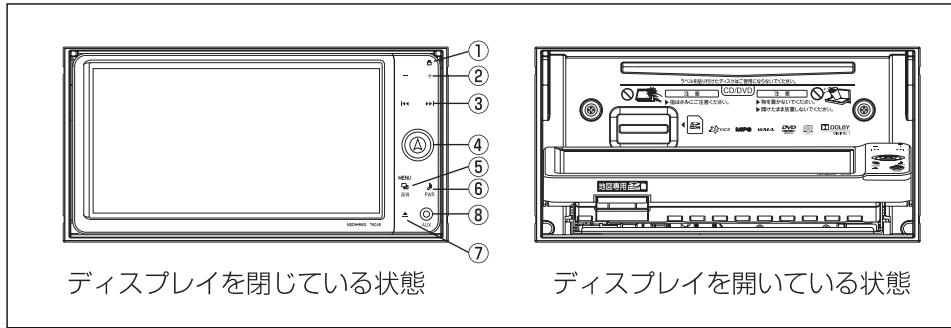
- ナビゲーションの画面が表示されないときは、Ⓐを押してください。
- バッテリー交換や本機を別の車に付け替えるなど、バッテリー電源を遮断すると本機に保存されているプログラムが消去されます。この場合、次回本機の電源を入れて初期画面（オープニング画面）を表示中にプログラムの読み込みが行われます。プログラム読み込みが終了するまで、そのままお待ちください。
- セキュリティ機能が設定されている時にバッテリー電源を遮断すると、次回電源をいれたときにプログラムの読み込みが終了後、パスワード確認画面が表示されます。



- プログラム読み込みが終了するまで電源を切らないでください。
プログラムの読み込み中に電源が断たれると、ナビが起動しなくなるなど思わぬ故障の原因になります。

各部の名称とはたらき

本機はパネルに配置しているボタンを押したり、画面に表示されるタッチスイッチを直接タッチして操作します。



●操作ボタンについて

① インジケータランプ

セキュリティ機能を設定すると、お車を離れた際にランプが点滅して盗難を抑止します。

② VOLボタン

テレビ、オーディオ機能の音量を調整するときに押します。

③ TUNE・TRACKボタン

テレビ・ラジオの放送局の選局、またはディスクの選曲を行うときに押します。

④ 現在地ボタン

ナビゲーションを呼び出し、現在地画面を表示するときに押します。現在地を表示しているときは、現在地の地名を表示します。またルート案内中であれば再び音声案内を聞いたり、交差点拡大図を見ることができます。

⑤ メニュー・画質ボタン

ナビメニューを表示するときに押します。また、画面の明るさを調整したり画面の表示を消したいときは押し続けます。

⑥ オーディオ・PWRボタン

オーディオ操作画面を表示するときに押します。また、オーディオ機能の電源をONしたり、OFFしたいときは押し続けます。

⑦ OPENボタン

ディスクの差し込みや取り出し、ディスプレイの角度を調節する画面を表示するときに押します。ディスプレイが開いているときに押すとディスプレイが閉じます。

⑧ ミニプラグコード端子

市販のミニプラグコードで、市販のポータブルオーディオなどを接続できます。

●タッチスイッチについて



タッチスイッチ
画面のスイッチに
タッチして操作し
ます



- ・ナビゲーションの画面では、タッチスイッチは“ピッ”という音が鳴るまでタッチしてください。
- ・画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- ・スイッチの反応がないときは、一度画面から手をはなしてから再度タッチしてください。
- ・操作できないタッチスイッチは色が反転します。
- ・スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチが強調表示されるものもあります。
- ・1つ前の画面に戻すときは「戻る」にタッチします。

<本書でのスイッチ表示>

- ・タッチスイッチにタッチするときは、[] でスイッチ名称を表示しています。

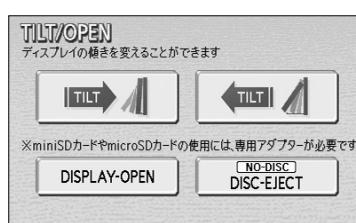
ディスク・SDメモリーカードの出し入れ

DVD/CDを楽しむときは各ディスクを、SD AUDIOを楽しむときやSDメモリーカードからメモリ地点を登録するときはSDメモリーカードを、各差し込み口に入れてください。

ナビゲーションを使いになるときは、ディスプレイ部の差し込み口に地図SDメモリーカードを入れてください。

1 DVD/CDの出し入れを行うには

ディスクの出し入れは、ディスクの出し入れを行う画面を表示させてから行います。



(1) ▲を押します。

- ディスクの出し入れを行う画面が表示されます。

(2) DISPLAY-OPENにタッチします。



アドバイス

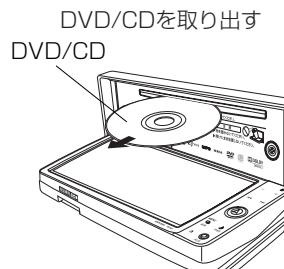
ディスクが差し込まれていない場合は、スイッチに「NO - DISC」と表示されます。

- ディスプレイ部が開き、ディスクの差し込み口があらわれます。



(3) 差し込み口にDVD/CDを差し込みます。

- DVD/CDはラベル面を上にして差し込み口に差し込みます。
- ディスクが完全に差し込まれるとディスプレイ部は自動的に閉まり、差し込まれたディスクの再生が開始されます。
 - ・DVDの操作については、P.10-1を参照。
 - ・CDの操作については、P.10-38を参照。



(4) ディスクを取り出す場合は、1の(2)の画面でDISC-EJECTにタッチします。

- ディスプレイ部が開き、ディスクが自動的に押し出されます。

- ディスプレイ部が開いている状態でも、DISC-EJECTにタッチするとディスクを取り出することができます。

(5) ▲を押すとディスプレイ部が閉じます。



アドバイス

エンジンスイッチがOFFの場合でも、▲を押すと一度だけディスプレイを閉じることができます。



注意

- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などにディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬケガをするおそれがあります。
- ディスクを取り出すとき、ディスクが押し出された状態のままディスプレイ部を閉じないでください。ディスクを傷つけるおそれがあります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。また、ディスプレイ部の開閉時に指がはさまれるおそれがあります。ご注意ください。



禁 止

- CDおよびDVDは同じ差し込み口を使用するため、同時に使用はできません。また、既に挿入されている差し込み口にさらにディスクを挿入しないでください。故障の原因になります。
- 本機の金属部分は高温になるため、手を触れないでください。ディスプレイ部の裏側など高温のため、やけどをするおそれがあります。

 アドバイス

- ディスク差し込み口にはディスク以外は入れないでください。
本機内部は精密な構造になっていますので、ディスク以外は絶対に入れないと故障の原因になります。
- 8cmディスクを専用アダプターなしでディスク差し込み口に入れないでください。
ディスク差し込み口に付属の専用アダプターなしで8cmディスクを差し込むと、ディスクを取り出せなくなるおそれがあり、故障の原因になります。8cmディスクをご使用になる場合は、必ず付属の専用アダプターをご使用ください。
- ディスクレベル面に【CDロゴ】(下記のマーク)の入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。CD規格外ディスクを使用された場合には再生の保証は致しかねます。また、再生できた場合であっても音質の保証は致しかねます。
- 音楽用CD・映像用DVDは下記のマークの付いた音楽用CDやCD-R (CD-Recordable) / CD-RW (CD-ReWritable)、映像用DVD、DVD-R/DVD-RWをご使用できます。

本機で再生できるDVD

フォーマット (記録方式)	メディア	DVD -ROM	DVD-R		DVD-RW (片面1層のみ)		DVD -RAM
			CPRM対応	CPRM非対応	CPRM対応	CPRM非対応	
DVDビデオ	○	○	○	○	○	×	
DVD-VR	デジタルテレビを録画 アナログテレビを録画	×	○	×	○	×	×
			○	○	○	○	×

○：再生できます ×：再生できません



- DualDisc (DVD層と非DVD層を一枚に貼り合わせた両面ディスク) は、右記のマークが付いている場合のみ、DVD層を映像用DVDとして再生することができます。右記のマークが付いていない、または非DVD層については、規格外ディスクとなりますので、再生の保証を致しかねます。また、ディスクの差し込みや取り出しのときにディスクに傷が付くことがあります。
- 記憶部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなることがありますのでご使用にならないでください。
- CCCD (Copy Control CD) は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。

ご使用になる前に必ずディスクに付属されている説明書などを読みください。



SUPER AUDIO CD

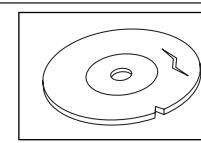
- 本機では、スーパーオーディオCD (SACD) には対応しておりません。右のロゴ表示のあるスーパーオーディオCD (SACD) は、通常のCDと構造が異なるため、再生できない場合があります。
- 本機では、DTS-CDには対応しておりません。再生の保証は致しかねます。

●CD-R/RW、DVD-R/RWディスクのご使用について

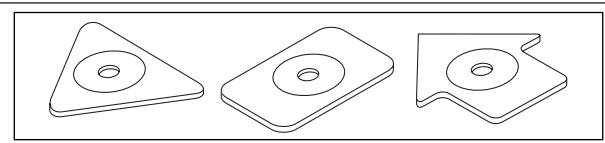
- 市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたディスクはご使用にならないでください。
- CDレコーダー (CD-R/RWドライブ) で記録したCD-R/RWは、その特性・汚れ・指紋・傷などにより、再生できない場合があります。
- CD-R/RW、DVD-R/RWは、通常の音楽CDや映像用DVDに比べて高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- ディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- ビデオCDは、再生できません。
- DVD-R/RWは、DVDビデオフォーマット、またはDVDビデオレコーディング・フォーマット (VRモード) で録画したDVDのみ再生できます。
- DVD-R/RWは、ディスクの特性、汚れ、またはピックアップレンズの汚れ、結露などにより再生できない場合があります。

 アドバイス

- 市販されているピックアップレンズクリーナーはご使用にならないでください。
本機に使用しますと故障の原因になります。
- 市販されているプロテクトフィルムやスタビライザーはご使用にならないでください。
本機に使用しますと故障の原因になります。
- 画面保護のため、ディスプレイ部は必ずお閉めください。
- 特殊形状のディスクはご使用にならないでください。
三角形や四角形、矢印型など特殊形状のディスクや傷のついたディスクは再生できません。本機に使用しますと故障の原因になります。



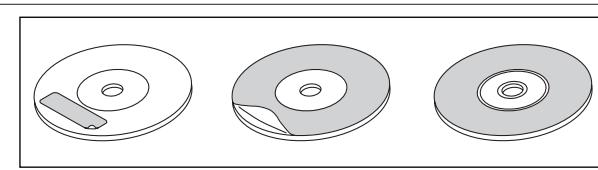
傷のあるCD



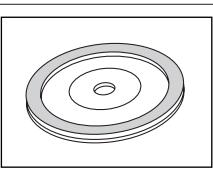
特殊形状のCD

●ディスクのアクセサリーについて

音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（ディスクリング、保護シール）はご使用にならないでください。また、プリントラベル類や紙、ステッカーなどが貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わったり、内部でステッカーなどがはずれたり、ディスクがそり、取り出せなくなるなど、故障の原因になります。



シール、ステッカー、プリントラベルが貼られたディスク



ディスクアクセサリー

●ご使用前にディスクをご確認ください

ディスクを差し込む前に、表面のほこりやゴミ、指紋などを取り除いてください。また、異物が付着していないかご確認ください。

2 SDメモリーカードの出し入れを行うには

SDメモリーカードの差し込み口は、ディスプレイ部と本体に1カ所ずつあります。ディスプレイ部の差し込み口には、付属の地図SDメモリーカード、またはメモリ地点移行（P.4-42参照）用のSDメモリーカードを差し込みます。本体の差し込み口には、SD AUDIO（P.11-1参照）用、またはSD地点登録（P.4-39参照）用のSDメモリーカードを差し込みます。SDメモリーカードの出し入れは、ディスクの出し入れを行う画面を表示させてから行います。



(1) ▲ を押します。

- ディスクの出し入れを行う画面が表示されます。

(2) DISPLAY-OPEN にタッチします。

- ディスプレイ部が開き、SDメモリーカードの差し込み口があらわれます。

(3) 差し込み口にSDメモリーカードを差し込みます。

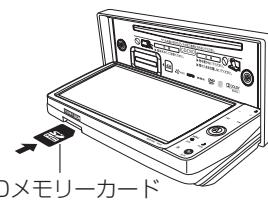
- SDメモリーカードはラベル面を上にして差し込み口に差し込みます。

- SDメモリーカードは差し込み口に奥まで差し込みます。

- ▲ を押すとディスプレイ部が閉じます。

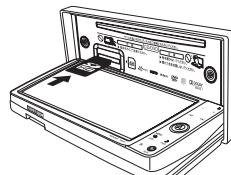
SDメモリーカードを差し込む

- ・ 地図SDメモリーカード
- ・ メモリ地点移行用SDメモリーカード



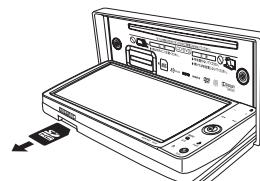
SDメモリーカードを差し込む

- ・ SD AUDIO用SDメモリーカード
- ・ SD地点登録用SDメモリーカード



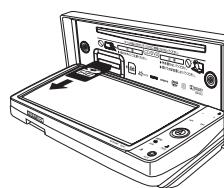
SDメモリーカードを取り出す

- ・ 地図SDメモリーカード
- ・ メモリ地点移行用SDメモリーカード



SDメモリーカードを取り出す

- ・ SD AUDIO用SDメモリーカード
- ・ SD地点登録用SDメモリーカード



(4) SDメモリーカードを取り出す場合は、2の(2)の画面で DISPLAY-OPEN にタッチします。

- ディスプレイ部が開き、SDメモリーカードの差し込み口があらわれます。

(5) SDメモリーカードを押すと、SDメモリーカードが押し出されます。

- ▲ を押すとディスプレイ部が閉じます。



アドバイス

- エンジンスイッチがOFFの場合でも ▲ を押すと一度だけディスプレイを閉じることができます。
- 地図SDメモリーカードとメモリ地点移行用のSDメモリーカードは、ディスプレイ部の差し込み口に、SD AUDIO用のSDメモリーカードとSD地点登録用のSDメモリーカードは、本体の差し込み口に差し込んでください。差し込み口を間違えると使用できません。



注意

- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などにディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬケガをするおそれがあります。
- SDメモリーカードを取り出すとき、SDメモリーカードが押し出された状態のままディスプレイ部を閉じないでください。SDメモリーカードを傷つけるおそれがあります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。また、ディスプレイ部の開閉時に指がはさまれるおそれがあります。ご注意ください。



- 本機の金属部分は高温になるため、手を触れないでください。ディスプレイ部の裏側など高温のため、やけどをするおそれがあります。


アドバイス
●本機のSDスロットについて

- ・本機のSDスロットにはSD/SDHCメモリーカード以外は絶対に入れないでください。
本機内部は精密な構造になっていますので、SD/SDHCメモリーカード以外のものを入れると故障の原因になります。
- ・SD/SDHCメモリーカードには、プリントラベル類や紙、ステッカーなどを貼らないでください。
SD/SDHCメモリーカードの厚さや外形寸法が変わりSDスロットの故障の原因になります。また、SDスロット内部で外れて取り出せなくなるおそれがあります。
- ・画面保護のため、ディスプレイ部は必ずお閉めください。

●SDメモリーカードについて

- ・本機には、地図SDメモリーカード（P.4-59参照）が付属しています。
また本機では、付属の地図SDメモリーカードとは別に、市販のSD/SDHCメモリーカードを使用して、音楽CDからの録音（P.11-12参照）やSD地点登録（P.4-39参照）、メモリ地点移行（P.4-42参照）を行うことができます。
- ・本機で使用できる市販のSD/SDHCメモリーカードは、SD規格に準拠し、かつ次の条件を満たしているものに限ります。この条件から外れた場合は、本機で正しく動作する保証はできません。
 - ・本機は、2GBを越えるSDメモリーカード、32GBを超えるSDHCメモリーカードには対応しておりません。

■対応SDメモリーカード

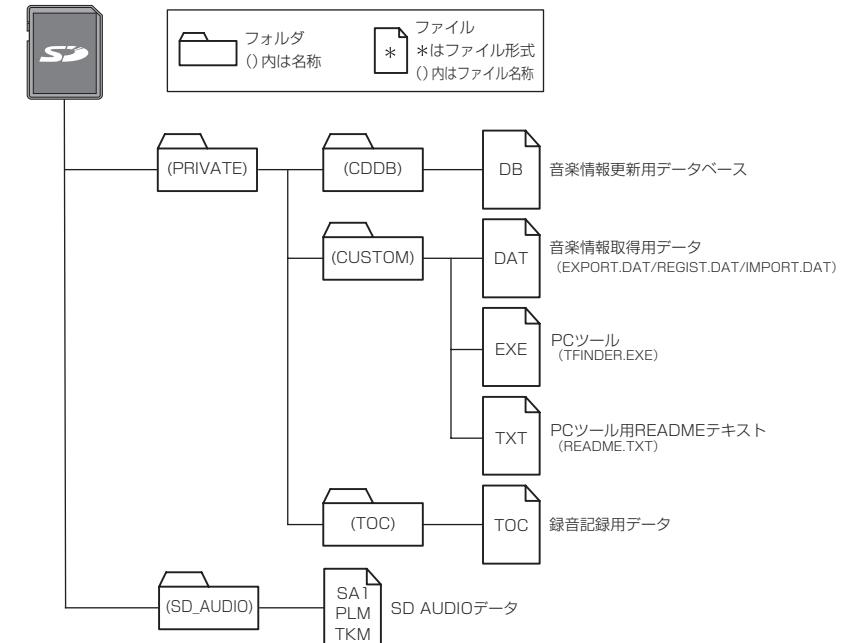
8MB/16MB/32MB/64MB/128MB/256MB/512MB/1GB/2GB

■対応SDHCメモリーカード

4GB/6GB/8GB/12GB/16GB/32GB

- ・SDフォーマットソフトウェアにつきましては、[Panasonic SDメモリーカードフォーマットソフトウェア V2.0](#)以降を推奨します。上記以外のソフトでフォーマットされたSDメモリーカードで、SD規格に準拠していない場合は本機で使用できないことがあります。また、使用できた場合でも、動作を保証するものではありません。
- ・本機では専用アダプターを用いた場合のみminiSDカード/microSDカード/miniSDHCカード/microSDHCカードをご使用になります。
- ・マルチメディアカード（MMC）はご使用になれますのでご注意ください。
- ・本機は、SDオーディオ規格に準拠したSD/SDHCメモリーカードの再生・記録に対応していますが、すべてのSD/SDHCオーディオ対応機器との動作互換を保証するものではありません。
- ・SD/SDHCメモリーカードが正常に動作しない場合は、再度抜き差してください。

●本機では、デジタルカメラなどの静止画・動画再生機能には対応しておりません。
●SD/SDHCメモリーカードは、書き込んだデータが失われてしまう可能性があります。

アドバイス
●SDメモリーカード録音におけるディレクトリ構造


●本機からSDメモリーカードへのデータ書き込みを行った際に作られたフォルダ、ファイルは、削除しないでください。

削除する場合は、SDメモリーカードをフォーマットしてください。

●SDメモリーカードへのデータ書き込みについての詳細は、以下を参照ください。

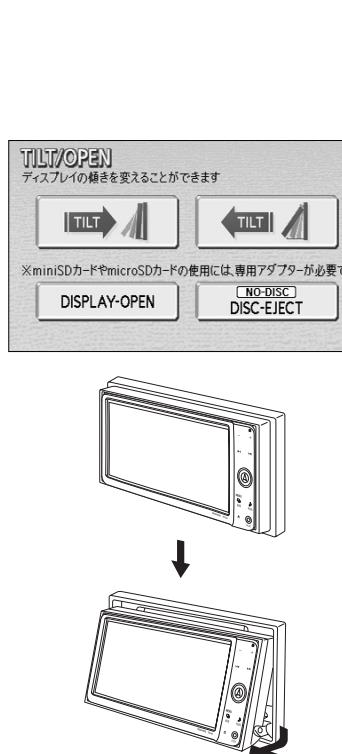
- ・CD録音（P.11-12参照）
- ・音楽情報出力データ（P.11-6参照）
- ・PCツール出力データ（P.11-5参照）

●お客様の大切なデータは、バックアップをとっておくことを推奨します。

本機で録音した音楽データは、Panasonic製SD-Jukeboxを使用して保存することができます。

ディスプレイの角度を調整するには

画面が見えにくいときにディスプレイの角度を3段階で調整することができます。



アドバイス

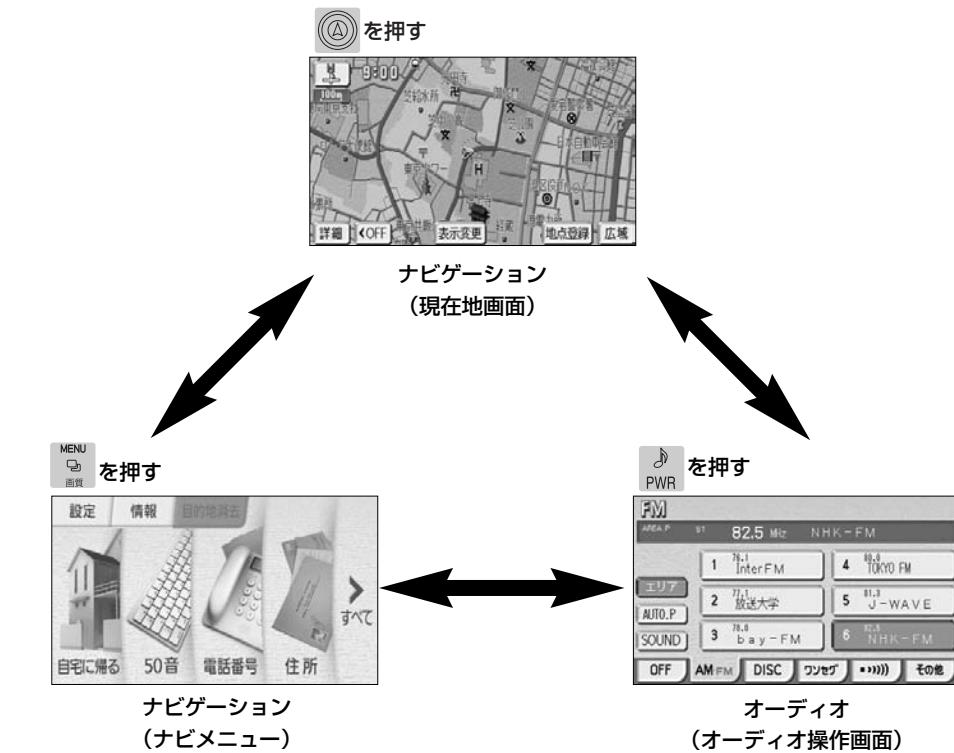
- ディスプレイが傾いている状態でも、▲を押してから➡または⬅にタッチするとディスプレイは傾きます。
- ディスプレイを傾けた状態でエンジンスイッチをOFFにすると、自動的に傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチをACCまたはONにしたときは、傾いた状態に戻ります。

注意

- ディスプレイの角度調整をするときは、手などをはさまないように注意してください。けがの原因や、故障の原因になります。
- ディスプレイが傾いている状態では、ディスクやSDメモリーカードの差し込み口が見えることがあります。ディスクやSDメモリーカードなどを絶対に差し込まないでください。故障の原因になります。

ナビゲーション・オーディオの切り替え

ナビゲーション・オーディオの画面や音声は、下記のとおり切り替えられます。
(ナビゲーションの画面に切り替えたときは、それまでに聞いていた音声が継続して聞けます。)



画面	主な機能
ナビゲーション (現在地画面)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在地の表示 ・目的地への案内
ナビゲーション (ナビメニュー)	<ul style="list-style-type: none"> ・目的地の設定 ・ナビゲーションの各種設定 ・メモリ地点の登録、編集 ・FM多重放送の受信
オーディオ (オーディオ操作画面)	<ul style="list-style-type: none"> ・オーディオ（ラジオ、テレビ、CDなど）の切り替え ・オーディオの操作（チャンネルの切り替えなど）

本機の機能はエンジンスイッチの位置など次の条件により操作できる場合とできない場合があります。

エンジンスイッチ	ナビゲーション・現在地画面	テレビ/DVD	オーディオ	FM多重文字情報
OFF	×	×	×	×
ACC	○	○ パーキングブレーキがかかっている場合のみ	○	○
ON 停車中	○	○ パーキングブレーキがかかっている場合のみ	○	○
ON 走行中	安全上の配慮から操作できなくなる機能があります	安全上の配慮から音声だけになります	安全上の配慮から操作できなくなる機能があります	一部の画面は安全上の配慮から表示しません

○ : 操作できます
× : 操作できません



注意

エンジンスイッチがACCのときはバッテリーあがりにご注意ください。
エンジンを停止させたまま、本機を長時間作動させることは避けてください。
バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

画面の調整

画面の明るさや色の調整、またテレビのワイド画面サイズの切り替えなどができます。



アドバイス

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により「昼画表示」と「夜画表示」に切り替わります。

昼画表示



夜画表示



ライト点灯
→
ライト消灯
←

1 ライト点灯時に昼画表示にするには



(1) 夜画を表示しているときに をピッと音が鳴るまで押し続けます。

(2) **昼画面** にタッチします。

● 昼画表示のときは、作動表示灯が点灯します。

● **昼画面** にタッチするごとに昼画面と夜画面が切り替わります。

● 画面を消したいときは **画面消** にタッチします。

を押すと再び画面が表示されます。

(3) **調整完了** にタッチします。



走行中、操作できないタッチスイッチは色が反転し、タッチしても操作できません。

2 コントラスト（鮮明度）／明るさを調整するには



- (1) **MENU** をピッと音が鳴るまで押し続けます。

■ コントラスト（鮮明度）を調整する

強くするときは **強**、弱くするときは **弱** にタッチします。

■ 明るさを調整する

明るくするときは **明**、暗くするときは **暗** にタッチします。

- 調整が終了したら **調整完了** にタッチします。



アドバイス

コントラスト／明るさ調整は、昼画面・夜画面でそれぞれ独立して調整することができます。

3 色合い／色の濃さを調整するには



- (1) テレビやDVDなど映像をご覧になっているときに **MENU** をピッと音が鳴るまで押し続けます。

■ 色合いを調整する

緑色を強くするときは **緑**、赤色を強くするときは **赤** にタッチします。

■ 色の濃さを調整する

色を濃くするときは **濃**、色を淡くするときは **淡** にタッチします。

- 調整が終了したら **調整完了** にタッチします。



アドバイス

色合い／色の濃さは、テレビ/VTR/DVD/カメラ（バックガイドモニター/マルチビューバックガイドモニター/バックモニター/ブラインドコーナーモニター/サイドモニター）の映像画面が表示されているときのみ調整できます。

4 VTR/DVDのワイド画面モードを切り替えるには



- (1) VTR操作画面（P.8-24参照）、またはDVD操作画面（P.10-7参照）で **WIDE MODE** にタッチします。

- (2) 表示させたい画面モードにタッチします。



- **Normal** にタッチすると、たて 3：よこ 4 の割合の画面で両端が黒く表示されます。

たて 3：よこ 4 の割合の映像は、オリジナルと同じ比率で表示されます。

たて 9：よこ 16 の割合の映像は、左右方向に圧縮されます。



- **Wide 1** にタッチすると、画面を全て使用した映像が表示されます。

たて 3：よこ 4 の割合の映像は、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。

たて 9：よこ 16 の割合の映像も、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。



- **Wide 2** にタッチすると、たて 3：よこ 4 の割合の映像を上下左右方向に均等に拡大して表示します。

この場合、上下方向も左右方向と同じように拡大するため上下の画面が切れて表示されます。



アドバイス

たて 9：よこ 16 の割合の映像が収録されているDVDビデオ（P.10-4参照）をオリジナルと同じ比率で表示するには、ワイド画面の設定をワイド2またはノーマルに設定し、DVDの初期設定画面2（P.10-32参照）で映像出力切替を「4：3（レターボックス）」に設定してください。

5 ワンセグ／デジタルテレビのワイド画面モードを切り替えるには



注意

テレビ番組や映画などの映像比率と異なるモードを選択されるとオリジナル映像と見え方に差が出ることをご留意ください。また、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の（分割表示や）圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

- (1) ワンセグまたはデジタルテレビの放送局リスト画面 (P.8-6、P.8-17参照) で **WIDE MODE** にタッチします。
- (2) 表示させたい画面モードにタッチします。

● **Normal** にタッチすると、たて 3 : よこ 4 の割合の画面で両端が黒く表示されます。
たて 3 : よこ 4 の割合の映像は、オリジナルと同じ比率で表示されます。
たて 9 : よこ 16 の割合の映像は、左右方向に圧縮されます。

● **Wide** にタッチすると、たて 9 : よこ 16 の割合の画面が表示されます。
たて 3 : よこ 4 の割合の映像は、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。
たて 9 : よこ 16 の割合の映像は、オリジナルと同じ比率で表示されます。

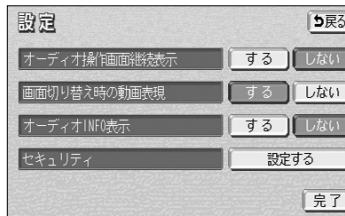
● **Full** にタッチすると、画面を全て使用した映像が表示されます。
たて 3 : よこ 4 の割合の映像は、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。
たて 9 : よこ 16 の割合の映像も、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。

画面の設定

アニメーションの設定、オーディオ操作画面 (P.7-3参照) の設定を行うことができます。

1 画面に動きを持たせるには

スイッチにタッチしたときに、アニメーションによって画面に動きを持たせることができます。



- (1) ナビメニュー (P.2-8参照) から、**情報** にタッチします。

● 情報のメニュー画面が表示されます。

- (2) **設定** にタッチします。

● 設定画面が表示されます。

- (3) 画面切り替え時の動画表現の **する** にタッチします。

● 設定したタッチスイッチは強調表示されます。

- (4) **完了** にタッチします。

＜動画表現の例＞

● 画面切り替え時の動画表現を「する」に設定すると、操作時に画面が以下のように切り替わります。

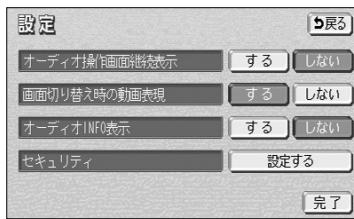
＜アニメーション＞

特定のスイッチにタッチしたときに行われます。



2 画面の表示設定をするには

オーディオ操作画面を表示させてから一定時間後に表示を解除して元の画面に戻るか、表示をそのまま継続するかの設定ができます。



- (1) ①の(3)の画面で、オーディオ操作画面の表示を一定時間後に自動的に解除したいときはオーディオ操作画面継続表示の「しない」にタッチします。
 - 継続して表示させたままにしたいときは「する」にタッチします。
 - 設定したタッチスイッチは強調表示されます。
- (2) 「完了」にタッチします。

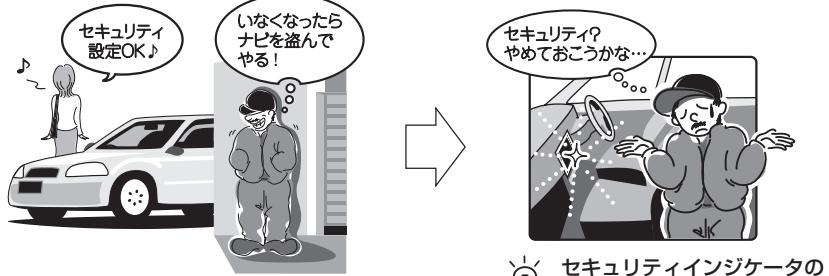
アドバイス

- ディスクの出し入れを行う画面（P.1-17参照）などを表示中にオーディオ操作画面を表示して自動解除が行われた場合は、ディスクの出し入れを行う画面を表示する前に表示していた画面を表示します。
- オーディオ操作画面継続表示を「しない」に設定しているときは、操作画面を表示させてからおよそ20秒以上（テレビ/DVDの操作画面は6秒以上）何も操作しなかったときに、自動的に解除され、もとの画面に戻ります。

セキュリティ機能の設定

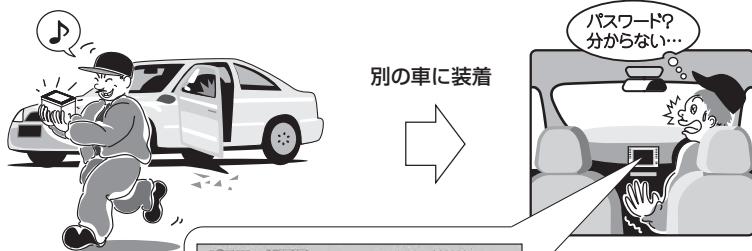
セキュリティ機能を設定すると、バッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合に、ナビゲーションやオーディオなどの機能をロック（使用不可）することができます。エンジンスイッチがOFFのときはインジケータランプを点滅させることができます。また、表示されるシリアルナンバーを控えておくと、盗難などにあったとき、本機と所有者の確認をすることができます。

●お車を離れる際に



セキュリティインジケータの点滅により盗難を抑止!!

●万一盗難にあっても



パスワードロックによりナビゲーションの起動を停止することで個人情報を保護

アドバイス

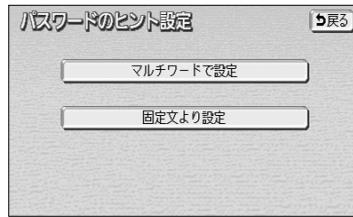
- 設定したパスワードは忘れないように控えておいてください。
- パスワード設定時にバッテリー交換すると、最初の起動時にパスワード入力画面が表示されますので、控えておいたパスワードを入力してください。
- 万一本機のパスワードを忘れた場合は、販売店へご相談ください。
- すでにパスワードが設定されている場合は、パスワードの変更ができます。

1 起動パスワードを設定・解除するには

●起動パスワードを設定する



- (1) P.1-32の1の(3)の画面で、セキュリティの「設定する」にタッチします。



- (2) セキュリティ機能の「設定」にタッチします。
- 初期状態では、セキュリティ設定はされておりません。
 - すでに設定されている場合は、「設定」にタッチすると、パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力してください。
 - シリアルナンバーが表示されます。盗難などにあつたとき、本機と所有者の確認をすることができます。
- (3) 「マルチワードで設定」または「固定文より設定」にタッチします。

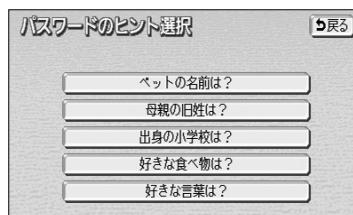
●マルチワードで設定



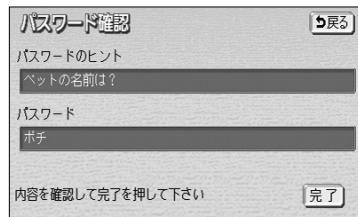
- (4) マルチワードで設定の場合は、設定したいヒントを1文字ずつタッチして入力します。
固定文より設定の場合は、設定したいヒント文にタッチします。

- パスワード入力画面に表示するヒント文に設定されます。
- 文字の入力方法は、P.4-27～P.4-28を参照してください。
- 入力できる文字数は、最大12文字（半角24文字）です。

●固定文より設定



- (5) パスワードを1文字ずつタッチして入力します。



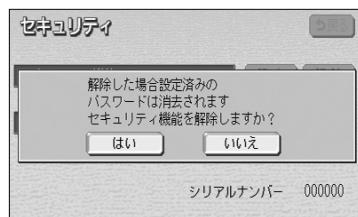
- (6) パスワードのヒントとパスワードを確認して、「完了」にタッチします。

- ヒント、パスワードが設定されます。

●起動パスワードを解除する



- (1) セキュリティ機能の「解除」にタッチします。



- (2) 「はい」にタッチします。

- 「いいえ」にタッチすると(1)の画面に戻ります。



- (3) 設定したパスワードを1文字ずつタッチして入力します。

- パスワードが一致すると、セキュリティ機能が解除されます。

メモ

2 インジケータランプの点滅を設定・解除するには

●インジケータランプの点滅を設定する



(1) P.1-35の①の(2)の画面で、インジケータの**ON**にタッチします。

- エンジンスイッチをOFFにするとインジケータランプが点滅するようになります。



アドバイス

- セキュリティ設定がされていない場合は、**OFF**に設定されており、インジケータの設定は行えません。
- セキュリティ機能を設定すると、自動的にインジケータの設定が**ON**に設定されます。
- セキュリティ機能の設定内容を変更しても、インジケータの設定は現在のまま変更されません。

●インジケータランプの点滅を解除する



(1) P.1-35の①の(2)の画面で、インジケータの**OFF**にタッチします。

- エンジンスイッチをOFFにしてもインジケータランプが点滅しないようになります。

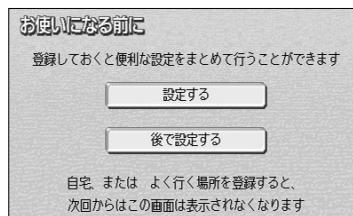


アドバイス

- セキュリティ機能を解除すると、自動的にインジケータの設定が**OFF**に設定されます。

簡単初期設定ガイドについて

初めて本機を起動したときは、簡単初期設定ガイド画面が表示されます。案内音量・自宅・よく行く場所・車両情報・セキュリティ機能・Bluetooth携帯電話接続の設定ができます。



簡単初期設定ガイド画面

1 案内の音量を調節するには



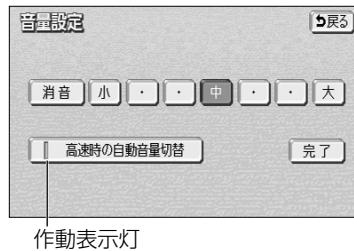
- 簡単初期設定ガイド画面で **音量設定** にタッチします。
- 小**、**・**、**・**、**中**、**・**、**・**、**大** のいずれかにタッチすることにより、案内音量の設定を変更することができます。
 - 設定された音量で「この音量でご案内します」の音声が発声されます。
 - タッチしたタッチスイッチが強調表示になります。
 - 消音** にタッチすると、案内音量OFFになります。
- 完了** にタッチします。
- 簡単初期設定ガイド画面に戻ります。



案内音量を **消音** にタッチすると「この音量でご案内します」の音声は発声されません。

2 自動音量切り替え機能を使うには

自車が80km以上で走行時に、案内音声を自動的に1段階上の音量で発声させることができます。



作動表示灯

- 簡単初期設定ガイド画面で **音量設定** にタッチします。
- 高速時の自動音量切替** にタッチすると、自動音量切替を「設定する」または「設定しない」に切り替えることができます。
 - 「設定する」にしたときは、作動表示灯が点灯します。
- 完了** にタッチします。
- 簡単初期設定ガイド画面に戻ります。

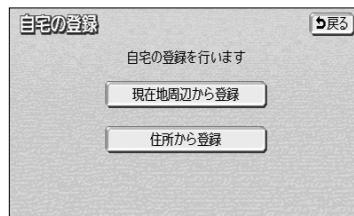


アドバイス

- 案内音量の設定値は変更されません。
- 案内音量が **消音** のとき、または案内音量が **大** に設定されているときは音量は切り替わりません。

3 自宅を登録するには

自宅を登録すると、簡単に自宅の地図を呼び出すことができます。(P.2-34参照)



- 簡単初期設定ガイド画面で **自宅** にタッチします。
 - 自宅設定画面が表示されます。
- 地図の呼び出し方を選択します。
 - 現在地周辺から登録** にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
 - 住所から登録** にタッチすると、住所を入力して地図の場所を検索できます。(P.3-35参照)



- ↑ にタッチすると、地図が移動して ⌂ の位置を変更することができます。
- スケール表示が **800m** および **800m** より詳細な地図で **セット** にタッチします。
 - 簡単初期設定ガイド画面に戻ります。

アドバイス

自宅が登録されていない状態でナビメニュー（P.2-8参照）の【自宅に帰る】にタッチしても自宅を登録できます。

- (1) ナビメニュー（P.2-8参照）
の【自宅に帰る】にタッチします。

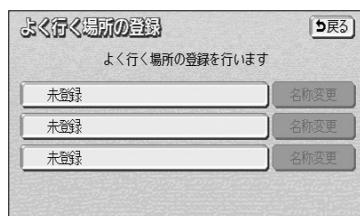
- (2) 【はい】にタッチします。
●【いいえ】にタッチすると
ナビメニューに戻ります。

- (3) 音声ガイダンスをする
場合は【はい】、
しない場合は【いいえ】に
タッチします。
●③の(2)の画面が表示
されます。



4 よく行く場所を登録するには

よく行く場所を登録すると、簡単にその地点の地図を呼び出すことができます。（P.2-34参照）



- (1) 簡単初期設定ガイド画面（P.2-1参照）で
【よく行く場所】にタッチします。
● よく行く場所設定画面が表示されます。
- (2) 【未登録】にタッチします。

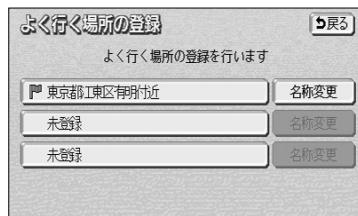


(3) 地図の呼び出し方を選択します。

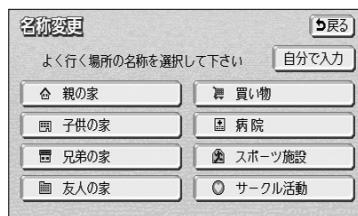
- 50音 P.3-26
- 住所 P.3-35
- 施設 P.3-30
- 電話番号 P.3-32
- メモリ地点 P.3-37
- 周辺施設 P.3-40
- 郵便番号 P.3-34
- 履歴 P.3-38
- マップコード P.3-39

※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- 先程の地図にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- 現在地周辺にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 登録済みのよく行く場所にタッチすると、よく行く場所周辺の地図が表示されます。
- (4) ↑にタッチすると、地図が移動して○の位置を変更することができます。
- (5) スケール表示が800mおよび800mより詳細な地図で【セット】にタッチします。
 - よく行く場所が登録されます。
 - 手順(2)で、すでに地点が登録されているリストを選んだ場合は、新しく選んだ地点が上書きされます。



- (6) よく行く場所設定画面（P.2-3参照）で、名称を変更したい地点の右の [名称変更] にタッチします。



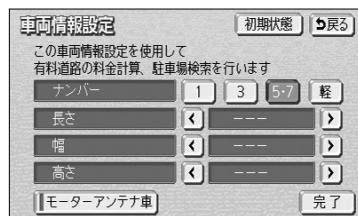
- (7) 名称リストから変更したいスイッチをタッチします。
 ● タッチされたリストの名称とマークに変更されます。
 ● 自分で名称を変更するには、[自分で入力] にタッチすると、お好みの名称を入力できます。名称の入力方法は、P.4-27を参照してください。



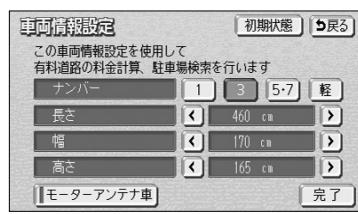
- (8) 登録が完了したら、[戻る]（ナビメニューから登録した場合は[完了]）にタッチします。
 ● 簡単初期設定ガイド画面に戻ります。

5 車両情報を設定するには

入庫可能な駐車場を検索するときの条件、および有料道路の料金を計算するときの基準となる車両情報を設定します。目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。その場合、一旦「目的地消去」（P.3-6参照）を行ってから設定してください。



- (1) 簡単初期設定ガイド画面（P.2-1参照）で [車両情報] にタッチします。
 (2) 1、3、5-7、軽にタッチして、お使いの車両のナンバーを設定します。
 ● 初期設定は、5-7に設定されています。
 (3) ▶、◀にタッチして、車両の長さ、幅、高さを設定します。
 ● 初期状態にタッチすると、車両情報設定が初期状態に戻ります。
 (4) お使いのお車がモーターインテナ車の場合は、モーターインテナ車にタッチして、モーターインテナ車の設定を「ON」にします。
 ● 初期設定は、「OFF」に設定されています。
 ● モーターインテナ車設定が「ON」のときは、作動表示灯が点灯します。
 ● モーターインテナ車にタッチするごとにモーターインテナ車設定の「ON」と「OFF」が切り替わります。
 (5) [完了]にタッチします。
 ● 簡単初期設定ガイド画面に戻ります。



- 車両情報の設定は、次の機能が行われるときの基準となります。
 ・入庫可能な駐車場の検索（P.3-27参照）
 ・現在地画面の料金案内（P.4-11参照）
 ・全ルート表示画面の合計料金表示（P.2-35の①の画面、P.2-36の④の画面）
 ●モーターインテナ車の設定が「ON」の場合、オーディオをOFFにするとアンテナが下がり、VICS情報が受信できなくなります。
 ●モーターインテナ車の設定が「OFF」の場合、オーディオをOFFにしてもVICS受信のためにアンテナがのびたままになりますのでご注意ください。

ナビメニューについて

6 セキュリティ機能を設定するには

セキュリティ機能の設定やセキュリティインジケータの点滅の設定をすることができます。



- (1) 簡単初期設定ガイド画面（P.2-1参照）で **セキュリティ**にタッチして設定します。
 - 詳細は、P.1-34～P.1-37を参照してください。

7 Bluetooth対応携帯電話機を接続するには

ハンズフリー機能をご利用いただくためのBluetooth対応携帯電話機を本機に接続することができます。



- (1) 簡単初期設定ガイド画面（P.2-1参照）で **Bluetooth接続**にタッチします。
 - Bluetooth設定画面が表示されます。
- (2) 接続したい携帯電話の準備ができたら、Bluetooth電話設定の **登録**にタッチして接続します。
 - 詳細は、P.13-1～P.13-11を参照してください。
 - 携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。

1 ナビメニューについて



目的地を探す（目的地設定）

- (1) **MENU** を押すと、ナビメニューが表示されます。
 - ナビメニューから以下の操作を行うことができます。

項目（タッチスイッチ）	機能	ページ
設定	設定画面の表示	2-9
情報	情報画面の表示	5-1
目的地消去※1	目的地の消去	3-6
目的地を探す（目的地設定）※2	目的地を設定する	3-26～3-44
自宅に帰る	自宅を登録する（未登録時）	2-2
	自宅を目的地に設定（登録済み時）	2-34
すべて	地図索引機能を使って目的地を設定する	2-33

※1 目的地が設定されていないときは、色が反転して、タッチしても操作できません。

※2 目的地を探すスイッチはカスタマイズすることができます。（P.4-18参照）

リスト画面の切り替え方

2 設定画面について



- (1) ①の(1)の画面で [設定] にタッチします。
- 設定画面が表示されます。
設定画面から、以下の操作を行うことができます。

項目（タッチスイッチ）	機能	ページ
案内中止／案内再開※	ルート案内の中止・再開	3-24
音量設定	音量設定	3-25
メモリ地点	メモリ地点の登録・修正・消去	4-21～4-32
	迂回メモリの登録・修正・消去	4-33～4-38
SD地点登録	Googleマップで検索した地点をメモリ地点に登録する	4-39
VICS	VICS文字情報・図形情報の表示	4-51～4-52
	割り込み情報の表示	4-52～4-53 6-1～6-2
	VICS提供放送局の選択	4-53～4-54
ナビ設定	ナビゲーションの各種設定	4-1～4-17
メニュークスタマイズ	ナビメニューの目的地を探すスイッチの選択	4-18
ショートカット設定	ショートカットスイッチの選択	4-19
Language	地図の表示や案内音声を英語に切り替える	2-13

※ 目的地が設定されていないときは、色が反転し、タッチしても操作できません。



▲・▼の切り替え表示

▲、▼にタッチすると、1項目ずつリストが動きます。



前・次の切り替え表示

▲前、▼次にタッチすると、1項目ずつリストが動きます。



50音順の切り替え表示

▲50音、▼50音にタッチすると、「あ→い」というように次の音に飛ばしてリストが動きます。



行の切り替え表示

あ行、か行、さ行、た行、な行、は行、ま行、や行、ら行、わ行にタッチすると、「あ行→か行」というようにタッチした行に飛ばしてリストが動きます。

- リストがない行のタッチスイッチは色が反転し、タッチしても操作できません。



ページの切り替え表示

▲ページ、**▼ページ**にタッチすると、1ページずつリストが動きます。



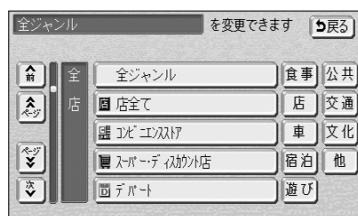
マークの切り替え表示

▲マーク、**▼マーク** (**▲種類**、**▼種類**) にタッチすると、次のマークに飛ばしてリストが動きます。



地域の切り替え表示

北海道、**東北**、**関東**、**中部**、**近畿**、**中四国**、**九州**にタッチすると、タッチした地域に飛ばしてリストが動きます。



施設項目切り替え表示

食事、**店**、**車**、**宿泊**、**遊び**、**公共**、**交通**、**文化**、**他**にタッチすると、タッチした施設項目に飛ばしてリストが動きます。

- リストがない施設項目のタッチスイッチは色が反転し、タッチしても操作できません。
- 全**にタッチすると、その項目のすべての施設が選択されます。
- 全ジャンル**にタッチすると、すべての施設が選択されます。

スイッチの意味がわからないときには

画面に表示されているスイッチの機能について、使い方や機能などのヒント（説明）を表示することができます。

(音量設定の場合の例)



- (1) **ヒント?** が表示されている画面で、**ヒント?**にタッチするとヒントモードになります。



画面によっては **ヒント?** が表示されないものもあります。

- ヒントが表示されるスイッチが黄色の枠で囲まれます。
- 黄色の枠で囲まれるスイッチのみヒントを表示することができます。



- (2) **音量設定**にタッチします。

- 音量設定** のヒントが表示されます。
- ヒント表示中のスイッチは強調表示されます。
- ヒントが表示されるスイッチが反転している場合もヒントは表示されます。

- (3) **解除?**にタッチします。

- ヒントモードが解除され、(1)の画面に戻ります。
- 解除?** はヒントモード中のみ表示されます。



アドバイス

- ヒントモード中に他の画面を表示した場合、ヒントモードは解除されます。
- ヒント表示中に走行を開始するとヒントは消去されます。

英語で表示・案内するには

ナビゲーションの表示や案内音声を、日本語または英語に切り替えることができます。



- (1) 設定画面 (P.2-9参照) で **Language** にタッチします。

● Language画面が表示されます。

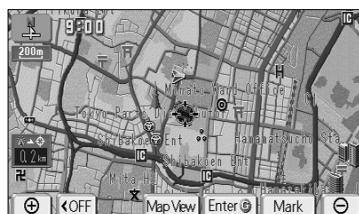
- (2) **OK** にタッチします。
- ナビゲーションが再起動し、日本語に設定されていたときは英語に、英語に設定されていたときは日本語に設定されます。



日本語に設定したときの表示



日本語に設定したときの表示



英語に設定したときの表示



英語に設定したときの表示



アドバイス

- 英語に設定した場合は、地図画面の地名、道路名称、スイッチの一部、音声案内や、目的地設定操作の画面、SD地点登録 (P.4-39参照) 操作の画面などが英語に切り替わります。また、50音検索 (P.3-26参照) がアルファベット検索 (POI検索) に変わります。
- アルファベット検索は50音検索よりも検索される施設が少なくなります。

現在地を表示するには

現在地（自車位置）周辺の地図を表示します。

(A) を押すと、現在地画面が表示されます。

①方位マーク

表示している地図の向きを表示します。



②スケール表示

表示している地図の縮尺を表示します。

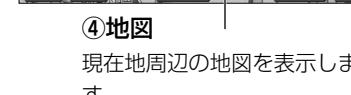
③GPSマーク

GPS衛星からの電波を受信し、測位可能な場合に表示します。



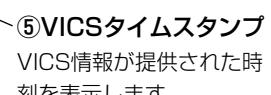
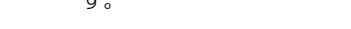
⑦時計表示

現在の時刻を表示します。



⑥自車マーク

自分の車の位置を表示します。



⑤VICSタイムスタンプ
VICS情報が提供された時刻を表示します。



アドバイス

- 納車時および長時間バッテリーをはずしておいた場合、現在地が異なった場所を表示することがあります。この場合、手動で現在地の修正を行う (P.4-57参照) カ、GPSが受信され自動で位置の修正 (10分程度かかる場合があります) が行われるまでお待ちください。
- 現在地画面で **(A)** を押すと現在地付近の地名や道路名称、道路番号が表示されます。
- 50m から 1.6km までの地図縮尺で均一区間の有料道路 (都市高速を除く) の料金 (¥250) が表示されます。
- 地図を表示させているときに、画面のタッチスイッチを表示させないようにすることができます。
 - **OFF** にタッチすると、タッチスイッチのない表示になります。
 - **ON** にタッチすると、タッチスイッチが再び表示されます。

◀OFF▶にタッチしたときの表示



◀ON▶にタッチしたときの表示



地図にオーディオ情報を表示するには

現在地画面または地図画面において、オーディオ情報を簡易に表示することができます。

1 オーディオ情報表示を設定するには



- (1) ナビメニュー (P.2-8参照) から、[情報] にタッチします。

- 情報のメニュー画面が表示されます。

- (2) [設定] にタッチします。

- 設定画面が表示されます。

- (3) オーディオINFO表示の [する] にタッチします。

- 設定したタッチスイッチは強調表示されます。

- (4) [完了] にタッチします。



アドバイス

オーディオINFO表示を「しない」に設定すると、地図を表示させているときに、画面のタッチスイッチを表示させないようにする操作ができるようになります。(P.2-14参照)

2 オーディオ情報を表示するには



- (1) 地図が表示されている画面で [Info] にタッチします。



- オーディオ情報（選んでいるオーディオモードの再生状態、またはオーディオ機能のオフの状態）が表示されます。
- [Off] にタッチすると、オーディオ情報を消去します。

地図スクロールするには

現在地画面または地図画面から地図をスクロール（地図移動）させ、見たい場所の地図を探します。



- (1) 現在地画面で地図にタッチします。



- タッチした地点が画面の中心となり、地図が移動します。移動後は地図画面となります。
- ナビ設定で「地図スクロール時の地名表示」を「する」に設定 (P.4-1参照) しているときは、地図の移動後に画面中心付近の地名や道路名称、道路番号が表示されます。



アドバイス

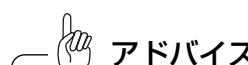
スクロール時に表示される地名は、**50m** から **6km** までの地図縮尺で表示されます。



- (2) 地図にタッチしてそのまま押しつづけると、画面中央のマーク  の色が黄色に切り替わり、タッチした地点の方向に地図が移動します（連続スクロール）。

- 地図の中央付近にタッチしてそのまま押し続けた場合は、地図が低速で移動します。

- 地図の端にタッチしてそのまま押し続けた場合は、地図が高速で移動します。



アドバイス

- 画面上のタッチスイッチがある場所にタッチしても地図は移動しません。
- 地図スクロール後は地図が固定され、車が移動しても地図は移動しません。 を押してください。
- 地図画面とは地図を表示している画面で、画面中央に  マークが表示されます。
- 市街図（**25m**、**50m** の地図）で走行中は地図スクロールできません。
- 走行中は安全のため、連続スクロールはできません。
- 走行中は道路の表示量が制限されます。

地図の縮尺をかえるには

現在地画面（P.2-14参照）または地図画面（P.2-16参照）において、地図を1/5000から1/2048万までの希望の縮尺に切り替えることができます。

1 地図の縮尺をかえるには



- (1) 地図が表示されている画面で [広域] または [詳細] にタッチして希望する縮尺を選択します。
 - 広域の地図に切り替えるには [広域] にタッチします。
 - 詳細の地図に切り替えるには [詳細] にタッチします。
 - 縮尺バーが表示され、選択された縮尺が——（黄色）で表示されます。



アドバイス

●スケール表示と地図縮尺について

現在地画面、または地図画面の左上に表示される **400m** の——の長さが約400mであり、表示されている地図縮尺が1／4万図縮尺であることを示しています。

mはメートル、kはキロメートルのことを示します。

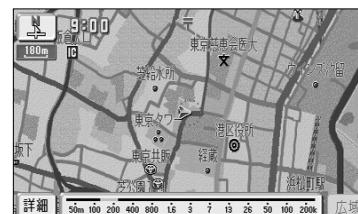


スケール表示
400m

●地図を3D表示（P.2-21参照）にしているときに——は表示されません。

2 フリーズーム機能を使うには

表示されているスケール表示以外の地図縮尺で地図を表示することができます。



- (1) [広域] または [詳細] をタッチし続けます。

- [広域] をタッチし続けると広域な地図に、[詳細] をタッチし続けると詳細な地図に縮尺をかえています。
- タッチするのをやめると、そのときの地図縮尺が選択されます。

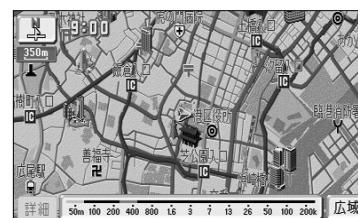


アドバイス

●走行中は安全のため、フリーズーム機能は動作しません。

●市街図（P.2-26参照）のフリーズームはできません。

3 ダイレクト縮尺切り替え機能を使うには



- (1) [広域] または [詳細] にタッチしたあと、縮尺バーの目盛りにタッチすると、タッチした目盛りの縮尺の地図に切り替わります。



アドバイス

走行中は安全のため、ダイレクト縮尺切り替え機能は動作しません。

4 目的地表示縮尺切り替え機能を使うには

目的地を設定しているときに現在地から目的地までの地図を適切な地図縮尺で表示することができます。



アドバイス

- 市街図（P.2-26参照）や3Dの地図（P.2-21参照）を表示しているときは、目的地表示縮尺切り替え機能は動作しません。
- 走行中は安全のため、目的地表示縮尺切り替え機能は動作しません。
- 2画面表示のときは左画面のみ目的地表示縮尺切り替えを行います。

- (1) **広域** または **詳細** にタッチしたあと、縮尺バーの左上に表示される



目的地を設定（P.2-31）しているときのみ

- 現在地から目的地までの地図が表示されます。

地図の向きをかえるには

現在地画面（P.2-14参照）や地図画面（P.2-16参照）の地図の向きをかえることができます。



- (1) (または) が表示されているときに、 (または) にタッチすると、ヘディングアップ表示（またはノースアップ表示）に切り替えることができます。

- ノースアップ表示は画面の上方向を北に固定して地図を表示します。
- ヘディングアップ表示は、画面の上方向が自車の進行方向になるように地図を自動的に回転して表示します。



アドバイス

- 方位マークは次のように表示されます。
 - ノースアップ表示**
 - ヘディングアップ表示** 赤色が北向き、白色が南を示します。
- 地図画面ではヘディングアップ表示の時のみノースアップ表示に切り替えることができます。
- 以下のような場合、地図画面でヘディングアップ表示になります。
 - ・ヘディングアップの現在地画面で地図スクロールした場合。
 - ・ヘディングアップの現在地画面や地図画面を表示しているとき、目的地を探す画面（P.2-33参照）などから **先程の地図** にタッチした場合。

3D表示にするには

地図に遠近感をもたせて表示することができます。また、地図を見る視点のある範囲内でかえることもできます。

1 3D表示にするには



- (1) 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。
- (2) **2D・3D・ツイン** にタッチします。
 - 強調表示されているタッチスイッチが現在の画面状態です。
- (3) **3D** にタッチすると3D表示に切り替わります。また、**3Dツイン** にタッチすると2画面表示(P.2-23参照)に切り替わり、左画面が3D表示となります。



アドバイス

- 代表的な地点(交差点、IC)の名称が吹き出しで表示されます。地図の縮尺によって表示される代表地点は異なります。
- 3D表示は、ヘディングアップ・フロントワイド表示になります。

2 オールラウンドスクロールを使うには



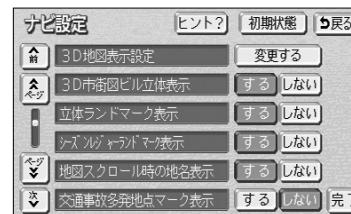
- (1) 3D表示時に、地図にタッチします。
- (2) **↙** または **↗** により、地図を回転させることができます。
 - **↖** にタッチすると、地図が時計まわりに回転します。
 - **↗** にタッチすると、地図が反時計まわりに回転します。
 - **Ⓐ** を押して現在地画面にすると、回転前の状態に戻ります。



アドバイス

走行中は安全のため、オールラウンドスクロールを行うことはできません。

3 3D表示の視点角度を変更するには



- (1) 設定画面(P.2-9参照)で **ナビ設定** にタッチします。

- (2) 3D地図表示設定の **変更する** にタッチします。

- (3) **GRID** または **GRID** により視点角度を変更できます。

- **GRID** にタッチすると、視点の角度を上げることができます。

- **GRID** にタッチすると、視点の角度を下げることができます。

- 視点角度は10段階に調整できます。

- **初期状態** にタッチすると、角度が初期設定の状態(下から4つ目の設定)に戻ります。

- (4) **セット** にタッチします。

- 設定した視点角度で表示されます。

4 3D表示を解除するには



- (1) 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

- (2) **2D・3D・ツイン** にタッチします。

- (3) **2D** にタッチすると2D表示に切り替わります。

- **2Dツイン** にタッチすると2画面表示(P.2-23参照)に切り替わり、左画面が2D表示となります。

2画面表示にするには

現在地画面（P.2-14参照）のときに異なる縮尺の地図を同時に表示させるなど、画面を左右に2分割して地図を表示させることができます。

1 2画面表示にするには



(1) 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

(2) **2D・3D・ツイン** にタッチします。



(3) **2Dツイン** または **3Dツイン** にタッチすると2画面表示に切り替わります。

- 左画面は1画面の時と同じ方法で操作できます。
- 1画面表示に戻すには(2)の画面で **2D** (2D表示) または **3D** (3D表示) にタッチします。

2Dツイン



3Dツイン



アドバイス

再度2画面表示にしたときは、前回2画面表示にしていたときの縮尺で地図が表示されます。

2 右画面の操作



(1) 右画面内の地図にタッチします。



作動表示灯

(2) 次に表示された画面で、以下のことができます。

- **広域** または **詳細** にタッチすると、右画面の縮尺を切り替えることができます（P.2-17参照）。
- **↑** または **↓** にタッチすると、右画面の地図向きを切り替えることができます（P.2-20参照）。
- **3D表示** にタッチするごとに、右画面を3D表示、または2D表示に切り替えることができます。（P.2-21参照）

右画面が3D表示のときは、作動表示灯が点灯します。

- **周辺施設表示** にタッチするごとに、右画面の施設ランドマークを表示、または消去することができます（P.3-45参照）。

右画面の施設ランドマークが表示状態のときは、作動表示灯が点灯します。

- **VICS表示** にタッチするごとに、右画面のVICS情報を表示、または消去することができます（P.4-49参照）。

右画面のVICS情報が表示状態のときは、作動表示灯が点灯します。



アドバイス

- 2画面表示のときは、左画面のみ地図スクロールすることができます。
- 右画面の **周辺施設表示** および **VICS表示** は、左画面の施設表示、およびVICS表示が表示状態となっているときに操作することができます。

地図・文字を拡大表示するには

地図や文字、施設マークを拡大して表示することができます。



- (1) 地図画面を表示させているときに**表示変更**にタッチします。

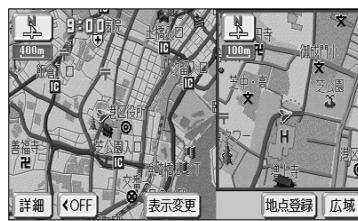
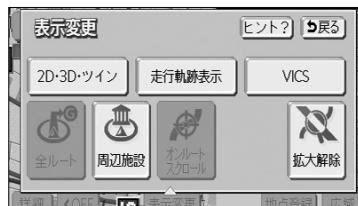
- (2) **拡大表示**にタッチすると地図・文字が拡大表示されます。

- 拡大表示しているときは、スケール表示と地図の大きさは異なります。
- 2画面表示しているときに拡大表示を行うと左右の画面の地図・文字がともに拡大して表示されます。



アドバイス

- 拡大表示したときは、地図・文字が通常表示のおよそ2倍に拡大して表示されます。
- 市街図（P.2-26）、全ルート表示画面（P.2-38）、乗降IC指定画面（P.3-13）など、画面によって拡大表示が行われない画面もあります。



- (3) (1) の画面で、**拡大解除**にタッチすると地図・文字の拡大表示が解除されます。

市街図を表示するには

市街図がある地域では、市街図表示に切り替えることができます。

1 市街図を表示するには



- (1) 2D表示時で、**50m**の縮尺の地図を表示しているときに**市街図**にタッチします。

- 市街図が表示されます。
- 通常の地図に戻すには**広域**にタッチします。



アドバイス

- **市街図**は地図データ（市街図）が存在する場所でのみ表示されます。
- **50m**の縮尺の市街図を表示しているときに**詳細**にタッチすると**25m**の縮尺の市街図を表示することができます。

2 3D市街図ビル立体表示に切り替えるには

建物の形状が立体的に表現された地図を表示することができます。



- (1) 3D表示時で、**50m**の縮尺の市街図を表示しているときに**詳細**にタッチします。

- 3D市街図ビル立体表示に切り替わります。
- **広域**にタッチすると、**50m**の縮尺の市街図に戻ります。



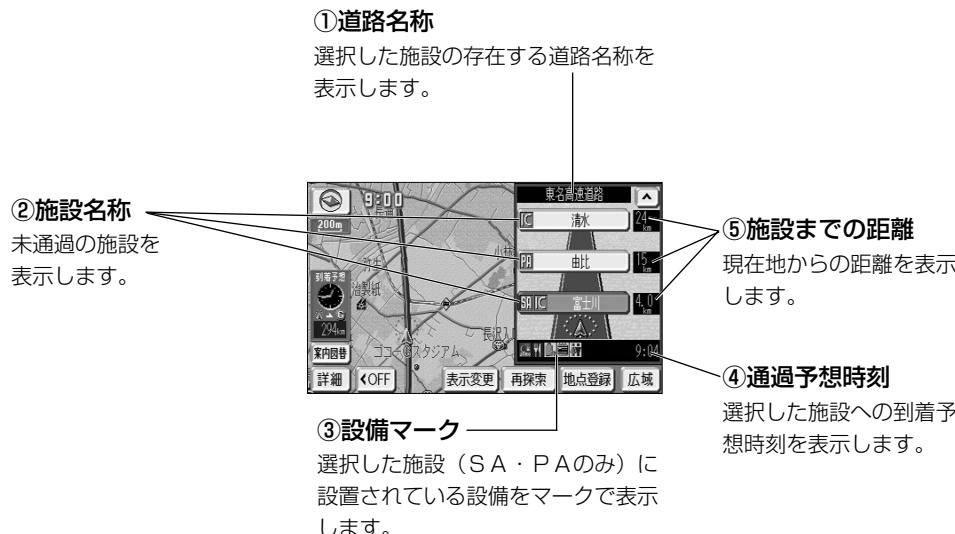
アドバイス

- 3D市街図ビル立体表示（P.4-1参照）が「する」に設定されているときのみ表示されます。
- 3D市街図ビル立体表示では、視界の遮りを防ぐため手前のビルは半透明で表示されます。

高速略図画面を表示するには

自車が高速道路や有料道路に進入すると、自動的に高速略図画面が表示されます。

1 高速略図画面について



表示される設備マーク		
レストラン	ドラッグストア	仮眠施設
お風呂	キャッシュコーナー	ハイウェイ情報ターミナル
郵便局・ポスト	FAX	ショッピングコーナー
休憩所	スナックコーナー	トイレ
ガソリンスタンド（企業マークを表示）		



高速略図画面の表示は常に2画面表示になります。（高速略図画面解除後は表示前の画面状態に戻ります）

2 高速略図画面の表示と解除

自車が高速道路や有料道路の本線上にあるときは、高速略図画面の解除と表示が行えます。



- (1) 自車が高速道路の本線上にあるとき、「案内図替」にタッチします。
 - 高速略図画面が解除されます。
 - 高速略図画面を表示するには「案内図替」にタッチします。



アドバイス

- 「案内図替」の詳細については、P.2-42を参照してください。
- 自車が出口ICに到達すると高速略図画面は自動的に解除されます。
- ルート案内中でないときは、都市高速道路（首都高速や名古屋高速など）や有料道路では高速略図画面を表示することはできません。

3 高速略図画面を使いこなす

未通過の施設の情報を確認することができます。



- (1) 施設名称、または▲や▼にタッチすると、選択される施設が切り替わります。
 - 選択された施設が強調表示されます。
 - 施設を選択したときに「現区間」にタッチすると現在地から最寄りの施設が選択されます。

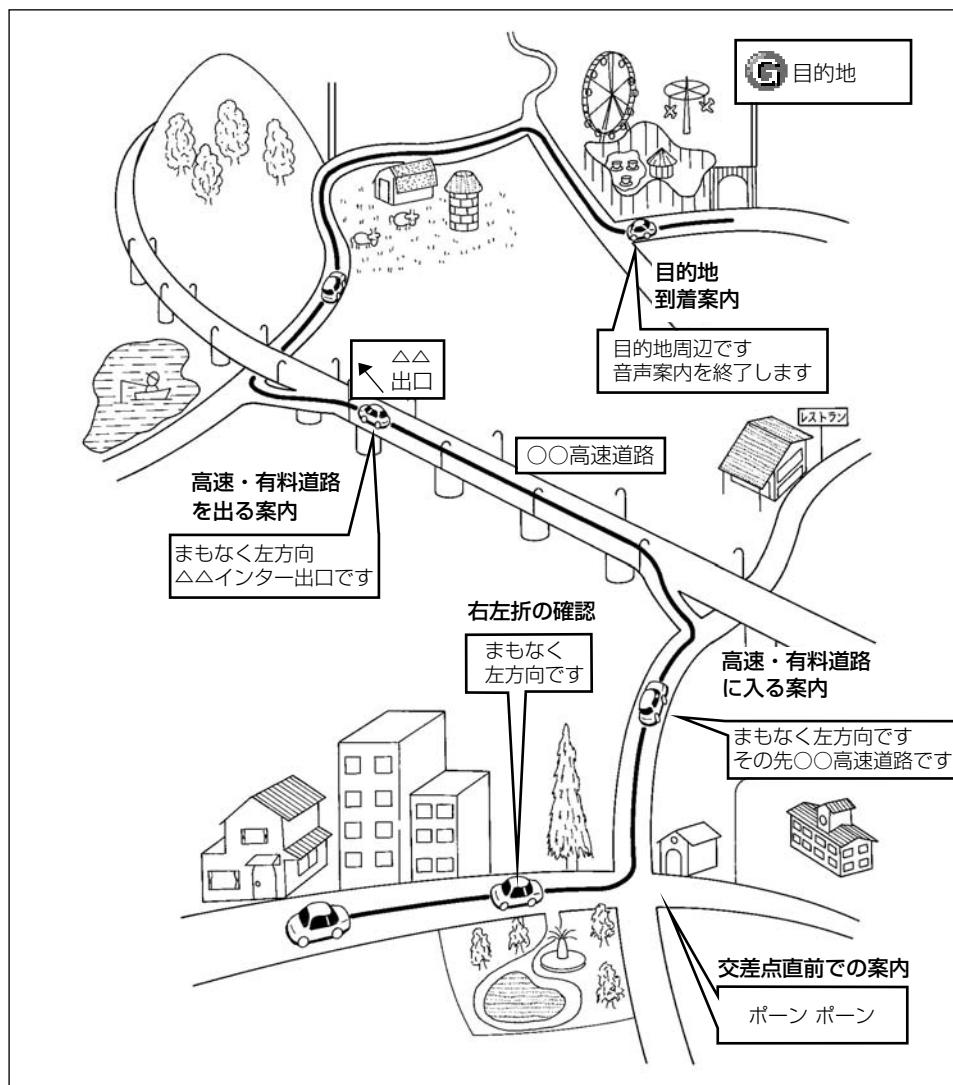


アドバイス

- 自車が都市間高速道路（東名高速や名神高速など）の本線上にあるときは、ルート案内中でなくとも、未通過の施設を最大10施設まで表示します。
- ルート案内中は出口ICまでの施設を表示します。

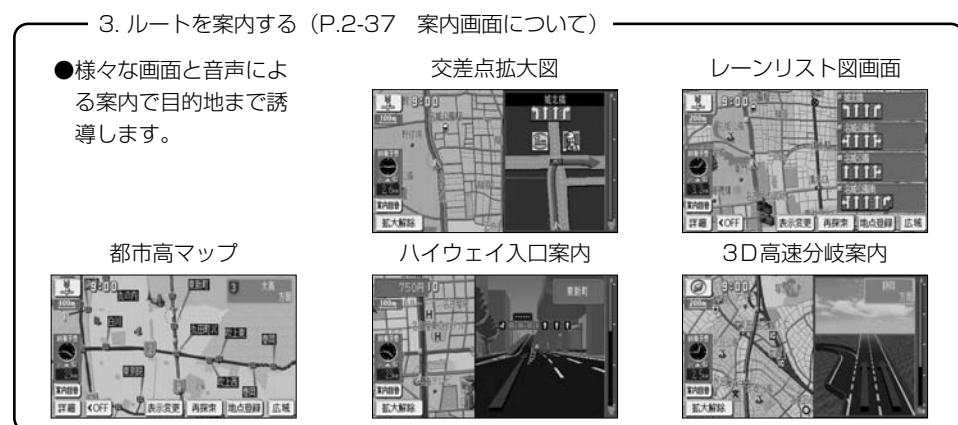
ルート案内について

- 目的地を設定することによって、自動的に推奨ルートを表示します。
- ルートに沿って走行し、分岐点に接近すると音声と案内拡大図（交差点拡大図、3D高速分岐案内など）によりルート案内を行います。
音声案内は聞きたいときに聞くこともできます。



ルート案内は次の手順で案内され、目的地付近に到着すると終了します。

- 以下に示す手順は基本的な流れです。



目的地に到着すると案内が終了します。

目的地を設定しルートを探索するには

目的地を設定するとルートを探索することができます。

1 目的地を任意地点にワンタッチで設定する



- (1) 地図スクロール、**詳細** または **広域** 操作により目的地を設定したい位置に を合わせ、スケール表示が **800m** および **800m** より詳細な地図で **目的地セット** にタッチします。

- (2) にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

- (3) **目的地セット** にタッチすると の位置に目的地が設定されルート探索を開始します。

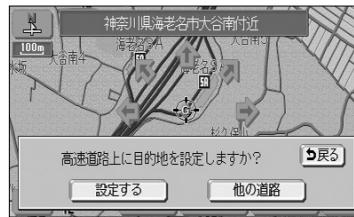
- (4) すでに目的地が設定されている場合は、**新規目的地** にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます。

- **追加目的地** にタッチすると、現在設定されている目的地に追加して設定されます。P.3-3を参照してください。



アドバイス

- 目的地設定ができるのは、自車から5000km以内の **800m** および **800m** より詳細な地図のときです。
- **800m** より広域な地図で設定動作を行った場合は、自動的に **800m** の地図に切り替わります。



- (5) 高速道路や橋、トンネルが目的地付近に存在する場合は、**設定する** または **他の道路** にタッチして、目的地を設定する場所を選択します。



- (6) **案内開始** にタッチすると、音声と画面で案内します。

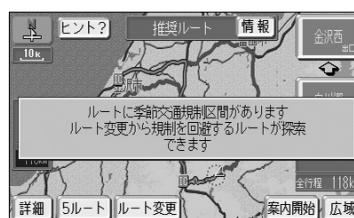
- 青色で表示されているのが案内対象ルートです。ルートの種類は画面上部に表示されます。

- **案内開始** にタッチしなくても、走行を開始してから約3秒後に自動的にルート案内を始めます。



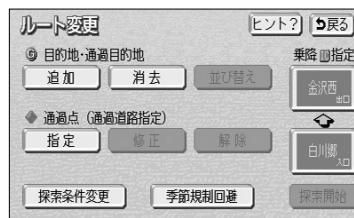
アドバイス

ルートの種類は最大で5種類表示されます。それぞれのルートの特徴については、P.2-36を参照してください。
ルートの表示色は変更することができます (P.4-7参照)。



- (7) ルート上に季節規制区間が存在するときは、規制区間の道路が橙色で表示されます。規制を回避したい場合は、**ルート変更** にタッチします。

- メッセージはナビ設定 (P.4-1参照) で「季節規制メッセージ表示」が「する」に設定されているときのみ表示されます。



- (8) **季節規制回避** にタッチすると、季節規制を回避する探索を行います。

- 季節規制回避後は、**季節規制通過** になります。
- 季節規制区間を再度通るルートを探索する場合は、**季節規制通過** にタッチします。



アドバイス

規制区間を含む道路以外に推奨できる道路がないときは、規制を回避できないことがあります。
規制区間の道路表示色は、地図カスタマイズ (P.4-7参照) で設定しているルート色により異なります。

2 地図索引機能を使って目的地を設定する



- (1) ナビメニュー (P.2-8参照) で **すべて** にタッチして目的地を探す画面を表示します。
- (2) 地図の呼び出し方を選び、目的地周辺の地図を表示させます。

- **50音** P.3-26
- **住所** P.3-35
- **施設** P.3-30
- **電話番号** P.3-32
- **メモリ地点** P.3-37
- **お出掛け** P.3-42
- **郵便番号** P.3-34
- **履歴** P.3-38
- **マップコード** P.3-39

※ それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- **先程の地図** にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- **自宅に帰る** にタッチすると、自宅を目的地に設定してルート探索を開始します。 (P.2-34参照)
- 登録済みのよく行く場所にタッチすると、よく行く場所を目的地に設定してルート探索を開始します。 (P.2-34参照)

アドバイス

ナビメニューの「目的地を探す（目的地設定）」(P.2-8参照) に表示されているスイッチに、使用頻度の高いスイッチを表示して使いやすくすることができます (P.4-18参照)。



- (3) にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。
- (4) **目的地セット** にタッチします。



- (5) すでに目的地が設定されている場合は、**新規目的地** にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます。 P.2-32の①の(6)の操作を行ってください。

- **追加目的地** にタッチすると、現在設定されている目的地に追加して設定されます。

P.3-4を参照してください。

- (6) の位置に目的地が設定されルート探索を開始します。

3 自宅に帰る



- (1) ナビメニュー (P.2-8参照)、または目的地を探す画面 (P.2-33参照) で **自宅に帰る** にタッチします。

- そのまま自宅を目的地に設定してルート探索を開始します。

- すでに目的地が設定されている場合は、②の(5)の操作を行ってください。

アドバイス

自宅が登録 (P.4-30参照) されていない場合、ナビメニューの**自宅に帰る** をタッチすると自宅を登録する画面が表示されます。 (P.2-2参照)

4 よく行く場所に設定する



- (1) 目的地を探す画面 (P.2-33参照) で、登録済みのよく行く場所のいずれかにタッチします。

- そのままよく行く場所を目的地に設定してルート探索を開始します。

- すでに目的地が設定されている場合は、②の(5)の操作を行ってください。

アドバイス

ナビメニュー (P.2-8参照) をカスタマイズして、よく行く場所のスイッチを表示することができます。 (P.4-18参照)

よく行く場所が登録 (P.4-30参照) されていない場合、ナビメニューでよく行く場所の**未登録** をタッチするとよく行く場所を登録する画面が表示されます。 (P.2-3参照)

5ルートを確認・選択するには

案内を開始する前に、複数のルートから案内するルートを確認し選択することができます。

1 全ルート表示画面の表示

ルート探索が終了すると、自動的に全ルート表示画面が表示されます。

① 地図向き

ノースアップで表示されます。

② 地図縮尺

現在地と目的地の両方が表示される縮尺で表示します。

③ 到着予想時刻

目的地に到着する予想時刻を表示します。

④ 目的地までの距離表示

自車から目的地までの距離を表示します。



⑧ 乗降IC

最初に利用する入口ICと最後に利用する出口IC名称を表示します。入口ICと出口ICは変更することができます(P.3-13参照)。

⑦ 主要利用道路情報

ルートにおいて主に利用する道路種別とその利用距離を表示します。

⑤ フェリー利用

目的地までのルートでフェリー航路を利用する場合に表示します。

⑥ 合計料金表示

最終目的地までにかかる有料道路の料金の合計額を表示します。



アドバイス

- 「5ルート」は案内開始前のみ表示され、案内を開始すると表示されません。
- また、目的地が2つ以上設定されている場合、通過道路(P.3-8参照)や乗降IC(P.3-13参照)が指定されている場合も表示されません。
- 高速道路、有料道路を利用しない場合は、乗降ICは表示されません。
- 目的地が2つ設定されているときは、目的地までの距離表示に、タッチされることに設定されている目的地までの距離に切り替わります。3つ以上設定されているときは、目的地までの距離表示にタッチして表示したい目的地を選択すると、選択した目的地までの距離の表示に切り替わります(P.2-39参照)。
- 案内開始後も、全ルート表示画面を表示することができます(P.2-38参照)

2 複数の全ルート表示を確認し案内するルートを選択する



(1) 全ルート表示画面で「5ルート」にタッチします。

- 5つのルートを色分けして表示します。各ルートは約1秒おきに順次一番上に表示が切り替わります。



(2) 案内に利用したいルート名称にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート表示画面になります。

(3) (2)の画面で「全行程一覧表」にタッチすると、5つのルートの距離、料金、所要時間が表示されます。

全行程一覧表				
探索条件	全行程	有料道路	料金	所要時間
推奨	117km	72km	1850円	2時間29分
有料優先	181km	170km	4700円	2時間29分
一般優先	92km	0m	0円	3時間2分
距離優先	92km	0m	0円	3時間2分
別ルート	181km	170km	4700円	2時間29分

(4) 案内に利用したいルート名称にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート表示画面になります。



アドバイス

- 案内するルートが同じ場合もあります。
- 5ルートを表示している画面では、地図のスクロールはできません。
- 料金は実際と異なる場合があります。
- 5つのルートの特徴

- | | |
|--------|---------------------------|
| ・ 推奨 | 最も推奨できるルート |
| ・ 有料優先 | できるだけ有料道路を多く利用するルート |
| ・ 一般優先 | 有料道路の利用をかぎりなく少なくするルート |
| ・ 距離優先 | できるだけ道のり距離が短くなるようにしているルート |
| ・ 別ルート | 最初に選ばれたルートとは別の道を利用するルート |

案内画面について

ルート案内中は状況に応じて様々な案内画面が表示されます。

1 案内中の現在地画面

①案内ポイントマーク

車線案内、通過交差点名称、案内拡大図が表示される地点にマークを表示します。



②到着予想時刻

目的地に到着する予想時刻を表示します。

③目的地までの距離表示

自車位置から目的地までの距離を表示します。

アドバイス

- 案内ポイントマークは、案内されるポイントの種類によって異なるマークを表示します。
 - ・ 通過交差点名称、または車線案内が表示されている交差点
 - ・ (灰色) 通過交差点名称、または車線案内が表示されていて、信号機がない交差点
 - ・ (赤色) 案内拡大図が表示される交差点
- 車線案内は案内ルートの方向によって色分けして表示します。

ルート案内上、走行を推奨する車線は、青色で表示します。それ以外の車線は、灰色で表示します。
- 車線案内、および料金案内は実際と異なる場合があります。
- 細街路（道幅が3m以上5.5m未満の細い道路）における案内ルートは水色で表示します。細街路ルート走行中は音声分岐案内および案内拡大図表示は行いません。
- 案内ルート（細街路を含む）の表示色は変更することができます（P.4-7参照）。

⑥車線案内

交差点における各車線の分岐方向を矢印で表示します。車線情報のある一部の交差点で表示されます。

⑤道路名称、通過交差点名称表示
現在走行中の道路名称、またはルート上で次に通過する交差点の名称を表示します。

④案内ルート

目的地までの案内ルートを青色で表示します。（目的地が複数設定されているときは、次の目的地までの案内ルートを青色で表示し、それ以降の案内ルートは白色の線が入った青色で表示します。）

2 全ルート表示画面

案内開始後に目的地までの全行程ルートを表示することができます。



- (1) 地図を表示させているときに「表示変更」にタッチします。

- (2) 「全ルート」にタッチします。



- 全ルート表示画面が表示されます。

全ルート表示画面の詳細については、P.2-35を参照してください。



アドバイス

- 案内開始後は「案内開始」、「5ルート」は表示されません。
- 表示変更画面から呼び出した全ルート表示画面は、案内開始前の全ルート表示画面（P.2-35参照）と違い、走行を開始してから3秒を経過しても表示は解除されません。
- 到着予想時刻と目的地までの距離表示は、自車がルート上に存在しないときは表示されません。
この場合は目的地の方向を示す矢印と、目的地までの直線距離を表示します。

自車がルート上にないときの地図

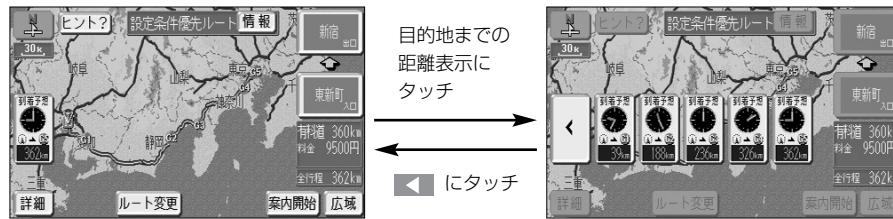
目的地方向矢印



目的地までの直線距離

アドバイス

目的地が3つ以上設定されているときは、目的地までの距離表示（自車がルート上に存在しないときは目的地までの直線距離）にタッチすると、それぞれの目的地までの到着予想時刻と距離が一覧表示されます。表示したい目的地を選択すると、選択した目的地までの到着予想時刻と距離の表示に切り替わります。◀にタッチすると一覧表示は解除されます。



3 案内拡大図表示

分岐点に接近すると自動的に案内分岐点の拡大図が表示されます。また、解除したあとも再表示することができます。

●交差点拡大図

一般道路（高速道路、有料道路以外）で案内を必要とする交差点におよそ300mまで接近すると、交差点周辺の地図を拡大表示します。

①交差点の拡大図

交差点付近の地図を拡大表示します。
拡大図は3Dまたは2Dに切り替える
ことができます（P.4-1参照）。
また、一部の交差点では立体描画し
た立体交差点拡大図を表示します。

②拡大解除スイッチ

「拡大解除」にタッチすると、交差点
拡大図の表示を解除します。
再表示するにはⒶを押します。

アドバイス

- 交差点拡大図の自動表示は、ナビ設定で「する」または「しない」の設定を行うことができます（P.4-1参照）。
- 拡大図の再表示は、分岐点を通過する前に行うことができます。
- 名称のない交差点では、交差点名称は表示されません。



⑤交差点名称

案内する交差点に名称
を表示します。

④分岐点までの距離

自車から分岐点まで
の残距離を表示します。

③施設マーク

分岐点周辺に存在する
施設のマークを表示し
ます。

●立体交差点拡大図

ルート案内中、立体交差点情報のある交差点では、立体交差点拡大図を表示します。



●ハイウェイ入口案内画面

ルート案内中、都市高速道路の入口付近に接近するとハイウェイ入口案内画面を表示します。

料金案内

料金所（入口、出口、本線上）
に接近すると通行料金を表示
します。



●レーンリスト図画面

ルート案内中、一般道路（高速道路、有料道路以外）で案内を必要とする交差点におよそ700mまで接近すると、案内分岐点までに存在する交差点の車線情報をリスト形式で表示します。



②通過交差点名称

車線情報を表示している交差
点の名称を表示します。

③車線案内

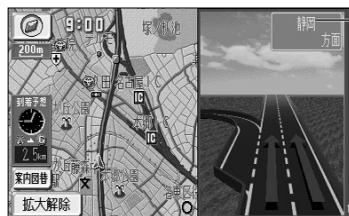
ルート上で、案内分岐点まで
に通過する交差点の車線情報
を表示します。

アドバイス

- 料金案内の表示は、ナビ設定で「する」または「しない」の設定を行なうことができます（P.4-1参照）。
- 別売のナビ対応のETCユニットを接続しているときは、料金案内の表示はされません。
- レーンリスト図画面の自動表示は、ナビ設定で「する」または「しない」の設定を行なうことができます（P.4-1参照）。
- 案内分岐点に300mまで接近したあとにⒶを押した場合は、交差点拡大図が再表示されます。
- 案内ポイントマークは、車線情報を表示する交差点ごとに色分けして表示されます。
■(赤色) 案内拡大図が表示される交差点 ■(橙色／桃色／緑色) 車線案内される交差点

●3D高速分岐案内画面

ルート案内中、高速道路のジャンクション、本線出口、ランプウェイ内の分岐点に接近すると3Dの案内拡大図を表示し、走行する車線を案内します。



方面名称案内

ICの出口名称やJCTでの進行方向、進行方向の路線番号を表示します。
SA・PAに接近した場合は施設の名称を表示します。

有料道路、および高速道路の一部のジャンクション、本線出口、ランプウェイ内の分岐点で簡易的な拡大図が表示されます。



●料金所レーン拡大図

ルート案内中、料金所の手前で、3Dの案内拡大図を表示し、料金所のレーンを案内します。ETCレーンがある場合は、一般レーンとETCレーンの区別も表示します。



アドバイス

- 方面名称案内は、高速道路上の看板の表示とは必ずしも一致しない場合があります。
- 3D高速分岐案内画面は、ナビ設定の「高速分岐模式図自動表示」で「する」または「しない」の設定を行うことができます(P.4-1参照)。

アドバイス

- 料金所レーン拡大図の自動表示は、ナビ設定の「料金所レーン案内」で「する」または「しない」の設定を行うことができます(P.4-1参照)。
- 画面に表示されているレーン表示は、実際の状態と異なる場合があります。
- レーンの種類によって表示されるマークは異なります。
 - E ETC専用レーン
 - 混 ETC/一般混在レーン
 - 般 一般レーン
 - ? 種類が不明なレーン
 - … 同じ種類のレーンが4つ以上続くため、省略して表示することを表します。
 - 表示されているレーンの他に、続きのレーンがあることを表します。

●案内図の切り替え

ルート案内中、一般道路を走行中に交差点拡大図とレーンリスト図の表示の切り替えや、高速道路を走行中に高速分岐案内画面と高速略図画面(P.2-27参照)の表示の切り替えを行うことができます。また、料金所の手前で料金所レーン拡大図を表示できます。



- (1) 案内図が表示されているときに「案内図替」にタッチします。

- 案内図を切り替える画面が表示されます。



アドバイス

案内図が表示されないときは、「案内図替」は表示されません。また、表示される案内図が1つの場合は、「案内図替」にタッチするごとに案内図の表示・解除を行うことができます。



- (2) 表示したい案内図のスイッチにタッチします。

一般道路を走行しているとき

- 「拡大図」にタッチすると交差点拡大図を表示します。
- 「レーンリスト」にタッチするとレーンリスト図を表示します。
- 「料金所レーン図」をタッチすると料金所レーン拡大図が表示されます。

高速道路を走行しているとき

- 「分岐図」にタッチすると高速分岐案内画面を表示します。
- 「高速略図」にタッチすると高速略図画面を表示します。
- 「料金所レーン図」をタッチすると料金所レーン拡大図が表示されます。

案内図を解除して、地図を表示する場合は、「地図」にタッチします。



表示することができる場合にのみ、(2) の画面に案内図のスイッチが表示されます。

案内をもう一度聞きたいときは

4 都市高マップ

ルート案内中、自車が都市高速道路（首都高速や名古屋高速など）の本線上を走行するときと都市高マップを表示することができます。一般道路を表示しないため、複雑な都市高速道路をわかりやすく表示します。



(1) 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

(2) **都市高マップ表示** にタッチします。

● ナビ設定で都市高マップ自動表示を「する」に設定（P.4-1 参照）している場合、自車が都市高速道路に進入すると自動で都市高マップが表示されます。（200m から 1.6k の地図表示時）

ただし、案内ルート上を走行していない場合は表示されません。

● **都市高マップ解除** にタッチすると、都市高マップが解除されます。



アドバイス

- 都市高マップが表示されるのは、地図縮尺が 200m から 1.6k までの間のみです。
それ以外の地図縮尺を表示している場合や、縮尺切り替えにより 200m および 200m より詳細な縮尺、または 1.6k より広域な縮尺に切り替えた場合は通常の地図が表示されます。
- 一般道路、都市間高速道路、有料道路に進入した場合、都市高マップは自動的に解除され、通常の地図を表示します。
- ジャンクション、出入口ランプ全ての名称が表示されるわけではありません。
- 都市高マップの表示設定は、次回のルート案内でも前回と同じ設定になります。
- 都市高マップが自動で解除されても、設定は変更されません。

ルート案内中に案内がよく聞きとれなかった場合や、次の分岐点までの情報を聞きたい場合、再び音声案内を聞くことができます。

また、交差点拡大図などの案内拡大図を解除したあとに再び案内拡大図を見たい場合、再表示することができます。



(1) 現在地画面（P.2-14 参照）から (A) を押します。

● 現在の自車位置に相当した距離で音声案内を行います。

● 案内分岐点の手前約300m以内で (A) を押すと音声案内とともに案内拡大図（P.2-39 参照）が表示されます。



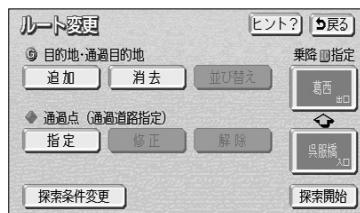
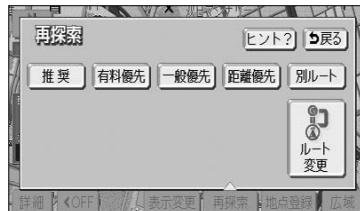
アドバイス

- ルート上を走行していないときは、音声・案内拡大図は表示されません。
- 案内音量が **消音** では (A) を押しても音声は発声されません。
- 「案内の音量を調節するには」（P.3-25 参照）を参考に、聞きやすい音量に調節してください。
- 案内拡大図は、案内分岐点を通過すると再表示できません。

目的地を追加・並び替え・消去するには

目的地を設定したあとに、さらに目的地を追加することができます。また、目的地の順序を並び替えたり、消去することができます。

1 目的地を追加するには



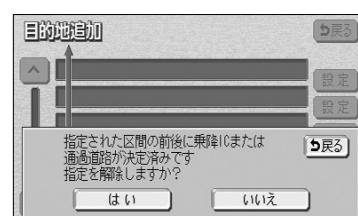
- (1) 現在地画面で **再探索** にタッチしたあとの画面、または全ルート表示画面で **ルート変更** にタッチします。

- (2) 目的地・通過目的地の **追加** にタッチします。

- (3) 地図の呼び出し方を選び、目的地周辺の地図を表示させます。

- **50音** P.3-26
- **住所** P.3-35
- **施設** P.3-30
- **電話番号** P.3-32
- **メモリ地点** P.3-37
- **お出掛け** P.3-42
- **郵便番号** P.3-34
- **履歴** P.3-38
- **マップコード** P.3-39

※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。



- **先程の地図** にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。

- **自宅に帰る** にタッチすると、自宅周辺の地図が表示されます。

- 登録済みのよく行く場所にタッチすると、よく行く場所周辺の地図が表示されます。

- (4) **↑** にタッチすると、地図が移動して **○** の位置を変更することができます。

- (5) **目的地セット** にタッチすると **○** の位置に目的地が設定されます。

- 目的地は最大5ヵ所まで設定することができます。

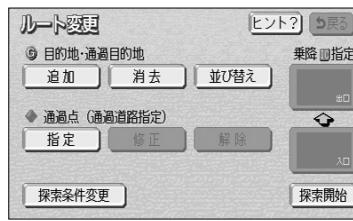
- すでに目的地が5ヵ所設定されている場合は、設定されている目的地を消去してから設定しなおしてください (P.3-6参照)。

- (6) 追加する区間の **設定** にタッチすると、ルート探索が開始されます。

- (7) 乗降 IC (P.3-13参照) または通過道路 (P.3-8参照) が指定されている場合は、乗降 IC または通過道路を解除するかを選択する画面が表示されることがあります。

- **はい** にタッチすると、指定されている IC または通過道路を解除して目的地の追加を行います。

- **いいえ** にタッチすると、指定されている IC または通過道路は解除しないで目的地の追加を行います (適正なルートが探索できない場合があります)。



- (8) **探索開始**にタッチすると全ルート表示画面が表示されます。目的地をさらに追加する場合はP.3-1の(2)の操作を行ってください。
- 設定した目的地がG1～G5の記号で表示されます。

**アドバイス**

複数の目的地を設定した場合の全ルート表示画面に**5ルート**は表示されません。

2 目的地を任意地点にワンタッチで追加する

- (1) 目的地が設定されているときに、地図スクロール、**広域**または**詳細**操作により目的地を設定したい位置に○を合わせ、スケール表示が**800m**および**800m**より詳細な地図で**目的地セット**にタッチします。



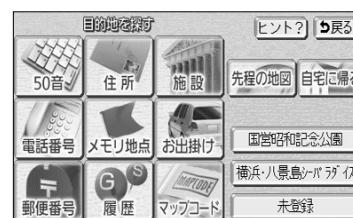
- (2) ▲にタッチすると、地図が移動して○の位置を変更することができます。
- (3) **追加目的地**にタッチすると○の位置に目的地が設定されルート探索を開始します。
- 探索終了後、全ルート表示画面が表示されます。
 - **新規目的地**にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます。P.2-31を参照してください。

**アドバイス**

- ワンタッチで追加した目的地は、G1として（一番手前の目的地）設定されます。
- 目的地の順番を変更したい場合は、P.3-5の「目的地の順序を並び替えるには」を参照してください。
- 乗降ICが指定されているときは（P.3-13参照）、適正なルートを探索するため、指定されているICが自動的に解除される場合があります。

3 地図索引機能を使って目的地を追加する

- (1) ナビメニュー（P.2-8参照）で**すべて**にタッチして目的地を探す画面を表示します。



- (2) P.3-1の(1)の(3)～(4)の操作を行います。

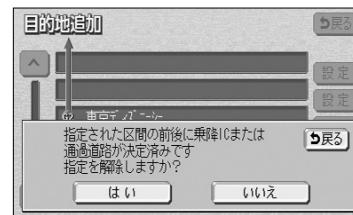


- (3) **追加目的地**にタッチすると○の位置に目的地が設定されルート探索を開始します。

- **新規目的地**にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます。P.2-34を参照してください。

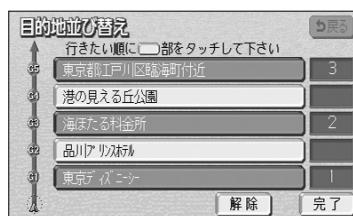
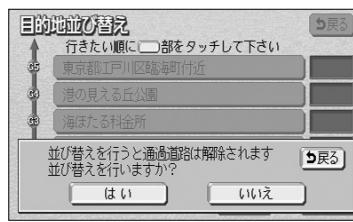
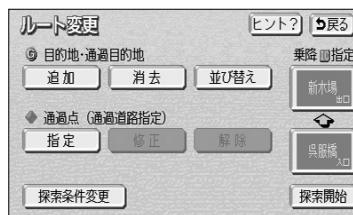


- (4) 追加する区間の**設定**にタッチすると、ルート探索が開始され、全ルート表示画面が表示されます。



- (5) 乗降IC（P.3-13参照）または通過道路（P.3-8参照）が指定されている場合は、乗降ICまたは通過道路を解除するかを選択する画面が表示されることがあります。

- **はい**にタッチすると、指定されているICまたは通過道路を解除して目的地の追加を行います。
- **いいえ**にタッチすると、指定されているICまたは通過道路は解除しないで目的地の追加を行います（適正なルートが探索できない場合があります）。



4 目的地の順序を並び替えるには

- (1) 目的地を追加後、P.3-1の①の(2)の画面で目的地・通過目的地の **並び替え** にタッチします。



アドバイス

目的地が複数設定されていないと使用できません。

- (2) 乗降IC (P.3-13参照) または通過道路 (P.3-8参照) が指定されている場合は、乗降ICまたは通過道路を解除するかを選択する画面が表示があります。

- **はい** にタッチすると、指定されているICまたは通過道路を解除して目的地の並び替えを行います。
- **いいえ** にタッチすると、目的地の並び替えを中止して、前の画面に戻ります。

- (3) 目的地の名称を通過したい順にタッチします。

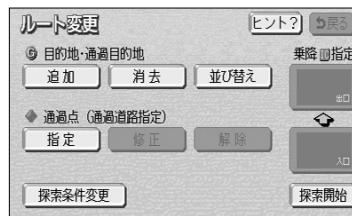
- タッチした目的地の名称が強調表示され、通過順序が番号で表示されます。
- 設定を解除するには、**解除** にタッチするか、解除したい目的地の名称にタッチします。

- (4) 設定が良ければ **完了** にタッチします



アドバイス

目的地の通過順序が確定してから3秒間無操作状態が続いたときは、自動的にP.3-6の(5)の画面が表示されます。

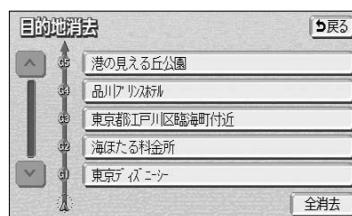


- (5) **探索開始** にタッチすると、全ルート表示画面が表示されます。

5 目的地を指定して消去するには

- (1) ナビメニュー (P.2-8参照) で **目的地消去** にタッチします。

あるいは、P.3-1の①の(2)の画面で、目的地・通過目的地の **消去** にタッチします。



- (2) 消去したい目的地の名称にタッチします。

- 全ての目的地を消去するときは **全削除** にタッチします。

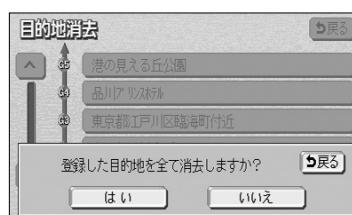


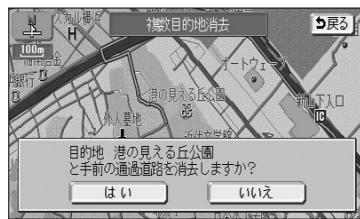
アドバイス

目的地が複数設定されていないと、目的地を選択する(2)の画面は表示されません。



- (3) **はい** にタッチすると目的地が消去されます。
いいえ にタッチすると目的地の消去を中止して、前の画面に戻ります。





(4) 乗降 IC (P.3-13参照) または通過道路 (P.3-8参照) が指定されている場合は、乗降 IC または通過道路を解除するかを選択する画面が表示されることがあります。

- **はい** にタッチすると、指定されている IC または通過道路を解除して目的地の消去を行います。
- **いいえ** にタッチすると、目的地の消去を中止して、前の画面に戻ります。

6 次に通過する予定の目的地をワンタッチで消去するには



(1) 現在地画面(P.2-37参照)で **再探索** にタッチします。



(2) **次のG消去** にタッチします。

- 探索が開始され、新しいルートが表示されます。



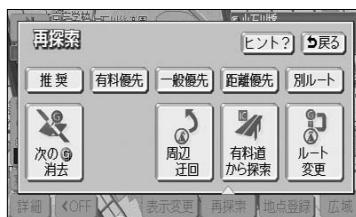
アドバイス

目的地が複数設定されていないときは使用できません。

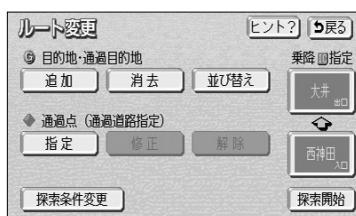
通過道路を指定・修正・解除するには

目的地が設定されているときに、通りたい道路を指定することができます。また、指定した通過道路の位置を修正したり、解除することができます。

1 通過道路を指定するには



(1) 現在地画面で **再探索** にタッチしたあとの画面、または全ルート表示画面で **ルート変更** にタッチします。



(2) 通過点 (通過道路指定) の **指定** にタッチします。

- 通過道路は2ヵ所まで設定することができます。
- すでに通過道路が2ヵ所設定されている場合は、設定されている通過道路を解除してから設定しなおしてください (P.3-11参照)。



(3) 地図スクロール、**広域** または **詳細** 操作により通過道路を設定したい位置に を合わせ、スケール表示が **800m** および **800m** より詳細な地図で **通過道路セット** にタッチします。



- (4) [次候補]にタッチして◆マークの位置を切り替え、通過したい道路上に◆マークが移動したら[セット]にタッチします。

アドバイス

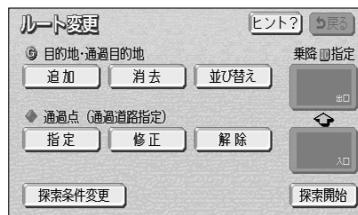
表示されている地図に道路の表示が少ない場合は、[次候補]にタッチしても◆マークの位置が切り替わらないことがあります。



- (5) 設定したい区間の[設定]にタッチします。

アドバイス

- 1カ所目の通過道路で、複数の目的地および乗降ICが設定されていない場合は、区間を設定する画面は表示されません。
- 乗降ICが指定されているときに(P.3-13参照)、乗降ICの直前または直後の[設定]にタッチすると、適切なルートを探索するため、指定されているICは自動的に解除されます。



- (6) [探索開始]にタッチすると全ルート表示画面が表示されます。2カ所設定する場合は(1)の操作を行ってください。
- 設定した通過道路が①または②の記号で表示されます。

2 全ルート表示画面から通過道路を指定するには

全ルート表示画面からも通過道路を指定することができます。

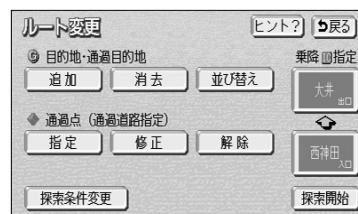


- (1) 全ルート表示画面(P.2-35参照)で地図スクロール、[広域]または[詳細]操作により通過道路を設定したい位置に⊕を合わせ、スケール表示が800mおよび800mより詳細な地図で[通過道路指定]にタッチします。

- (2) P.3-9の①の(4)、(5)の操作を行います。

- 探索終了後、全ルート表示画面が表示されます。2カ所設定する場合は(1)の操作を行ってください。

3 通過道路の位置を修正するには



- (1) 通過道路指定後、P.3-8の①の(2)の画面で、通過点(通過道路指定)の[修正]にタッチします。



- (2) 修正したい通過道路の名称にタッチします。

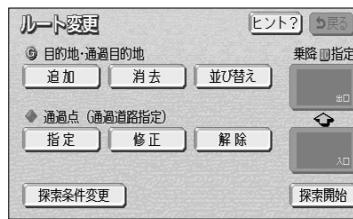
アドバイス

通過道路が2カ所設定されていないときは、通過道路を選択する画面は表示されません。

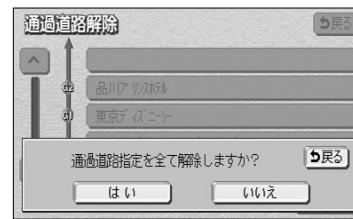


- (3) 修正したい位置に⊕を合わせ、スケール表示が800mおよび800mより詳細な地図で[通過道路セット]にタッチします。

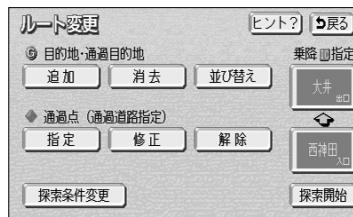
- (4) P.3-9の①の(4)の操作を行います。



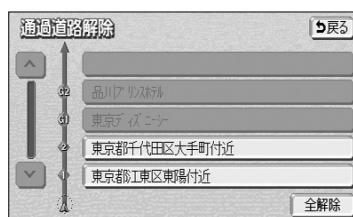
- (5) [探索開始] にタッチすると全ルート表示画面が表示されます。



4 通過道路を解除するには



- (1) 通過道路指定後、P.3-8の(1)の(2)の画面で、通過点 (通過道路指定) の [解除] にタッチします。



- (2) 解除したい通過道路の名称にタッチします。

- 全ての通過道路を解除するときは [全解除] にタッチします。



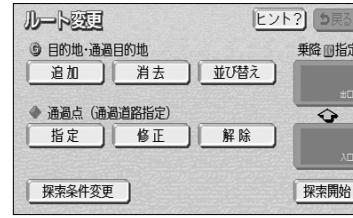
アドバイス

通過道路が2カ所設定されていないときは、通過道路を選択する(2)の画面は表示されません。



- (3) [はい] にタッチすると通過道路が解除されます。
[いいえ] にタッチすると通過道路の解除を中止して、前の画面に戻ります。

- (4) [探索開始] にタッチすると全ルート表示画面が表示されます。



5 次に通過する予定の通過道路をワンタッチで解除するには



- (1) 現在地画面 (P.2-37参照) で [再探索] にタッチします。

- (2) 次の◆解除にタッチします。

- 探索が開始され、新しいルートが表示されます。



アドバイス

- 次に通過するのがP.3-13で設定した乗降ICの場合は [IC指定解除] が表示され、次に通過するICを解除することができます。
- 目的地が複数設定されているときは [次のG消去] が表示され、次の目的地を消去することができます。

乗降 IC を指定するには

全ルート表示画面に表示されている乗降 ICを変更することができます。



- (1) 全ルート表示画面(P.2-35参照)またはP.3-1の①の
- (2) 画面で、変更する乗降 IC名称にタッチします。



- ICを指定する画面が表示されます。現在指定されている IC付近の地図が左画面に表示され、IC名称のスイッチが右画面に表示されます。



- (2) 右画面に表示されている ICの路線から指定したい IC名称にタッチします。

- ▲・▼、次路線にタッチすると現在設定されている IC付近の ICを検索することができます。
- IC名称にタッチすると、タッチした IC名称付近の地図が左画面に表示されます。
- 左画面の地図にタッチして地図を移動すると、地図の中心付近の IC名称が右画面に表示されます。

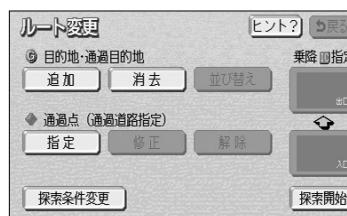
- (3) [探索開始]にタッチします。

- すでに乗降 ICを設定している場合は、[入口解除]または[出口解除]にタッチすると設定が解除されます。
- (1)で全ルート表示画面の乗降 IC名称にタッチして設定を行ったときは、探索完了後に全ルート表示画面が表示されます。



- (4) 指定した ICに複数の出入り口が存在する場合は、出入り口を選択する画面が表示されます。

次候補にタッチして ◆マークの位置を切り替え、指定したい出入口に ◆マークが移動したら [セット] にタッチします。



- (5) ルート変更画面から設定した場合は、[探索開始]にタッチすると、全ルート表示画面が表示されます。

● 指定した乗降 IC名称が表示されます。

ルートの再探索

ルート案内中（ルートからはずれたときも含む）現在地画面を表示させているときに、ルートの再探索を行うことができます。

1 案内ルートの種類を変更するには

現在、案内されているルート種類と違うルート種類に変更して次の地点（目的地、通過道路）まで探索することができます。



- (1) 現在地画面(P.2-37参照)で **再探索** にタッチします。

- (2) 変更したい探索条件にタッチします。
● 探索が開始され、新しいルートが表示されます。



別ルート は、表示されているルートと異なるルートを、探索条件を変えずに探索したいときにタッチします。

2迂回するルートを探索するには

自車前方のルートを迂回したルートを探索することができます。



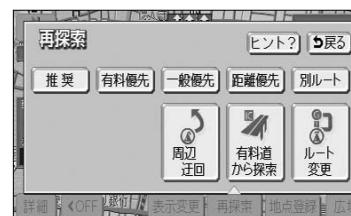
- (1) 現在地画面(P.2-37参照)で **再探索** にタッチします。
- (2) **周辺迂回** にタッチします。



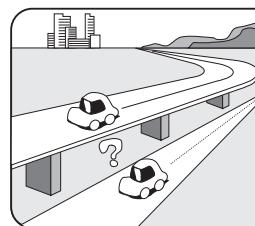
ルート上を走行しているときのみ利用可能です。迂回しないルートが表示されることがあります。

3 案内される道路種別が違ったら

高速道路と一般道路が上下あるいは並行のまましばらく続くような道路を走行中に、高速道路を走行しているのに一般道路の方が案内ルートになっている、またはその逆の場合は次の方法で探索をやり直してください。



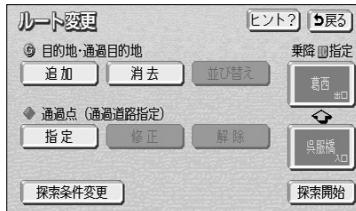
- (1) 現在地画面(P.2-37参照)で **再探索** にタッチします。
- (2) **一般道から探索** にタッチすると、一般道路からルートが探索されます。
有料道から探索 にタッチすると、高速道路からルートが探索されます。



道路形状により、機能しない場合もあります。

区間ごとの探索条件を設定するには

目的地、通過道路、乗降 IC の区間ごとに、探索条件を設定することができます。



- (1) P.3-1の**1**の(2)画面で、**探索条件変更**にタップします。



- (2) それぞれの区間の探索条件にタッチします。

 - 設定された探索条件が強調表示されます。

(3) **探索開始** にタッチすると探索が開始され、全ルート表示画面が表示されます。

ルートの詳細情報を確認するには

目的地までのルートで使用する道路の名称、高速道路のIC、料金所などの一覧を表示させることができます。

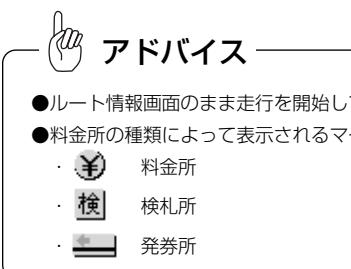


- (1) 全ルート表示画面(P.2-35参照)で **情報** にタッチします。



- (2) ルート情報画面が表示されます。

 - 道路種別の変わり目、目的地、料金所などでルートを分割し、それぞれの地点で通過予想時刻、料金などが表示されます。
 - 各区間のルートには、道路名称、区間距離が表示されます。
 - **地図** にタッチすると、設定したそれぞれの地点の地図が表示されます。



アドバイス

- ルート情報画面のまま走行を開始しても、自車マークの位置は更新されません。
 - 料金所の種類によって表示されるマークは異なります。
 -  料金所
 -  検札所
 -  発券所

デモでルートを確認するには

目的地に到着するまでのルート案内デモを行うことができます。



- (1) 目的地を設定し、ルート探索終了後に表示される全ルート表示画面(P.2-35参照)で **案内開始** をピッと音が鳴るまでタッチし続けます。
目的地に到着するまでのルート案内のデモを行います。



- (2)  を押すとデモを終了します。



アドバイス

- 表示変更画面から呼び出した全ルート表示画面(P.2-38参照)からはデモは行えません。
- ルート案内デモ中に走行を開始した場合、デモは終了しルート案内を開始します。

オンルートスクロールを使うには

ルート案内中に、画面に表示されているルートに沿って目的地や出発地までの連続地図スクロールを行ってルートを確認することができます。また、ルート沿いに存在する施設を検索し情報を見ることができます。

1 目的地または出発地までのオンルートスクロールを行うには

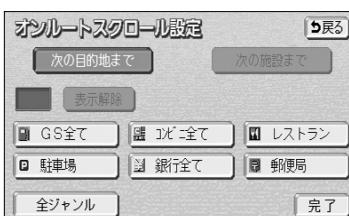


- (1) 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

- (2) **オンルートスクロール** にタッチします。

● オンルートスクロール画面が表示されます。

- (3) **設定** にタッチしてオンルートスクロール設定画面を表示します。



- (4) **次の目的地まで** にタッチし、**完了** にタッチします。

● 初期設定は、「次の目的地まで」に設定されています。

● 一度設定すると次回設定が変更されるまで保持されます。



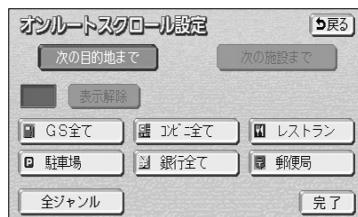
- (5) ● にタッチすると、目的地方向へ低速で連続地図スクロールが行われます。
- にタッチすると、出発地方向へ低速で連続地図スクロールが行われます。
- にタッチすると、目的地方向へ高速で連続地図スクロールが行われます。
- にタッチすると、出発地方向へ高速で連続地図スクロールが行われます。
- にタッチすると、次の目的地へスクロールがジャンプします。
- にタッチすると、出発地または出發地方向に存在する目的地（目的地を複数設定している場合）へスクロールがジャンプします。
- にタッチすると、連続地図スクロールを停止することができます。



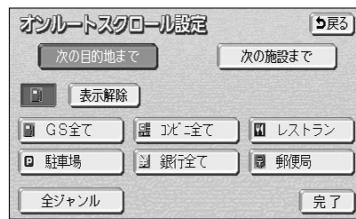
アドバイス

- 画面内に案内ルートが表示されていない場合は連続地図スクロールできません。
- 走行中はスクロールジャンプのみ行うことができます。
- 地図縮尺、地図向きを切り替えた場合は連続地図スクロールが停止します。

2 次の施設までのルートを確認するには



- (1) ①の(4)の画面で希望の施設にタッチします。
- 全ジャンル** にタッチすると施設ジャンルのリスト画面が表示されます。
 - 施設にタッチすると **次の施設まで** のタッチスイッチが選択できるようになります。



- (2) **次の施設まで** にタッチし、**完了** にタッチします。
- にタッチすると、進行方向のルート沿いに存在する次の施設まで低速で連続地図スクロールが行われます。



- にタッチすると、進行方向とは逆のルート沿いに存在する次の施設まで低速で連続地図スクロールが行われます。

- にタッチすると、進行方向のルート沿いに存在する次の施設まで高速で連続地図スクロールが行われます。

- にタッチすると、進行方向とは逆のルート沿いに存在する次の施設まで高速で連続地図スクロールが行われます。

- にタッチすると、進行方向のルート沿いに存在する次の施設へスクロールがジャンプします。

- にタッチすると、進行方向とは逆のルート沿いに存在する次の施設へスクロールがジャンプします。

- にタッチすると、連続地図スクロールを停止することができます。

- 次の施設までのスクロールが行われ、施設に到着すると施設名称が表示されます。



アドバイス

- P.3-20の①の(4)の画面に表示される6つの施設ジャンルは変更することができます（P.4-3参照）。
- 次の施設までのオルートスクロール、およびジャンプスクロールは、800m および 800m より詳細な地図表示のときに行うことができます。

走行軌跡について

1 走行軌跡の表示

走行した道路を約200 km分保存し、軌跡を表示することができます。



走行軌跡

- (1) 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。
- (2) **走行軌跡表示** にタッチします。
 - 走行軌跡が表示されます。
 - 初期設定はOFF(非表示)になっています。



アドバイス

- 保存できる距離を越えて走行したときは、古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存します。
- 25 m~50 kの縮尺で表示させることができます。
- 走行軌跡を表示していないときは、走行軌跡の情報は保存されません。

2 走行軌跡の消去



- (1) 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

- (2) **走行軌跡解除** にタッチします。

- **はい** にタッチすると、地図に表示されている走行軌跡と保存されている軌跡の情報が消去されます。

(消去したものはもとに戻すことはできません。)

- **いいえ** にタッチすると、地図に表示されている走行軌跡は消去されますが、保存されている軌跡の情報は消去されません。

保存されている軌跡の情報を再表示するには、

「**1 走行軌跡の表示**」をご覧ください。

ルート案内を中止・再開するには

設定されているルートの案内が不要の場合、ルート案内を一時中断することができます。再びルート案内を必要とする場合は、案内を再開することができます。



- (1) 設定画面 (P.2-9参照) を表示します。
 - 案内中は **案内中止** が表示され、案内中止状態のときは **案内再開** が表示されます。
- (2) **案内中止** にタッチすると案内を中止します。
 - 案内を再開するときは **案内再開** にタッチします。



アドバイス

- 案内中止状態のときはルート表示は行われません。
- 設定した目的地や通過道路は消去されないので、裏道を使うときや道に詳しい地域を走行するときに利用すると便利です。
- 音声による案内のみが不要の場合は、ナビ設定 (P.4-1参照) の「自動音声案内」を「しない」に設定してください。

案内の音量を調節するには

音声案内の音量を7段階に調節することができます。案内音声を一時的に消すこともできます。

1 案内の音量を調節するには



- (1) 設定画面 (P.2-9参照) で **音量設定** にタッチします。
- (2) 小、・、・、中、・、・、大 のいずれかにタッチすることにより、案内音量の設定を変更することができます。
 - 設定された音量で「この音量でご案内します」の音声が発声されます。
 - タッチしたタッチスイッチが強調表示されます。
 - **消音** にタッチすると、案内音量OFFになります。



案内音量を **消音** にタッチすると、「この音量でご案内します」の音声は発声されません。

2 自動音量切り替え機能を使うには

自車が80km以上で走行時に、案内音声を自動的に1段階上の音量で発声させることができます。



作動表示灯

- (1) 設定画面 (P.2-9参照) で **音量設定** にタッチします。
- (2) **高速時の自動音量切替** にタッチすると、自動音量切替を「設定する」または「設定しない」に切り替えることができます。
 - 「設定する」にしたときは、作動表示灯が点灯し、設定ONになります。



● 案内音量の設定値は変更されません。
● 案内音量が **消音** のとき、または案内音量が **大** に設定されているときは音量は切り替わりません。

50音で地図を表示するには

施設名称の読み仮名を入力して位置を検索し、該当の地図を表示します。読み仮名入力で検索したあとに、さらにジャンル別、都道府県別、地域別に検索することもできます。

▼ 以下に目的地設定を50音で地図を表示して行う場合について説明します。

1 50音で地図を表示するには



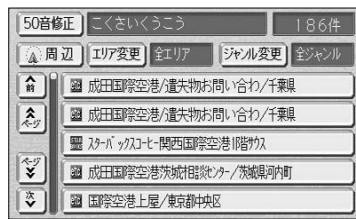
- (1) ナビメニュー (P.2-8参照) を表示します。
- または、ナビメニューで **すべて** にタッチして目的地を探す画面を表示します。



- (2) **50音** にタッチします。



- (3) 施設名称を1文字ずつタッチして入力します。
 - 修正するときは **修正** にタッチすると1文字ずつ消去されます。
 - 検索先の候補がない文字のタッチスイッチは色が反転し、タッチしても入力することができません。
 - 1文字ずつタッチするごとに、検索される施設名の件数が表示されます。
- (4) **完了** にタッチすると、その時点で入力した文字から検索された施設名称がリストで表示されます。
 - **完了** にタッチしなくとも、検索される施設の件数が5件以下で、10秒間無操作状態が続いたときは自動的に施設名称のリストを表示します。



(5) 表示したい施設名称にタッチします。

- **50音修正** にタッチすると、(2) の画面に戻ります。



- 周辺の地図をノースアップで表示します。

- 表示した施設に提携駐車場が存在する場合は **提携 P** が表示されます。

(6) 施設の提携駐車場を検索し、入庫可能な駐車場を表示するには **提携 P** にタッチします。



アドバイス

情報 は表示した施設に詳細情報が存在する場合のみ表示されます。 **情報** にタッチすると施設の詳細情報を表示することができます。P.3-47を参照してください。



(7) 入庫可能な駐車場が存在すると、駐車場名称がリスト表示されます。

- 施設の専用駐車場には **P** (青色) で、提携駐車場には **P** (緑色) の記号で表示します。
- 駐車場名称にタッチすると、駐車場の詳細情報が表示されます。
- 各駐車場の **地図** にタッチすると、駐車場周辺の地図を表示します。



アドバイス

● 入庫可能な駐車場の検索は、P.4-16で設定した車両情報に基づいて行われます。
● 車両の長さ、幅、高さを設定することで、入庫可能な駐車場を検索することができます。

2 ジャンル別検索をするには



(1) ①の(5)の画面で **ジャンル変更** にタッチします。

(2) 表示したい施設のジャンルにタッチします。

- **全ジャンル** にタッチすると、①の(5)の画面を表示します。この場合、ジャンルの指定は行われていません。



アドバイス

表示したいジャンルとして **住所** を選択して周辺の地図を表示すると **住所一覧** が表示されます。 **住所一覧** にタッチすると周辺の住所から地図を表示することができます。P.3-33を参照してください。

3 エリア別検索をするには



(1) ①の(5)の画面で **エリア変更** にタッチします。

(2) **県別で探す** または **地域で探す** により、検索する種類を選択できます。

- 選択されている種類のタッチスイッチは強調表示されます。

(3) 都道府県から検索するには **県別で探す** にタッチします。

(4) 施設のある都道府県名にタッチします。

- **全エリア** にタッチすると、①の(5)の画面を表示します。この場合、都道府県の指定は行われていません。

施設で地図を表示するには



(5) 施設のある市区町村名にタッチします。

- ○○全域にタッチすると、P.3-27の①の(5)の画面を表示します。この場合、都道府県レベルで検索することができます。



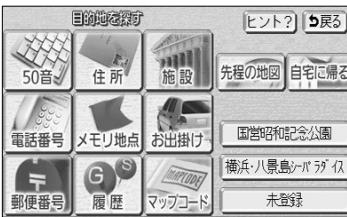
(6) 主な地域から検索するにはP.3-28の③の(2)の画面で 地域で探すにタッチします。

(7) 施設のある地域名にタッチします。

- 全エリアにタッチすると、P.3-27の①の(5)の画面を表示します。この場合、地域の指定は行われていません。

ゴルフ場、スキー場、キャンプ場などの施設名称から周辺の地図を表示することができます。

▼ 以下に目的地設定を施設（空港）から地図を表示して行う場合について説明します。



(1) ナビメニュー（P.2-8参照）で すべてにタッチして目的地を探す画面を表示させ、施設にタッチします。

- ナビメニューの「目的地を探す」をカスタマイズして 施設 を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。（P.4-18参照）。



(2) 表示したい施設のジャンルにタッチします。
(ここでは 空港 にタッチします)

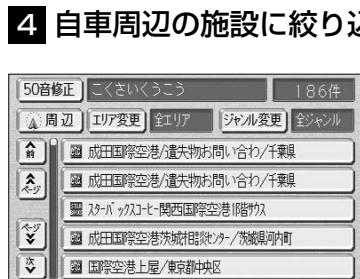
- 表示されている施設以外のジャンルは その他 にタッチすると表示され、表示したい施設ジャンルを選択することができます。



(3) 施設のある都道府県名にタッチします。

- 選択したジャンルによっては、全国の○○が表示されます。

全国の○○にタッチすると全国の施設名称を50音順でリスト表示することができます。



(1) P.3-27の①の(5)の画面で 周辺にタッチします。

- 自車位置の都道府県のエリアに存在する施設名称がリスト表示されます。

電話番号で地図を表示するには



(4) 表示したい施設にタッチします。



● 周辺の地図をノースアップで表示します。



アドバイス

- [情報] は表示した施設に詳細情報が存在する場合のみ表示されます。[情報] にタッチすると施設の詳細情報を表示することができます。P.3-47を参照してください。
- 表示した施設に提携駐車場が存在する場合は [提携 P] が表示されます。[提携 P] にタッチすると施設の提携駐車場を検索し、入庫可能な駐車場を表示することができます。P.3-27を参照してください。

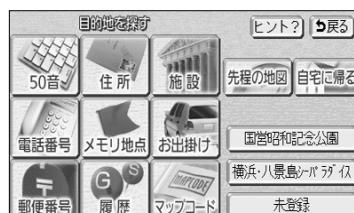
市外局番とそれに続く加入者番号によって該当地点の周辺の地図を表示します。

▼ 以下に目的地設定を電話番号 (0561-39-*****) から地図を表示して行う場合について説明します。



(1) ナビメニュー (P.2-8参照) を表示します。

- または、ナビメニューで [すべて] にタッチして目的地を探す画面を表示します。

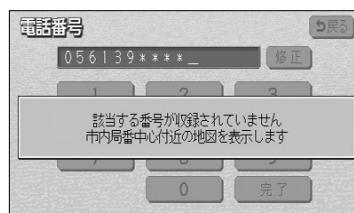


(2) [電話番号] にタッチします。



(3) 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 修正するときは [修正] にタッチすると1番号ずつ消去されます。
- 市外局番と市内局番を入力しただけでも周辺の地図を表示できます。



(4) [完了] にタッチすると検索を開始します。

- 検索が成功すると地図を表示します。
入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
入力した番号に該当する施設がないとき、または入力した番号が個人住宅などのときは、入力した市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- 周辺の地図をノースアップで表示します。



郵便番号で地図を表示するには

アドバイス

- **情報** は表示した施設に詳細情報が存在する場合のみ表示されます。 **情報** にタッチすると施設の詳細情報を表示することができます。P.3-47を参照してください。
- 表示した施設に提携駐車場が存在する場合は **提携 P** が表示されます。 **提携 P** にタッチすると施設の提携駐車場を検索し、入庫可能な駐車場を表示することができます。P.3-27を参照してください。



- 該当地点が存在しない場合（市内局番周辺の地図が表示されたとき）は **住所一覧** が表示されます。

(5) 周辺の住所から地図を表示するには **住所一覧** にタッチします。

(6) 表示させたい地名にタッチします。

- **○○主要部** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- **番地指定** にタッチすると番地を指定することができます (P.3-36参照)。

- 周辺の地図をノースアップで表示します。

郵便番号によって該当地点の周辺の地図を表示します。

▼ 以下に目的地設定を郵便番号（460-0000）から地図を表示して行う場合について説明します。



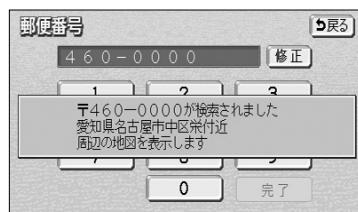
- (1) ナビメニュー (P.2-8参照) で **すべて** にタッチして目的地を探す画面を表示させ、 **郵便番号** にタッチします。

- ナビメニューの「目的地を探す」をカスタマイズして **郵便番号** を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。(P.4-18参照)

- (2) 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 7桁全ての郵便番号を入力します。

- 修正するときは **修正** にタッチすると1番号ずつ消去されます。



- (3) **完了** にタッチすると検索を開始します。

- 検索が成功すると周辺の地図を表示します。



- 周辺の地図をノースアップで表示します。
- 周辺の住所から地図を表示するには **住所一覧** にタッチします。P.3-33を参照してください。



アドバイス

超高層ビル、事業所などの個別に割りあてられた郵便番号から地図を表示した場合は、 **住所一覧** は表示されません。

住所で地図を表示するには

住所から周辺の地図を表示することができます。番地を指定することにより、詳細な住所の検索ができます。

▼ 以下に目的地設定を住所から地図を表示して行う場合について説明します。

1 住所で地図を表示するには



- (1) ナビメニュー (P.2-8参照) を表示します。

 - または、ナビメニューで **すべて** にタッチして目的地を探す画面を表示します。

(2) **住所** にタッチします。

- (3) 都道府県名、市区町村名、大字名、小字名の順で表示させたい地名をタッチします。

● **○○主要部** にタッチすると、周辺の地図が表示されます

● 國語の性質をもつて、一つの言葉に



2 番地を指定して地図を表示する



- (1) P.3-35の①の(3)で、小字名にタッチしたあと、
番地指定にタッチすると番地を指定することができます。



- (2) 数字と-を1つずつタッチして番地を入力します。

 - 123番地45号を入力する場合、「123-45」と入力してください。
 - 修正するときは、**修正**にタッチすると1つずつ消去されます。



- 周辺の地図をノースアップで表示します。
 - 複数の番地が存在する場合は **周辺住所** が表示されます。

(4) **周辺住所** にタッチすると番地の候補がリスト表示されます



- リスト最上部の番地（矢印で表示）の位置が、右画面の地図上に  のマークで表示されます。
 - 表示したい番地にタッチすると、周辺の地図を表示します。

メモリ地点で地図を表示するには

すでに登録済みのメモリ地点から、周辺の地図を表示することができます。

▼ 以下に目的地設定をメモリ地点から地図を表示して行う場合について説明します。



- (1) ナビメニュー (P.2-8参照) で **すべて** にタッチして目的地を探す画面を表示させ、**メモリ地点** にタッチします。

- ナビメニューの「目的地を探す」をカスタマイズして **メモリ地点** を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。(P.4-18参照)



アドバイス

メモリ地点が登録されていないときは使用できません。



- (2) 表示したいメモリ地点にタッチします。

- メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。
 - 種別順** にタッチすると、自宅、よく行く場所、メモリ地点の順に並びかわります。
 - マーク順** にタッチすると記号の種類別に並びかわります。
 - 登録順** にタッチするとメモリ地点の登録順に並びかわります。

- 周辺の地図をノースアップで表示します。



履歴で地図を表示するには

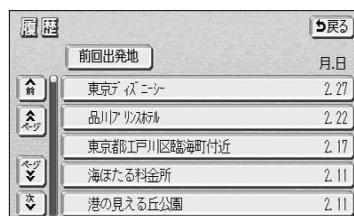
一度設定した目的地は20件分まで自動的に記憶され、その履歴から地図を表示することができます。

▼ 以下に目的地設定を履歴から地図を表示して行う場合について説明します。



- (1) ナビメニュー (P.2-8参照) で **すべて** にタッチして目的地を探す画面を表示させ、**履歴** にタッチします。

- ナビメニューの「目的地を探す」をカスタマイズして **履歴** を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。(P.4-18参照)



- (2) 過去の目的地から、表示したい目的地の名称をタッチします。

- **前回出発地** にタッチすると、前回出発地の地図が表示されます。



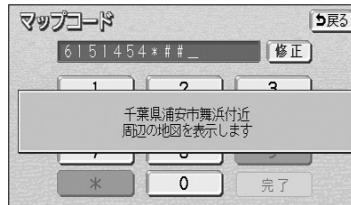
アドバイス

- 履歴は最近設定した目的地を20件まで記憶しています。20件を超えると古い順に消去されます。必要な地点はメモリ地点に登録 (P.4-20参照) してください。
- 履歴で地図を表示したあと、同一地点に目的地を設定した場合は、設定した日付のみが更新されます。
- 履歴を消去する場合はP.4-17を参照してください。

マップコードで地図を表示するには

最大13桁（＊を含む）のマップコードから地図を表示することができます。

▼ 以下に目的地設定をマップコード（6151454＊＃＃）から地図を表示して行う場合について説明します。



アドバイス

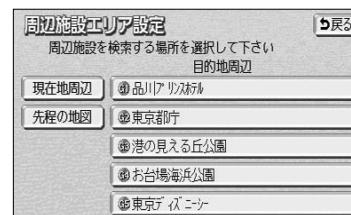
- マップコードとは、日本全国のすべての位置を数字としてコード化し、6～10桁の番号（標準マップコードの場合）でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定しにくいところも特定することができるようになります。
- 標準マップコード（6～10桁）のあとに＊を入力し、高分解能マップコード（1～2桁）を入力することで、より詳細な位置を特定することができます。
- マップコードについては、<http://www.e-mapcode.com>で紹介されています。そちらをご覧ください。
- マップコードは、メモリ地点修正画面（P.4-22参照）の位置名称の下にも表示されます。
- マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

周辺施設で地図を表示するには

現在地や目的地周辺に存在する施設の地図を表示することができます。

●メモリ地点登録（P.4-21参照）、迂回メモリ登録（P.4-33参照）、販売店設定（P.5-13参照）で行うことができます。

▼以下にメモリ地点登録を周辺施設から地図を表示して行う場合について説明します。



- (1) メモリ地点登録画面（P.4-21参照）で周辺施設にタッチします。

- (2) 検索したい施設のジャンルにタッチします。
 - 施設のジャンルは5つまで選択することができます。
 - 間違えたときは選択解除にタッチすると、1ジャンルずつ解除されます。
 - 選択したジャンルにタッチすると、選択したジャンルが解除されます。

- (3) エリアにタッチすると、周辺施設を検索するエリアを選択する画面が表示されます。

- すでに設定している目的地の周辺施設を検索したい場合は、リストの中から検索したい目的地にタッチします。
- 現在地周辺にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 先程の地図にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。

アドバイス

- 目的地を設定している場合にのみ、目的地のタッチスイッチが表示されます。

目的と場所から地図を表示するには



(4) **↑**にタッチすると、地図が移動して **○** の位置を変更することができます。

(5) **セット**にタッチします。

● 周辺施設のジャンル選択画面が表示されます。



(6) **完了**にタッチすると、検索された施設がリスト表示され、タッチスイッチに施設の名称、選択したエリアから施設までの方角と直線距離が表示されます。



● **種類順**にタッチするとリストが種類順に表示され、**距離順**にタッチすると選択したエリアから近い順に表示されます。

● **ルート沿い考慮**にタッチするとルートの進行方向に向かって存在する施設の位置、および現在地からの道なり距離が表示されます (P.3-49参照)。



(7) 表示させたい施設にタッチすると、選択した施設を中心とした地図が表示され、施設の名称が表示されます。

● **情報**にタッチすると施設情報画面が表示されます (P.3-47参照)。

お出掛けの目的と場所から施設を絞り込み、該当の地図を表示します。

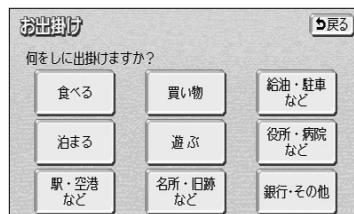
● 目的地を設定するときのみ使用できます。

▼以下に目的地設定をお出掛け（東京駅周辺に食事をするため出掛けける）から地図を表示して行う場合について説明します。

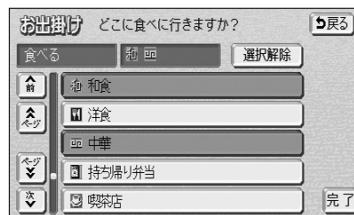


(1) ナビメニュー (P.2-8参照) で **すべて** にタッチして目的地を探す画面を表示させ、**お出掛け** にタッチします。

● ナビメニューの「目的地を探す」をカスタマイズして **お出掛け** を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。 (P.4-18参照)



(2) まず、お出掛けの目的を選択します。
(ここでは **食べる** にタッチします)



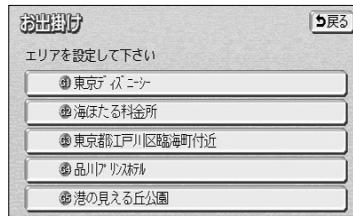
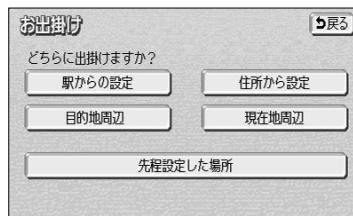
(3) 検索したい施設のジャンルにタッチします。
(ここでは **和食** と **中華** にタッチします)

● 施設のジャンルは1つの目的の中から5つまで選択することができます。目的を選択しなおすと、選択したジャンルは解除されます。

● 間違えたときは **選択解除** にタッチすると、1ジャンルずつ解除されます。

● 選択したジャンルにタッチすると、選択したジャンルが解除されます。

(4) **完了** にタッチします。



(5) 次に、お出掛けしたい場所を設定します。

- **住所から設定**にタッチすると、住所から周辺の地図を表示することができます (P.3-35の(3)参照)。
- **現在地周辺**にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- すでに設定している目的地の周辺にお出掛けしたい場合は、**目的地周辺**にタッチすると、設定している目的地のリストが表示されます。
- リストの中からお出掛けしたい目的地にタッチします。
- お出掛けしたい場所を設定した後に目的を選択しなおしたときは、**先程設定した場所**にタッチすると、前回設定した場所に設定されます。
- ここで、駅から場所を設定する場合について説明します。

駅からの設定にタッチします。

(6) 都道府県名にタッチします。

(ここでは **東京都** にタッチします)

(7) 路線名にタッチします。

(ここでは **JR全線** にタッチします)

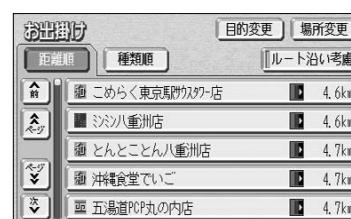
(8) 駅名にタッチします。

(ここでは **東京駅** にタッチします)



(9) **↑**にタッチすると、地図が移動して **○**の位置を変更することができます。

(10) **セット**にタッチします。



(11) 検索された施設がリスト表示され、タッチスイッチに施設の名称、選択したエリアから施設までの方角と直線距離が表示されます。

- **種類順**にタッチするとリストが種類順に表示され、**距離順**にタッチすると選択したエリアから近い順に表示されます。
- **ルート沿い考慮**にタッチするとルートの進行方向に向かって存在する施設の位置、および現在地からの道なり距離が表示されます (P.3-49参照)。
- **目的変更**にタッチするとP.3-42の(3)の画面に戻ります。
- **場所変更**にタッチすると(5)の画面に戻ります。



(12) 表示させたい施設にタッチすると、選択した施設を中心とした地図が表示され、施設の名称が表示されます。

(13) **情報**にタッチすると施設情報画面が表示されます (P.3-47参照)。

施設ランドマークを地図に表示するには

地図上にGS（ガソリンスタンド）やレストランなどの施設のランドマークを表示することができます。また、表示している施設ランドマークの詳細情報を表示することもできます。

1 施設ランドマークを表示するには

表示させたい施設ランドマークを簡易操作で表示することができます。



- (1) 現在地画面(P.2-14参照)、または地図画面(P.2-16参照)から **表示変更** にタッチします。

- (2) **周辺施設** にタッチします。

- 6つの施設ジャンルが表示されます。

- (3) 表示させたい施設にタッチすると、タッチした施設ランドマークが表示されます。

- 表示されている6つの施設ジャンルは、走行中に選択（解除）・追加することができます。

- 6つの施設ジャンルを変更することができます。変更方法の詳細については、P.4-3を参照してください。

- 6つの施設ジャンル以外の施設ランドマークを表示する場合は、**全ジャンル** にタッチして、次に表示された画面で複数ジャンルの施設の表示を設定することができます。

- 5種類まで施設ランドマークを表示させることができます。

- 間違えたときは **選択解除** にタッチすると、1施設ずつ消去されます。

- 選択されている施設にタッチすると、選択されていた施設が消去されます。

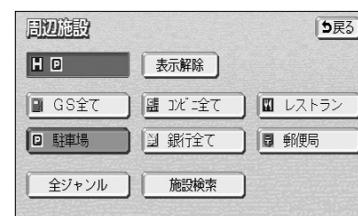
- **完了** にタッチすると、選択した施設ランドマークが表示されます。



施設ランドマークは、**800m** よりも広域な地図には表示されません。

2 施設ランドマークを消去するには

地図上に表示されている施設ランドマークを消去します。



- (1) 現在地画面(P.2-14参照)、または地図画面(P.2-16参照)から **表示変更** にタッチします。

- (2) **周辺施設** にタッチします。

- (3) 現在選択している施設ジャンルにタッチします。

- 走行中は、1の(3)の画面に表示されている6つの施設ジャンルのみ解除（消去）できます。

- 複数ジャンルの施設ランドマークを選択しているときに **表示解除** にタッチすると、すべて解除（消去）されます。

3 施設ランドマークの詳細情報を表示するには

地図上に表示されている施設ランドマークの名称や施設情報を表示します。



- (1) 現在地画面(P.2-14参照)、または地図画面(P.2-16参照)で表示されている施設ランドマークにタッチします。

- 枠が点滅している施設ランドマークの施設名称が表示されます。



- (2) **情報** にタッチすると、施設情報画面が表示されます。

- 施設の個別情報（名称、住所、電話番号など）が表示されます。

- (3) **目的地セット** にタッチすると施設に目的地を設定することができます。

- **地点登録** にタッチすると、施設にメモリ地点を登録することができます。
- すでに目的地が設定されている場合は、**新規目的地**にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定することができます。P.2-34を参照してください。
- **追加目的地** にタッチすると、施設を現在設定されている目的地に追加して設定することができます。P.3-3を参照してください。
- **電話** にタッチすると、電話をかけることができます。P.13-12を参照してください。

アドバイス

- 施設名称の表示は、約6秒間表示されると自動的に消去されます。
- 同一の建物に複数の施設が存在し、地図上の施設ランドマークが重なることがあります。その場合、施設ランドマークにタッチすることに順番に施設名称が表示されます。
- 同一施設の部署・部門が別の施設として、個別にランドマーク表示されることがあります。
- メモリ地点設定、販売店設定で表示した地図より（2）の操作を行ったときの施設情報画面には **セット** が表示されます。**セット** にタッチすると、それぞれの地点の設定を行うことができます。
- **Ⓐ** を押して現在地画面を表示した場合、P.3-45の①の（3）で選択した施設ジャンルすべての施設ランドマークが地図上に表示されます。

近くの施設を検索するには

選択したジャンルの施設位置を検索し、表示することができます。また、案内中のルート沿いに存在する施設のみを検索し、表示することができます。

1 近くの施設を検索するには



- (1) 施設ランドマークが選択されている（P.3-45参照）とき、現在地（P.2-14参照）または地図画面（P.2-16参照）で **表示変更** にタッチします。

- (2) **周辺施設** にタッチします。



- (3) **施設検索** にタッチします。

- 検索された施設がリスト表示され、タッチスイッチに施設の名称、現在地または **Ⓐ** マークから施設までの直線距離が表示されます。

- 現在地から表示した場合は、現在の進行方向からみてどの方向にその施設があるかを表示します。

- **種類順** にタッチするとリストが記号別に表示され、**距離順** にタッチすると現在地または **Ⓐ** マークから近い順に表示されます。

- (4) 表示させたい施設にタッチすると、選択した施設を中心とした地図が表示され、施設の名称と現在地からの直線距離が表示されます。

- **情報** にタッチすると施設情報画面が表示されます。（P.3-47参照）



アドバイス

- 距離表示は、自車位置からの直線距離（現在地画面から近くの施設を検索した場合）または **Ⓐ** マークからの直線距離（地図画面から近くの施設を検索した場合）です。
- 検索可能なのは、現在地または **Ⓐ** マークから半径10km以内に存在する施設で、現在地または **Ⓐ** マークから近い順に200件までです。
- 同一名称で複数の電話番号が登録されている場合、それぞれがリスト表示されます。

建物の情報を表示するには

2 ルート沿いの施設を検索するには



(1) P.3-48の①の(2)で**施設検索**にタッチして検索されたリスト画面で、**ルート沿い考慮**にタッチします。

- 検索された施設がリスト表示され、タッチスイッチに施設の名称、ルートの進行方向に向かって存在する施設の位置および現在地からの道なり距離が表示されます。
- **種類順**にタッチするとリストが種類順に表示され、**距離順**にタッチすると現在地から近い順に表示されます。

(2) 表示させたい施設にタッチすると、選択した施設を中心とした地図が表示され、施設の名称と現在地からの道なり距離が表示されます。

- **情報**にタッチすると施設情報画面が表示されます。(P.3-47参照)



アドバイス

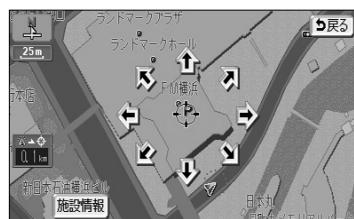
- 現在地画面、または地図画面上にルートが表示されていないときは、ルート沿いの施設検索は行われません。
- ルート沿いを考慮した施設リストに表示されるマークは、ルートの進行方向に向かった位置を示しています。
 - ルートの進行方向に向かって右側に施設が位置していることを示しています。
 - ルートの進行方向に向かって左側に施設が位置していることを示しています。
 - ルートの進行方向に向かって後ろに施設が位置していることを示しています。

市街図を表示させたとき、建物単位での施設情報を見ることができます。



(1) 市街図を表示させます。

- 詳細は、P.2-26の「市街図を表示するには」を参照してください。



(2) 建物に \oplus を合わせて**情報**にタッチします。



(3) **施設情報**にタッチします。

- 施設情報が表示されない場合や別の施設情報を表示させる場合は、にタッチして \oplus を移動させます。



- 右画面の市街図上に建物が立体的に表示され、施設情報が左画面に表示されます。

- 施設数が複数存在する場合は、建物の名称や階数、建物に存在する施設件数が表示され、施設がリスト表示されます。

- 建物に複数階数がある場合は、建物内に存在するリスト最上部の施設（矢印で表示）の位置を、右画面の建物に青色で表示します。

(4) リスト表示されている施設にタッチすると左画面に施設情報画面が表示されます。施設情報画面の詳細はP.3-47の(3)を参照してください。

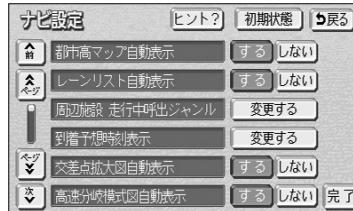
アドバイス

- 建物の情報は、市街図を表示させているときのみご覧になれます。
- 同一名称で複数の電話番号が登録されている場合、それぞれがリスト表示されます。

ナビ設定を行うには

利用状況に応じてナビゲーションの各種の設定を変えることができます。
よく使う機能を設定しておくと便利です。

1 ナビ設定を行うには



- (1) 設定画面 (P.2-9参照) で **ナビ設定** にタッチします。
- (2) リストの項目を動かして (P.2-10参照) 各機能の設定を行います。
 - 各項目の設定内容については、**2** を参照してください。
 - **初期状態** にタッチすると、全ての項目が初期設定値に戻ります (下記**2** 参照)。
- (3) 全ての設定が良ければ **完了** にタッチします。

2 ナビ設定の項目について (____は初期値を示します)

機能名	選択項目	機能名	選択項目
都市高マップ自動表示	<u>する</u> ／しない	3D地図表示設定	変更する
レーンリスト自動表示	<u>する</u> ／しない	3D市街図ビル立体表示	<u>する</u> ／しない
周辺施設 走行中呼出ジャンル	変更する	立体ランドマーク表示	<u>する</u> ／しない
到着予想時刻表示	変更する	シーズンレジャーランドマーク表示	<u>する</u> ／しない
交差点拡大図自動表示	<u>する</u> ／しない	地図スクロール時の地名表示	<u>する</u> ／しない
高速分岐模式図自動表示	<u>する</u> ／しない	交通事故多発地点マーク表示	<u>する</u> ／しない
3D交差点拡大図	<u>する</u> ／しない	時計表示	<u>する</u> ／しない
2D 時フロントワイド	<u>する</u> ／しない	料金案内	<u>する</u> ／しない
2D 時フロントワイド	<u>する</u> ／しない	料金所レーン案内	<u>する</u> ／しない
右画面の地図で表示	<u>する</u> ／しない	VICS渋滞・規制音声自動発声	<u>する</u> ／しない
3D 時のルート方向アップ	<u>する</u> ／しない	自動音声案内	<u>する</u> ／しない
地図カスタマイズ	変更する	県境案内	<u>する</u> ／しない

機能名	選択項目	機能名	選択項目
踏切警告	<u>する</u> ／しない	自動再探索	<u>する</u> ／しない
合流警告	<u>する</u> ／しない	渋滞考慮探索※1	<u>する</u> ／しない
カーブ警告	<u>する</u> ／しない	季節規制メッセージ表示	<u>する</u> ／しない
他モード時の案内	<u>する</u> ／しない	車両情報設定	変更する
操作説明音声	<u>する</u> ／しない	目的地履歴の消去	消去する
ハートフル音声	<u>する</u> ／しない	ナビ補正	補正する
居眠り防止案内	<u>する</u> ／しない		

※1 別売の2メディア対応の**VICS**システム (P.4-44参照) を接続したときに操作できます。

●都市高マップ自動表示

ルート案内中、自車が都市高速道路に進入すると自動で都市高マップ (P.2-43参照) を表示することができます。

都市高マップ



アドバイス

都市高マップは、200m から 1.6k までの地図縮尺で表示されます。

●レーンリスト自動表示

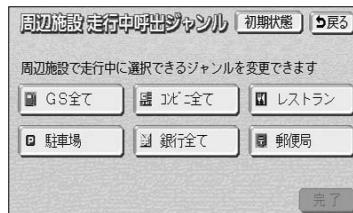
ルート案内中、案内分岐点に接近するとレーンリスト (P.2-40参照) を自動で表示することができます。

レーンリスト



●周辺施設 走行中呼出ジャンル

周辺施設（P.3-40参照）で走行中に選択できるジャンルを変更することができます。

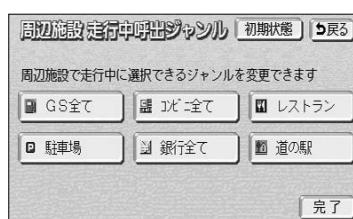


- (1) ジャンルを変更する場合は、P.4-1の①の(2)の画面で **変更する** にタッチします。

- 現在設定中のジャンルスイッチが表示されます。

- (2) 変更したいジャンルのスイッチにタッチします。

- ジャンルリストが表示されます。
- 現在設定中のジャンルスイッチは、強調表示されます。



- (3) **初期状態** にタッチすると走行中に選択できるジャンルの設定が初期状態に戻ります。

- (3) 設定が良ければ **完了** にタッチします。

●到着予想時刻表示

ルート上を走行しているときに、目的地への到着予想時刻（P.2-37参照）を表示することができます。この到着予想時刻を計算する基準として、高速道路、有料道路（都市高速含む）、一般道路の各平均車速を設定することができます。



- (1) 平均車速を設定するには、P.4-1の①の(2)の画面で **変更する** にタッチします。

- (2) 設定したい道路種別の **◀** または **▶** にタッチすると平均車速を変更できます。

- **◀** にタッチすると設定速度が遅くなります。

- **▶** にタッチすると設定速度が速くなります。

- **初期状態** にタッチすると、全ての平均車速設定が初期設定値に戻ります。

- (3) 設定が良ければ **完了** にタッチします。



- 案内ルート上を走行していないときは、到着予想時刻の表示は行われません。
- 到着予想時刻の表示は自車の走行と時間の経過により随時更新されます。

●交差点拡大図自動表示

ルート案内中、分岐点に接近すると案内分岐点の拡大図（P.2-39参照）を自動で表示することができます。

交差点拡大図



●高速分岐模式図自動表示

ルート案内中、高速道路のジャンクション、本線出口、ランプウェイ内の分岐点に接近すると高速分岐案内図（P.2-41参照）を自動で表示することができます。

高速分岐模式図



●3D交差点拡大図

交差点拡大図の表示を2Dまたは3Dに切り替えることができます。

3Dの交差点拡大図



2Dの交差点拡大図



アドバイス

立体交差点拡大図、3D高速分岐拡大画面、ハイウェイ入口案内画面は、交差点拡大図の表示設定に関わらず常に3Dで表示されます。

●2D 時フロントワイド

ノースアップ（P.2-20参照）のとき、自車マークをフロントワイド（進行方向の地図を広く）表示するか、しない（画面中央表示）か設定ができます。

する



しない

**●2D 時フロントワイド**

ヘディングアップ（P.2-20参照）のとき、自車マークをフロントワイド表示するか、しない（画面中央表示）か設定ができます。

する



しない

**●2D 時フロントワイド 右画面の地図で表示**

2画面表示で右画面がヘディングアップ（P.2-24参照）のとき、自車マークをフロントワイド表示するか、しない（画面中央表示）か設定ができます。

する



しない

**●3D 時のルート方向アップ**

3D表示で案内ルート上を走行中に、地図向きをルート方向アップ（ルートの進行方向が画面上方となるような地図）表示に切り替えることができます。

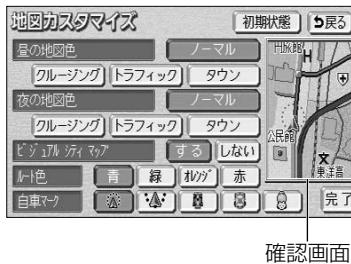
ルート方向アップ表示



●地図カスタマイズ

昼画面（P.1-28参照）または夜画面（P.1-28参照）の地図色、案内ルートのルート色、自車マークの種類の変更、ビジュアルシティマップ（道幅を考慮した地図）を表示するか、しないかの設定を行うことができます。

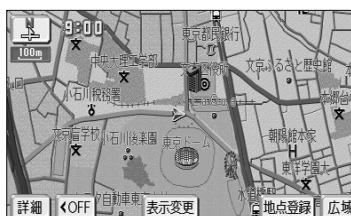
地図カスタマイズ画面



確認画面

- (1) P.4-1の①の(2)の画面で「変更する」にタッチします。
- (2) 変更したい地図色、ルート色、自車マークの種類、ビジュアルシティマップの設定スイッチにタッチします。
 - 変更した内容に合わせ確認画面が切り替わります。
 - 現在設定中のスイッチは強調表示されます。
 - 「初期状態」にタッチすると、地図カスタマイズの設定が初期状態に戻ります。
- (3) 設定がよければ「完了」にタッチします。

ビジュアルシティマップ表示する



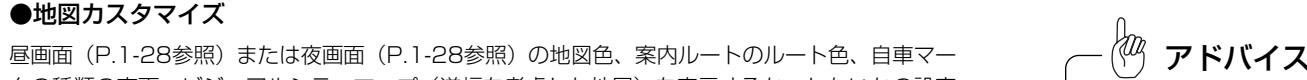
ビジュアルシティマップ表示しない



アドバイス

●地図色について

- ・通常の「ノーマル」と、ルート色が見やすい「クルージング」、渋滞情報が見やすい「トラフィック」、市街情報が分かりやすい「タウン」の4つの表示を選択できます。
- 確認画面について
 - ・確認画面は現在地画面（P.2-14参照）とは異なります。地図の縮尺切り替え（P.2-17参照）、地図スクロール（P.2-16参照）、3D表示切り替え（P.2-21参照）などの操作は行えません。
 - ・地図色（昼）または地図色（夜）のいずれかのスイッチにタッチするとライトの点灯・消灯（P.1-28参照）にかかわらず、確認画面が昼画面または夜画面に切り替わります。
 - ・確認画面では常にルートが表示されています。実際に案内ルートを設定していない場合でも変更したルート色を確認することができます。



アドバイス

●ルート色について

- ・案内ルートの色により、季節規制区間道路（P.2-32参照）のルート色が異なります。
 - ルート色を青に設定した場合、オレンジ色の線の入った青色でルートを表示します。
 - ルート色を緑に設定した場合、オレンジ色の線の入った緑色でルートを表示します。
 - ルート色をオレンジに設定した場合、青色の線の入ったオレンジ色でルートを表示します。
 - ルート色を赤に設定した場合、オレンジ色の線の入った赤色でルートを表示します。

●自車マークについて

- ・自車の方位修正画面（P.4-57参照）を表示しているときは、自車マークが▲で表示されます。

●3D地図表示設定

3D表示（P.2-21参照）の視点角度を変更することができます。



- (1) 3D表示の視点角度を変更するには、P.4-1の②の画面で「変更する」にタッチします。

(2) ▲または▼により視点角度を変更できます。

- ▲にタッチすると、視点の角度を上げることができます。

- ▼にタッチすると、視点の角度を下げることができます。

● 視点角度は10段階に調整できます。

- 「初期状態」にタッチすると、角度が初期設定の状態（下から4つ目の設定）に戻ります。

- (3) 「セット」にタッチします。

● 設定した視点角度で表示されます。

●3D市街図ビル立体表示

3D表示で、25mの縮尺の市街図（P.2-26参照）を表示しているとき、建物の形状が立体的に表現された地図を表示することができます。

する



しない



●立体ランドマーク表示

地図上に特定施設の立体ランドマークを表示することができます。



立体ランドマーク

- **800m** および **800m** より詳細の地図に立体ランドマークを表示します。
- 表示された立体ランドマークにタッチすると、施設が赤枠で強調され施設名称が表示されます。



●シーズンレジャーランドマーク表示

季節的に観光スポットとなる場所をマークで表示することができます。



シーズンレジャー
ランドマーク

●地図スクロール時の地名表示

地図にタッチして地図を移動（スクロール）したときに、画面の中心付近の地名や道路名称、道路番号を表示することができます。



地名表示

アドバイス

地名表示は、**50m** から **8k** までの地図縮尺で表示されます。

●交通事故多発地点マーク表示

交通事故が多発する地点を地図上にマークで表示することができます。

交通事故多発地点マーク



アドバイス

地図の縮尺によって表示されない場合があります。

●時計表示

地図を表示している画面に時計を表示することができます。

時計表示



4
設定編

アドバイス

GPSが受信されるまで表示時間がずれる場合があります。また、時計が表示されるまで時間がかかる場合があります。

●料金案内

ルート案内中、料金所に接近すると料金案内（P.2-40参照）を表示することができます。

**アドバイス**

別売のナビ対応のETCのユニットを接続しているときは、料金案内の表示はされません。

ナビ設定を行なうには

●料金所レーン案内

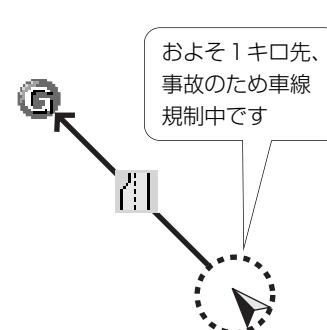
ルート案内中、料金所の手前で、3Dの案内拡大図を表示し、料金所のレーンを案内します。ETCレーンがある場合は、一般レーンとETCレーンの区別も表示します。（P.2-41参照）

**アドバイス**

画面に表示されているレーン表示は、実際の状態と異なる場合があります。

●VICS 渋滞・規制音声自動発声

案内ルート上に渋滞・規制が発生したときに、発生した **VICS** 情報の音声案内を自動で行なうことができます。

**アドバイス**

VICS 情報の音声案内は、**VICS** 情報が消去されているときは案内されません。

●案内される情報は、自車前方およそ10kmまでの情報です。

●**VICS** の表示設定（P.4-49参照）が高速道のみに設定されても、一般道の情報も案内されます

（一般道のみに設定されているときも高速道の情報が案内されます）。

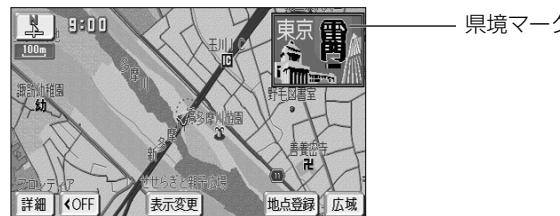
●自動音声案内

ルート案内中、分岐点に接近したときなどに音声案内を自動で行なうことができます。



●県境案内

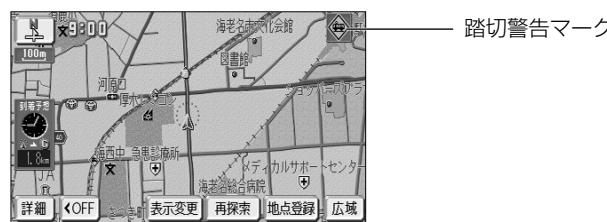
自車が県境にさしかかると、音声とその県をイメージさせた絵でお知らせすることができます。他の音声と重なる場合は、案内しないことがあります。



県境マーク

●踏切警告

踏み切りにさしかかると、注意を促す警告案内を音声とマーク表示で案内することができます。他の音声と重なる場合は、案内しないことがあります。



踏切警告マーク

●合流警告

合流地点にさしかかると、危険を促す警告案内を音声とマーク表示で案内することができます。他の音声と重なる場合は、案内しないことがあります。

**アドバイス**

- 合流地点の形状により以下のマークが表示されます。
-
-
-
- 合流警告の案内は一般道路では行われません。

●カーブ警告

急なカーブにさしかかると、危険を促す警告案内を音声とマーク表示で案内することができます。他の音声と重なる場合は、案内しないことがあります。

**アドバイス**

- カーブの形状により以下のマークが表示されます。
-
-
-

●他モード時の案内

ラジオやテレビ画面を表示し、その音声を聞いているときにもナビゲーションの音声案内を聞くことができます。

**●操作説明音声**

画面の説明や誤った操作を行ったときの説明音声を音声案内させることができます。



ナビのいろいろな機能の設定ができます。

●ハートフル音声

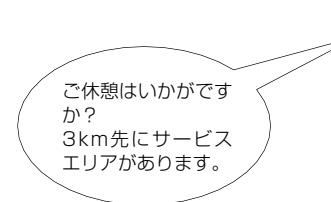
その日初めてナビゲーションが立ち上がったときに「今日は6月3日火曜日です」、目的地に到着したときに「お疲れさまでした」などの気のきいた音声案内をさせることができます。

**アドバイス**

上記のハートフル音声は一般的なものであり、状況などにより異なった音声が出力されたり、出力されない場合があります。

●居眠り防止案内

長時間のドライブ時などに音声案内を行い、注意を促します。

**●自動再探索**

案内ルートから自車が外れてしまった場合でも、自動で再探索を行い現在地から新しいルートを表示することができます。

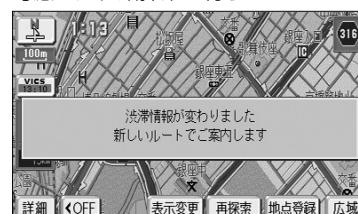
**アドバイス**

自動再探索は、公園の敷地など探索対象の道路がないところで動作しません。探索対象の道を自車が走行していると判断されたときのみ自動再探索を開始します。

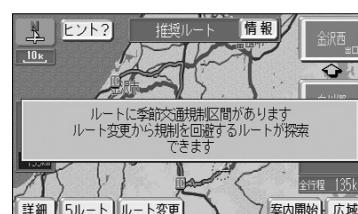
●渋滞考慮探索

別売の2メディア対応の **VICS** システムを接続したときに操作できます (P.6-1 参照)。

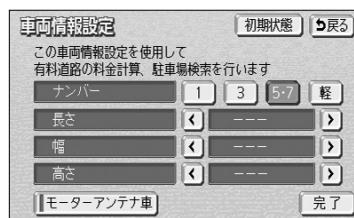
ルート案内中に、**VICS** 情報を考慮した経路探索を行うことができます。

**●季節規制メッセージ表示**

探索されたルートに季節規制区間（冬季通行止めなど）が含まれる場合、メッセージを表示することができます。規制区間を回避するルートを探索する方法については、P.2-32を参照してください。

季節規制メッセージ表示**●車両情報設定**

入庫可能な駐車場を検索するときの条件、および有料道路の料金を計算するときの基準となる車両情報を設定します。目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。その場合、一旦「目的地消去」(P.3-6 参照) を行ってから設定してください。



(1) 車両情報を設定するには、P.4-1の①の(2)の画面で**変更する**にタッチします。

(2) ①、③、⑤・⑦、**軽**にタッチして、お使いの車両のナンバーを設定します。

● 初期設定は、⑤・⑦に設定されています。

(3) ◀、▶にタッチして、車両の長さ、幅、高さを設定します。

● **初期状態**にタッチすると、車両情報設定が初期状態に戻ります。

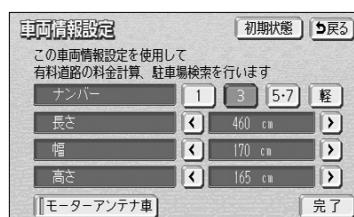
(4) お使いのお車がモーター・アンテナ車の場合は、**モーター・アンテナ車**にタッチして、モーター・アンテナ車の設定を「ON」にします。

● 初期設定は、「OFF」に設定されています。

● モーター・アンテナ車設定が「ON」のときは、作動表示灯が点灯します。

● **モーター・アンテナ車**にタッチするごとにモーター・アンテナ車設定の「ON」と「OFF」が切り替わります。

(5) **完了**にタッチします。

**アドバイス**

●車両情報の設定は、次の機能が行われるときの基準となります。

- ・入庫可能な駐車場の検索 (P.3-27 参照)
- ・均一区間の料金表示 (P.2-14 参照)

- ・現在地画面の料金案内 (P.4-11 参照)
- ・ルート情報画面の料金表示 (P.3-18 参照)

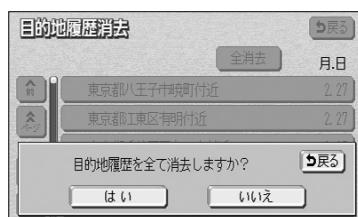
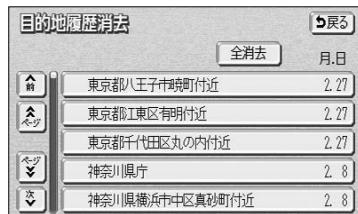
- ・全ルート表示画面の合計料金表示 (P.2-35 の ① の画面、P.2-36 の ④ の画面)

●モーター・アンテナ車の設定が「ON」の場合、オーディオをOFFにするとアンテナが下がり、VICS情報が受信できなくなります。

●モーター・アンテナ車の設定が「OFF」の場合、オーディオをOFFにしてもVICS受信のためにアンテナがのびたままになりますのでご注意ください。

●目的地履歴の消去

過去に設定した目的地の履歴（P.3-38参照）を消去することができます。



●ナビ補正

地図上の自車表示位置や方位と実際の自車位置がズレているときや、地図上の自車マークの進み方と実際の進み方がズレているときに、これらのズレを修正することができます。

現在地の修正（P.4-57参照）



距離の補正（P.4-58参照）



ナビメニュー「目的地を探す」をカスタマイズするには

ナビメニューの「目的地を探す」（P.2-8参照）に表示されている、地図を呼び出すスイッチを、3種類選んで表示させることができます。使用頻度の高いスイッチを設定しておくと、ナビメニューから簡単に検索方法を選べます。



- (1) 設定画面（P.2-9参照）で **メニュー カスタマイズ** にタッチします。



- (2) ナビメニューに表示させたいスイッチにタッチします。
 - 表示させたいスイッチを3つ選んでください。
 - 選択されたスイッチに再びタッチすると選択を解除することができます。
 - 設定済みのときに **初期設定** にタッチすると選択されたスイッチが初期状態（「50音」「電話番号」「住所」が選択された状態）に戻ります。
- (3) 設定がよければ **完了** にタッチします。
- (4) **戻る** にタッチします。
 - ナビメニューに選択したスイッチが表示されます。
- (5) **すべて** にタッチすると、地図を呼び出す全てのスイッチを表示した画面（目的地を探す画面 P.2-33参照）を表示します。
 - (2)、(3) で選択したスイッチ以外でも目的地の設定を行うことができます。

ショートカットスイッチを設定するには

複数の操作によって表示される画面をショートカットスイッチとして設定することができます。ショートカットスイッチに設定しておくと、地図上にスイッチが表示されワンタッチで表示したい画面を呼び出すことができます。



- (1) 設定画面 (P.2-9参照) で **ショートカット設定** にタッチします。



- (2) ショートカットに設定したいスイッチにタッチします。
ここでは **音量設定** にタッチします。

 - 設定済みのときに **設定解除** にタッチするとショートカットの設定が解除されます。



- **音量設定** がショートカットに設定されました。



- 地図画面上にショートカットスイッチが表示されます。

ショートカットスイッチ



全ルート をショートカットに設定したときは、ルート案内中のときのみ動作します。

メモリ地点を登録・修正・消去するには

忘れたくない地点を地図帳にマークするように、最大106ヵ所までマーキングできる機能です。

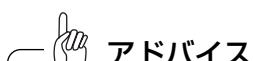
メモリ地点を登録しておくと、登録地点周辺の地図を簡単に表示できます。
また、登録したメモリ地点は位置変更したり消去することができます。

1 現在地を登録する



- (1) 現在地画面(P.2-14参照)で **地点登録** にタッチします。

- その時点での自車マークの位置がそのまま登録されます。
- この場合は地点記号が となります。



アドバイス

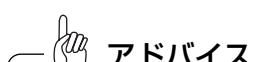
高速道路上のルートを案内中にメモリ地点を現在地に登録した場合は、地点記号が (方向付き登録記号) となります。

2 地図画面から登録する



- (1) 地図スクロール、**詳細** または **広域** 操作によりメモリ地点を登録したい位置に を合わせ、スケール表示が **800m** および **800m** より詳細な地図で **地点登録** にタッチします。

- この場合は地点記号が となります。

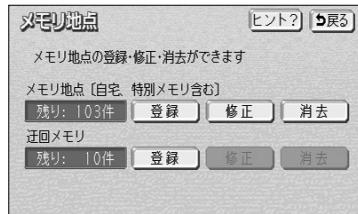


アドバイス

目的地セット をタッチしたあとの画面でもメモリ地点を登録することができます。

③ 地図索引機能を使ってメモリ地点を登録する

- (1) 設定画面 (P.2-9参照) で **メモリ地点** にタッチします。
 - (2) メモリ地点の **登録** にタッチします。



(3) 地図の呼び出し方を選択します。

- | | |
|-----------------|--------|
| ● 50音 | P.3-26 |
| ● 住所 | P.3-35 |
| ● 施設 | P.3-30 |
| ● 電話番号 | P.3-32 |
| ● メモリ地点 | P.3-37 |
| ● 周辺施設 | P.3-40 |
| ● 郵便番号 | P.3-34 |
| ● 履歴 | P.3-38 |
| ● マップコード | P.3-39 |

※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- **先程の地図** にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
 - **現在地周辺** にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
 - 登録済みのよく行く場所にタッチすると、よく行く場所周辺の地図が表示されます

- (4) にタッチすると、地図が移動しての位置を変更することができます。

(5) スケール表示が **800m** および **800m** より詳細な地図で **セット**にタッチします。



(6) 完了 にタッチします。

- 修正・入力をするときは、それぞれの項目にタップします。
 - **マーク** P.4.23
 - **名称** P.4.26
 - **する** / **しない** (地図上の名称表示) P.4.29
 - **位置** P.4.25
 - **電話番号** P.4.25

4 メモリ地点を修正するには

- (1) メモリ地点が登録されているとき、③の(2)の画面でメモリ地点の**修正**にタッチします。
 - (2) メモリ地点の名称にタッチします。

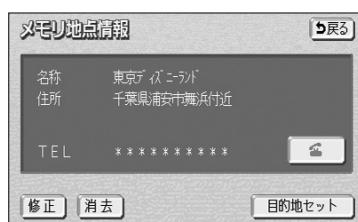
● メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。

 - ・ **種別順**にタッチすると、自宅、よく行く場所、メモリ地点の順に並び替わります。
 - ・ **マーク順**にタッチすると記号の種類別に並び替わります。
 - ・ **登録順**にタッチするとメモリ地点の登録順に並び替わります。

- (3) 修正：入力する項目にタップします。

- マーク P.4-23
 - 名称 P.4-26
 - する／しない (地図上の名称表示) P.4-29
 - 位置 P.4-25
 - 電話番号 P.4-25

5 地図画面からメモリ地点を修正するには

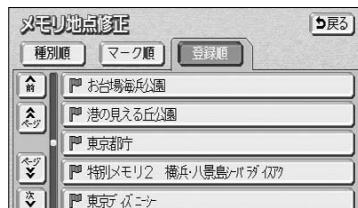


- (1) 地図上に表示されているメモリ地点マークにタッチして **情報** にタッチします。

- (2) **修正** にタッチすると、④の(3)を表示します。
- **目的地セット** にタッチすると、目的地に設定することができます。
 - すでに目的地が設定されている場合は、**新規目的地** にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され新たな目的地として設定されます。P.2-34を参照してください。
 - **追加目的地** にタッチすると、現在設定されている目的地に追加して設定されます。P.3-3を参照してください。
 - **消去** にタッチすると、メモリ地点を消去することができます。
 - **電話** にタッチすると、電話をかけることができます。P.13-12を参照してください。

6 メモリ地点の記号を変更するには

登録したメモリ地点の記号を、お好みの記号に変更することができます。



- (1) メモリ地点が登録されているとき、P.4-21の③の(2)の画面でメモリ地点の **修正** にタッチします。

- (2) メモリ地点の名称にタッチします。
- メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。
 - ・ **種別順** にタッチすると、自宅、よく行く場所、メモリ地点の順に並び替わります。
 - ・ **マーク順** にタッチすると記号の種類別に並び替わります。
 - ・ **登録順** にタッチするとメモリ地点の登録順に並び替わります。



- (3) **マーク** にタッチします。

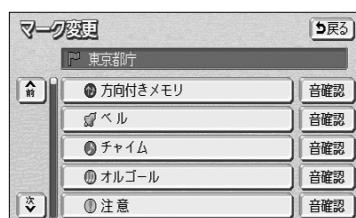


- (4) お好きな登録記号にタッチすると、メモリ地点の記号が変更されます。

- **マーク2** にタッチすると、別の記号の画面に切り替わり、お好きな記号を選択することができます。
- **マーク2のマーク無し** にタッチすると、記号の登録をしないでメモリ地点が登録されます。



- (5) **音声付き** にタッチして **方向付きメモリ** にタッチすると、自車が指定した方向からメモリ地点に約500mまで接近したときのみ音が鳴るようにすることができます。



- **音確認** にタッチすると、音声付き登録記号の音を確認することができます。



- **↑** または **↓** にタッチして **△** を設定する方向に合せます。
- **セット** にタッチすると、**○** の位置にメモリ地点が **△** の記号で登録されます。

7 メモリ地点の位置を修正するには

登録したメモリ地点の位置を変更することができます。

- P.4-22の④の(2)の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。

- 位置にタッチします。



アドバイス

メモリ地点を登録すると、登録した地点のマップコードがメモリ地点の位置に表示されます。



- ↑にタッチすると、地図が移動して○の位置を変更することができます。

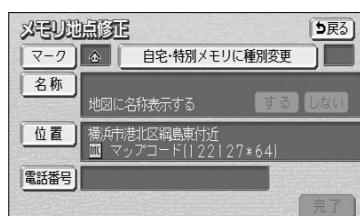
- スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチすると○の位置にメモリ地点が登録されます。

8 メモリ地点に電話番号を登録するには

登録したメモリ地点に電話番号を登録することができます。電話番号を登録すると、電話番号で地図を表示する（P.3-32参照）ことができます。

- P.4-22の④の(2)の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。

- 電話番号にタッチします。



- 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。

- 修正するときは修正にタッチすると1番号ずつ消去されます。

- 完了にタッチします。



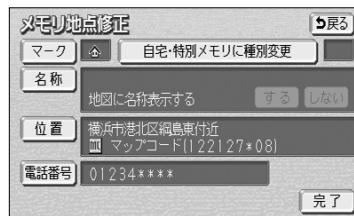
アドバイス

P.4-21の③の(3)で 50音、施設、電話番号から表示した施設をメモリ地点に登録した場合は、表示した施設の電話番号がメモリ地点の電話番号として自動的に登録されます。

9 メモリ地点に名称を付けるには

- P.4-22の④の(2)の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。

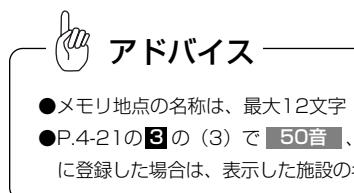
- 名称にタッチします。



- 名称を1文字ずつタッチして入力します。

- 文字の入力方法はP.4-27～4-28を参照してください。

- 文字を入力したあと完了にタッチします。



- メモリ地点の名称は、最大12文字（半角24文字）まで文字を入力することができます。

- P.4-21の③の(3)で 50音、施設、電話番号、郵便番号から表示した施設をメモリ地点に登録した場合は、表示した施設の名称がメモリ地点の名称として自動的に登録されます。

ひらがな、漢字を入力するとき



- (1) **かな**にタッチして入力画面を切り替えます。
- (2) 名称を1文字ずつタッチして入力します。
 - 修正するときは **修正**にタッチすると1文字ずつ消去されます。
 - 空白の文字を入れるには **スペース**にタッチします。
 - 文字を入力したあと、**変換**にタッチすると文字を漢字変換することができます。漢字変換しないときは **無変換**にタッチします。
- (3) **変換**にタッチすると、変換する漢字の候補がリスト表示されます。
- (4) **◀**または**▶**にタッチすると、漢字変換する文字の範囲を変更することができます。現在変換されている文字で設定するには **全確定**にタッチします。
- (5) 変換したい漢字にタッチします。

英字、数字を入力するとき



- (1) **英数字**（英字、数字）にタッチして入力画面を切り替えます。
- (2) 名称を1文字ずつタッチして入力します。
 - **小文字**（または**大文字**）にタッチすると、入力文字を小文字（または大文字）に切り替えることができます。
 - **半角**（または**全角**）にタッチすると、入力文字を半角文字（または全角文字）に切り替えることができます。
 - 修正するときは **修正**にタッチすると1文字ずつ消去されます。
 - 空白の文字を入れるには **スペース**にタッチします。

数字、記号を入力するとき



- (1) **数記号**（数字・記号）にタッチして入力画面を切り替えます。
- (2) 名称を1文字ずつタッチして入力します。
 - 他のページを見たいときは、**▼**または**▲**にタッチします。
 - **半角**（または**全角**）にタッチすると、入力文字を半角文字（または全角文字）に切り替えることができます。
 - 修正するときは **修正**にタッチすると1文字ずつ消去されます。
 - 空白の文字を入れるには **スペース**にタッチします。

カタカナを入力するとき

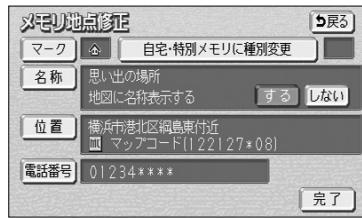


- (1) **カナ**（カタカナ）にタッチして入力画面を切り替えます。
- (2) 名称を1文字ずつタッチして入力します。
 - **半角**（または**全角**）にタッチすると、入力文字を半角文字（または全角文字）に切り替えることができます。
 - 修正するときは **修正**にタッチすると1文字ずつ消去されます。
 - 空白の文字を入れるには **スペース**にタッチします。

10 メモリ地点の名称を地図上に表示するには

登録したメモリ地点の名称を地図画面上に表示することができます。

- (1) P.4-22の④の(2)の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。



- (2) 「地図に名称表示する」の [する] または [しない] にタッチします。

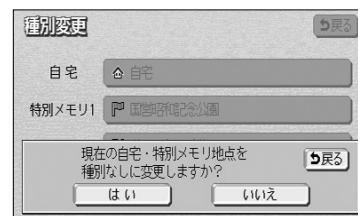
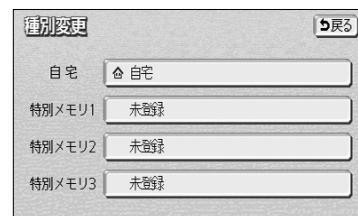


アドバイス

メモリ地点の名称は、800m および 800m より詳細な地図で表示することができます。

11 登録したメモリ地点を自宅やよく行く場所(特別メモリ)に変更するには

自宅に登録すると、ナビメニュー (P.2-8参照) からワンタッチで自宅までのルートを設定することができます。よく行く場所(特別メモリ)に登録すると、目的地を探す画面 (P.2-33参照) から目的地までのルートを設定することができます。



アドバイス

自宅1カ所、よく行く場所(特別メモリ)3カ所はメモリ地点登録数106カ所に含まれます。すでに106カ所登録されているときはメモリ地点を消去してから登録してください。

- (1) メモリ地点が登録されているとき、P.4-21の③の(2)の画面で、[修正] にタッチします。

- (2) 種別を変更したいメモリ地点の名称にタッチします。

- メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。

- ・ [種別順] にタッチすると、自宅、よく行く場所(特別メモリ)、メモリ地点の順に並び替わります。

- ・ [マーク順] にタッチすると記号の種類別に並び替わります。

- ・ [登録順] にタッチするとメモリ地点の登録順に並び替わります。

- (3) [自宅・特別メモリに種別変更] にタッチします。

- (4) 自宅またはよく行く場所(特別メモリ)1~3のいずれかにタッチします。

- すでに自宅またはよく行く場所(特別メモリ)が登録されているときはメッセージが表示されます。現在の登録地点を種別なしに変更して登録するときは [はい] にタッチします。現在の登録地点を種別なしに変更しないときは [いいえ] にタッチしてください。

I2 自宅やよく行く場所(特別メモリ)を解除するには

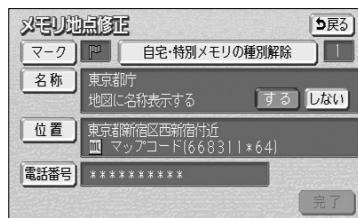
自宅やよく行く場所(特別メモリ)に登録した地点をメモリ地点に変更することができます。



(1) P.4-21の③の(2)の画面で、[修正]にタッチします。

(2) 自宅・よく行く場所(特別メモリ)を解除したい地点の名称にタッチします。

(3) [自宅・特別メモリの種別解除]にタッチします。



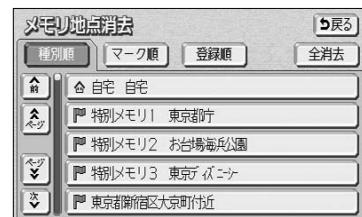
(4) [はい]にタッチします。

● [いいえ]にタッチすると(3)の画面に戻ります。



I3 メモリ地点を消去するには

登録したメモリ地点を消去することができます。



(1) メモリ地点が登録されているとき、P.4-21の③の(2)の画面でメモリ地点の[消去]にタッチします。

(2) 消去したいメモリ地点の名称にタッチします。

● メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。

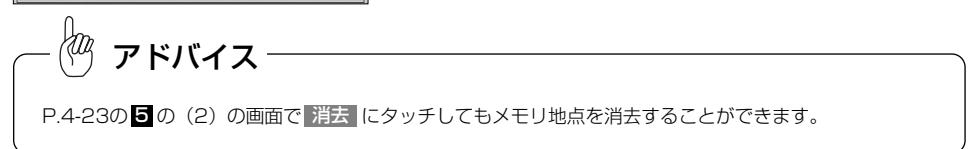
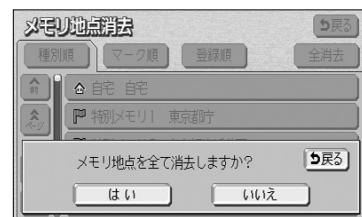
- [種別順]にタッチすると、自宅、よく行く場所(特別メモリ)、メモリ地点の順に並び替わります。

- [マーク順]にタッチすると記号の種類別に並び替わります。

- [登録順]にタッチするとメモリ地点の登録順に並び替わります。

● 全てのメモリ地点を消去するには[全消去]にタッチします。

(3) [はい]にタッチするとメモリ地点が消去されます。
[いいえ]にタッチすると、メモリ地点の消去を中止して(2)の画面に戻ります。
(消去したものはもとに戻すことはできません。)

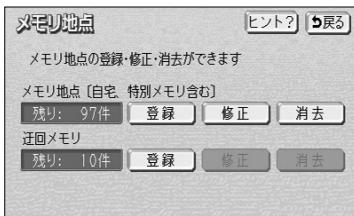


迂回メモリ地点を登録・修正・消去するには

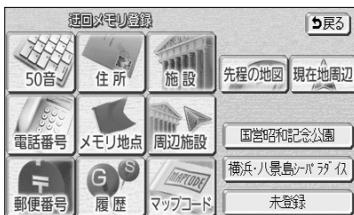
目的地までのルートで、迂回したい地点およびエリアを登録することができます。迂回メモリを登録しておくと、登録した地点またはエリアを回避するルートを探索することができます。また、登録した迂回メモリは位置修正したり消去することができます。

1 迂回メモリを登録するには

- (1) 設定画面 (P.2-9参照) で [メモリ地点] にタッチします。



- (2) 迂回メモリの [登録] にタッチします。



- (3) 地図の呼び出し方を選択します。

● 50音	P.3-26
● 住所	P.3-35
● 施設	P.3-30
● 電話番号	P.3-32
● メモリ地点	P.3-37
● 周辺施設	P.3-40
● 郵便番号	P.3-34
● 履歴	P.3-38
● マップコード	P.3-39

※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- [先程の地図] にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- [現在地周辺] にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 登録済みのよく行く場所にタッチすると、よく行く場所周辺の地図が表示されます。



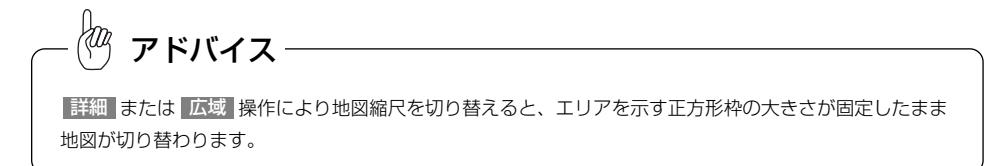
- (4) にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

- (5) スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で [セット] にタッチします。



- (6) または にタッチして、迂回メモリのエリアを選択します。

- 最下段の を選択すると、(5) で [セット] にタッチした地点が迂回メモリとして登録されます。



- (7) スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で [セット] にタッチします。

- 目的地が設定されている場合は、ルート探索を開始します。
- 登録した迂回メモリは、地図画面上に または で表示されます。

 アドバイス

- 迂回メモリは10カ所まで登録することができます。
 - 次のような場合は、迂回エリア内を通るルートが探索されることがあります。
 - ・迂回エリア内に自車または目的地（通過道路も含む）が存在する場合。
 - ・自車位置から目的地（通過道路も含む）までが一本道であるなどの理由により、迂回エリアを回避するルートが探索できない場合。
 - 迂回エリア内に存在する高速道路は、迂回する対象にはなりません。
- 高速道路を迂回するルートを探索するには、①の(6)で迂回メモリのエリアを  に設定してください。

4
設定編

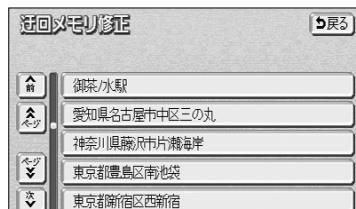
迂回メモリ地点を登録・修正・消去するには

2 迂回メモリに名称を付けるには

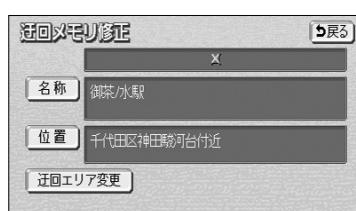
登録した迂回メモリの名称を変更することができます。

(1) 迂回メモリが登録されているとき、P.4-33の①の

(2) の画面で迂回メモリの **修正** にタッチします。



(2) 迂回メモリの名称にタッチします。



(3) **名称** にタッチします。



(4) 名称を1文字ずつタッチして入力します。

● 文字の入力方法はP.4-27～4-28を参照してください。

(5) 文字を入力したあと **完了** にタッチします。

4
設定編

迂回メモリ地点を登録・修正・消去するには

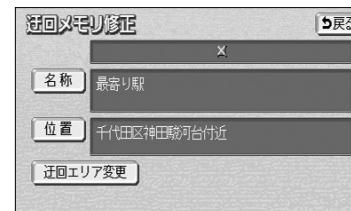
 アドバイス

迂回メモリの名称は、最大12文字（半角24文字）まで文字を入力することができます。

3 迂回メモリの位置を修正するには

登録した迂回メモリの位置を変更することができます。

(1) ②の(2)の画面で、迂回メモリの名称にタッチします。



(2) **位置** にタッチします。



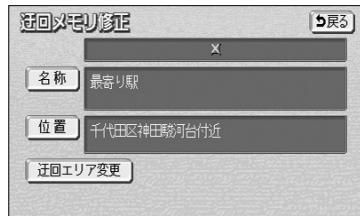
(3)  にタッチして、迂回メモリを登録する位置に地図を動かします。

(4) スケール表示が **800m** および **800m** より詳細な地図で **セット** にタッチすると、 の位置に迂回メモリが登録されます。

4迂回メモリのエリアを変更するには

登録した迂回メモリのエリアを変更することができます。

- (1) P.4-35の**2**の(2)の画面で、迂回メモリの名称にタッチします。



- (2) **迂回エリア変更**にタッチします。



- (3) ▲または▼にタッチして迂回メモリのエリアを選択します。

- 現在登録されている迂回メモリは または (範囲) で表示されます。

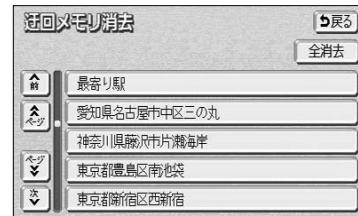
- (4) **セット**にタッチします。

- 目的地が設定されている場合は、ルート探索を開始します。

5迂回メモリを消去するには

登録した迂回メモリを消去することができます。

- (1) 迂回メモリが登録されているとき、P.4-33の**1**の(2)の画面で迂回メモリの**消去**にタッチします。



- (2) 消去したい迂回メモリにタッチします。

- 全ての迂回メモリを消去するには **全削除** にタッチします。

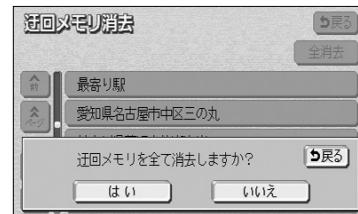


- (3) **はい**にタッチすると迂回メモリが消去されます。

- いいえ**にタッチすると、迂回メモリの消去を中止して(2)の画面に戻ります。

(消去したものはもとに戻すことはできません。)

- 目的地が設定されている場合は、ルート探索を開始します。



SD地点登録

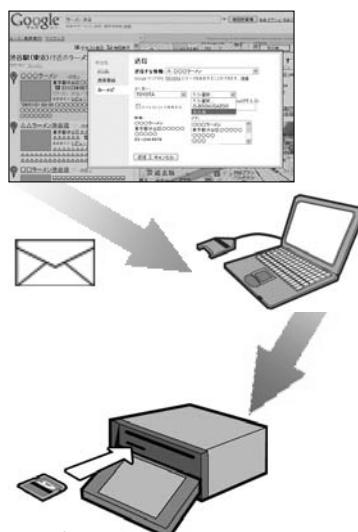
Googleマップのサイト (<http://maps.google.co.jp/maps>) で検索した地点を、SDメモリーカードを経由して本機のメモリ地点に登録することができます。



注意

動作中のメッセージが表示されている間は、エンジンまたはACCをOFFにしたりSDメモリーカードを取り出さないでください。データが破壊される場合があります。

1 操作の流れ



- ① パソコンなどからGoogleマップのサイトにアクセスして、お店やサービスを検索します。
- ② 検索した地点の情報を、Googleマップのサイトからご自分のメールアドレスに送信します。
※Googleマップのサイトで送信画面が表示されたら、下記の項目を選択してください。
送信先：「カーナビ」
メーカー：「TOYOTA」
対応ナビ：「その他」
- ③ メールに添付されたGoogleマップの地点ファイル(google.poi)を、市販のSDメモリーカードのルートディレクトリに書き込みます。
- ④ SDメモリーカードを本機に差し込んで、メモリ地点に登録します。



アドバイス

- SDメモリーカードに対応していない携帯電話などのメールアドレスに送信しても使用できません。メールの添付ファイルをSDメモリーカードに書き込める環境に送信してください。
- 地図SDメモリーカードにGoogleマップの地点ファイルを書き込まないでください。地図SDメモリーカードに地点ファイルを書くんでも使用できません。
- 使用できるSDメモリーカードについては、P.1-23を参照してください。
- Googleマップの地点ファイルは、SDメモリーカードに新たにフォルダを作成しないで書き込んでください。
- SDメモリーカードから一度に読み込むことができるGoogleマップの地点ファイル数は、最大30ファイルです。SDメモリーカードに地点ファイル以外のファイルがある場合は、すべての地点ファイルを読み込まない場合があります。

Googleマップは下記の日本語サイトを使用してください。

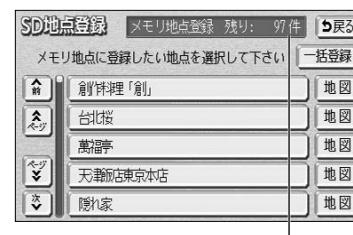
<http://maps.google.co.jp/maps>

GoogleマップはGoogle Inc.の登録商標です。

2 地点ファイルを一括でメモリ地点に登録するには

SDメモリーカードに書き込まれたGoogleマップの地点ファイルを、まとめてメモリ地点に登録することができます。

- (1) Googleマップの地点のファイル(google.poi)が書き込まれたSDメモリーカードを、本体の差し込み口に差し込みます。(P.1-21参照)
- (2) 設定画面(P.2-9参照)で **SD地点登録** にタッチします。



メモリ地点の登録可能件数

● SD地点登録画面が表示されます。

- (3) **一括登録** にタッチすると、SD地点登録画面のリストに表示されたすべての地点がメモリ地点に登録されます。

● 一度に登録できる地点は最大30件です。
続けて他の地点を登録する場合は、SDメモリーカードから登録済みの地点ファイルを削除して、新たに登録したい地点ファイルを書き込み(1)～(3)の操作を繰り返してください。



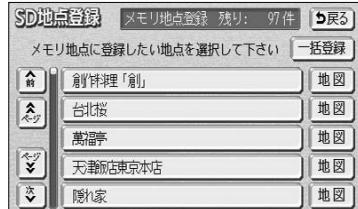
アドバイス

- Googleマップの地点ファイルの拡張子(.poi)は変更しないでください。
- Googleマップの日本語サイト以外から取得した地点ファイルは、本機で正しく動作する保証はいたしません。
- 地図の収録範囲外の地点ファイルをSDメモリーカードに書き込んでも、本機に読み込むことはできません。
- 地点名称がない場合はリストに地点ファイルの名称（「GOOGLE.poi」であれば「GOOGLE」）が表示されます。地点ファイルの名称を変更する場合は、リストに表示可能な文字数（全角19文字）以内にすることをおすすめします。また、ファイルの名称は、文字によって正しく表示されない場合があります。
- SDメモリーカードは本体の差し込み口に差し込んでください。ディスプレイ部の差し込み口に差し込んで使用できません。(P.1-21参照)
- 一度メモリ地点に登録した地点を再びメモリ地点に登録した場合は、別のメモリ地点として登録されます。
- 本機に登録可能なメモリ地点数は、最大106件です。
- リストに表示された地点がメモリ地点の登録可能件数を越えている場合は、一括で登録することができません。この場合は、本機から不要なメモリ地点を消去してください。(P.4-32参照)

メモリ地点を読み込む

3 地点ファイルを1件ずつメモリ地点に登録するには

SDメモリーカードに書き込まれたGoogleマップの地点ファイルを、1件ずつ選択してメモリ地点に登録することができます。



- (1) ②の(3)の画面で、メモリ地点に登録したい地点のリストにタッチするか、[地図]にタッチします。

- リストにタッチした場合は、施設情報画面が表示されます。
- [地図]にタッチすると、電話をかけることができます。P.13-12を参照してください。
- [地図]にタッチした場合は、地点周辺の地図が表示されます。

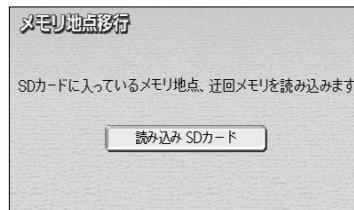
- (2) 施設情報画面、または地図画面で[地点登録]にタッチすると、選択した地点がメモリ地点に登録されます。

他のナビゲーションから保存したメモリ地点が書き込まれたSDメモリーカードの情報を本機に読み込むことができます。



注意

動作中のメッセージが表示されている間は、エンジンまたはACCをOFFにしたりSDメモリーカードを取り出さないでください。データが破壊される場合があります。



- (1) ディスプレイ部の差し込み口から地図SDメモリーカードを取り出し、他のナビゲーションから保存したメモリ地点が書き込まれたSDメモリーカードを差し込みます。(P.1-21参照)

- (2) [読み込み SDカード]にタッチします。
- (3) データを保存する際に使用したパスワード(4桁の数字)を入力し、[完了]にタッチします。
- (4) [はい]にタッチします。
- メモリ地点・迂回メモリは本機に上書き保存されます。(以前本機に登録されていたメモリ地点・迂回メモリは削除されます。)
 - 読み込んだデータにメモリ地点・迂回メモリがない場合は、「0件のメモリ地点」・「0件の迂回メモリ」として本機に上書きされます。
 - メモリ地点件数の制限や保存した機種によって、移行できないメモリ地点・迂回メモリがある場合があります。



アドバイス

- 一度メモリ地点に登録した地点を再びメモリ地点に登録した場合は、別のメモリ地点として登録されます。
- 本機に登録可能なメモリ地点数は、最大106件です。メモリ地点がすでに106件登録されている場合は、本機から不要なメモリ地点を消去してください。(P.4-32参照)

VICSを使うには

アドバイス

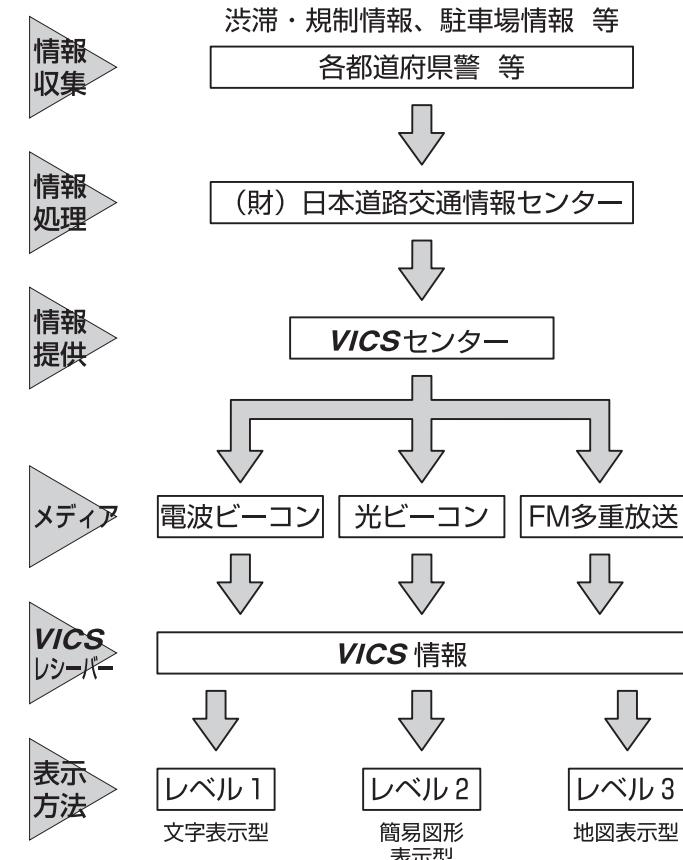
- 地図SDメモリーカードにメモリ地点のデータや迂回メモリのデータを書き込まないでください。地図SDメモリーカードにメモリ地点のデータを書き込んでも使用できません。
- 使用できるSDメモリーカードについては、P.1-23を参照してください。
- SDメモリーカードはディスプレイ部の差し込み口に差し込んでください。本体の差し込み口に差し込んで使用できません。(P.1-21参照)
- データ交換が可能なナビゲーションシステムは、2006年以降発売のトヨタ純正ナビゲーションシステムです。詳しくは、販売店にご確認ください。
- 本機にはメモリ地点・迂回メモリをSDメモリーカードに保存する機能はありません。
- Gメモリ地点は通常のメモリ地点として登録されます。URL情報などは引き継がれません。Gメモリ地点とは、G-BOOK対応ナビゲーションを使用して、G-BOOK.comコンテンツで保存した地点情報をナビゲーションのメモリ地点のように利用できるサービスです。
- 迂回メモリのエリアが3.2kmを超える場合、その迂回メモリを移行することはできません。
- メモリ地点を読み込むときは、メモリ地点を保存した際に使用したパスワードが必要になります。パスワードを忘れた場合は、販売店にお問い合わせください。
- パソコンなどでSDメモリーカードにデータを書き込むときは、SDメモリーカードにフォルダを作成しないで、メモリ地点のデータ(ファイル名: MPT.BIN)または迂回メモリのデータ(ファイル名: MAVD.BIN)を書き込みます。
- 本機に読み込み可能なメモリ地点数は、メモリ地点が最大106件、迂回メモリが最大10件です。

● VICSについて

VICS (Vehicle Information and Communication System : 道路交通情報通信システム)は、渋滞や事故、工事、所要時間、駐車場の道路交通情報をリアルタイムに送信し、カーナビゲーションなどの車載機に表示するシステムです。また道路交通情報の提供を通して、安全性の向上、交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。

本機に付与された  VICS のロゴマークは、財団法人 道路交通情報通信システムセンター (VICS センター) の登録商標です。

● VICSサービスのしくみ



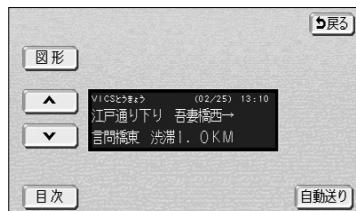
VICS リンクデータベースの著作権は、財団法人 日本デジタル道路地図協会、財団法人 日本交通管理技術協会 (TMT) が有しています。

●VICS情報の表示



注意

VICS情報は、走行中も表示されますが注視しないでください。
ハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。



文字によるVICS情報を表示します（レベル1）。



図形によるVICS情報を表示します（レベル2）。



地図上にVICS情報を重ねて表示します（レベル3）。



アドバイス

- 本機は、FM多重放送のVICS情報を受信できます。
- 電波ビーコン、光ビーコンのVICS情報は、別売の2メディア対応のVICSシステムを接続することで受信することができます。
- FM多重放送の電波の弱い地点では、VICS情報を受信するのに時間がかかる、または受信できないことがあります（P.14-4参照）。

●VICSの情報について

- ・提供されるVICS情報はあくまでも参考としてください（提供されるVICS情報は、最新ではないことがあります）。
- ・電波や光の信号がうまく受信されないときは、一部の表示が乱れことがありますが、新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。
- ・VICSの表示内容は、VICSセンターが提供していますので、本書の画面と実際の画面は異なることがあります。
- ・VICS情報が発信されている地域により、情報の内容は異なります。
- ・VICSによる交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図上への表示は、毎年、追加・更新・削除されます。削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。より正確に情報を表示するためには、最新の地図データをご使用いただく必要があります。地図データに関しては、最寄りの販売店にご相談ください。

●VICSの運用時間

- 情報提供時間
- ・FM多重：24時間（但し、第1、第3月曜日の午前1時から5時までは、保守の為に放送を休止いたします。時間につきましては、あらかじめVICS FM多重放送の「お知らせ」メニューでご案内いたします）
 - ・ビーコン：24時間
- ※運用時間は予告なく変更されることがあります。

●VICSの問い合わせ先

- ・VICSの車載機の調子、機械、使い方、その他に関するもの
 - ・VICSサービスエリアに関するもの
 - ・その他、上記に類するもの
- これらの内容のお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- ・VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関するることはVICSセンターへお問い合わせください。（但し、地図表示型の表示内容は除く）

VICSセンター（サービス・サポート・センター）

電話受付 <受付時間 9:30~17:45（土曜、日曜、祝日を除く）>

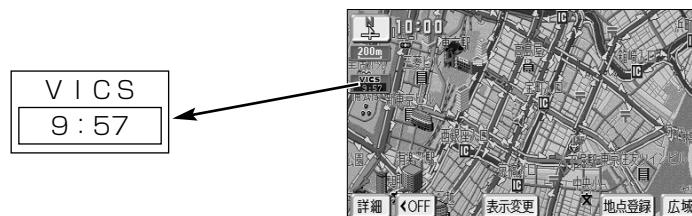
電話番号 0570-00-8831

※全国どこからでも市内通話料金でご利用になります。

※PHS、IP電話等からはご利用できません。

FAX番号 03-3592-5494

●VICSタイムスタンプ表示について



- ・VICS情報を表示するように設定してください。
(P.4-49の「VICS情報を地図に表示・消去するには」を参照してください)
- ・タイムスタンプはVICS情報を受信すると自動的に現在地画面・地図画面の左中央に情報提供時刻が表示されます。また、VICS情報が継続受信できないと約30分で自動的に消去され、表示が[---:---]になります。
- ・VICS情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が[---:---]になります。
- ・ルート上に渋滞情報が存在する場合、VICSの渋滞情報にしたがってタイムスタンプ内の時刻表示の背景色が切り替わります。手動による再探索が行われた後のルート上に、VICSの渋滞情報が存在しなくなるとタイムスタンプ内の時刻表示の背景色は無色になります。
- ・タイムスタンプ内の時刻表示の背景色とスイッチ表示については以下のとおり。
 - 赤色・・・ルート上に渋滞情報が存在することを表します。タイムスタンプはスイッチ表示となり、タッチすると渋滞情報を音声で案内します。
 - 橙色・・・ルート上に混雑情報が存在することを表します。タイムスタンプはスイッチ表示になりません。タッチすると地図が移動します。
 - 黄色・・・ルート上に規制情報が存在することを表します。タイムスタンプはスイッチ表示となり、タッチすると規制情報を音声で案内します。
- ・タイムスタンプの時刻表示は、VICS情報が提供された時刻を表しており、VICS情報を受信した時刻ではありません。
- ・本機をお買い上げ後、初めてご使用になる時や長時間バッテリーを外しておいた場合などは、「VICS情報を地図に表示・消去するには」(P.4-49)を確認して新しいVICS情報を再度受信するまでお待ちください。

●地図上に表示されるVICS情報について

1 渋滞情報

渋滞度	表示	内 容	表示縮尺
渋滞	→ 赤色	交通の流れが非常に悪い状態	25m ~800m
混雑	→ 橙色	交通の流れがやや悪い状態	
渋滞なし	→ 水色	交通の流れが良い状態	

※スケール表示が800mの地図を表示しているときは、渋滞情報は全て「—」(矢印なし)で表示します。

2 事象・規制情報

①代表的なVICSマーク

マーク	規制内容	表示縮尺
○X	通行止め・閉鎖	25m~800m
☒	入口閉鎖	25m~800m
☒	事故	25m~200m
☒	工事	25m~200m

※上記以外のVICSマークの種類については、右表を参照してください。

②規制範囲

マーク	内 容	表示縮尺
—	通行止めの区間	25m~800m

3 駐車場・PA情報

渋滞度	表示	内 容	表示縮尺
空車	P PA 青色	利用が可能な状態	25m ~800m
満車	P PA 赤色	ほぼ満車の状態	
混雑	P PA 橙色	利用率が高い状態	
不明	P PA 黒色	駐車場情報がない状態	25m ~400m
閉鎖	P PA	閉鎖されている状態	

参考：VICSマークの種類

マーク	内 容
△	故障車
!	路上障害
氷	凍結
作業	作業
大型通行止め	大型通行止め
片側交互通行	片側交互通行
チェーン規制	チェーン規制
進入禁止	進入禁止
対面交通	対面交通
車線規制	車線規制
徐行	徐行
入り口制限	入り口制限
オフランプ規制	オフランプ規制
速度規制(10km/h)	速度規制(10km/h)
イベント(行事など)	イベント(行事など)
右折禁止	右折禁止
左折禁止	左折禁止
直進禁止	直進禁止
火災	火災
雨	雨
雪	雪
駐車場	駐車場
パーキングエリア	パーキングエリア
注意	注意

1 VICS情報を地図に表示・消去するには

表示している地図に渋滞情報や規制情報を表示・消去することができます。



(1) 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

(2) **VICS** にタッチします。



(3) **VICS** 情報を表示させたい道路のタッチスイッチにタッチします。

- **一般道のみ** にタッチすると、一般道路に関する **VICS** 情報のみを表示します。
- **高速道のみ** にタッチすると、高速道路に関する **VICS** 情報のみを表示します。
- **全て** にタッチすると、一般道路と高速道路に関する **VICS** 情報を表示します。
- 初期設定では、**全て** が強調表示されています。
- 渋滞情報、規制情報、駐車場情報のマークが表示されます。(P.4-48を参照してください)
- **VICS** 情報が画面に表示されているときは、その **VICS** 情報が提供された時間を示すタイムスタンプが表示されます。



アドバイス

VICS 情報は 800m よりも広域な地図には表示されません。



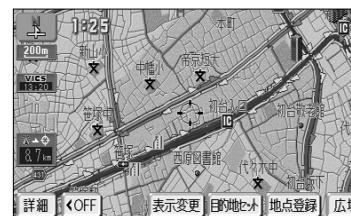
(4) **VICS** 情報を消去する場合は **非表示** にタッチします。



- 「**VICS** の情報を消去します」のメッセージが表示され渋滞情報、規制情報、駐車場情報のマークが消去されます。

2 VICS情報の詳細情報を表示するには

地図上に表示されている **VICS** マークの詳細情報を確認することができます。



(1) **VICS** 情報が表示されている現在地画面(P.2-14参照)または地図画面(P.2-16参照)で、**VICS** マークにタッチします。



- 規制情報、駐車場マークの詳細情報が表示されます。

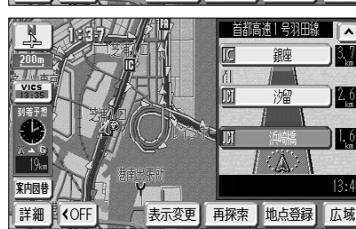


アドバイス

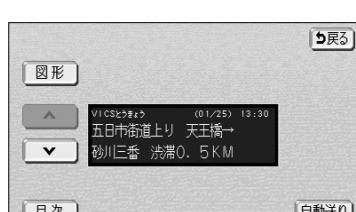
- 詳細情報は一定時間後、自動的に消去されます。
- 施設マークが表示されている場合、施設の詳細情報も表示されます。
- 駐車場情報は一部のエリアでしか提供されていません。

3 高速略図画面にVICS情報を表示するには

高速略図画面に渋滞情報や規制情報を表示することができます。



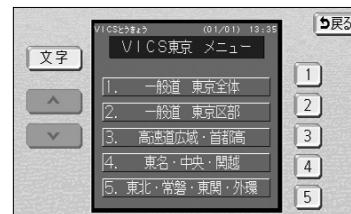
4 VICS文字情報を表示するには



- 高速略図画面表示中(P.2-27参照)にP.4-49の①の(3)の画面で、VICS情報を表示させたい道路にタッチします。

- 高速略図画面には、どの道路にタッチしても高速道路のVICS情報が表示されます。
- 渋滞情報、規制情報マークが表示されます。
(P.4-48を参照してください)

5 VICS图形情報を表示するには



- 設定画面 (P.2-9参照) で **VICS** にタッチします。

- FM图形** にタッチして、图形情報メニュー画面を表示させます。

- 表示させたい内容の番号にタッチすると選択した番号の图形情報が表示されます。

- 图形情報を複数ページ受信したときは、**▲**・**▼**にタッチすることでページを送ることができます。

- 自動送り** にタッチすると一定時間表示後、自動的に次のページを表示します。

- 目次** を押すと图形情報メニュー画面を表示します。



- アドバイス**
- 走行中に自動送りを行うことはできません。
 - 文字** にタッチすると文字情報メニュー画面が表示されます。



注意
VICS文字・图形情報は、走行中も表示されますが注視しないでください。
ハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

6 割込情報（緊急情報）受信したときには



- 割込情報を受信するとビープ音が鳴り、直ちに画面が表示されます。

- 表示消** にタッチするとメッセージは消去されます。

- 文字** または **图形** にタッチすると、文字情報または图形情報に表示を切り替えます。

アドバイス

割込情報を複数ページ受信したときは、▲・▼にタッチするとページを変えることができます。

7 割込情報（緊急情報）を再表示するには



- (1) P.4-51の④の(2)の画面で「割込情報」にタッチします。
- ⑥で受信した割込情報が再表示されます。

アドバイス

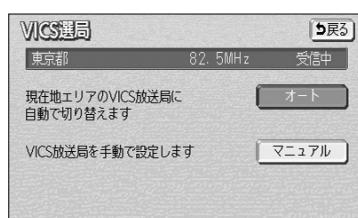
- 割込情報が複数ページあるときは、▲・▼にタッチするとページを変えることができます。
- 再表示させた場合の割込情報画面には「表示消」スイッチは表示されません。

8 自動選局するには

現在地がある都道府県の放送局が受信され、現在地を移動させると自動的に放送局が切り替わります。



- (1) P.4-51の④の(2)の画面で「VICS選局」にタッチします。



- (2) 「オート」にタッチします。
- 初期設定は、オート（自動選局）に設定されています。

9 エリア選択で選局するには

選択した都道府県の放送局が受信されます。受信状態が変わると、選択した都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。



- (1) P.4-51の④の(2)の画面で「VICS選局」にタッチします。

- (2) 「マニュアル」にタッチします。



- 選局できる放送局エリアがリスト表示されます。

- (3) 受信したい放送局のあるエリアにタッチします。
- ▲・▼にタッチして希望する放送局エリアを選択します。

10 周波数を指定して選局するには

選択した周波数の放送局が受信されます。受信状態が変わっても放送局は切り替わりません。



- (1) P.4-51の④の(2)の画面で「VICS選局」にタッチします。

- (2) 「マニュアル」にタッチします。



- (3) ▼ TUNE・▲ TUNEにタッチして希望する周波数を指定します。

II 地図に表示するVICS情報を設定するには



- (1) P.4-49の①の(3)の画面で「表示設定」にタッチします。
- (2) それぞれの項目に対してタッチします。
 - タッチすると作動表示灯が点灯し（黄色）、表示設定ONになります。
 - 初期設定では、駐車場の表示設定のみOFFになっています。
 - それぞれの情報については、P.4-48を参照してください。
- (3) 「完了」にタッチします。

●VICS情報表示中の道路色について（VICS対象道表示）

VICSレベル3情報表示中に、VICS表示対象道路と非対象道路を色分けして表示する（VICS対象道表示「ON」）か、VICS情報非表示時と同様に、道路の種類（国道、高速道路、主要地方道、一般都道府県道など）で色分けして表示する（VICS対象道表示「OFF」）かを設定できます。



アドバイス

- VICS対象道表示「ON」時は、VICS情報表示時、地図上の高速道路は紫色、VICS情報提供対象道路は緑色、それ以外の道路は灰色で表示されています。
- VICS対象道表示「OFF」時は、地図カスタマイズ（P.4-7参照）で設定した地図色によって、道路の種類で色分けして表示しない場合があります。

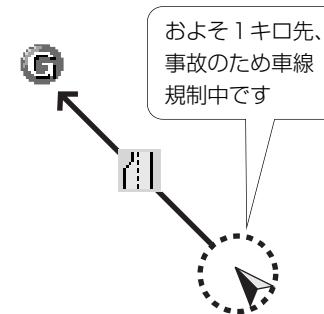
12 VICS情報の音声案内をもう一度聞きたいときは

案内ルート上に渋滞や規制が発生したときに発声されるVICS情報の音声案内を再び聞くことができます。



- (1) VICS情報を表示しているときに、タイムスタンプ（P.4-47参照）にタッチします。

- VICS情報の音声案内が発声されます。



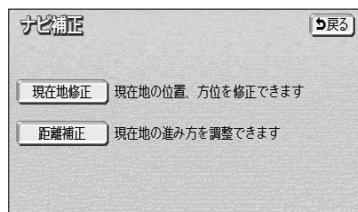
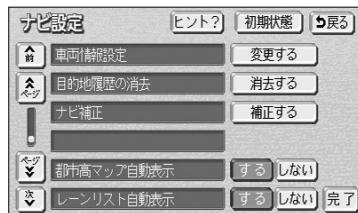
アドバイス

- 案内ルート上に渋滞・規制が発生したときに、発生したVICS情報を自動で音声案内することができます（P.4-1参照）。
- VICS情報の音声案内は、VICS情報が消去されているときは案内されません。
- 案内される情報は、自車前方およそ10kmまでの情報です。
- VICSの表示設定（P.4-49）が高速道のみに設定されていても、一般道の情報も音声案内されます。（一般道のみに設定されているときも高速道の情報が音声案内されます）

補正機能

1 現在地を修正するには

地図上の自車表示位置や方位と実際の自車位置がズレているとき、このズレを修正することができます。

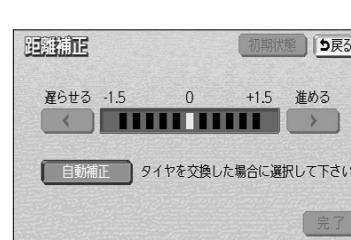


アドバイス

GPS電波を受信すると修正された位置、方位とは関係なく、正しい位置および方位に修正されます。

2 タイヤを交換したときには

タイヤを交換した際などには自車位置の表示がズレる場合があります。また、地図上の自車位置と実際の現在地がズレているとき、このズレを自動補正し、精度よくお使いいただくことができます。



(1) 1の(3)の画面で **距離補正** にタッチします。

(2) **自動補正** にタッチします。

- 自動補正のときは、タッチスイッチが強調表示されます。

3 自車マークの進み方と実際の進み方がズレているときには

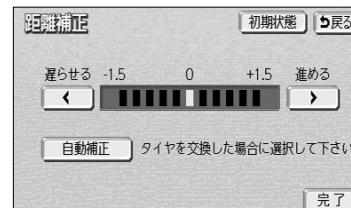
走行中、地図上の自車マークの進み方と実際の進み方がズレているときにこのズレを手動で調節することができます。

(1) 1の(3)の画面で **距離補正** にタッチします。

(2) 地図上の自車マークが実際の進み方よりも進みすぎのときは **◀** にタッチし、遅れすぎのときは **▶** にタッチして調節します。

(3) **完了** にタッチします。

- **初期状態** にタッチすると初期設定の状態に戻ります。



アドバイス

- GPS電波を良好に受信している場合には、常に最適化するように距離補正係数を自動的に修正していますので、距離補正係数の調節は不要です。人工衛星の保守・点検などの影響で、GPS電波の受信が良好でない場合などにお使いください。
- GPS電波を受信すると自動的に距離補正係数を修正します。
- 2で **自動補正** にタッチしたあとは、しばらくの間 **◀** ・ **▶** を操作することはできません。

地図SDメモリーカードについて

メモ

本機には地図SDメモリーカードが付属しています。地図SDメモリーカードには、起動時に必要なプログラムおよび地図データなどが格納されています。

通常は、地図SDメモリーカードをディスプレイ部に挿入した状態でご使用ください。
(P.1-21参照)

また、地図SDメモリーカードの内部データを編集したり、誤って消去しないように注意してください。データを編集したり、誤って消去すると、ナビゲーションの機能が使用できなくなったり、本機が起動できなくなることがあります。

万一、付属の地図SDメモリーカードを破損・紛失した場合は、購入販売店にご相談ください。



アドバイス

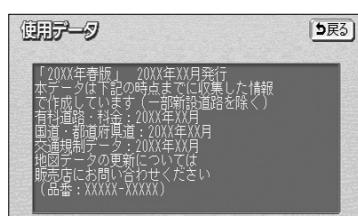
- 付属の地図SDメモリーカードの内部データを別のSDメモリーカードにコピーしても使用できませんので、紛失・破損には十分注意してください。
- データを誤って消去しないために、地図SDメモリーカードの誤消去防止レバーは「LOCK」の位置にしてご使用ください。

ご使用の地図SDメモリーカードの情報を確認することができます。

1 使用地図SDメモリーカードの情報を確認するには



- (1) 設定画面 (P.2-9参照) を表示します。
- (2) **使用データ**にタッチします。



- ご利用になられている地図SDメモリーカード情報（地図SDメモリーカードのバージョンなど）の画面が表示されます。



アドバイス

地図SDメモリーカードの作成時期・種類などによって表示内容が異なります。

情報画面について

情報画面に表示される操作の一覧を紹介します。



- (1) ナビメニュー (P.2-8参照) で **情報** にタッチします。



- (2) **次ページ**、**前ページ**にタッチしてページを切り替えます。



- (3) 操作したい機能のタッチスイッチにタッチします。

●情報画面から下記の操作を行うことができます。

項目(タッチスイッチ)	機能	ページ
デモ	本機の特徴と機能の操作方法を紹介	5-16
設定	画面切り替え時の動画表現の設定、画面の表示設定、セキュリティ機能の設定	1-32 1-34
FM多重	FM多重放送の表示	5-2
メンテナンス	消耗部品のメンテナンス案内時期設定・更新、販売店の設定	5-6
TEL	電話帳の表示	5-17
	ハンズフリー画面の表示	13-1
カレンダー	カレンダーの表示	5-18
ETC ^{※1}	ETCの設定	6-3
バックガイドモニター ^{※1}	バックガイドモニターの設定	6-43
カメラ表示優先設定 ^{※2}	ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムの優先設定	6-60

※1 機器が接続されていない場合は、項目が表示されません。

※2 ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムの両方が接続されていない場合は、項目が表示されません。

FM多重放送を見るには

■ FM多重放送の番組について

FM多重放送は1つの放送局から同時に複数の番組が放送されています。番組は連動情報番組と独立情報番組に区別され、それぞれの番組は表示の切り替え方が異なります。

●連動情報番組

FM音声放送と連動した番組です。放送中の曲名やリクエストの受け付け番号などの音声放送に合わせた内容で放送される番組です。

●独立情報番組

FM音声放送とは関連のないニュースや天気予報などの独立した内容で放送される番組です。

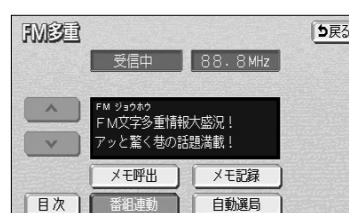
1 FM多重放送を表示するには



- (1) ナビメニュー (P.2-8参照) で **情報** にタッチして、情報画面を表示します。



- (2) **FM多重** にタッチします。



● FM多重画面が表示されます。

● 走行中に表示できない情報があり、放送局によって異なります。

アドバイス

- FM多重放送を表示中にFM多重放送の緊急情報を受信したときは、自動的に緊急情報に番組が切り替わります。
- FM多重放送を表示中のFM音声は、受信している放送局の番組の音声になります。
- オーディオ機能の電源がOFFのとき、またはAM放送（交通情報を含む）を受信しているときやFM多重放送の電波が遮断されたり、受信できないときは、FM多重放送を表示させることはできません。

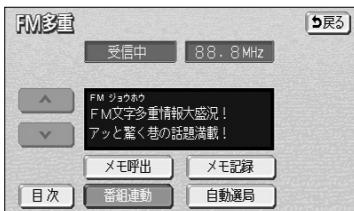
2 放送局を切り替えるには



(1) **自動選局**にタッチします。

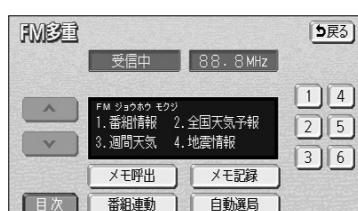
- FM音声を聞いているときは、**◀▶**の左または右を押しても選局できます。

3 番組を切り替えるには



(1) **目次**にタッチします。

- **番組運動**にタッチすると、連動情報番組に切り替わります。（連動情報番組を表示中はタッチスイッチが強調表示されます）



(2) 表示させたい番組の番号にタッチします。

アドバイス

▲ **▼**が表示されたときは **▲** **▼**にタッチしてページを送ることができます。

4 独立情報番組のページ送りのしかた

連動情報番組の文字情報のページは情報が受信されるたびに切り替わりますが、ニュース・天気予報など1回の受信で何ページにもわたる情報（**▲**・**▼**が表示されます）が送られる独立情報番組はページを送ってご覧ください。



(1) **▲**または**▼**にタッチするか、**自動送り**にタッチします。

● **▲**または**▼**にタッチすると、文字情報のページを1ページずつ送ることができます。

● **自動送り**にタッチすると（タッチスイッチが**停止**に切り替わります）、文字情報が自動（約9秒おき）で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページに戻ります。

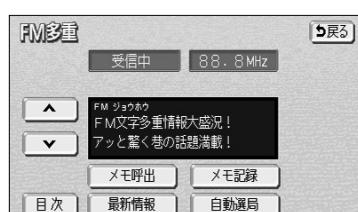
● 文字情報の自動送りを中止するときは、**停止**にタッチします（タッチスイッチが**自動送り**に切り替わります）。また、自動送り中に**▲**または**▼**をタッチして文字情報を送ったときも、自動送りは中止されます。

アドバイス

緊急情報を受信しているときは自動送りはできません。

5 連動情報番組の文字情報を繰り返し見るには

連動情報番組の文字情報のページは情報が受信されるたびに自動的に切り替わります。情報を見逃したときやもう一度みたいときは**▲**にタッチすると過去に受信した情報を見ることができます。



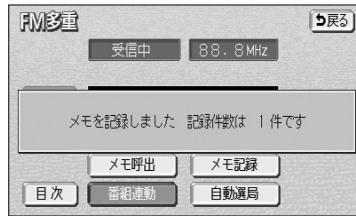
(1) **▲**または**▼**にタッチして見たい文字情報をさがします。

● 文字情報の自動切り替えが中止され**最新情報**が表示されます。

● 最新的文字情報に戻すには、**最新情報**にタッチすると、もとの状態（文字情報が受信されるたびに自動的に切り替わる）になります。

メンテナンスを使うには

6 文字情報の記録のしかた



- (1) 記録したい文字情報を表示させ、**メモ記録**にタッチします。

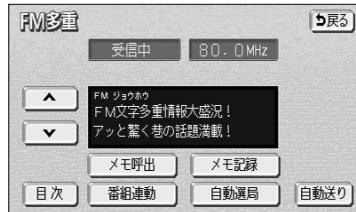
- 記録できる項目は最大20件です。



アドバイス

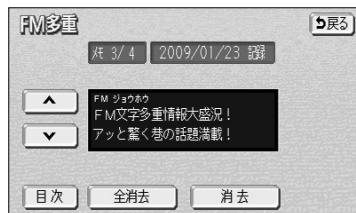
- 記録する内容によっては、20件記録できない場合があります。
- バッテリーやヒューズの交換などで、ナビゲーションとバッテリーの接続が断たれたときは、記録されていた文字情報はすべて消去されます。

7 記録した文字情報の呼び出し・消去



- (1) **メモ呼出**にタッチします。

- 記録されている文字情報が新しいものから表示されます。



- (2) ▲または▼にタッチすると記録した文字情報のページを送ることができます。

- **目次**にタッチするとP.5-3の(3)の(2)の画面を表示します。

- (3) **消去**にタッチすると、呼びだした文字情報を消去することができます。

- すべての文字情報を消去するときは、**全消去**にタッチします。

- (4) 消去するときは**はい**にタッチします。

- 消去を中止するときは、**いいえ**にタッチします。

車の消耗部品（エンジンオイル、タイヤなど）の交換時期や各種点検時期などのイベント時期を案内することができます。

1 メンテナンス時期を設定するには

情報画面（P.5-1参照）で**メンテナンス**にタッチするとメンテナンスマニュー画面が表示されます。



- (1) メンテナンスマニュー画面で、設定する項目にタッチします。

- (パーソナル項目未設定)にタッチすると、表示されている項目以外の項目を設定することができます。

- (パーソナル項目未設定)以外にタッチしたときは、(3)の画面が表示されます。

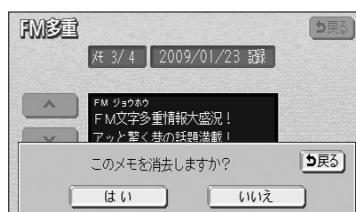
- 設定済の項目にタッチすると、設定内容を修正することができます。

- (2) (パーソナル項目未設定)にタッチすると、メンテナンス案内（P.5-9の(3)参照）が行われるときに表示される名称やマークの設定を行うことができます。

P.5-8の(2)を参照してください。

- (3) **お知らせ日**または**お知らせ距離**にタッチします。

- 日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定します。



お知らせ日 2012年1月1日 [修正]

1	2	3
4	5	6
7	8	9
0	完了	

- (4) 日付および距離を1文字ずつタッチして入力します。
 - [修正]にタッチすると、1つずつ消去されます。
 - [年]・[月]・[日]にタッチすると入力した文字を確定します。
- (5) [完了]にタッチします。

お知らせ距離 3000km [修正]

1	2	3
4	5	6
7	8	9
0	完了	

アドバイス

メンテナンス時期を設定しても、メンテナンス案内の自動通知設定を「する」にしないとメンテナンス案内は行われません (P.5-9の③参照)。

お知らせ日 2012年1月1日
お知らせ距離 3000km
あと 3000km
設定消去 設定完了

- (6) 入力が完了したら [設定完了] にタッチします。
 - 複数のメンテナンス項目を設定するときは、P.5-6～P.5-7の①～(6)を繰り返します。

2 パーソナル項目を設定するには

パーソナル項目 (マーク) に、お好きな名称やマークを設定することができます。パーソナル項目を設定しておくと、メンテナンス案内が行われるときに設定した名称やマークが表示されます。

マーク変更 [戻る]

車	車	車	車	車
工具	工具	工具	工具	工具

- (1) P.5-6の①の(1)の画面で [マーク] (パーソナル項目)にタッチします。

- (2) メンテナンス案内 (P.5-9の③参照) が行われるときに表示したいマークにタッチします。

名前変更 [戻る]
マーク [タイヤ]

カタカナ	英数字	記号
かな	英数字	記号
半角	完了	

- (3) 名称を1文字ずつタッチして入力します。
 - 文字の入力方法は、P.4-27～4-28を参照してください。

- (4) [完了]にタッチします。

タイヤ [戻る]
お知らせ日 2012年1月1日 [修正]

1	2	3
4	5	6
7	8	9
0	完了	

- (5) お知らせ日、またはお知らせ距離をP.5-6～P.5-7の(3)～(5)にしたがって設定します。

タイヤ [修正] [戻る]
マーク
お知らせ日 2012年1月1日
お知らせ距離 100km
あと 100km
設定消去 設定完了

- (6) 入力が完了したら [設定完了] にタッチします。



アドバイス

- [修正]にタッチすると、名称を変更することができます。
(3)、(4)の操作を行ってください。
- [マーク]にタッチすると、マークを変更することができます。
(2)の操作を行ってください。

3 メンテナンス案内を設定するには

案内の自動通知設定を「する」にすると、時期を設定した項目の案内が行われます。



- メンテナンスマニュー画面(P.5-6 参照)で、「する」にタッチします。
- 案内の自動通知設定を解除する場合は、「しない」にタッチします。
- 初期設定は「する」に設定されています。

アドバイス

- すでに設定されている項目は「緑色」、案内時期を過ぎている項目は「オレンジ色」で表示されます。
- 車の使用状況などにより、設定した時期と実際の案内が行われる時期に誤差が生じことがあります。
また、計測された走行距離と実際の走行距離に誤差が生じことがあります。

4 メンテナンス案内を表示するには

エンジンスイッチをONにし、ナビゲーションが立ち上がったあとに同時に4つまで表示されます。

メンテナンスお知らせ案内



- 5つ以上の項目の案内があるときは、「その他」(その他)が表示されます。

アドバイス

P.5-8の②の(3)で設定した名称は案内画面の中央部に表示されます。

- 「次回表示しない」にタッチすると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときに案内が表示されません。

5 メンテナンス設定を消去するには



- (1) メンテナンスマニュー画面(P.5-6 参照)で、設定を消去する項目にタッチします。
- 「設定全消去」にタッチすると、すべての設定を解除します。



- (2) 「設定消去」にタッチします。



- (3) 「はい」にタッチすると設定が消去されます。
- 消去を中止するときは「いいえ」にタッチします。

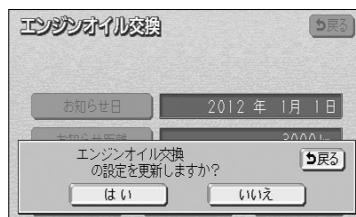
6 メンテナンス設定を更新するには



- (1) メンテナンスマニュー画面(P.5-6参照)で、案内時期を過ぎている項目にタッチします。
● 案内時期を過ぎているすべての項目を更新するときは、**自動全更新**にタッチします。



- (2) **自動更新**にタッチします。



- (3) **はい**にタッチすると前回設定された日付けや距離が更新され、新しい日付・距離に変更されます。
● 更新を中止するときは**いいえ**にタッチします。

アドバイス

- 新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日・現在の日・案内する予定だった日から自動的に計算され変更されます。(項目により、計算方法は異なります)
- 案内時期を過ぎている項目がないときは、**自動全更新**は表示されません。

メンテナンスマーク一覧

	エンジンオイル交換		ブレーキパッド交換
	オイルフィルタ交換		Vベルト交換
	タイヤローテイション (タイヤ位置交換)		冷却水(LLC)交換
	タイヤ交換		ブレーキフルード交換
	エアクリーナー交換		ATF(オートマチックトランスミッションフルード)交換

パーソナルマーク一覧

その他のマーク

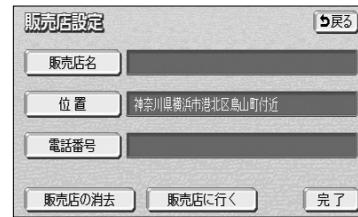
	案内項目が5つ以上の場合
--	--------------

7 利用する販売店を設定するには

メンテナンス機能でご利用される販売店を設定できます。



- (1) メンテナンスメニュー画面(P.5-6参照)で
販売店設定にタッチします。



- (5) 販売店名を入力する場合は **販売店名** にタッチします。
入力後、**完了** にタッチします。

- 文字の入力方法については、P.4-27～4-28を参考してください。



- (2) 地図の呼び出し方を選択します。

- **50音** P.3-26
 - **住所** P.3-35
 - **施設** P.3-30
 - **電話番号** P.3-32
 - **メモリ地点** P.3-37
 - **周辺施設** P.3-40
 - **郵便番号** P.3-34
 - **履歴** P.3-38
 - **マップコード** P.3-39

※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- 先程の地図 にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
 - 現在地周辺 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
 - 登録済みのよく行く場所にタッチすると、よく行く場所周辺の地図が表示されます。



- (7) 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
 - 修正するときは [修正] にタッチすると 1 番号ずつ消去されます。



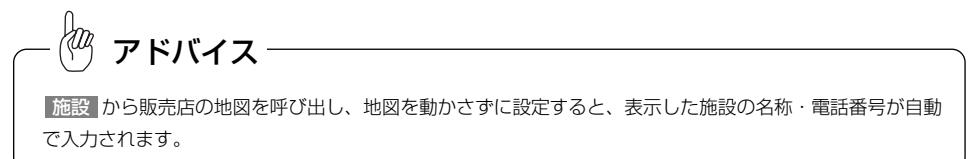
- (9) **販売店に行く**にタッチすると、そのまま目的地を販売店に設定することができます。

- すでに目的地が設定されている場合は、**新規目的地**にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定することができます。P.2-34を参照してください。

- **追加目的地** にタッチすると、現在設定されている目的地に追加して設定することができます。
P.3-4を参照してください。



- (3) にタッチすると、地図が移動しての位置を変更することができます。
 - (4) スケール表示が800mおよび800mより詳細な地図でにタッチします。



操作説明デモを行うには

8 利用する販売店を修正・消去するには



- (1) 販売店設定後、メンテナンスマニュー画面(P.5-6参照)で **販売店設定** にタッチします。



- (2) 修正したい項目の横にあるスイッチにタッチします。

- 販売店名を修正する場合は **販売店名** にタッチします。

P.5-14の⑦の(5)の操作を行ってください。

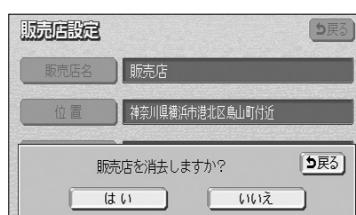
- 販売店の位置を修正する場合は、**位置** にタッチします。P.5-13の⑦の(3)～(4)の操作を行ってください。

- 電話番号を修正する場合は、**電話番号** にタッチします。P.5-14の⑦の(7)～(8)の操作を行ってください。

- (3) 販売店を消去するときは **販売店の消去** にタッチします。

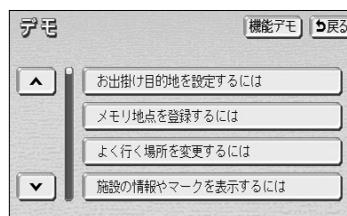
- (4) **はい** にタッチすると販売店が消去されます。

- 消去を中止するときは **いいえ** にタッチします。



本機の主な機能の概要説明や、各機能の操作方法を画面と音声でわかりやすくデモを行います。

※本機能は年度更新の地図SDメモリーカードには対応していません。本体購入時に付属されていた地図SDメモリーカードをご使用ください。



- (1) 情報画面 (P.5-1参照) で **デモ** にタッチします。

- (2) デモを行いたい項目 (機能) にタッチします。

- 本機の主な機能の概要説明デモを行うには **機能デモ** にタッチします。



- (3) デモ開始の画面が表示され、デモを開始します。

- デモ中は画面上に **案内中** マークが表示されます。

- デモが終了すると、(2) のリスト画面を表示します。ただし、本機の主な機能の概要説明デモは、終了せずにデモを最初から繰り返します。



- (4) デモを途中で終了させるには、**Ⓐ** を押します。

- **MENU** でも、デモを終了します。



- デモは停車中のみご使用になります。デモ中に走行を開始した場合は、デモを終了します。
- デモ中は、画面に表示されているスイッチにタッチすることはできません。

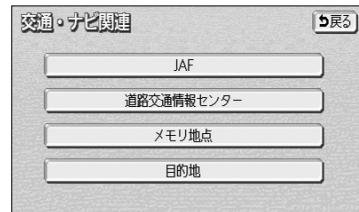
電話帳を見るには

J A F や道路交通情報センターなどの電話番号を表示させることができます。また、設定・登録した地点に電話番号が登録されていれば、メモリ地点、目的地の電話番号を表示することができます。



(1) 情報画面 (P.5-1 参照) で **TEL** にタッチします。

(2) **交通・ナビ** にタッチします。



(3) 見たい項目にタッチします。

- **目的地** にタッチすると目的地の名称と電話番号が表示されます。(複数の目的地が設定されているときは設定されている目的地がリスト表示されます。この場合、見たい目的地にタッチすると目的地の名称と電話番号が表示されます)



(4) 見たい施設の所在する都道府県にタッチします。



(5) 見たい施設名称にタッチすると、施設の名称と電話番号が表示されます。



アドバイス

- メモリ地点に登録された電話番号に “-” (ハイフン) は表示されません。
- 目的地、メモリ地点の電話番号は、9桁以上の電話番号が存在する場合にのみ表示されます。
- **電話** にタッチすると電話をかけることができます。
(P.13-12 参照)

カレンダーを見るには

カレンダーを表示することができます。



(1) 情報画面 (P.5-1 参照) を表示します。

(2) **カレンダー** にタッチします。



● 現在の日付のカレンダー画面が表示されます。

- **▲月**・**▼月** または **▲年**・**▼年** にタッチすると、過去の年月、未来の年月を表示することができます。過去の年月、未来の年月を表示したときは **今月** にタッチして現在月を表示することができます。

VICSを機能アップするには

別売の2メディア対応のトヨタ純正VICSシステムを接続すると、光・電波ビーコンからの割込情報を受信したり、渋滞を回避するルート探索を行うことができます。

1 割込情報を受信したときには



- (1) 割込情報を受信するとピッ音が鳴り、直ちに画面に表示されます。
- **表示消**にタッチすると割込情報が消去されます。



アドバイス

- メッセージ表示後、一定時間経過すると自動的に消去されます。
- 割込情報を複数ページ受信したときは、▲・▼にタッチするとページを変えることができます。
- **图形**にタッチすると图形情報画面が表示されます。
- **文字**にタッチすると文字情報画面が表示されます。

2 割込情報を再表示するには



- (1) P.4-51の(4)の(2)の画面で**割込情報**にタッチします。
- 1で受信した割込情報が再表示されます。



アドバイス

- 再表示された情報は自動的には解除されません。
- 割込情報が複数ページあるときは、▲・▼にタッチするとページを変えることができます。
- 再表示させた場合の割込情報画面には**表示消**は表示されません。

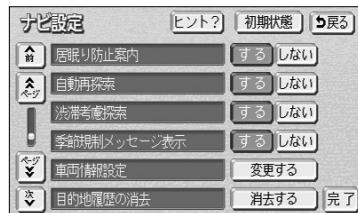
3 表示する割込情報を設定するには



- (1) 設定画面(P.2-9参照)で**VICS**にタッチします。
- (2) **割込設定**にタッチします。
- (3) 割込情報の設定を行います。
 - 各項目の**する**、または**しない**にタッチします。
 - 初期設定は、すべての項目が「する」に設定されています。
 - 自動で割り込んだ情報の表示時間を設定する場合は、◀、または▶にタッチします。
 - 初期設定は、15秒に設定されています。
- (4) 設定がよければ**完了**にタッチします。

4 VICS情報を考慮した経路探索をするには

渋滞を回避するルート探索を行うことができます。



- (1) ナビ設定で「渋滞考慮探索」(P.4-1参照)を「する」に設定します。
- 初期設定は、「する」に設定されています。
- **VICS**の渋滞を考慮した探索を行わない場合は、**しない**にタッチします。



アドバイス

- 手動で再探索を行う場合でも、渋滞を考慮した探索を行います。
- 通行止め規制やランプ閉鎖などの規制が案内ルート上に発生した場合は、上記の設定に関係なく、規制回避するルートを自動的に再探索します。

ETCシステムの操作

1 ETCシステムの概要

ETC (Electronic Toll Collection) システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。本機能は別売のナビ対応のトヨタ純正 ETCユニットを接続した場合に表示・操作できます。詳しくは ETCユニットの取扱書をご覧ください。

- ・ ETCユニット ETCカードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器です。
- ・ ETCカード ICチップを搭載した、ETCユニット用カードのことです。ETCカードでは、このICチップに料金精算に必要なデータが保持されています。
- ・ 車線表示板 料金所のETC車線に必要に応じて設定されています。料金所の車線運行状況(ETC車線・混在車線・一般車線の区別)が表示されます。
- ・ 発進制御装置(ゲート) 料金精算を確実にするために、料金所のETC車線に必要に応じて設置されています。通過車両の発進を制御するもので、踏み切りの遮断機のようなものです。通信が正常に行われると開きます。
- ・ 路側表示器 料金所のETC車線に設置されています。進入車両に対し、適切に通行したかどうかなどのメッセージが表示されます。
- ・ 路側無線装置 料金所のETC車線に設置されています。料金精算のため、ETCユニットとの通信を行うためのアンテナです。

●情報画面(P.5-1参照)で、[ETC]にタッチすると、ETCメニュー画面になります。



① ETCカードメッセージ

現在のETCシステムの状態が表示されます。

- 「ETCカード未挿入」 ETCカードが挿入されていません。
- 「認証中」 ETCカードを読み込んでいます。
- 「ETCカード異常」 ETCカードを読み込むことができません。
- 「ETCカード認証完了」 ETCカードが挿入された状態です。
- 「システム異常」 ETCシステムに何らかの異常が発生しています。(含む、ETCアンテナ外れ検知)
- 「未セットアップ」 ETCがセットアップされていない状態。
- 「セットアップ完了」 ETCがセットアップ完了している状態。

アドバイス

[登録情報表示]にタッチすると、ETCユニットに登録された情報が表示されます。

2 履歴表示

ETC履歴情報		
最新	利用日	料金
▲	2011年1月15日	750円
	2011年1月9日	500円
	2011年1月8日	1000円
	2011年1月8日	1000円
▼	2011年1月5日	300円

(1) ETCメニュー画面で、[履歴情報表示]にタッチします。

(2) 次に表示された画面で、▲前・▼次にタッチして表示させる履歴を切り替えます。

●履歴を切り替えたとき[最新]にタッチすると、最も新しい履歴に戻ります。

(3) [詳細]にタッチすると、利用区間が表示されます。

アドバイス

●表示させることができる履歴は、最大100件までです。

●ETCゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができないことがあります。

3 登録情報表示

ETC登録情報	
車載器管理番号	00000 0000000 00000
車載器登録番号	000 00000000
セットアップカード	2010年1月1日
発行年月日	
セットアップカード	2015年12月31日
情報有効年月日	
統一エラーコード	03

(1) ETCメニュー画面で、[登録情報表示]にタッチします。

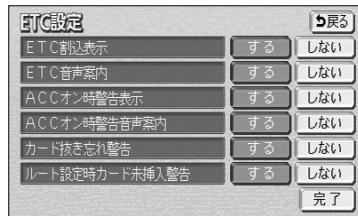
●お客様の車のETCユニットに登録された情報が表示されます。また、エラー発生時は最後に発生した統一エラーコードも表示されます。

アドバイス

エラー発生時に表示される統一エラーコードの詳細については、ETCユニットの取扱書をご覧ください。

バックガイドモニターの映像を見るには

4 ETCの設定



ETC 割込表示



ルート設定時カード未挿入警告



- (1) ETCメニュー画面で、**設定**にタッチします。
- (2) 次に表示された画面で、ETCの項目を設定します。

- ETC 割込表示
有料道路にあるETCゲートを通ったときや、エラーが発生したときに、割り込み情報が表示されます。
- ETC音声案内
ETCを利用するときに、音声が発声されます。
- ACCオン時警告表示
エンジンスイッチをLOCKからACCの位置にしたとき、カードの差し忘れを画面に表示して警告します。
- ACCオン時警告音声案内
エンジンスイッチをLOCKからACCの位置にしたとき、カードの差し忘れを音声で警告します。
- カード抜き忘れ警告
エンジンスイッチをACCからLOCKの位置にしたとき、カードの抜き忘れを音声で警告します。
- ルート設定時カード未挿入警告
有料道路を通るルートが探索されたときに、カードの差し忘れを画面と音声で警告します。

- (3) 設定が終ったら**完了**にタッチします。

バックガイドモニター装着車では、本機にバックガイドモニターの映像を表示させることができます。本機能は別売のバックガイドモニターを接続し、バックガイドモニター機能を設定した場合に表示されます。

※装着および機能の設定ができない車種もありますので、詳しくは販売店へご相談ください。



注意

- バックガイドモニターは後退操作を補助するものです。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。詳しくは、P.6-36の「画面に映る範囲」をご覧ください。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物の見え方は、実際の位置や距離と異なります。詳しくは、P.6-39の「画面と実際の路面との誤差」をご覧ください。
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、画像が薄れることがあります。特に動いているものの画像が歪む、あるいは画面から見えなくなることがあります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

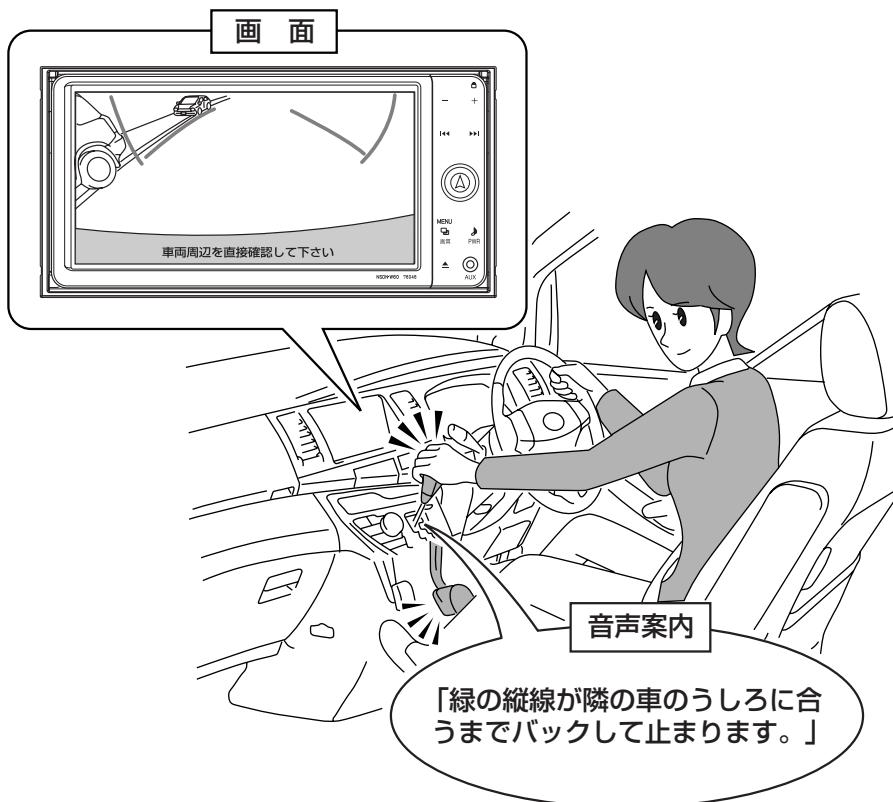
アドバイス

- ETC割込表示は、表示させている画面により割り込み情報が表示されないことがあります。また、ETCゲートを通過しても表示されないことがあります。
- 本機は料金表示の最小単位は1円ですが、音声案内の最小単位は10円となります（料金が257円の場合、250円と音声案内されますが実際に徴収される料金は257円です）。
- 接続されているETCユニットによっては、ETCカードの有効期限が以下のメッセージで案内されます。
「ETCカードの有効期限は今月末です カードをお確かめ下さい」
「ETCカードの有効期限が切れています」
この案内は、カードの有効期限を簡易的にお知らせするものです。ETCカードの有効期限は必ずカードを直接で確認ください。
- 案内はETCカードの設定に関係なく、ETCカードを挿入する、または挿入した状態でエンジンスイッチをACCまたはONIにすると行われます。

バックガイドモニターとは

バックガイドモニターは、後退操作（特に駐車時）を補助する装置です。車の後方の映像に後退操作の参考になるガイド線を合成して表示するとともに、さらに音声で案内します※。

※音声ガイドについては縦列ガイドモードのみ

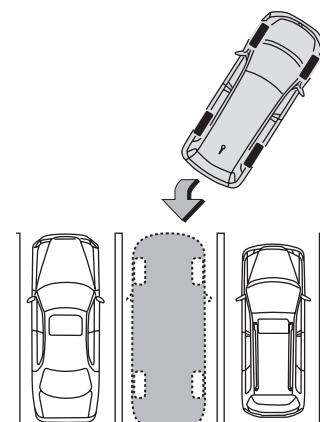


イラストは縦列ガイドモード時の状況です

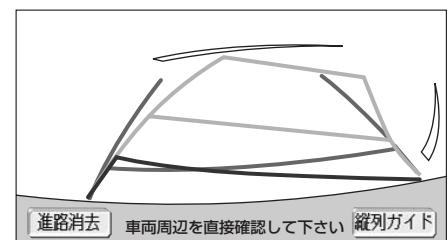
ガイド方法の選び方

1 並列駐車（車庫入れ）時に使用するときは

車庫入れなど並列駐車をするときは、進路表示モードか、駐車ガイド線表示モードを使用します。

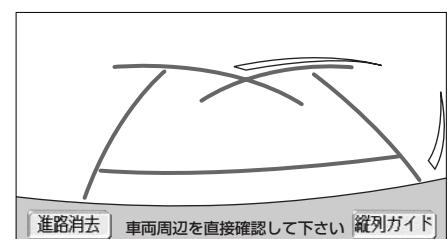


- 進路表示モードで並列駐車をする (P.6-11参照)



ハンドル操作に連動した予想進路などが表示されるモードです。

- 駐車ガイド線表示モードで並列駐車をする (P.6-15参照)

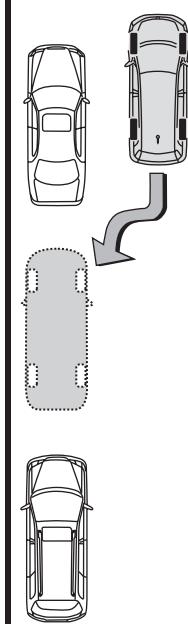


ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

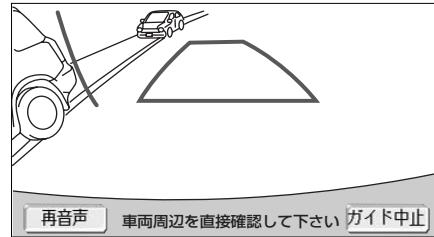
- 車両感覚に慣れた方（進路表示モードを必要とせずに駐車できる方）はご使用ください。

2 縦列駐車時に使用するときは

縦列駐車をするときは、縦列ガイドモードか、駐車ガイド線表示モードを使用します。

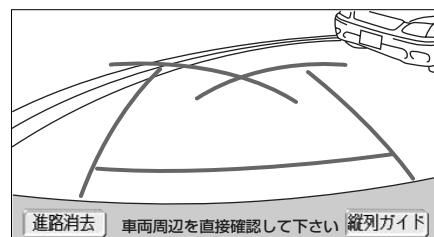


- 縦列ガイドモードで
縦列駐車をする (P.6-18参照)



画面表示と音声案内により縦列駐車を補助するモードです。

- 駐車ガイド線表示モードで
縦列駐車をする (P.6-31参照)

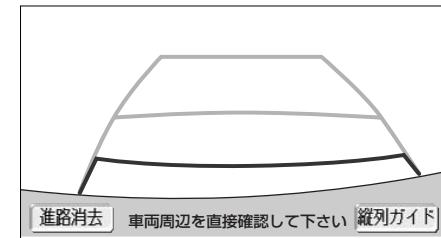


ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

- 縦列ガイドモードを必要とせずに駐車できる方や縦列ガイドモードが使用できないときなどにご使用ください。

ガイド画面の出し方

エンジンスイッチがONのとき、チェンジレバーをRにすると、バックガイドモニターの画面になります。



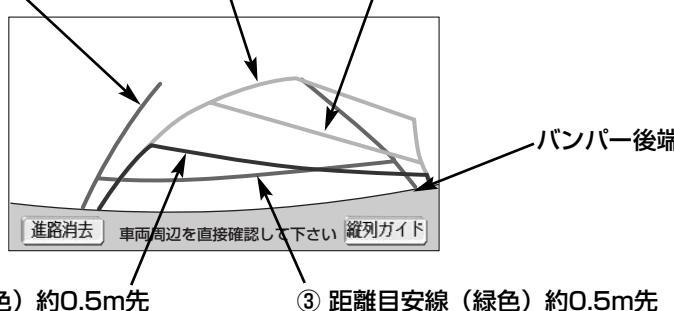
アドバイス

チェンジレバーをRにしていても、Ⓐ PWRなど各モードのスイッチを押すと、押したスイッチのモード画面に切り替わります。

並列駐車のしかた（進路表示モード）

1 画面の見方

② 車幅延長線（緑色） ① 予想進路線（黄色） ④ 距離目安線（黄色） 約1m先



↓ 車の前方

① 予想進路線（黄色）

車が後退していく進路の目安を示します。

●ハンドル操作と連動します。

② 車幅延長線（緑色）

車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

●実際の車幅より広く表示しています。

●ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっているときは、予想進路線と重なります。

③ 距離目安線（緑色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

●約0.5m先を示します。

④ 距離目安線（赤色／黄色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

●ハンドル操作と連動します。予想進路とともに動きます。

●それぞれの中心位置で、約0.5m先（赤色）・約1m先（黄色）を示します。

●ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっていないときは誤差が生じます。

上の画面では、距離目安線が示す実際の距離（赤色：0.5m先、黄色：約1m先）より右側は近くの位置に、左側は遠くの位置に表示されます。



注意

●必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

・乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

・ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路線がずれているときは、できるだけ曲がり角・カーブなどが無く、渋滞の少ない道路を前進で約五分以上走行してください。それでも直らない場合は、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

・車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。



アドバイス

画面に表示されている「進路消去」にタッチすると、予想進路線、車幅延長線が表示されなくなります。また、このとき距離目安線が固定（ハンドル操作と連動しなくなる）されます。もとに戻すときは、同じ画面に表示される「進路表示」にタッチします。

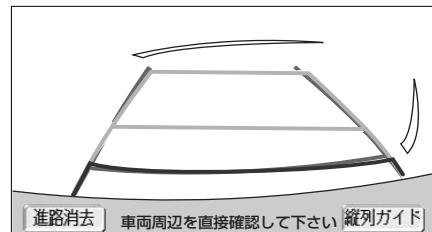
2 操作のしかた

以下に並列右駐車の場合のハンドル操作手順を説明します。並列左駐車の場合、ハンドル操作はすべて左右逆になります。

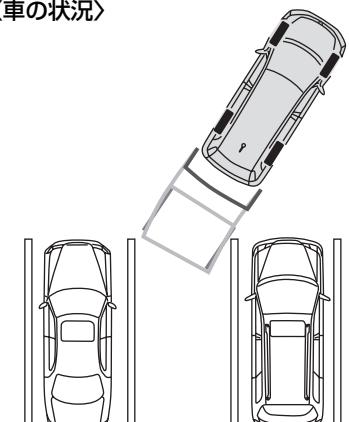
(1) チェンジレバーをRにします。

●進路表示モードになっていない場合は、P.6-43の「バックガイドモニターの設定」を参照して進路表示モードにしてください。

〈画面〉

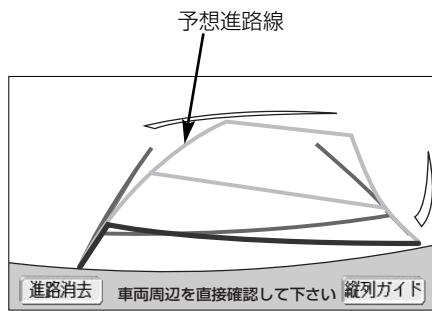


〈車の状況〉

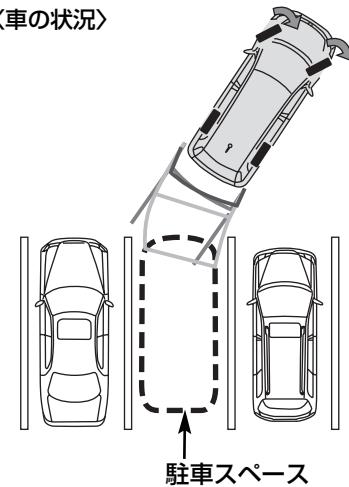


(2) 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退します。

〈画面〉



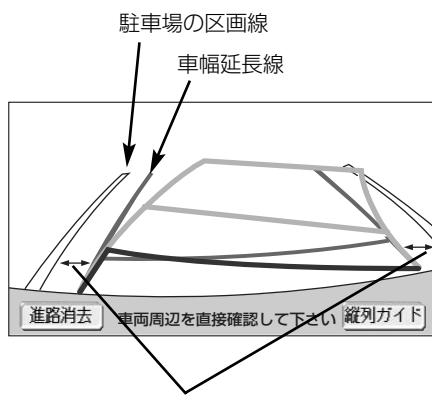
〈車の状況〉



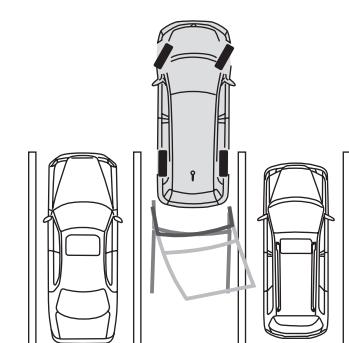
6
オプション

(3) 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線と駐車スペース左右の区画線との間隔が車の近くの位置で同じくらいになるようにハンドルを操作します。

〈画面〉



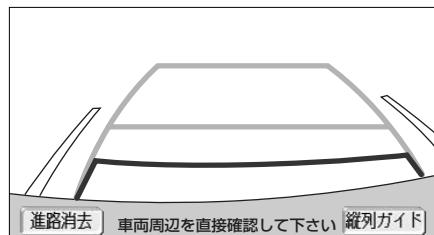
〈車の状況〉



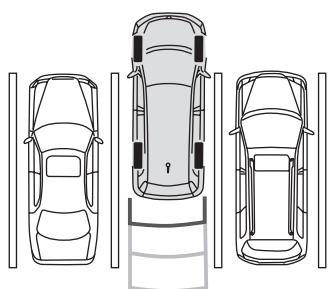
6-13

(4) 車幅延長線と駐車場の区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にして、車が駐車スペースに全部入るまで、ゆっくり後退します。

〈画面〉

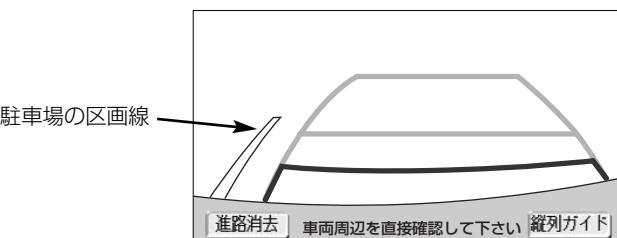


〈車の状況〉



アドバイス

- 駐車するときは、画面の映像と実際の状況は異なることがありますので、必ず直接確認してください。
- 距離目安線と駐車スペースの後端が画面では平行に見えても、実際には平行でないことがあります。
- 駐車場の区画線が片側しかないときは、車幅延長線と駐車スペースの左端（右端）が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行でないことがあります。



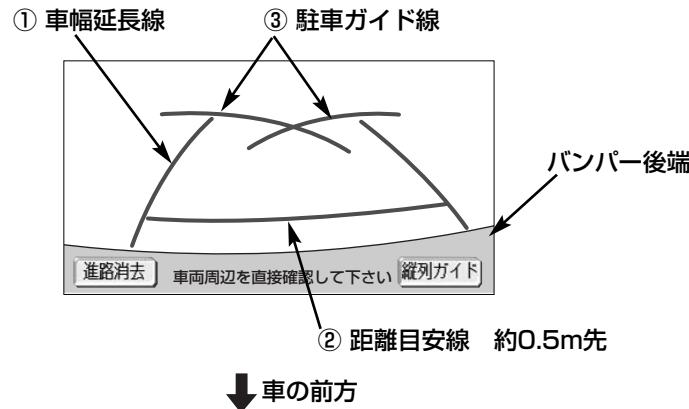
6
オプション

バックガイドモニターの映像を見るには

6-14

並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

1 画面の見方



① 車幅延長線

車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。
●実際の車幅より広く表示しています。

② 距離目安線

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。
●0.5m先を示します。

③ 駐車ガイド線

ハンドルをいっぱいまで回して後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示します。
●駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

注意

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。
必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

アドバイス

画面に表示されている「進路消去」にタッチすると、車幅延長線と駐車ガイド線が表示されなくなります。
もどに戻すときは、同じ画面に表示される「進路表示」にタッチします。

2 操作のしかた

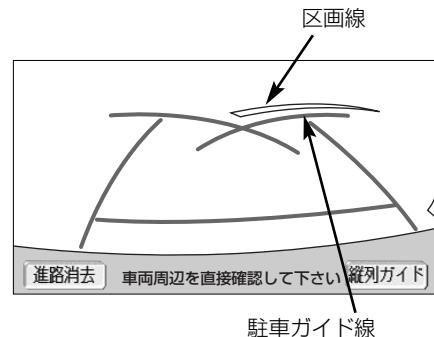
以下に並列右駐車の場合のハンドル操作手順を説明します。並列左駐車の場合、ハンドル操作はすべて左右逆になります。

(1) チェンジレバーをPにします。

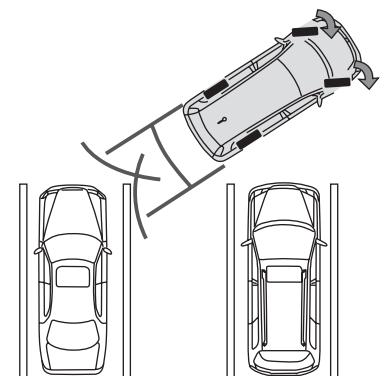
●駐車ガイド線表示モードになっていない場合は、P.6-43の「バックガイドモニターの設定」を参照して駐車ガイド線表示モードにしてください。

(2) 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退したら止まります。

〈画面〉



〈車の状況〉

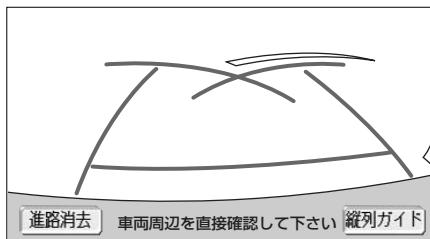


アドバイス

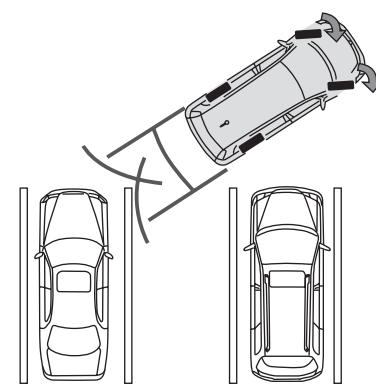
画面のように駐車ガイド線と区画線に合わせて後退すると、駐車スペースの幅が約2.2mの場合にはほぼ中央に進入します。駐車スペースの幅に応じて止まる位置を調整してください。

(3) ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退します。

〈画面〉

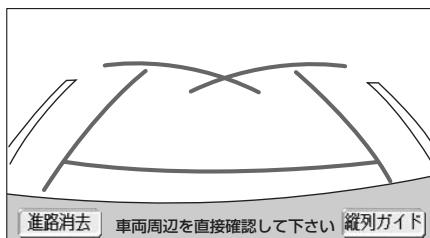


〈車の状況〉

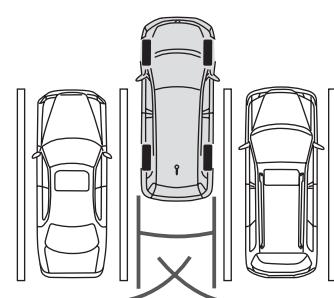


(4) 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にします。画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車を終えます。

〈画面〉



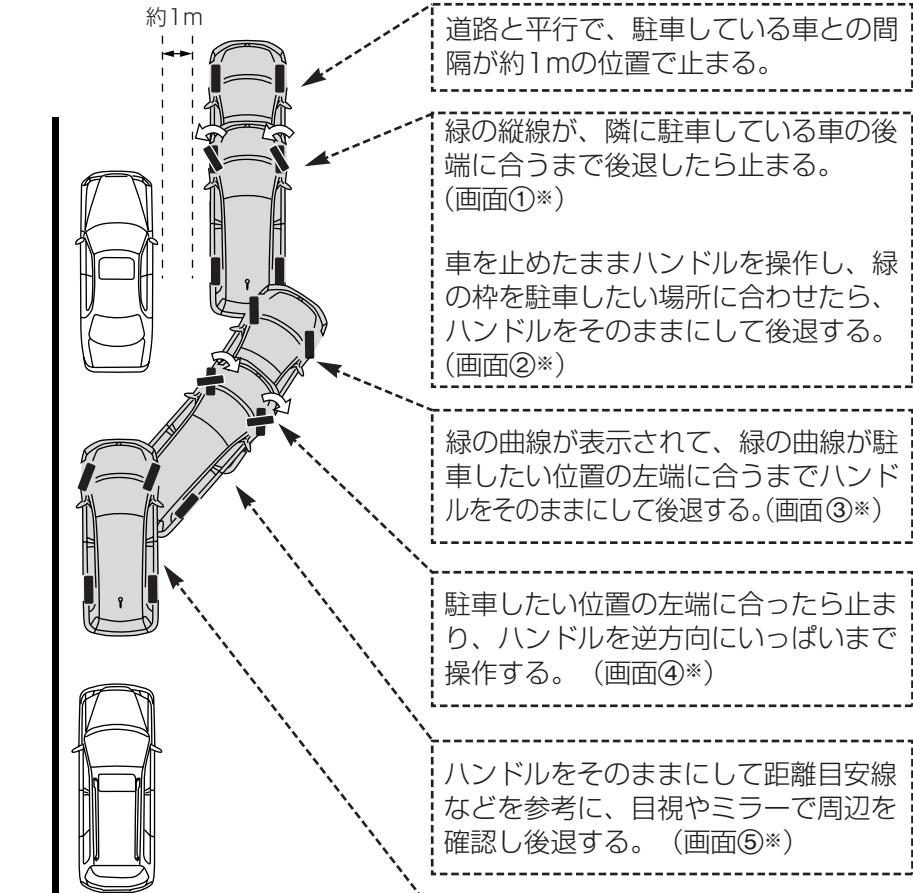
〈車の状況〉



縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード）

1 車の動きと画面・音声案内の流れ

〈車の動き〉



〈操作内容〉

道路と平行で、駐車している車との間隔が約1mの位置で止まる。

緑の縦線が、隣に駐車している車の後端に合うまで後退したら止まる。
(画面①※)

車を止めたままハンドルを操作し、緑の枠を駐車したい場所に合わせたら、ハンドルをそのままにして後退する。
(画面②※)

緑の曲線が表示されて、緑の曲線が駐車したい位置の左端に合うまでハンドルをそのままにして後退する。
(画面③※)

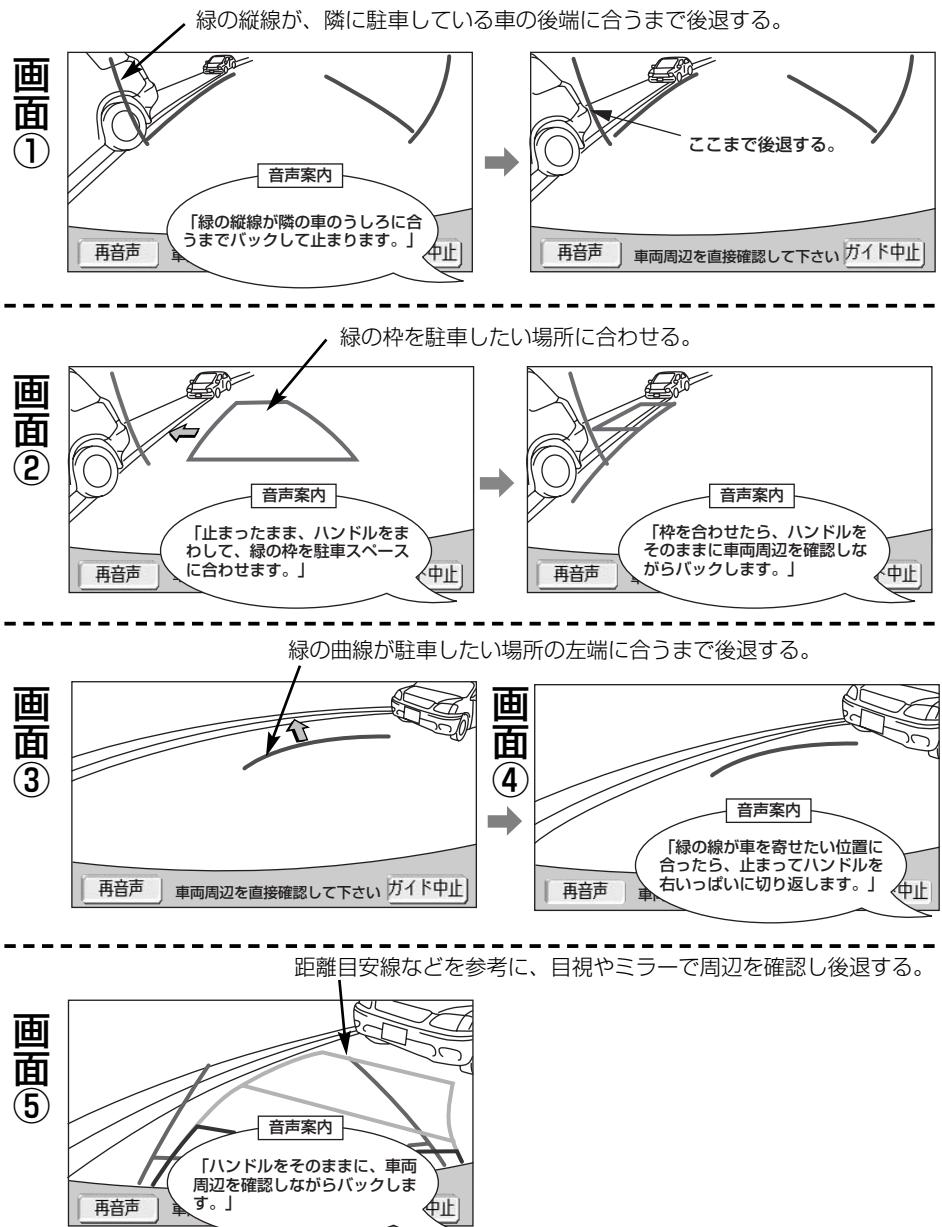
駐車したい位置の左端に合ったら止まり、ハンドルを逆方向にいっぱいまで操作する。
(画面④※)

ハンドルをそのままにして距離目安線などを参考に、目視やミラーで周辺を確認し後退する。
(画面⑤※)

車がほぼまっすぐになったら縦列ガイドモードが終了する。

※画面は、P.6-19に記載。

〈画面・音声案内の流れ〉



注意

- カーブや坂道など平坦・まっすぐでない道路では、使用しないでください。
・ハンドル操作は必ず車を止めた状態で行ってください。



アドバイス

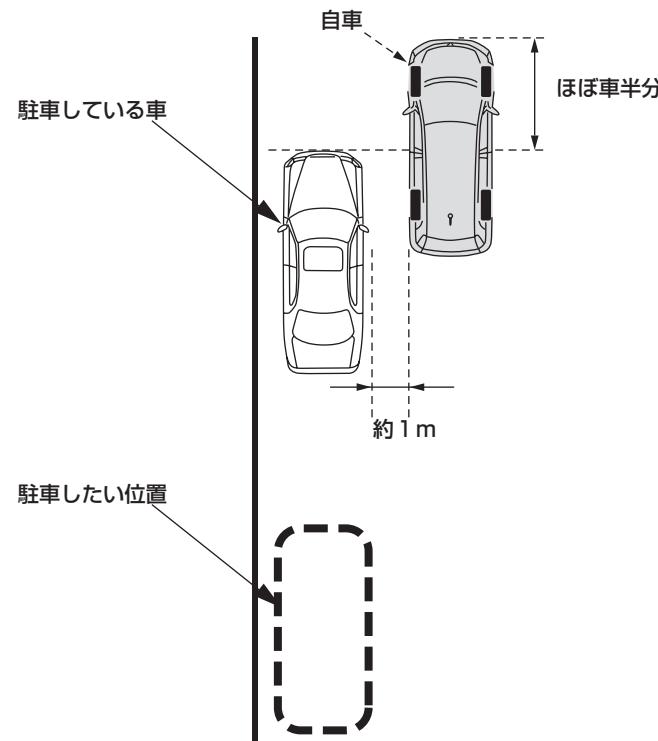
- ガイドを中止したいときは、**ガイド中止**にタッチすると、最初（チェンジレバーをPにしたとき）の画面に戻ります。
- 音声案内をもう一度聞きたいときは、**再音声**にタッチします。
- 音声案内は運転席スピーカーより出力されます。

2 操作のしかた

以下の手順は、左側の駐車スペースに駐車するときの例を示しています。右側の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作などが全て左右逆になります。
マルチビューバックガイドモニターを接続している場合、カメラの視点を標準画面に切り替えます（P.6-48参照）。

(1) 道路（または路肩）と平行で、駐車している車との間隔が約1mの位置に止まり、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にします。

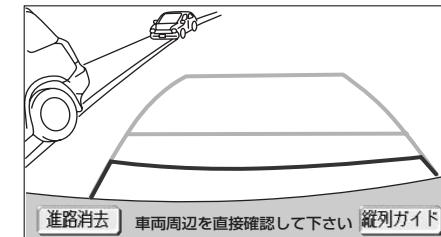
●前後の位置は、駐車している車より車半分ほど前の位置にします。



(2) チェンジレバーをRにします。

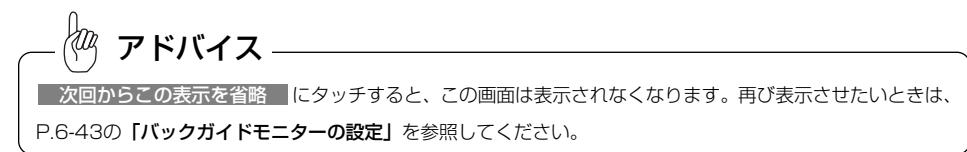
(3) 車の位置を確認し、画面の「縦列ガイド」にタッチします。

● 画面で駐車している車のリアタイヤよりうしろの部分が映っていることを確認してください。映っていないときは車を正しい位置まで前進させ操作をやり直します。



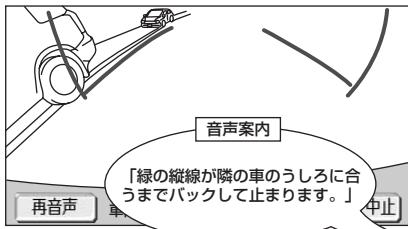
(4) 表示された画面と同じ位置に、車が止まっていることを確認します。車の位置を確認したら、「次へ」にタッチします。

● 「ガイド中止」にタッチすると、前の画面に戻ります。



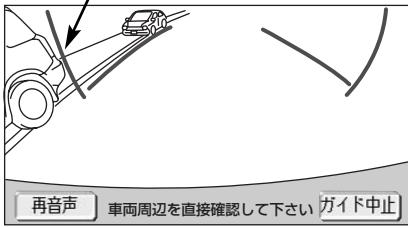
(5) 音声で案内されたら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしたまま緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合う位置まで後退し、止まります。

〈画面〉

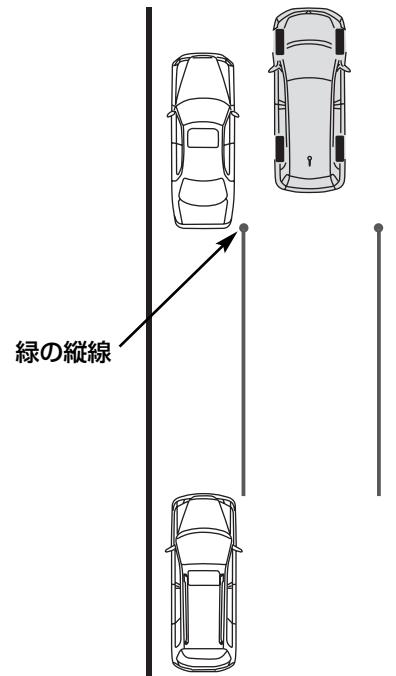


車を後退させる

ここまで後退し止まる

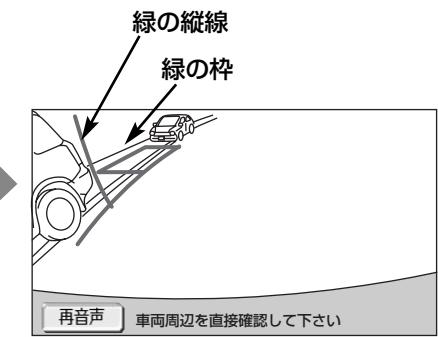
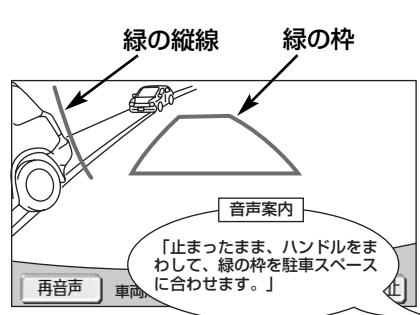


〈車の状況〉

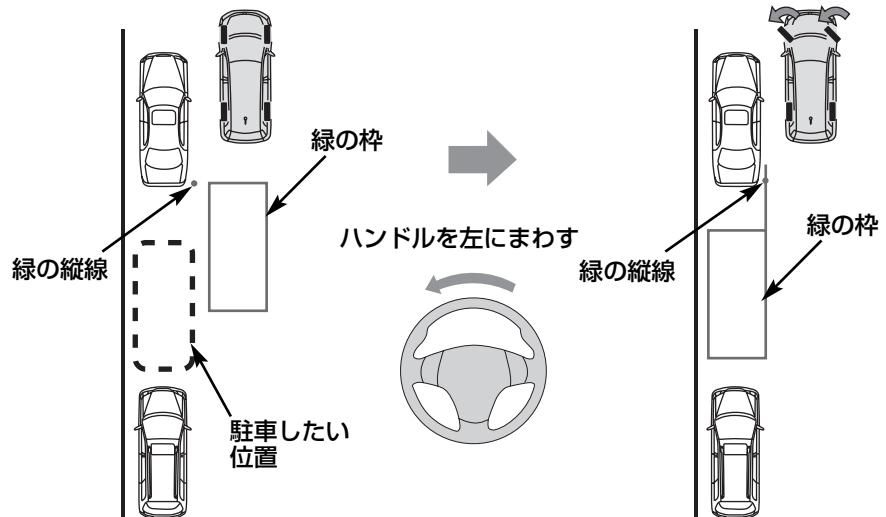


(6) 音声で案内され、緑の枠が表示されます。止まったままハンドルを左にまわして、緑の枠を駐車したい位置に合わせます。

〈画面〉



〈車の状況〉



アドバイス

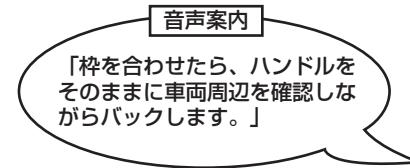
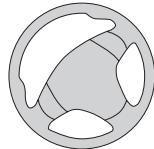
- ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしないで後退すると、次の音声案内まで進んでしまうことがあります。その場合は、最初に車を止めた位置まで前進させ、やり直してください。
- チェンジレバーをR以外の位置にしていても、約10秒以内にRの位置に戻せば、この画面に戻ります。

●緑の枠の中に障害物が無いことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードは使用することはできません。詳しくは、P.6-29を参照してください。

●画面の中にメッセージが表示されることがあります。メッセージについてはP.6-30を参照してください。

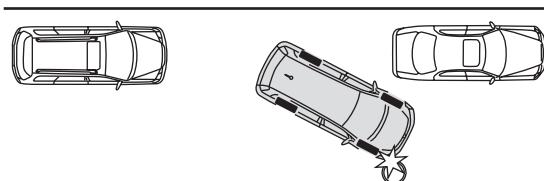
(7) 緑の枠を合わせ、音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退します。

ハンドルはそのまま



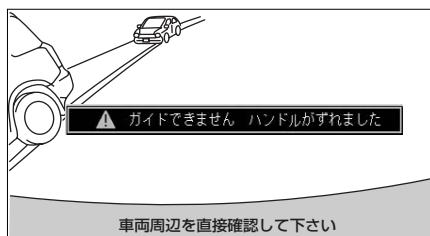
注意

車の右前端を前方の障害物にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。



アドバイス

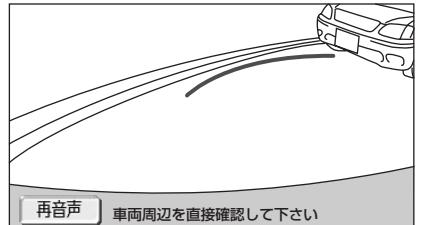
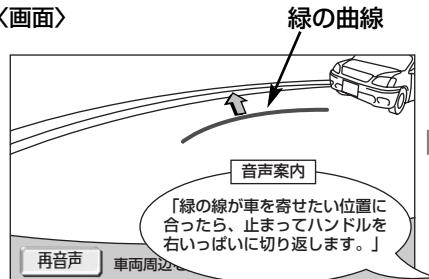
- 後退中にハンドルを操作してしまうと、ガイドされなくなります。その場合は、エンジンレバーをR以外にしてから、再度Rにして最初からやり直してください。



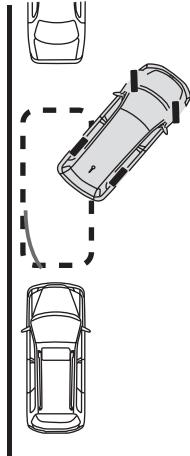
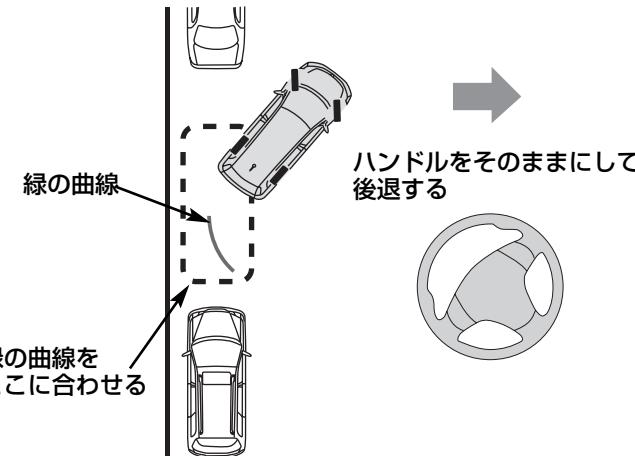
- ごく低速で後退すると、次の案内が行われないことがあります。
- 後退を開始すると、ガイド線が表示されなくなります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

(8) 音声で案内され、緑の曲線が表示されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退します。
緑の曲線が、駐車したい位置の左端の地点に合ったら止まります。

画面



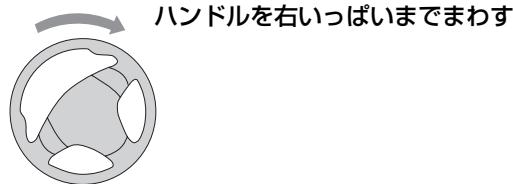
車の状況



アドバイス

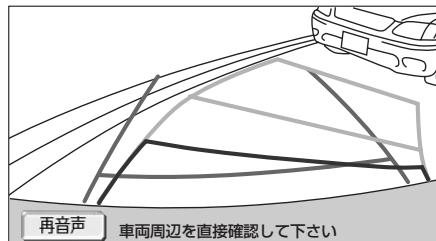
車の速度が速すぎると、案内が間に合わないことがあります。

- (9) 車を止めたまま、ハンドルを右いっぱいに回します。
●必ず車を止めた状態でハンドルを操作してください。

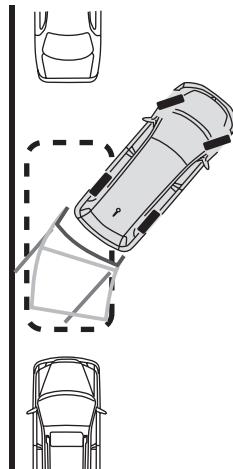


- (10) 画面が切り替わって音声案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして、後退します。

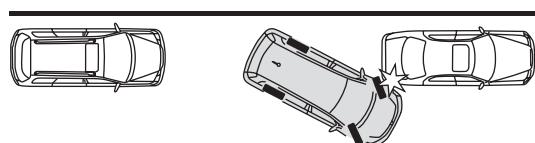
〈画面〉



〈車の状況〉

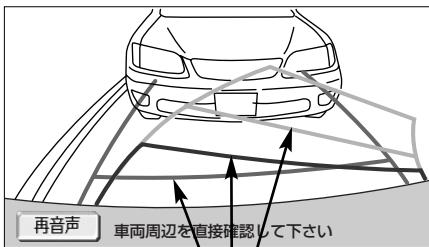


車の左前端を前に駐車している車にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。



- (11) 車が道路（または路肩）と平行になったらハンドルをまっすぐ（直進状態）に戻します。距離目安線を参考に、必ず目視やミラーで車の前後を確認し、ゆっくり後退して止まります。車がほぼまっすぐ（直進状態）になると、音声案内されて縦列ガイドモードが終了します。

〈画面〉



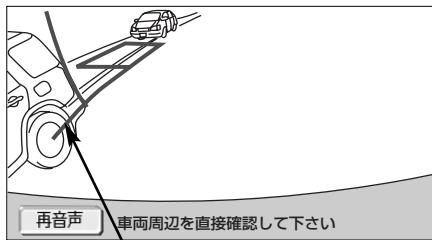
〈車の状況〉



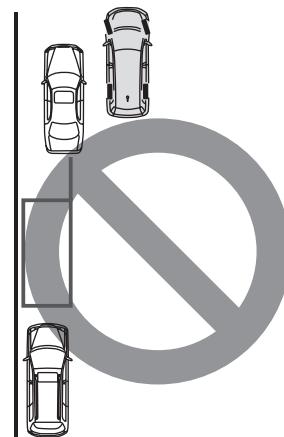
! 注意

- 手順P.6-24の(6)のときに緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。
 - ・緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードは使用できません。
 - ・緑の枠を駐車したい位置に合わせるときは、必ず手前に延びている緑の線が前方に駐車している車のタイヤにかからないようにしてください。緑の枠を駐車したい位置に合わせると前方に駐車している車にかかってしまう場合は、かからない範囲で合わせてください。

〈画面〉

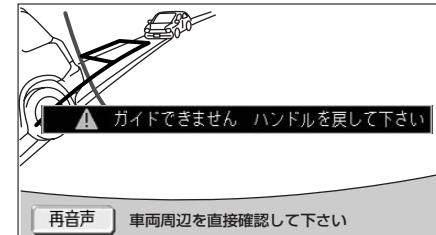


〈車の状況〉

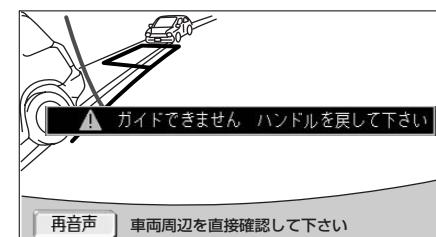


! アドバイス

- 手順P.6-24の(6)のときに枠が赤くなって、下のようなメッセージが表示された場合、ガイドすることができませんので、ハンドルを戻してください。

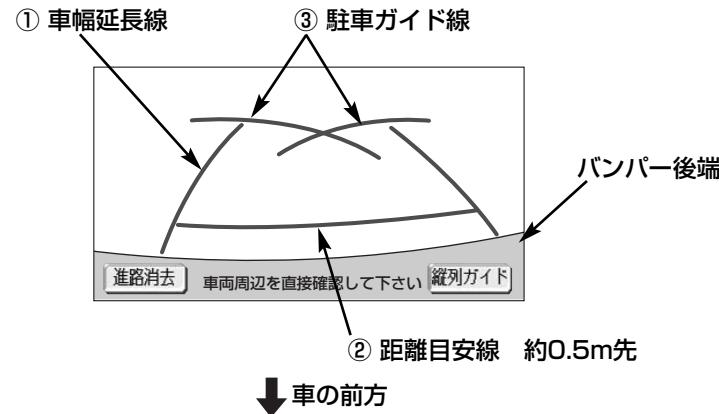


- 枠が正しい駐車位置に合っている場合でも、下のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、車が路肩からはなれすぎていることが考えられますので、隣に駐車している車との間隔（約1m）を確認してください。



縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

1 画面の見方



① 車幅延長線

車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

- 実際の車幅より広く表示しています。

② 距離目安線

車の後方（パンパー後端から）の距離を示します。

- 0.5m先を示します。

③ 駐車ガイド線

ハンドルをいっぱいまで回して後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示します。

- 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

注意

- ・乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。
必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ・車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

アドバイス

画面に表示されている「進路消去」にタッチすると、車幅延長線と駐車ガイド線が表示されなくなります。
もとに戻すときは、同じ画面に表示される「進路表示」にタッチします。

2 操作のしかた

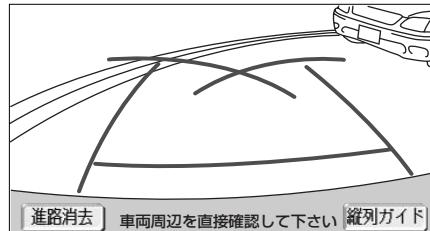
以下の手順は、左側の駐車スペースに駐車するときの例を示しています。右側の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作などがすべて左右逆になります。

- (1) チェンジレバーをRにします。

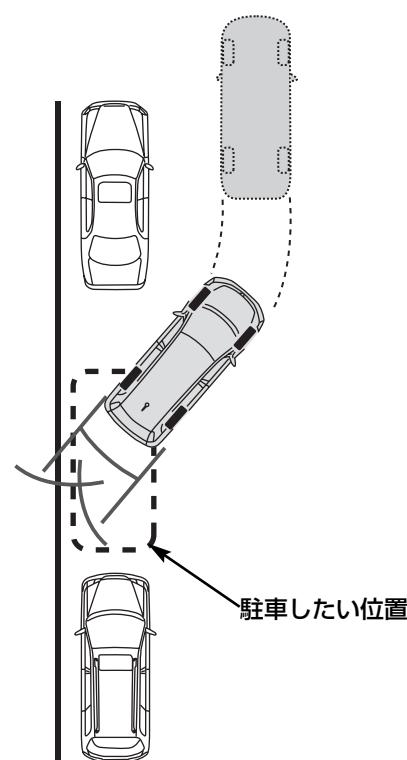
●駐車ガイド線表示モードになっていない場合は、P.6-43の「バックガイドモニターの設定」を参照して駐車ガイド線表示モードにしてください。

- (2) 駐車ガイド線が駐車したい位置の左端に合うまで後退したら止まります。

〈画面〉

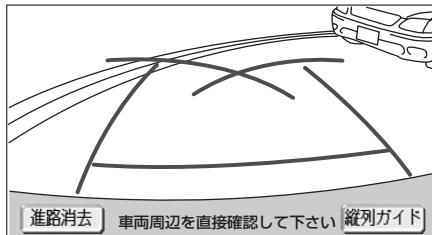


〈車の状況〉

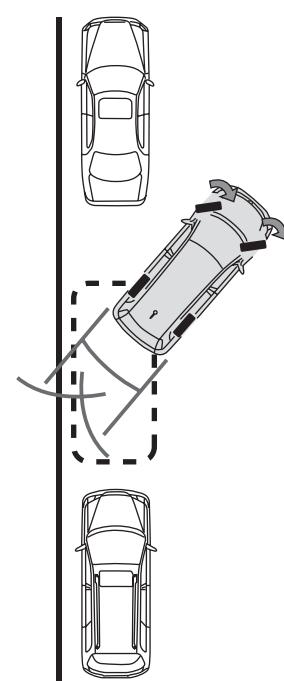


(3) ハンドルを右いっぱいに回して、ゆっくり後退します。

〈画面〉



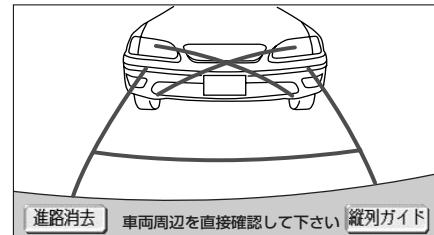
〈車の状況〉



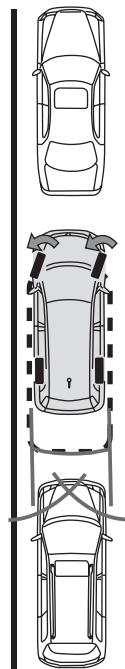
(4) 車が路肩と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にします。

画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車します。

〈画面〉

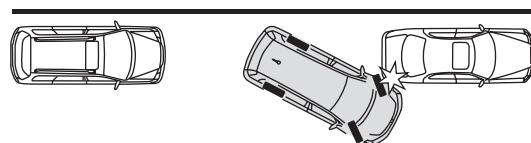


〈車の状況〉



!⁶ 注意

車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないよう注意して、ゆっくり後退してください。



バックガイドモニターについての注意点

1 運転時の注意

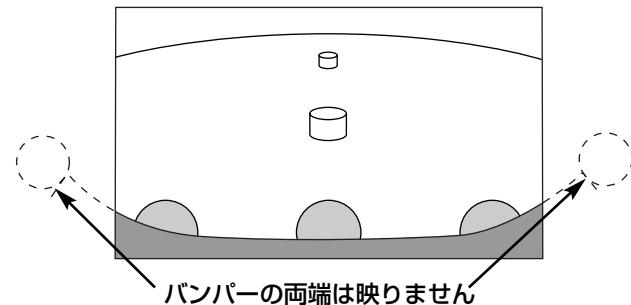
! 注意

- ガイド線と車の挙動が異なる場合があります。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ・バックガイドモニターを過信しないでください。
一般的の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- ・画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあります。画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすことがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- ・以下のような状況では、実際とは異なる場合があるので、必ず周囲の状況を目で確認してください。
凍結したり、滑りやすい路面、または雪道。
タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき。
バックドアが完全に閉まっていないとき。
坂道など平坦でない道路。
- ・バックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解したうえで、バックガイドモニターをご使用ください。また、駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから操作を行ってください。
- ・ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- ・タイヤを交換するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

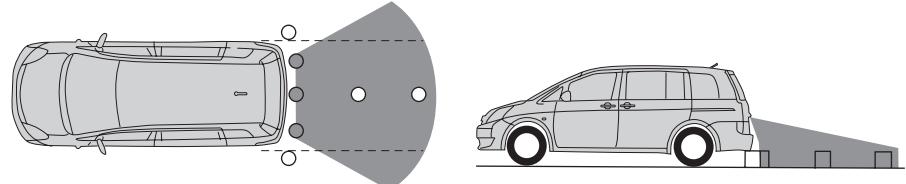
2 画面に映る範囲

バンパー後端から車の後方（下図の範囲）が映ります。

〈画面〉



〈映る範囲〉



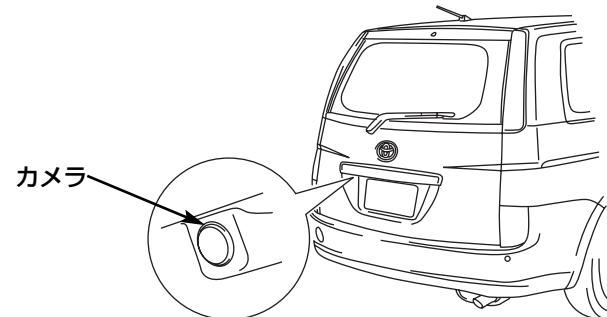

アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- バックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがあります、異常ではありません。
 - ・暗いところ（夜間など）。
 - ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）。
 - ・カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
 - ・太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
- バックガイドモニターの画質調整の方法は、TV/DVD画面の調整と同じです（P.1-29参照）。

3 カメラ

番号灯の左側にあります。

※車種によって取付位置は異なります。


注意

- バックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので以下のことにご注意ください。

- ・カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃をあたえないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
- ・カメラ部は防水構造となっていますので、取り外し・分解・改造をしないでください。
- ・カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などで研いだりするとカバーが傷つき、映像に悪影響をおぼすおそれがあります。
- ・カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- ・寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえないでください。
- ・カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
- ・高圧洗車機を使用する場合、カメラまたはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落するおそれがあります。

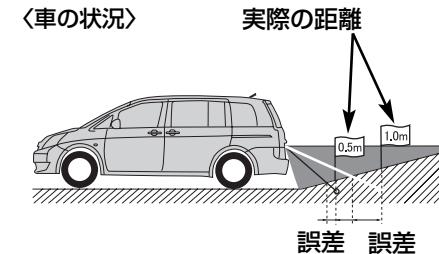
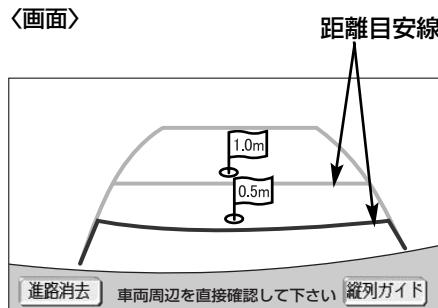

アドバイス

カメラのレンズが汚れていると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などの汚れが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

4 画面と実際の路面との誤差

以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

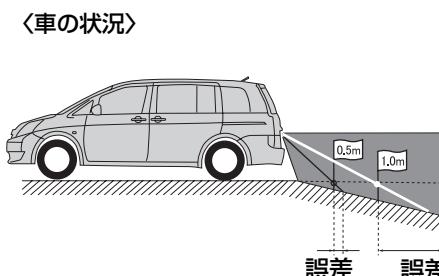
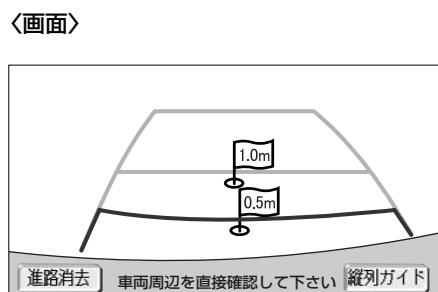
●急な上り坂が後方にあるとき



距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。

同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

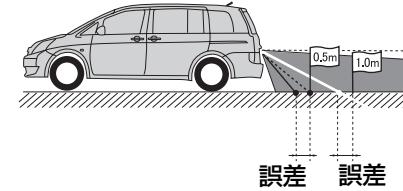
●急な下り坂が後方にあるとき



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。

実際のガイド線と実際の路面上の進路にも差が生じます。

●車が傾いているとき



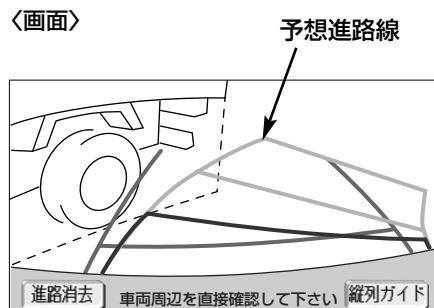
乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

5 立体物が近くにあるとき

画面のガイドは平面物（道路など）を対象にしています。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のこと注意して、ぶつからないようにしてください。

●予想進路線

予想進路は路面に対して表示されるため、立体物の位置を判断することはできません。

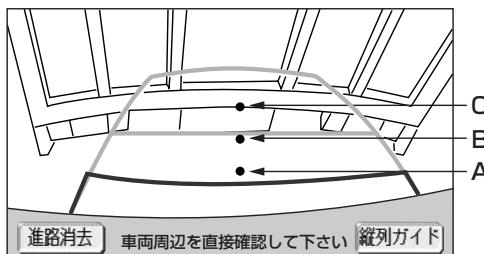


画面では、トラックの荷台が予想進路の外側にあり、ぶつからないように見えますが、実際には荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。このように予想進路線が障害物の近くを通るときは、後方や周囲の安全を直接確認してください。

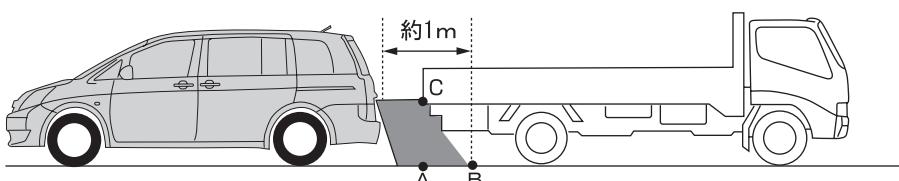
●距離目安線

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

〈画面〉



〈A,B,Cの位置〉

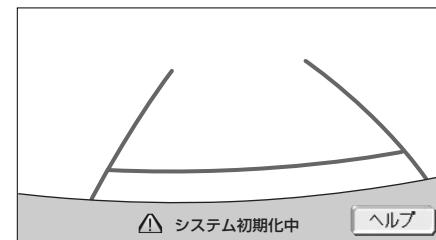


画面では、距離目安線により約1m先（Bの位置）にトラックが駐車しているように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。

画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。

6 システム初期化中表示が出たときは

バッテリーの脱着・バッテリー能力が低下した場合などには、下図の画面が表示されます。この場合、次のどちらかの操作が必要になります。



●車を止めた状態で、ハンドルを左いっぱいに回したあと、右いっぱいに回します。
(左右どちらが先でも可)

●できるだけ曲り角・カーブなどがなく、渋滞していない道路を前進で約5分間以上走行します。

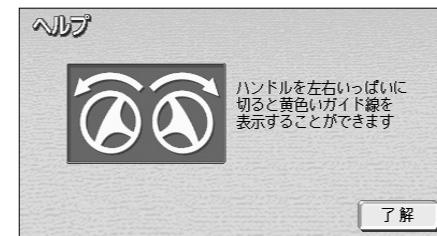
通常の画面に戻れば、設定完了です。

システム初期化中画面が表示されたままのときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。



アドバイス

システム初期化中画面で、「ヘルプ」にタッチすると、操作方法を表示させることができます。



画面に表示されている操作をし、通常の画面に戻れば、設定終了です。

システム初期化中、またはヘルプ画面が表示されたままのときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

●「了解」にタッチすると、もとの画面に戻ります。

バックガイドモニターの設定

「縦列ガイド音量設定」・「はじめのコツ表示」・「駐車ガイド線表示」の設定ができます。



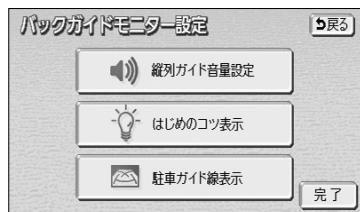
- (1) ナビメニュー (P.2-8参照) で **情報** にタッチします。
● 情報画面 (P.5-1参照) が表示されます。

6

オプション



※装備により表示される項目は異なります。



- (3) バックガイドモニター設定項目で、設定する項目にタッチします。

■縦列ガイド音量設定



- **縦列ガイド音量設定** にタッチすると音声案内を調整することができます。
- **消音** **小** **・** **・** **大** のいずれかにタッチします。
- **消音** にタッチしたときは、音声案内されません。

■はじめのコツ表示



- **はじめのコツ表示** にタッチすると縦列ガイドモードで表示される「はじめのコツ」を表示するか、表示しないかを選ぶことができます。

- 表示させたいときは、**する** にタッチします。表示させたくないときは、**しない** にタッチします。

■駐車ガイド線表示



- **駐車ガイド線表示** にタッチすると駐車ガイド線表示モードにするか、進路表示モードにするか、選ぶことができます。

- 駐車ガイド線表示モードにしたいときは、**する** にタッチします。進路表示モードにしたいときは、**しない** にタッチします。

- (4) 設定がよければ、**完了** にタッチします。

- 他の画面に切り替えたいときは、Ⓐなどの各モードスイッチを押します。

6
オプション

バックガイドモニターの映像を見るには

マルチビューバックガイドモニターの映像を見るには

トヨタ純正マルチビューバックガイドモニター装着車では、バックガイドモニターの機能が使用できる他、表示させる映像の視点を切り替えることができます。基本的な操作方法や注意点については、P.6-6～P.6-44を参照してください。

本機能は別売のマルチビューバックガイドモニターを接続し、マルチビューバックガイドモニター機能を設定した場合に表示されます。

※装着および機能の設定ができない車種もありますので、詳しくは販売店へご相談ください。



注意

- マルチビューバックガイドモニターは後退操作を補助するものです。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。詳しくは、P.6-49の「マルチビューバックガイドモニターについての注意点」をご覧ください。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物の見え方は、実際の位置や距離と異なります。詳しくは、P.6-39の「画面と実際の路面との誤差」をご覧ください。
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、画像が薄れることができます。特に動いているものの画像が歪む、あるいは画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

マルチビューバックガイドモニターとは

マルチビューバックガイドモニターは、車両後退時にカメラの映像を次の3つの視点で表示することができます。

- 標準画面……………バックガイドモニターと同じ視点です。ハンドル操作に連動したガイド線が表示されます。縦列駐車への切り替えやガイド線を消去することができます。
- ワイドビュー…………標準画面と比べ、左右に広い範囲の映像を表示することができます。車両後退時の左右安全確認をサポートする視点です。
- ワイドビュー+トップビュー…………ワイドビューの映像と、上方から見下ろした映像（トップビュー）を同時に表示することができます。車両後退時の安全運転をよりいっそうサポートする視点です。



アドバイス

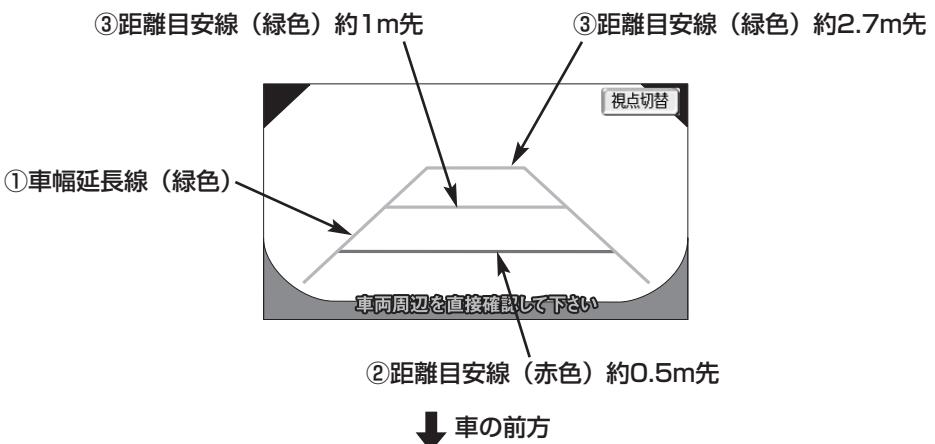
ワイドビューおよびワイドビュー+トップビューで表示している場合、車幅延長線などのガイド線を消すことができません。また、ハンドル操作に連動した予想進路線などのガイド線は表示されません（P.6-11参照）。

カメラの視点を切り替える

1 画面の見方

標準画面の見方については、P.6-6の「バックガイドモニターの映像を見るには」を参照してください。

■ワイドビューの見方



① 車幅延長線（緑色）

- 車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。
● 実際の車幅より広く表示しています。

② 距離目安線（赤色）

- 車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。
● 約0.5m先を示します。

③ 距離目安線（緑色）

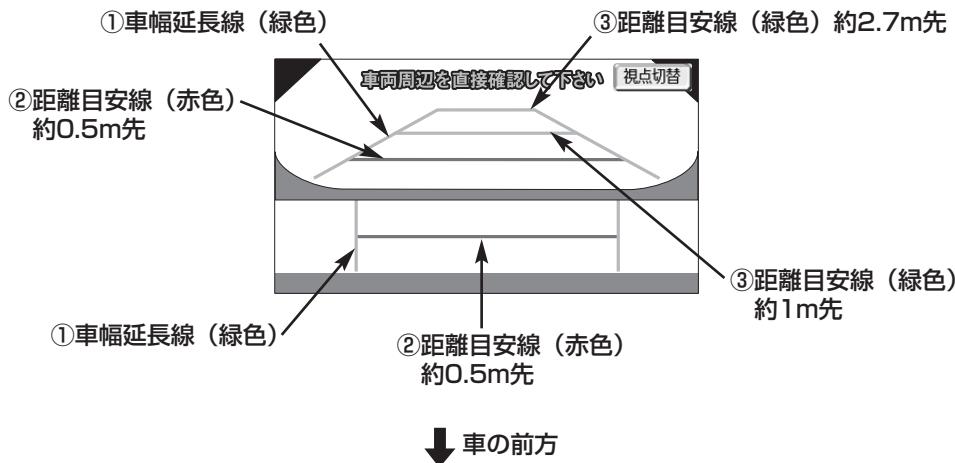
- 車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。
● 約1m先、約2.7m先を示します。



注意

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

■ワイドビュー+トップビューの見方



① 車幅延長線（緑色）

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。
● 実際の車幅より広く表示しています。

② 距離目安線（赤色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。
● 約0.5m先を示します。

③ 距離目安線（緑色）

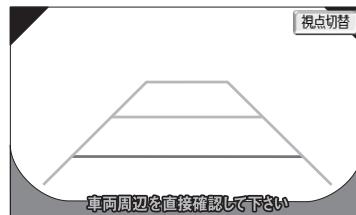
車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。
● 約1m先、約2.7m先を示します。



注意

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。
必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

2 視点を切り替えるには



(1) チェンジレバーをRにします。

(2) 視点切替にタッチして希望の視点を選択します。

- 視点切替にタッチするごとに、標準画面、ワイドビュー、ワイドビュー+トップビューの順に切り替わります。



アドバイス

縦列ガイドモード中は視点を切り替えることができません。

マルチビューバックガイドモニターについての注意点

1 運転時の注意



注意

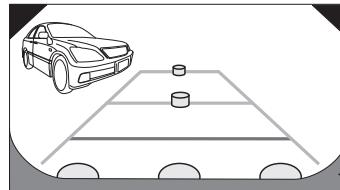
- ガイド線と車の挙動が異なる場合があります。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ・マルチビューバックガイドモニターを過信しないでください。
一般的の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- ・画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあります。画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすことがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- ・以下のような状況では、実際とは異なる場合があるので、必ず周囲の状況を目で確認してください。
凍結したり、滑りやすい路面、または雪道。
タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき。
バックドアが完全に閉まっていないとき。
坂道など平坦でない道路。
- ・マルチビューバックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを行なう上で、マルチビューバックガイドモニターをご使用ください。また、駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから操作を行ってください。
- ・ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- ・タイヤを交換するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じことがあります。

2 画面に映る範囲

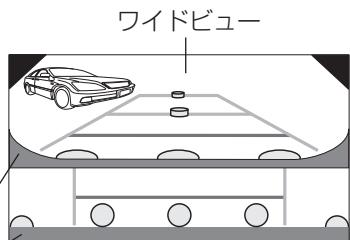
画面に映る範囲は各視点で異なります。標準画面の視点については、P.6-36の「画面に映る範囲」を参照してください。

■ワイドビューの映る範囲

<画面>



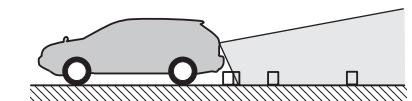
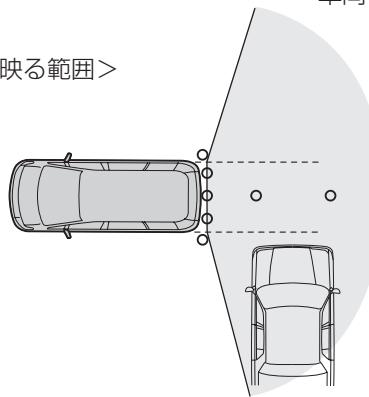
ワイドビュー



ワイドビュートップビュー

車両後端部（バンパー）

<映る範囲>

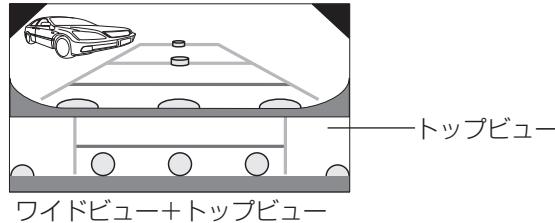


アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- マルチビューバックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがあります、異常ではありません。
 - ・暗いところ（夜間など）。
 - ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）。
 - ・カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
 - ・太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
 - ・バックライトやブレーキランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
- 車両後端部（バンパー）の見え方は車種により異なります。
- マルチビューバックガイドモニターの画質調整の方法は、TV/DVD画面の調整と同じです（P.1-29参照）。

■トップビューの画面に映る範囲

<画面>



<映る範囲>



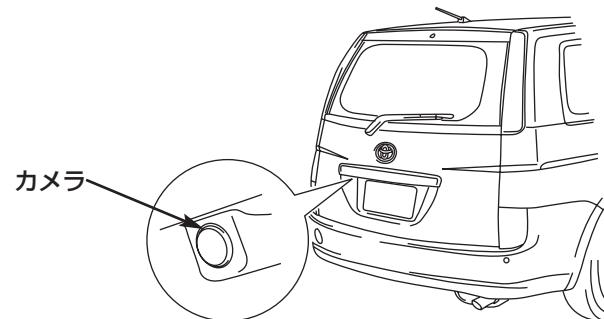
アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- マルチビューバックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
 - ・暗いところ（夜間など）。
 - ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）。
 - ・カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
 - ・太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
 - ・バックライトやブレーキランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
- 車両後端部（バンパー）の見え方は車種により異なります。
- マルチビューバックガイドモニターの画質調整の方法は、TV/DVD画面の調整と同じです（P.1-29参照）。

3 カメラ

番号灯の左側にあります。

※車種によって取付位置は異なります。



注意

- マルチビューバックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので以下のことにご注意ください。

- ・カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃をあたえないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
- ・カメラ部は防水構造となっていますので、取り外し・分解・改造をしないでください。
- ・カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などで研いだりするとカバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- ・カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- ・寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえないでください。
- ・カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
- ・高圧洗車機を使用する場合、カメラまたはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落するおそれがあります。



アドバイス

カメラのレンズが汚れていると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などの汚れが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

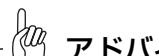
バックモニターの映像を見るには

別売のバックモニターを接続した場合、チェンジレバーをRにすると、本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド線（車両の車幅や距離感覚を補う補助線）を映すことができます。



注意

- バックモニターを過信しないでください。
- 本機（リアカメラシステム）は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
- リアカメラで映し出す範囲は限られていますので、モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周辺の安全を充分確認してください。
- 雨滴などがカメラに付着すると映りが悪くなることがあります。
- 以下のような状況では使用しないでください。
 - ・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - ・バックドアが完全に閉まっていないとき
 - ・タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
 - ・坂道など平坦でない道
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり確認にくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- 自車の状況（乗車人数・積載量）により、画面のガイド線の示す位置は変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてバックモニターが正常に作動しなくなることがあります。
- カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき故障などの原因になります。
- カメラ本体をケーブルでぶらさげたり、ケーブルを引張ったりなどは、絶対に行わないでください。防滴性が低下したり、ケーブルの断線など、故障の原因になります。
- 寒いときにお湯をかけるなど、カメラに急激な温度変化を与えないでください。故障の原因になることがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりバックモニターが正常に作動しなくなることがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- 高圧洗車機を使用する場合、カメラまたはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落することがあります。



アドバイス

- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- 50Hz電源地域の螢光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- 湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。
- 本機の映像は鏡像となっています。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。これに対し直接目で見るのと同じ画像を正像と呼びます。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えないまたは見にくいことがあります。
- リアカメラの映像は、車体の一部が映し出されるように調整してください。
- カメラの映像は、広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。

1 後方の映像を映すには



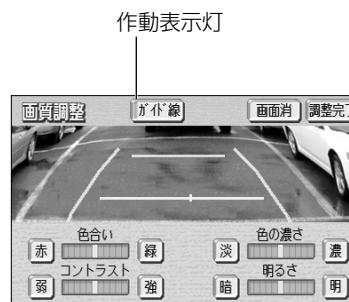
- (1) チェンジレバーをRにします。

- バックモニターの映像が表示されます。
- チェンジレバーをR以外にすると通常画面に戻ります。



アドバイス

バックモニター映像上にガイド線が表示されない場合や、ガイド線の位置や方向などが適切に表示されない場合は、販売店にお問い合わせください。



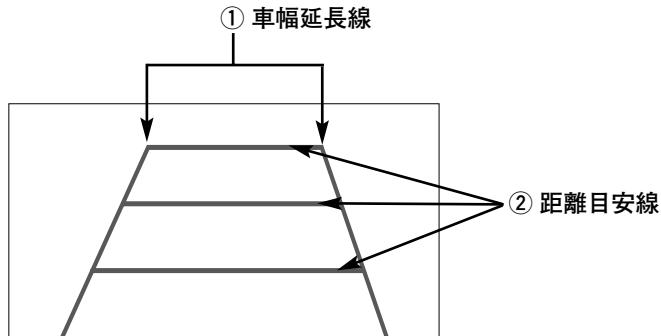
- (2) ガイド線の表示・非表示の設定を行う場合は、バックモニターの映像を表示しているときに MENU をピッと音が鳴るまで押します。

- **ガイド線**にタッチすると作動表示灯が点灯または消灯し、ガイド線が表示または非表示になります。
- 初期設定では、作動表示灯が点灯しガイド線表示ONになっています。

2 画面の見方について

■表示線の見方

チェンジレバーを①にすると、モニター画面がバックモニターの映像に切り替わり、車幅や距離感覚を補うバックガイド線が表示されます。



① 車幅延長線

車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

② 距離目安線

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

- ハンドル操作と連動しません。
- それぞれの中心位置で、約0.5m先（1本目）・約1m先（2本目）・約2m先（3本目）を示します。



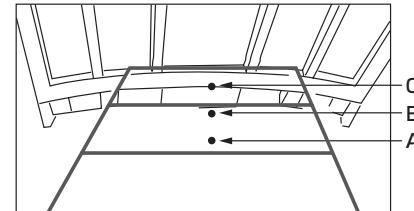
アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 後方の映像は実際の色合と異なる場合があります。
- 画面の明るさ・コントラストを調整することができます（P.1-29参照）。
- 車両によりバックガイド線が左右にずれて表示されることがあります、故障ではありません。

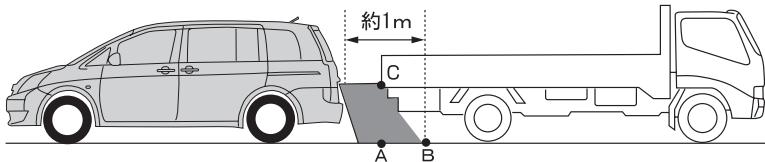
■距離目安線

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

〈画面〉



〈A,B,Cの位置〉



画面では、距離目安線により約1m先（Bの位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。

画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。



アドバイス

次のようなときは、画面が見づらくなることがあります、異常ではありません。

- ・暗いところ（夜間など）。
- ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
- ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）。
- ・カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
- ・太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに当たったとき。

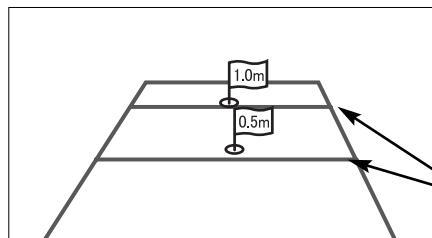
ブラインドコーナーモニター/サイドモニターシステムの操作

3 画面と実際の路面との誤差

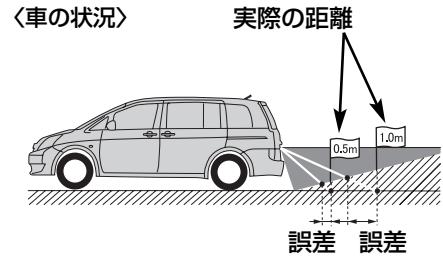
以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。
(イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します)

■急な上り坂が後方にあるとき

<画面>



<車の状況>

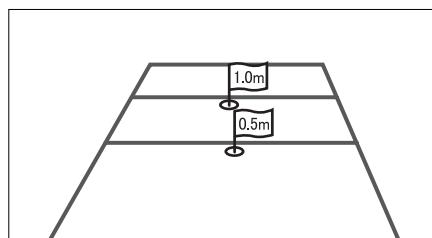


距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。

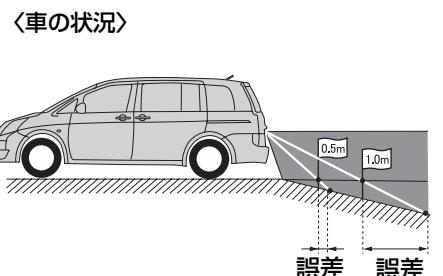
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■急な下り坂が後方にあるとき

<画面>



<車の状況>



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。

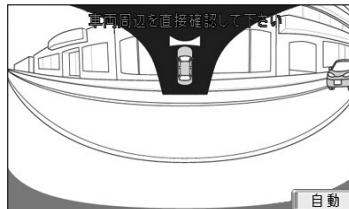
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

オプションのブラインドコーナーモニターやサイドモニターシステムを接続した場合、周辺の状況を画面に映すことができます。

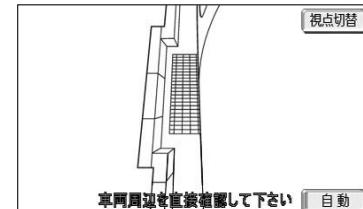
- ブラインドコーナーモニター… 車両前方直下、または見通しの悪い交差点やT字路などで、車両の左右前方を確認することができます。
- サイドモニターシステム…… 左折や幅寄せなどをする際に、車両の左前方を確認することができます。

※車種によっては、ブラインドコーナーモニター、またはサイドモニターシステムが接続できない場合があります。詳しくは、販売店に問い合わせてください。

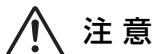
●ブラインドコーナーモニター画面



●サイドモニター画面



ブラインドコーナーモニター/サイドモニターシステムについての注意点



注意

- ブラインドコーナーモニター/サイドモニターシステムを過信しないでください。
運転は一般的の車と同様、慎重に行ってください。
- 画面だけを見ながら走行することは絶対にしないでください。
画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあります。画面だけを見て走行すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすことがあります。走行するときは、必ず目視やミラーなどで周囲の安全を直接確認してください。
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることができます。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- サイドモニターシステムは、以下のようないくつかの状況では使用しないでください。
 - ・ ドアミラーを格納したとき
 - ・ 助手席ドアが完全に閉まっていないとき

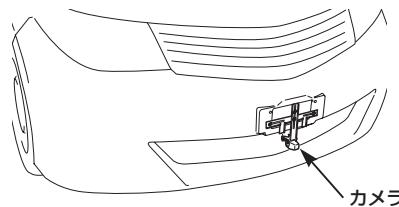


アドバイス

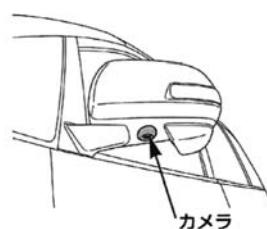
カメラのレンズ特性により、画面に映る人や障害物は実際の位置や距離と異なります。

カメラについての注意点

●ブラインドコーナーモニター



●サイドモニター



注意

ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムが正常に作動しなくなるおそれがありますので以下のことにご注意ください。

- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
- カメラの表面を強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとレンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラのレンズはガラスですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- カメラの表面に飛び石などで傷がつくことがあります。
- 高圧洗車機を使用する場合、カメラまたはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落するおそれがあります。
- ブラインドコーナーモニターの取り付け位置は、車種により異なります。

アドバイス

カメラのレンズがよごれないと、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

1 優先表示の設定をするには

ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に装着している場合、優先して表示する画面を選ぶことができます。



- (1) 情報画面 (P.5-1 参照) で **カメラ表示優先設定** にタッチします。



- (2) **ブラインドコーナーモニター** または **サイドモニターシステム** にタッチします。
- (3) **完了** にタッチします。

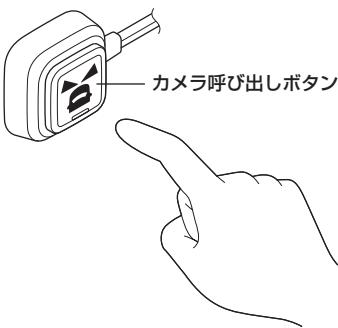
- 優先表示に設定されていない画面は、カメラ呼び出しボタン (P.6-61 参照) を押して表示することができます。

ブラインドコーナーモニター/サイドモニター画面への切り替え

各モニター画面への切り替えは、低速時に手動、または自動で行うことができます。

1 手動で切り替える

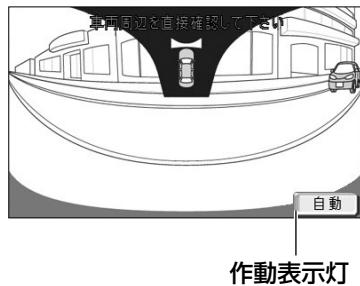
エンジンスイッチがONで車速が約12km/h未満の場合、各モニター画面を手動で表示することができます。



- (1) カメラ映像呼び出しボタンを押します。
 - 各モニター画面が表示されます。
 - ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に装着している場合、表示される画面は優先表示の設定により異なります（「優先表示の設定」前ページ参照）。
 - 各モニター画面は、以下の場合に解除されます。
 - ・車速が約12km/h以上になった場合
 - ・カメラ映像呼び出しボタンを押した場合※1
 - ・チェンジレバーをRにした場合※2
 - ・Ⓐや♪を押した場合
- ※ 1:優先表示に設定されている画面を表示している場合、2回押してください。
 ※ 2:バックガイドモニター、またはバックモニターを装着していない場合、サイドモニター画面は解除されません。

2 自動で切り替えを設定する

各モニター画面を自動でON（切り替える）にするか、OFF（切り替えない）にするか、選ぶことができます。また、表示するタイミングも選ぶことができます。



作動表示灯

- (1) 各モニター画面で、自動にタッチします。
 - タッチするごとに、作動表示灯および表示条件が切り替わります。
 - 各モニター画面は、以下の場合に解除されます。
 - ・車速が約12km/h以上になった場合
 - ・カメラ映像呼び出しボタンを押した場合※1
 - ・チェンジレバーをRにした場合※2
 - ・Ⓐや♪を押した場合
- ※ 1:優先表示に設定されている画面を表示している場合、2回押してください。
 ※ 2:バックガイドモニター、またはバックモニターを装着していない場合、サイドモニター画面は解除されません。

作動表示灯の色	表示条件
黄色	減速して約10km/h以下になった場合 または、エンジンスイッチをONにした場合
橙色	エンジンスイッチをONにした場合のみ
無灯（消灯）	自動表示しません



アドバイス

- 車速が約12km/h以上のときは、カメラ映像呼び出しボタンを押してもメッセージが表示され、画面が切り替わりません。
- ブラインドコーナーモニター画面は、チェンジレバーがRの場合は切り替えることができません。
- ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に装着している場合、自動表示の設定は同じになります。それぞれを異なる設定にすることはできません。

サイドモニターシステムの表示範囲の切り替え

サイドモニターシステムは、画面に表示する範囲を切り替えることができます。

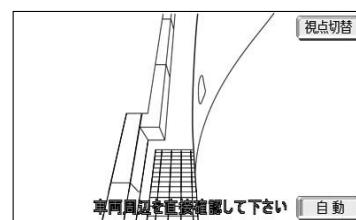
VIEW A…車両左前方の映像を、左側中心で表示することができます。

VIEW B…車両左前方の映像を、前方中心で表示することができます。

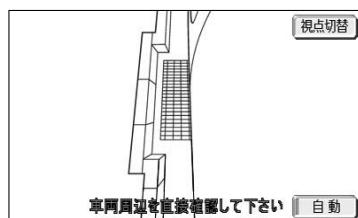
●VIEW A表示画面



●VIEW B表示画面



1 表示範囲を切り替えるには



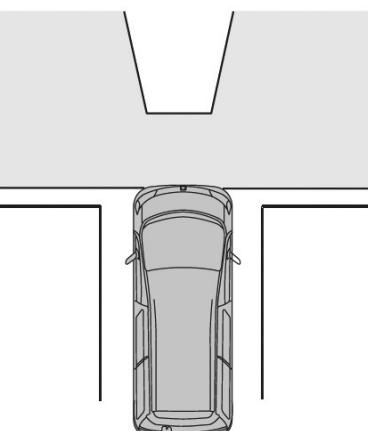
- (1) サイドモニター画面で、「視点切替」にタッチします。
- タッチするごとに、VIEW AとVIEW Bが切り替えられます。

画面に映る範囲について

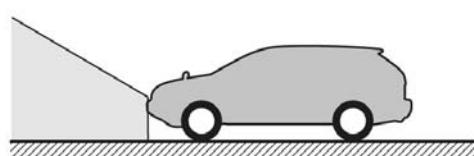
■ブラインドコーナーモニターについて

車両の左右前方の映像（下図の範囲）を表示することができます。

【左右方向】



【上下方向】



アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- 画面に車両の一部（バンパーやグリル、ライセンスプレートなど）が映ることがあります。
- ブラインドコーナーモニターは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離間隔は実際の距離とは異なります。
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり見づらくなることがあります。
必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。


アドバイス

- 次のようなときは、画面が見づらくなることがあります、異常ではありません。

- ・暗いところ（夜間など）。
- ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
- ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）。
- ・カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
- ・太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに当たったとき。

- 次のようなときは故障ではありません。

- ・雨の日など湿度が高いときはカメラが曇ることがあります。
- ・夜間走行のときなどに、前方の車のランプや建物などの灯りが映像に映り込むことがあります。
- ・夜間など暗い場所では、ノイズを目立たなくするために、白黒映像のように見えたり、実際とは異なる色で見えます。
- ・画面の中央や四隅は映像の鮮明度が低下することがあります。

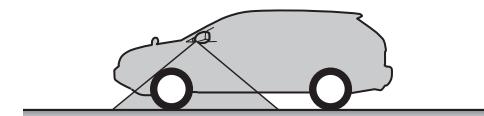
- 画面の色合い・色の濃さ・明るさ・コントラストを調整することができます。詳しくは「画面の調整」（P.1-29）を参照してください。

■サイドモニターシステムについて
●VIEW A

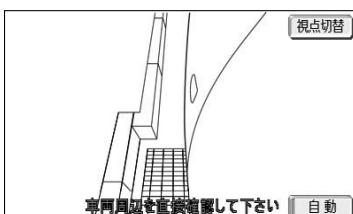
車両の左前方の映像を左側中心（下図の範囲）に表示することができます。



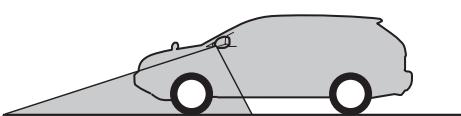
〈映る範囲〉


●VIEW B

車両の左前方の映像を前方中心（下図の範囲）に表示することができます。



〈映る範囲〉



アドバイス

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- サイドモニターシステムのカメラはレンズの特性のため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがあります、異常ではありません。
- ・暗いところ。（夜間など）
- ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
- ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。（雨天時など）
- ・カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
- ・太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり見づらくなることがあります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- 次のようなときは故障ではありません。
- ・雨の日など湿度が高いときはカメラが曇ることがあります。
- ・夜間走行のときなどに、前方の車のランプや建物などの灯りが映像に映り込むことがあります。
- ・夜間など暗い場所では、ノイズを目立たなくするために、白黒映像のように見えたり、実際とは異なる色で見えます。
- ・画面の四隅は映像の鮮明度が低下することがあります。
- ・50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
- 画面の色合い・色の濃さ・明るさ・コントラストを調整することができます。詳しくは「画面の調整」（P.1-29）を参照してください。

電源の入れ方・音量調整のしかた

オーディオ機能のオン・オフや音量の調整ができます。

1 電源の入れ方

オーディオの電源のオン・オフを行うことができます。



(1) **PWR** を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。
- **PWR** を押し続けても、電源がオンになります。

(2) **ON** にタッチします。

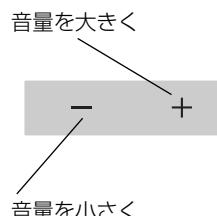
- **AM・FM** や **...** 等のオーディオモードスイッチにタッチしても、電源がオンになります。



初めてオーディオOFFをしたときは、VICS受信に関するメッセージが表示されます。

2 音量調整のしかた

音量の調整を行うことができます。



(1) **VOL**ボタンで音量を調整します。

- **VOL「+」** または **VOL「-」** を押します。



アドバイス

- **VOL**ボタンは短く押すと1ステップずつ音量が変わり、長く押すと手をはなすまで音量が変わり続けます。
- ボリュームが最大（最小）になると、それ以上の音量は変わりません。
- DVD、AUXのボリュームは、その他のオーディオのボリュームとは別に調整することができます（P.10-6、P.12-20参照）。



注意

走行中の操作は安全運転に支障がないよう十分注意して行ってください。
また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



アドバイス

オーディオを聞いているときに、車内または車の近くでデジタル携帯電話を使用した場合、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがありますが故障ではありません。

テレビ・オーディオの切り替え

1 テレビ・オーディオの切り替え方

以下の操作でオーディオモードを切り替えることができます。



(1) を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。
- 画面下にオーディオシンプルメニューが表示されます。

(2) オーディオモードを選んでタッチします。

- **AM・FM** タッチするたびにAMラジオまたはFMラジオが切り替わります。
- **DISC** ディスク^{*1}に切り替わります。
- **ワンセグ** ワンセグに切り替わります。^{*2}
- **TV** 地上デジタルテレビに切り替わります。^{*3}
- **>>>** 交通情報に切り替わります。
- **AUX** AUXに切り替わります。
- **SD AUDIO** SD AUDIOに切り替わります。
- **iPod** iPodに切り替わります。^{*4}
- **USB** USBメモリーに切り替わります。^{*4}
- **VTR1** VTR1^{*4}に切り替わります。
- **VTR2** VTR2^{*4}に切り替わります。

^{*1} DVD、CD、MP3/WMAが該当します。挿入されたメディアによって表示が異なります。

^{*2} 地上デジタルテレビチューナー未接続時のみ表示します。

^{*3} 地上デジタルテレビチューナー接続時のみ表示します。

^{*4} 各機器を接続時のみ表示します。

● オーディオシンプルメニューに選択したいオーディオモードがない場合



(1) **その他** にタッチします。

- オーディオシンプルメニューに表示されていないオーディオモード全てを表示します。

(2) オーディオモードを選んでタッチします。

● オーディオシンプルメニューをカスタマイズするには

オーディオシンプルメニューには、よく使うオーディオスイッチを表示することができます。



(1) を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。

(2) **その他** にタッチします。

- オーディオメニュー画面が表示されます。



(3) **スイッチカスタマイズ** にタッチします。

- オーディオシンプルメニューカスタマイズ画面が表示されます。



(4) 既に設定されてるスイッチの中から、変更したい機能にタッチします。

- タッチした機能の設定が解除され、オーディオシンプルメニューからスイッチが消去されます。



(5) オーディオシンプルメニューに表示したい機能を選択します。

- 選択した機能は、タッチした順番に空白スイッチ位置の左から設定されます。

(6) **完了** にタッチします。



アドバイス

オーディオシンプルメニューは、4つのオーディオモードを自由に設定することができます。設定の方法については、次ページの「オーディオシンプルメニューをカスタマイズするには」を参照してください。



アドバイス

● オーディオシンプルメニューには必ず4つの機能を設定する必要があります。このため、4つの機能を選択していない場合、**完了** が反転して操作できません。

- **TV**、**iPod**、**USB**、**VTR1**、**VTR2** は機器が接続されていないと表示・選択されません。

2 オーディオ操作画面について

●オーディオ操作画面を表示するには



(1) PWR を押します。

- 選択されているオーディオモードの操作画面を表示します。

●オーディオ操作画面の表示設定を行うには

オーディオ操作画面を表示させてから一定時間後に表示を解除して元の画面に戻るか、表示をそのまま継続するかの設定ができます。

詳細は、P.1-33の**2**「画面の表示設定をするには」を参照してください。

●各オーディオモードの操作画面

AM (P.9-1参照)



FM (P.9-1参照)



交通情報 (P.9-4参照)



CD (P.10-38参照)



MP3/WMA (P.10-41参照)



ワンセグ (P.8-4参照)



デジタルテレビ^{*1} (P.8-15参照)



DVDビデオ (P.10-7参照)



DVD-VR (P.10-7参照)



AUX^{*2} (P.12-19参照)



SD AUDIO (P.11-17参照)



iPod^{*2*3} (P.12-1参照)



USBメモリー^{*2*3} (P.12-8参照)



VTR1^{*2*3} (P.8-24参照)



VTR2^{*2*3} (P.8-24参照)



*1 販売店装着オプション。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

*2 接続する各機器は、別途お買い求めください。

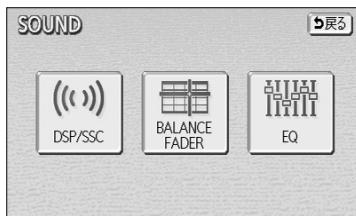
*3 接続コードは販売店オプション。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

音の調整

音質や前後左右の音量の調整を行うことができます。

1 DSP/SSCの設定を行うには

DSP（音場）を設定することで再生する音楽に残音響を加え、クラブや映画館などの臨場感のある音場を擬似的に再現したり、SSCを設定することで低音・高音を強調しても波形を崩すことなく中音域とのバランスを保ち、音にメリハリを出すことができます。



- (1) 各モードの操作画面を表示させているときに **SOUND** にタッチします。
- (2) **DSP/SSC** にタッチします。



- (3) DSP（音場）またはSSCを選択すると下記の表のような音質効果を持たせることができます。
- (4) **完了** にタッチします。
 - DSP（音場）またはSSCの効果を無効にするには **OFF** にタッチします。
 - Compression機能は小さな音のみ大きくします。走行中のノイズに埋もれてしまう映画のセリフや小さな音が明瞭に聞こえるようになり、迫力感が増します。

タッチスイッチ	機能
CLUB	ディスコ、クラブの音場を擬似的に再現します。
THEATER	映画館の音場を擬似的に再現します。
STADIUM	球場の音場を擬似的に再現します。
SSC 1	サウンドに少しだけ厚みを持たせます。
SSC 2	サウンドにほどよい厚みを持たせます。
SSC 3	サウンドに大幅な厚みを持たせます。

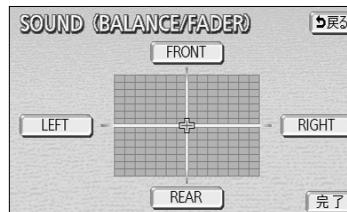


アドバイス

- DSP（音場）とSSCの設定を同時にすることはできません。1の(3)の画面で **SSC 1** をタッチしたあとに **CLUB** にタッチするとSSC1の設定を解除してCLUBに設定します。
- DSP（音場）とSSCの設定は、FM/AM/ワンセグ/TV時と、それ以外のオーディオモード時とで、別々に設定できます。
- SSCが設定されているときは、EQ (P.7-9の3参照) の設定はフラットの状態となります。
- オーディオモードがDVDの場合は、Wonder Theaterモード (P.10-36参照) がFLATに設定されているときにDSPとSSCの設定を行うことができます。
- SSCの音質効果が大きい場合、お車のスピーカーによっては音が歪むことがあります。その時はSSC1またはSSC2に効果を下げてご使用ください。
- DSP（音場）が設定されている場合、再生する音楽によっては残音響が歪んで聞こえることがあります。その時はDSP（音場）の効果を無効にしてご使用ください。

2 前後音量／左右音量を調整するには

音量のバランスを調整することができます。



- (1) SOUND設定画面 (P.7-7の1の(2)参照) で、**BALANCE/FADER** にタッチします。

■ 前後音量を調整する

前側音量を強調する場合は **FRONT**、後側音量を強調する場合は **REAR** にタッチします。

■ 左右音量を調整する

右側音量を強調する場合は **RIGHT**、左側音量を強調する場合は **LEFT** にタッチします。

- (2) **完了** にタッチします。

③ イコライザーの設定をするには

7帯域の出力を好みで設定できます。

設定値は、**EQ1**～**EQ5**に保存し、必要に応じて呼び出せます。

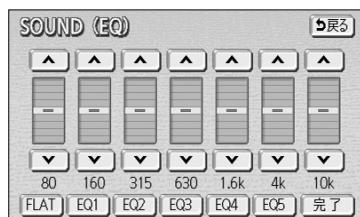
●イコライザーを切り替えるには

- (1) SOUND設定画面（P.7-7の①の(2)参照）で、**EQ**にタッチします。

- (2) **EQ1**～**EQ5**を選びます。

- (3) **完了**にタッチします。

● 選んだ設定に切り替わります。

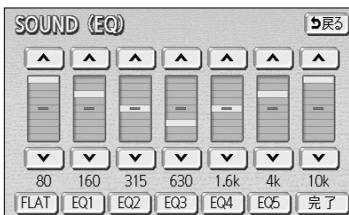


タッチスイッチ	機能
FLAT	全ての周波数が±0dBの、フラットな設定です。
EQ1	Rock : シャープでダイナミックなサウンドを再現します。
EQ2	Pops : 聴きやすくかつメリハリを持たせます。
EQ3	Bass_Boost : 低域を強調します。
EQ4	Treble_Boost : 高域を強調します。
EQ5	Vocal_Boost : 中域を強調します。

アドバイス

- イコライザーの設定値、オーディオモード、再生するディスクなどの組み合わせによっては、ノイズが発生する場合があります。そのときは、**FLAT**など、ノイズの発生しない設定に切り替えてください。
- SSC（P.7-7の①参照）設定されているときは、EQの画面は表示できません。
- オーディオモードがDVDの場合は、Wonder Theaterモード（P.10-36参照）がFLATに設定されているときにEQの設定を行うことができます。

●イコライザーの設定値を変更するには



- (1) P.7-9の③の(2)の画面で、**▲**・**▼**をタッチして、各周波数の出力を設定します。

● **EQ1**～**EQ5**から好みの番号を選び、ピッと音がなるまでタッチし続けると、設定内容が選んだ番号に上書き保存されます。

次回**EQ1**～**EQ5**をタッチするだけで、設定内容を呼び出せます。

● 設定内容は、**FLAT**には保存できません。

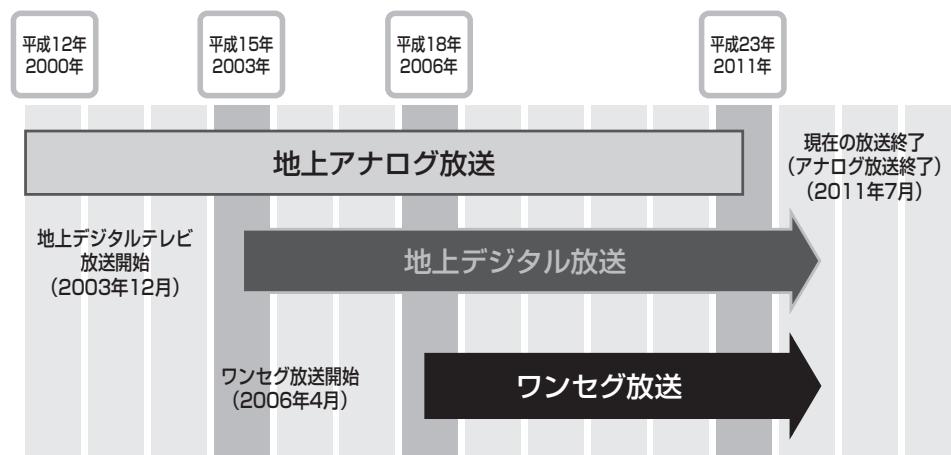
● **FLAT**をピッと音がなるまでタッチし続けると、**EQ1**～**EQ5**の設定内容が初期設定に戻ります。

ワンセグをお使いになる前に

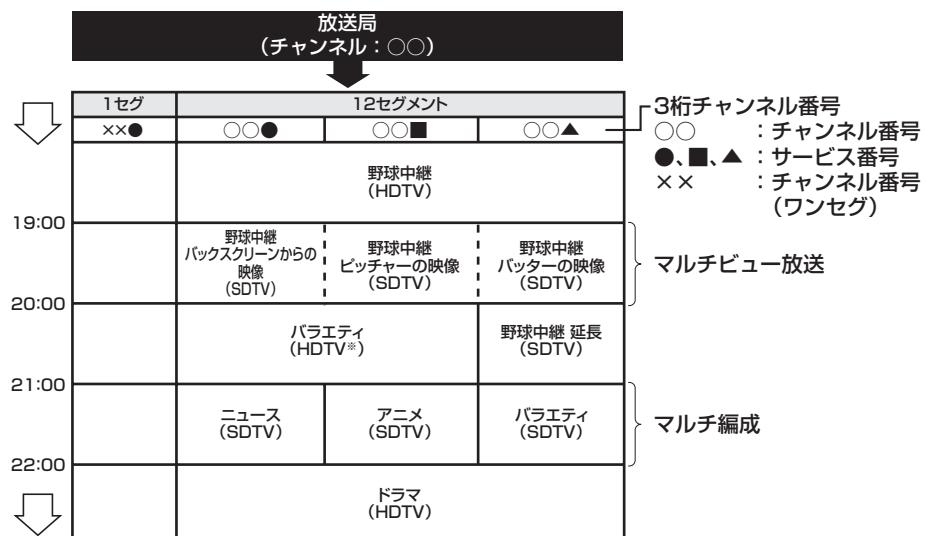
地上デジタル放送について

地上デジタルテレビ放送は関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。

地上アナログ放送は、2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。



地上デジタル放送は、1つのチャンネルが13の「セグメント」という単位で分割されています。一般的に、地上デジタルテレビ放送は12セグメントを使用したハイビジョン映像（HDTV）や標準映像（SDTV）の放送を指します。標準映像は1つのチャンネルで複数の番組を同時に提供することができます（マルチ編成）。残りの1セグメントはワンセグ放送と呼ばれる携帯・移動体向けの放送に使用されます。



3行チャンネル番号
○○ : チャンネル番号
●、■、▲ : サービス番号
× × : チャンネル番号 (ワンセグ)

マルチビュー放送

マルチ編成

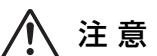
ワンセグをお使いになる前に

8 テレビ



アドバイス

- ワンセグは、テレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。
- 本機では、この地上デジタル放送の携帯電話・移動体端末向けの1セグメント部分受信サービス「ワンセグ」を視聴することができます。
- 本機単体では、12セグメントを使用した地上デジタルテレビ放送をご覧になることはできません。
地上デジタルテレビ放送をご覧頂くには、別売の地上デジタルTVチューナーが必要になります。



注意

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- ・AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
- ・個人的かつ非営利的活動に從事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ・ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

<http://www.mpegla.com>

ワンセグを見るには

1 チャンネルリストの設定

ワンセグを受信するには、まず現在の場所で受信できるワンセグの放送局を探します(チャンネルリストスキャン)。ご購入後、初めてワンセグに切り替えたときには、まずチャンネルリストスキャンを行ってください。チャンネルリストスキャンを行わないと、ワンセグは受信できません。チャンネルリストスキャンによって探し出された放送局は、プリセットスイッチ(次ページの「ワンセグ操作画面」を参照)にチャンネルが記憶され、ワンセグが受信できるようになります。



(1) **PWR** を押します。

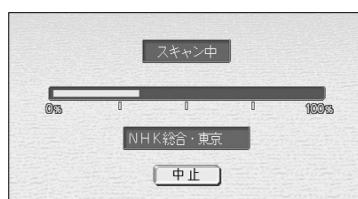
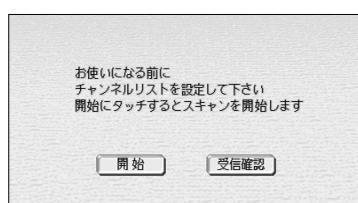
● オーディオ操作画面が表示されます。

(2) **ワンセグ** にタッチします。

● オーディオシンプルメニューに **ワンセグ** を設定していない場合は、**その他** にタッチしてから **ワンセグ** にタッチします (P.7-3の**1** 参照)。

● ご購入後、はじめてワンセグに切り替えた場合はチャンネルリストスキャンを促すメッセージが表示されます。

(3) **開始** にタッチします。



アドバイス

受信確認 は本機を販売店で車に取り付ける際、ワンセグ放送のアンテナ入力レベルを確認するために使用します。

● 現在の場所で受信できるワンセグ放送局のスキャンが開始されます。

● **中止** にタッチすると、チャンネルリストスキャンを中止します。

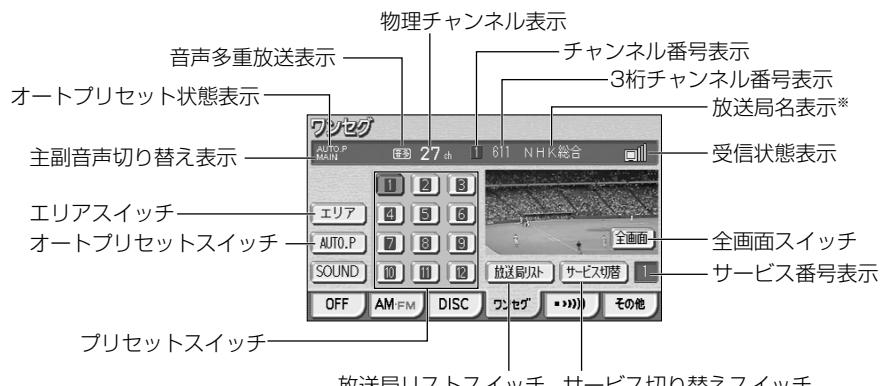
● スキャンが正常に終了すると、ワンセグの映像が表示され、ワンセグが受信できるようになります。

アドバイス

引越しなどでご自宅周辺で受信できる放送局が変わったときは、P.8-13を参照して、再度チャンネルリストスキャンを行ってください。



●ワンセグ操作画面



物理チャンネルとチャンネル番号について

地上デジタル放送では、従来のアナログ放送とは異なり、実際に送信されているチャンネル(物理チャンネル)と、放送局に割り当てられたチャンネル(チャンネル番号)とが異なります。

地上デジタル放送はUHF波で放送しており、実際のチャンネルは13ch~62chまでのチャンネルで(例えば、関東広域圏ではNHK総合は27chになります)、このチャンネルのことを「物理チャンネル」といいます。しかし、テレビなどのリモコンで、この番号(物理チャンネル)を使うのは不便なので、リモコンキーに対応する番号を地域ごとにあらかじめ割り当てています。

これを「チャンネル番号」といい、本機では**1** ~ **12**までのプリセットスイッチに割り当てています。

サービス番号について

地上デジタル放送は、1つのチャンネルで複数の番組(サービス)を同時に放送することができます。1つのチャンネルに複数の番組が放送されている場合に、それぞれの番組を区別するための番号が「サービス番号」です。

3桁チャンネル番号について

「3桁チャンネル番号」とは、各放送局に割り当てられた2桁のチャンネル番号と、1桁のサービス番号を組み合わせたチャンネルのことをいいます。

アドバイス

- ワンセグの3桁チャンネル番号は通常の地上デジタルテレビ放送と異なり、611～728に割り当てられています。
- 受信状態表示について
本機は電波の状態をインジケータによって確認することができます。



2 ワンセグを見るには

ワンセグを見るには

8 テレビ



(1)

♪ PWR を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。

(2)

ワンセグ にタッチします。

- オーディオシンプルメニューに「ワンセグ」を設定していない場合は、「その他」にタッチしてから「ワンセグ」にタッチします。(P.7-3の 1 参照)。
- ワンセグ映像が表示されます。
- ♪ PWR を押すか、ワンセグ映像にタッチするとワンセグ操作画面が表示されます。
- ワンセグ操作画面で「全画面」または映像部分にタッチすると、ワンセグ操作画面が消去され、ワンセグ映像が表示されます。



アドバイス

- 初めてお使いになる場合は、チャンネルリストの設定を行います。P.8-3をご覧ください。
- 車が停車中で、車のパーキング・ブレーキがかけられているときにワンセグ映像をお楽しみいただけます。
- 走行中は安全のため、ワンセグ映像が消え、音声だけになります。
- 電波の受信状態が悪くなった場合、画面が静止して音が出なくなることがあります。
- 本機は双方向通信には対応していません。

3 見たいチャンネルを選ぶには

次の4つの方法の操作によって、見たいチャンネルに切り替えることができます。

●手動で選ぶには



(1) ▶◀ ▶▶ の左または右を押します。

- プリセットスイッチに登録されたチャンネルが順送り（右）／逆送り（左）で切り替わります。

●自動で選ぶには



(1) ▶◀ ▶▶ の左または右をピッと音がするまで押し続けると、画面に表示されている物理チャンネルに一番近い放送局を探して受信します。途中で中止する場合はもう一度押します。

アドバイス

受信電波が弱いと、放送局を探しても受信することができない場合があります。

●プリセットスイッチから選ぶには



(1) ワンセグ操作画面 (P.8-4参照) で、プリセットスイッチにタッチします。

- 選択したプリセットスイッチに登録されたチャンネルを受信します。

●放送局リスト画面から選ぶには



(1) ワンセグ操作画面 (P.8-4参照) で「放送局リスト」にタッチします。

- 放送局リスト画面が表示されます。
- 受信したいチャンネル（リスト）にタッチします。
- 選択したリストに登録されたチャンネルを受信します。
- 「全画面」にタッチすると、ワンセグ映像が表示されます。

ワンセグを見るには

8 テレビ

4 複数サービスを切り替えるには

1つのチャンネルから複数の番組（サービス）を同時に受信している場合に、番組を切り替えることができます。



- (1) ワンセグ操作画面 (P.8-4参照) で **サービス切替** にタッチします。

- タッチするごとに番組（サービス）が切り替わります。



- (5) オートプリセットを行う場合は、(1) の画面で **AUTO.P** をピッと音が鳴るまでタッチし続けます。

- 動作が終了するとプリセットスイッチにチャンネルが記憶されます。記憶した中で一番小さいチャンネルを受信します。（オートプリセット）。

- プリセットスイッチを押すと、チャンネルがワンタッチで選択できるようになります。



- アドバイス**
- 地上デジタル放送では1つのチャンネルが複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。
 - 1つのチャンネルで、同じ番組を放送している場合があります。
 - 放送局内に番組が1つしかない場合は **サービス切替** が反転して操作できません。

5 選局したチャンネルを記憶させるには

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるには、マニュアルプリセット（手動）とオートプリセット（自動）の2つのモードがあり、別々に記憶させることができます。



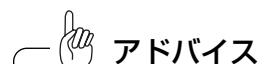
- (1) ワンセグ操作画面 (P.8-4参照) を表示します。
- (2) マニュアルプリセットを行うには、まず“AREA.P”が画面 (P.8-4の「ワンセグ操作画面」の「オートプリセット状態表示」) に表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは、**エリア** にタッチすると、AREA.Pからマニュアルプリセットに切り替わります。

- (3) チャンネルを選局します (P.8-6参照)。
- (4) プリセットスイッチをピッと音が鳴るまでタッチし続けます。

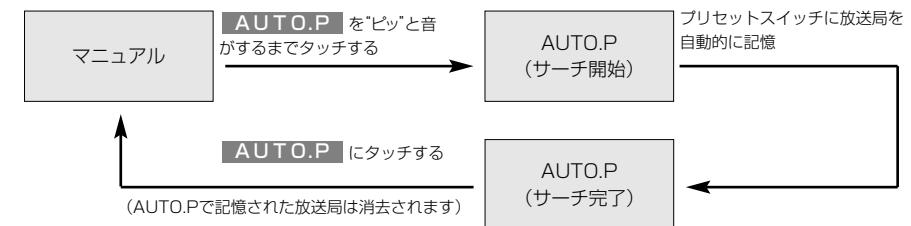
- プリセットスイッチを押すと、チャンネルがワンタッチで選局できるようになります。

- 放送局リスト画面 (P.8-6参照) でチャンネル (リスト) をピッと音が鳴るまでタッチし続けても、マニュアルプリセットを行うことができます。



アドバイス

- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
 - オートプリセットを行った時は画面に「AUTO.P」が表示されます。
 - 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルとAUTO.Pスイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
 - AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
 - 受信感度の良いチャンネルを12局まで自動的に記憶します。
 - 受信できたチャンネルが12局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。
 - AUTO.Pは一時にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。
ふだんご覧になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出することができます。
- AUTO.P動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態に戻ります。（このときAUTO.Pで記憶したチャンネルは消去されます。）AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



番組表を見るには

6 エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルを表示・選局することができます。



- (1) ワンセグ操作画面 (P.8-4参照) で **エリア** にタッチします。



- その地域で放送されている放送局のチャンネルがプリセットスイッチに記憶されます。(エリアプリセットモード)
- プリセットスイッチにタッチすると、選択したチャンネルに切り替わります。
- もう一度**エリア**にタッチすると、エリアプリセットモードを解除します。

アドバイス

- 旅先などで放送局の物理チャンネルがわからないときなどに便利です。
- エリアスイッチで放送局表示させた場合は、「AREA.P」が表示されます。

番組表とは、放送局が提供する画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で簡単に、見たい番組を探すことができます。

● 番組表画面



1 番組表を表示するには

- (1) ワンセグ操作画面 (P.8-4参照) で **放送局リスト** にタッチします。

- 放送局リスト画面が表示されます。



- (2) **番組** にタッチします。



- 番組表が表示されます。

2 見たい番組を探すには



- (1) 番組表で **▲**・**▼** または **↑**・**↓** にタッチすると、リストを切り替えることができます。
 - 番組表の放送時間を進めるには **▼** (1項目ずつ)、または **↓** (1ページずつ) にタッチします。
 - 番組表の放送時間を戻すには **▲** (1項目ずつ)、または **↑** (1ページずつ) にタッチします。
- (2) 番組表でチャンネル切り替えスイッチ (**◀**・**▶**) にタッチすると、見たいチャンネルを切り替えることができます。
 - **◀**・**▶** にタッチすると、プリセットスイッチ (P.8-4参照) に登録された順にチャンネルが順送り (**▶**) /逆送り (**◀**) で切り替わります。



アドバイス

- 番組表で表示されるのは最大で10番組です。
- 現在の時刻より前の時間や日付の番組表は見れません。
- 番組表を表示している放送局が複数の番組を放送している場合は、**サービス切替** にタッチすると同一放送局から放送されている異なる番組に切り替えることができます。

3 番組内容を見るには



- (1) 番組表で番組タイトル (リスト) にタッチします。
 - タッチした番組の詳細な内容を見ることができます。
 - 番組の内容が表示しきれない場合は **▲** または **▼** にタッチするとリストを動かせます。

ワンセグの設定を行うには

設定画面から、音声（複数音声、二重音声）や字幕の切り替え、チャンネルリストスキャンを行なうことができます。

1 複数の音声を切り替えるには

複数音声放送の番組を受信したときの音声を切り替えることができます。



- (1) ワンセグ操作画面 (P.8-4参照) で **放送局リスト** にタッチします。
- (2) **設定** にタッチします。
- 設定画面が表示されます。



- (3) 音声の **第1音声** または **第2音声** から設定したい項目にタッチします。
 - 複数音声放送でない場合は、設定のみ切り替わります。
- (4) **完了** にタッチします。

2 二重音声を切り替えるには

二重音声放送の番組を受信したときの音声を、MAIN (主音声)・SUB (副音声)・MAIN/SUB (主音声+副音声) に切り替えることができます。



- (1) 設定画面 (1の(3)の画面) を表示します。
- (2) 二重音声の **MAIN**・**SUB**・**MAIN/SUB** から設定したい項目にタッチします。
 - 二重音声放送でない場合は、設定のみ切り替わります。
- (3) **完了** にタッチします。

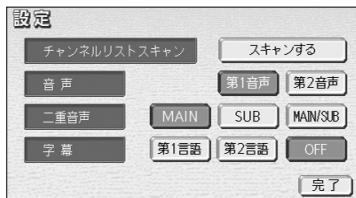


アドバイス

- 切り替えによって出力される音声は番組によって異なります（複数音声放送の第1音声には、主に日本語の音声が提供されています）。
- 二重音声放送の番組を受信しているときは、ワンセグ操作画面 (P.8-4参照) に **音多** のマークが表示されます。
- 放送局リスト画面 (P.8-6参照) の **MAIN/SUB** にタッチすることでも二重音声の設定を切り替えることができます。

3 字幕を切り替えるには

字幕データのある番組を受信したときの、字幕言語の種類と表示のON/OFFを切り替えることができます。



- (1) 設定画面 (P.8-12の1の(3)の画面) を表示します。
- (2) 字幕の **第1言語**・**第2言語**・**OFF** から設定したい項目にタッチします。
 - **OFF** に設定すると、字幕データのある番組でも字幕は表示されません。
 - 字幕データがない番組の場合は、設定のみ切り替わります。
- (3) **完了** にタッチします。



アドバイス

切り替えによって出力される字幕は番組によって異なります。
(第1言語には、主に日本語の字幕が提供されています)

4 チャンネルリストスキャンを行うには

ご自宅周辺で新しいワンセグの放送が始まったときや引越しなどにより、ご自宅周辺で受信できるワンセグの放送局が変わったときに受信できる放送局を自動的に探して、プリセットスイッチ (P.8-4参照) に登録することができます。



- (1) 設定画面 (P.8-12の1の(3)の画面) を表示します。
- (2) **スキャンする** にタッチします。
 - 現在の場所で受信できるワンセグの放送局のスキャンが開始されます。
 - **中止** にタッチすると、チャンネルリストスキャンを中止します。



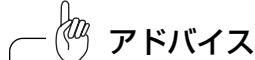
アドバイス

中止 にタッチすると、プリセットスイッチに登録されている放送局は、チャンネルリストスキャン動作前の状態に戻ります。



- スキャンが終了するとワンセグ映像が表示されます。

- 受信可能な放送局がプリセットスイッチ (P.8-4 参照) に登録されます。



アドバイス

スキャンにより受信できる放送局が1つも見つからなかった場合は、周囲の状況 (P.14-16参照) が受信しにくい場所でないことをご確認の上再度チャンネルリストスキャンを行ってください。それでも見つからない場合は、販売店にお問合せください。

緊急警報放送 (EWS) を見るには

緊急警報放送 (EWS) について

緊急警報放送 (EWS:Emergency Warning System)とは、大規模災害など緊急なできごとが発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

1 緊急警報放送 (EWS) 受信時の本機の動作



- (1) 視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送の番組（サービス）に切り替わります。



アドバイス

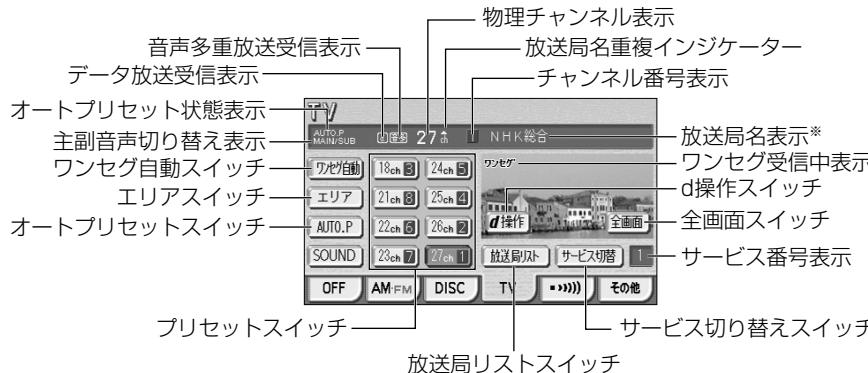
緊急警報放送が終了しても、切り替わった番組はそのままです。元の番組には戻りません。
再度、お好みの番組を選択してください。

地上デジタルテレビ放送を見るには

別売の地上デジタルTVチューナーを接続することで、地上デジタルテレビ放送を視聴することができます。お車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみ地上デジタルテレビ放送の映像をご覧になることができます（走行中は安全のため、音声のみになります）。

本書では、番組の選び方、チャンネルの記憶方法、音声の切り替え方について記載しています。それ以外の受信（番組表やデータ放送）や操作方法については、地上デジタルTVチューナーの取扱書をご覧ください。

●デジタルテレビ操作画面



*放送局名は自車の位置によって表示されないことがあります。

1 デジタルテレビを見るには



- (1) PWR を押します。
 - オーディオ操作画面が表示されます。
- (2) TV にタッチしてDTVに切り替えます。
 - オーディオシンプルメニューに TV を設定していない場合は、その他 にタッチしてから TV にタッチします (P.7-3の 1 参照)。
 - デジタルテレビ映像が表示されます。
 - を押すか、デジタルテレビ映像にタッチすると、デジタルテレビ操作画面が表示されます。
 - デジタルテレビ操作画面で 全画面 または映像部分にタッチすると、デジタルテレビ操作画面が消去され、デジタルテレビ映像が表示されます。

アドバイス

- 地上デジタル放送は、従来のアナログ放送とは異なり、実際に送信されているチャンネル（物理チャンネル）と、放送局に割り当てられたチャンネル（チャンネル番号）とが異なります。地上デジタル放送のチャンネルについての詳細は、P.8-4を参照してください。
- 地上デジタル放送は、1つのチャンネルで複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。1つのチャンネルに複数の番組が放送されている場合に、それぞれの番組を区別するための番号を「サービス番号」と呼びます。
- 初めてお使いになる場合は、初期設定を行います。P.8-23の 10 および地上デジタルTVチューナーの取扱書をご覧ください。
- 車が停車中で、車のパーキング・ブレーキがかけられているときにデジタルテレビ映像をお楽しみいただけます。
- 走行中は安全のため、デジタルテレビ映像が消え、音声だけになります。
- 電波の受信状態が悪くなった場合、画面が静止して音が出なくなることがあります。
- 本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。
- 地上デジタルテレビ放送では、5.1chをAAC方式で圧縮した番組（AAC5.1ch放送）を放送している場合があります。本機はAAC5.1ch放送には対応していません。AAC5.1ch放送を受信した場合、2ch再生となります。
- 本機は双方向通信には対応していません。

2 見たいチャンネルを選ぶには

以下の4つの方法の操作によって、見たいチャンネルに切り替えることができます。

●手動で選ぶには

- (1) の左または右を押します。
 - プリセットスイッチに登録されたチャンネルが順送り（右）／逆送り（左）で切り替わります。



●自動で選ぶには



- (1) **◀◀** **▶▶**の左または右をピッと音がするまで押し続けると、画面に表示されている物理チャンネルに一番近い放送局を探して受信します。
途中で中止する場合はもう一度押します。



アドバイス

受信電波が弱いと、放送局を探しても受信することができない場合があります。

●プリセットスイッチから選ぶには



- (1) デジタルテレビ操作画面（P.8-15参照）でプリセットスイッチにタッチします。
● 選択したプリセットスイッチに登録されたチャンネルを受信します。

●放送局リスト画面から選ぶには



- (1) デジタルテレビ操作画面（P.8-15参照）で**放送局リスト**にタッチします。
● 放送局リスト画面が表示されます。
(2) 受信したいチャンネル（リスト）にタッチします。
● 選択したリストに登録されたチャンネルを受信します。
● **全画面**にタッチすると、デジタルテレビ映像が表示されます。



アドバイス

放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、▲が表示されることがあります。▲が表示されたときは**局名**にタッチすると重複したもう1つの放送局名に切り替えることができます。

3 複数サービスを切り替えるには

1つのチャンネルから複数の番組（サービス）を同時に受信している場合に、番組を切り替えることができます。

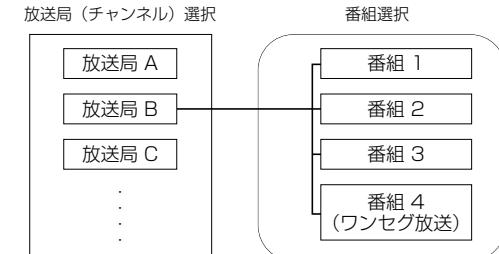


- (1) デジタルテレビ操作画面（P.8-15参照）で**サービス切替**にタッチします。
● タッチごとに番組（サービス）が切り替わります。



アドバイス

- ワンセグ放送のサービス番号は、611～728に割り当てられています。
- 地上デジタルテレビ放送では1つの放送局（チャンネル）が複数の番組を同時に放送しています。
- 1つのチャンネルで、同じ番組を放送している場合があります。



4 データ放送を見るには

データ放送とはテレビ映像のほかに、図形や文字の情報を附加した放送です。
受信するデータ放送により、番組に連動した情報、独立した情報を見ることができます。



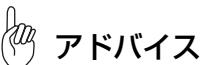
- (1) デジタルテレビ操作画面で**d操作**にタッチして、データ放送の操作パネルを操作します。
詳細については、地上デジタルTVチューナーの取扱書をご覧ください。



5 選局したチャンネルを記憶させるには

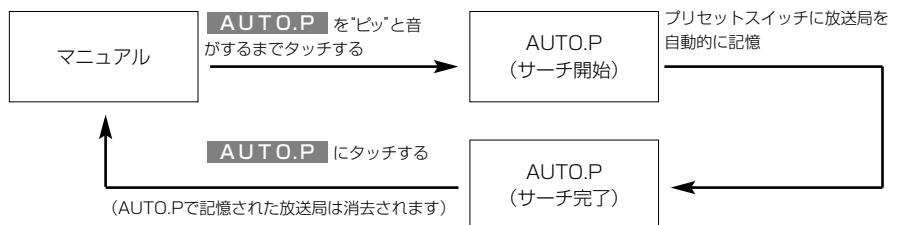
プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるにはマニュアルプリセット（手動）とオートプリセット（自動）の2つのモードがあり、別々に記憶させることができます。

- (1) デジタルテレビ操作画面（P.8-15参照）を表示します。
- (2) マニュアルプリセットを行うには、まず“AREA.P”が画面に表示されていないことを確認します。
 - 表示されているときは、**エリア**にタッチすると、AREA.Pからマニュアルプリセットに切り替わります。
- (3) チャンネルを選局します（P.8-16の②参照）。
- (4) プリセットスイッチをピッと音が鳴るまでタッチし続けます。
 - プリセットスイッチを押すと、チャンネルがワンタッチで選局できるようになります。
 - 放送局リスト画面（P.8-17参照）でチャンネル（リスト）をピッと音が鳴るまでタッチし続けても、マニュアルプリセットを行うことができます。
- (5) オートプリセットを行う場合は、(1)の画面で**AUTO.P**をピッと音が鳴るまでタッチし続けます。
 - 動作が終了するとプリセットスイッチにチャンネルが記憶されます。記憶した中で一番小さいチャンネルを受信します。（オートプリセット）
 - プリセットスイッチを押すと、チャンネルがワンタッチで選択できるようになります。
 - オートプリセット動作中は、デジタルテレビの映像は表示されません。



アドバイス

- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- オートプリセットを行った時は画面に「AUTO.P」が表示されます。
- 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルとAUTO.Pスイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- 受信感度の良いチャンネルを小さい順に8局まで自動的に記憶します。
- 受信できたチャンネルが8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。
- AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。
ふだんご覧になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出すことができます。
- AUTO.P動作中または動作後に**AUTO.P**にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態に戻ります。（このときAUTO.Pで記憶したチャンネルは消去されます。）AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



6 ワンセグ自動切り替えを行うには

ワンセグ自動切り替えとは、地上デジタルテレビ放送のチャンネルを視聴中に受信状況が悪化したときに、自動的にワンセグのチャンネルに切り替える機能です。

地上デジタルテレビ放送が受信できる状況になれば、自動的に地上デジタルテレビ放送のチャンネルに切り替わります。

作動表示灯 ワンセグ受信中表示



- (1) デジタルテレビ操作画面(P.8-15参照)で**ワンセグ自動**にタッチします。
 - **ワンセグ自動** の作動表示灯が点灯します。
 - もう一度タッチすると解除されます。
 - ワンセグ放送受信中は、「ワンセグ」が表示されます。



アドバイス

- 放送が切り替わるとき、一時的に青い画面が表示されます。
- 自動で切り替わった番組が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- 自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- ワンセグ自動切り替えを行う設定についても、ワンセグ放送を実施していない放送局をご覧になっている場合、チャンネルは切り替わりません。

7 エリアスイッチについて



- (1) デジタルテレビ操作画面 (P.8-15参照) で**エリア**にタッチします。

- その地域で放送されている放送局のチャンネルがプリセットスイッチに記憶されます (エリアプリセットモード)。
- プリセットスイッチにタッチすると選択したチャンネルに切り替わります。
- もう一度**エリア**にタッチすると、エリアプリセットモードを解除します。



アドバイス

- 旅先などで放送局の物理チャンネルがわからないときなどに便利です。
- エリアスイッチで放送局表示させた場合は、「AREA.P」が表示されます。

8 音声多重放送の音声を切り替えるには



- (1) デジタルテレビ操作画面 (P.8-15参照) で**放送局リスト**にタッチします。
- (2) **MAIN/SUB** にタッチするたびに
メイン (MAIN) → サブ (SUB)
と切り替わります。
● 音声多重放送でない場合は、設定のみ切り替えます。

9 番組表を表示するには

番組表とは、放送局が提供する画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で簡単に見たい番組を探すことができます。



- (1) デジタルテレビ操作画面 (P.8-15参照) で**放送局リスト**にタッチします。
● 放送局リスト画面が表示されます。
- (2) **番組** にタッチします。
● 番組表が表示されます。詳細は地上デジタルTVチューナーの取扱書をご覧ください。

映像機器のモニターとして使うには

10 初期設定を行うには

初期設定画面では下記の操作ができます。詳しくは地上デジタルTVチューナーの取扱書をご覧ください。

●信号切替

1つのチャンネルに複数の映像や音声などの信号があるとき、それぞれの信号(マルチビュー、複数映像、複数音声、二重音声、字幕、文字スーパー)をお好みに合わせて切り替えることができます。

●システム設定

- ・地上デジタル放送の選局対象設定
- ・居住地域の登録
- ・ワンセグ自動切替の設定
- ・音声出力レベルの設定
- ・個人情報のリセット

●B-CASカード情報の閲覧、動作確認

●放送メールの閲覧

●ソフトウェア情報の確認



- (1) デジタルテレビ操作画面 (P.8-15参照) で **放送局リスト** にタッチします。
- (2) **設定** にタッチします。
● 初期設定画面が表示されます。

市販の映像機器との接続でモニターとして使用することができます。

(別売のトヨタ純正iPod対応USB/VTRマルチアダプターを販売店にてお求めください。)



- (1) **PWR** を押します。
● オーディオ操作画面が表示されます。
- (2) **VTR1** にタッチします。
● VTR(ビデオ部入力)に切り替わり、ビデオなどの映像が表示されます。



- **PWR** を押すか、ビデオ映像にタッチすると、VTR1操作画面が表示されます。
- VTR1操作画面で、**全画面** または映像部分にタッチすると、VTR1操作画面が消去され、ビデオ映像が表示されます。

アドバイス

- 映像機器によっては、iPod対応USB/VTRマルチアダプターが使用できないものがありますので、それぞれの機器の取扱書を参照してください。
- 映像機器からの入力信号が大きい場合には、音が歪む場合があります。この場合、接続した機器側で音量を調整してください。
- 接続した機器により、映像が正常に表示されない場合があります。
- 本機は、別売のトヨタ純正ドライブレコーダー（ナビ接続タイプ）を接続している場合に、再生映像のモニターとして使用することができます。この場合、**VTR2** が表示されますので、(1)、(2) の操作を**VTR2** に行ってください。

ラジオを聞くには

AM放送またはFM放送を受信し、聞くことができます。



*放送局名称は自車の位置によって表示されないことがあります。

1 ラジオを聞くには



FMステレオ放送を受信しているときは画面にSTが表示されます。

(1) を押します。

● オーディオ操作画面が表示されます。

(2) **AM・FM** にタッチします。

● FM/AM放送の音声に切り替わり、ラジオ操作画面が表示されます。

● オーディオシンプルメニューに **AM・FM** を設定していない場合は、**その他** にタッチしてから **AM・FM** にタッチします (P.7-3の1参照)。

● **AM・FM** にタッチするたびにFM/AMが切り替わります。

2 選局するには



(1) の左または右を押すか、ラジオ操作画面でプリセットスイッチにタッチして選局します。

● の左または右をピッと音がするまで押し続けると、現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を探して受信します。途中で中止するときはもう一度押します。



アドバイス

● 受信電波が弱いと、放送局を探しても受信することができない場合があります。

● ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々と変わるために電波の強さが変わったり障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

3 選局した放送局を記憶させるには



(1) 放送局を選局後、ラジオ操作画面でプリセットスイッチをピッと音が鳴るまでタッチし続けます。(マニュアルプリセット)

● プリセットスイッチにタッチすると周波数をワンタッチで選択できます。



(2) 自動的に記憶させる場合は、ピッと音が鳴るまで **AUTO.P** にタッチし続けます。

● 動作が終了するとプリセットスイッチに周波数が記憶されます。
(オートプリセット)

● プリセットスイッチにタッチすると周波数をワンタッチで選択できます。



アドバイス

AM操作画面から交通情報を周波数を設定することができます。詳細は「交通情報を聞くには」(P.9-4)を参照してください。

交通情報を聞くには



アドバイス

- 電波の強い放送局が6局、記憶されます。
- オートプリセット動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチするとプリセットメモリーは、オートプリセット動作前の状態に戻ります。
- オートプリセットを行った時は画面に「AUTOP」が表示されます。
- 電波が弱く1局もプリセットされなかった場合、プリセット局はオートプリセット動作前の状態に戻ります。

4 エリアスイッチについて



- (1) ラジオ操作画面で **エリア** にタッチします。
 - その地域で放送されている放送局名と受信周波数が画面に表示されます。
- (2) プリセットスイッチにタッチして選択します。



アドバイス

- 旅先などで放送局の受信チャンネルがわからないときなどに便利です。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、▲が表示されることがあります。▲が表示されたときは **局名** にタッチすると重複したもう1つの放送局に切り替えることができます。
- エリアスイッチで放送局表示させた場合は、「AREA.P」が表示されます。

交通情報を受信し、聞くことができます。



- (1) **PWR** を押します。
 - オーディオ操作画面が表示されます。
- (2) **・** にタッチします。
 - 交通情報の音声に切り替わり、交通情報画面が表示されます。
- (3) オーディオシンプルメニューに **・** を設定していない場合は、**その他** にタッチしてから **交通情報** にタッチします (P.7-3の①参照)。
- (4) **・** をピッと音がするまでタッチし続けます。



アドバイス

初期設定では1620kHzにセットしてあります。

DVDプレーヤーをお使いになる前に

本機は、DVDの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。市販されているDVDビデオの再生はもちろん、ビデオレコーディング・フォーマット（VRモード）の再生にも対応していますので、ご家庭で録画した地上デジタル放送のDVDも再生することができます。

●DVDビデオの特長

マルチ音声機能について

DVDビデオには、複数の言語が収録されているものがあり、再生中、TVの音声多重放送のように音声言語を切り替えることができます。



アドバイス

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

注意

本機は著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用はマクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

マルチアンクル機能について

DVDビデオには、同じ場面が複数の角度で収録されているもの（マルチアンクル）があり、再生中、好きな角度に切り替えることができます。



映像の角度が切り替わります

字幕表示機能について

DVDビデオには、複数の字幕が収録されているものがあり、再生中に字幕言語を切り替えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。

(DVD-VRは字幕の表示/非表示のみできます)



●DVD-VRの特長

CPRMについて

地上デジタル放送などの著作権保護された映像をDVDに記録するには、CPRMと呼ばれる著作権保護技術に対応したフォーマットで記録する必要があります。ビデオレコーディング・フォーマット（VRモード）はCPRMに対応しています。

プレイリストについて

録画機器でお好みのシーンなどを集めたプレイリストを作成すれば、プレイリスト単位で再生することができます。

●ディスクについて

再生できるDVDについて

本機で再生できるDVDメディアは、DVD-ROM、DVD-R、DVD-RWです。また、本機ではDVDビデオフォーマット、またはDVDビデオレコーディング・フォーマット（VRモード）で記録されたDVDを再生できます。本機はNTSCカラーテレビ方式に対応していますので、市販のDVDビデオは、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）用のディスクの再生は、保証いたしません。

フォーマット (記録方式)	メディア	DVD -ROM	DVD-R		DVD-RW (片面1層のみ)		DVD -RAM
			CPRM対応	CPRM非対応	CPRM対応	CPRM非対応	
DVDビデオ		○	○	○	○	○	×
DVD-VR	デジタルテレビを録画	×	○	×	○	×	×
	アナログテレビを録画	×	○	○	○	○	×

○：再生できます

×：再生できません

アドバイス

- 8cmディスクを再生するときは、付属の「8cmディスクアダプター」が必要です。付属以外のアダプターを使用すると、プレーヤーの故障の原因になります。取り付け方法は付属の「8cmディスクアダプター」に同梱の取扱書をご覧ください。
- DVD-RやDVD-RWに録画する際は、録画機器でディスクをファイナライズしてください。ファイナライズされていないディスクは再生できません。また、マルチボーダーで記録されたディスクは再生できません。
- DVD-RやDVD-RWは紫外線や高温多湿環境に弱いため、このような環境に保管することは避けてください。
- 本機はブルーレイディスクやHD DVDには対応していません。

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVDビデオのディスクには②（地域番号）が表示されているものがあり、このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表示しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「リージョンコードエラー」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあります。本機で再生できないことがあります。



アドバイス

DVD、ソフト製作により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト製作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

ディスクに表示されているマークについて

DVDビデオのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク	意味
③	音声のトラック数を表します。
2	字幕の数を表します。
3	アングル数を表します。
16:9 LB 4:3	選択可能な画像アスペクト比(横と縦の比率)を表します。 ●「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面です。
2 ALL	選択可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

ディスクに記録されている音声について

本機搭載のDVDプレーヤーでは、ディスク再生時の音声は、リニアPCM・パックドPCM・ドルビーデジタル・ドルビープロロジック・MPEGオーディオに対応しており、ほかのデコード方式には対応しておりません。

●ドルビーデジタル

ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を最大6チャンネルに分割して記録、再生する（ウーハーチャンネルは通常0.1チャンネルで表現されるため、5.1チャンネル）完全ディスクリート（分割）方式です。

●ドルビーサラウンド

4ch（フロントLR、センター、サラウンド（リア））の信号を2chで記録し、それぞれをドルビープロロジックデコーダーにより再度4chに出力する方式です（サラウンドチャンネルの出力はモノラルとなります）。

●サンプリング周波数、量子化ビット

アナログ信号をデジタル信号に変換するとき、一定の時間で信号を区切りデジタル化する（サンプリング）という方法が取られています。

1秒間に区切る回数を表したのが、サンプリング周波数でそのときのデータ量の大きさが量子化ビット数です。

これらの数値が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

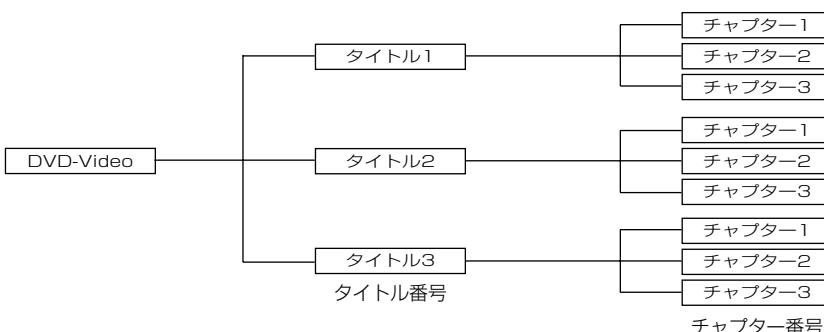
●リニアPCM

圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた信号です。CDでは、44.1kHz／16bitで記録されているのに対し、DVDでは48kHz／16bit～96kHz／24bitで記録されていますので、CDよりも高音質での再生が可能です。

ディスクの構成について

DVDビデオに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）がつけられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号（チャプターファイル番号）がつけられています。

DVD-VRでは、タイトル番号にプログラム番号またはプレイリスト番号、チャプター番号にエンターポイント番号が表示されます。



音量について

DVDでは迫力ある効果音を得るために、通常の会話シーンの音量を小さくして録音されているものがあります。そのため、会話シーンで音量を上げたあと、DVD以外のオーディオに切り替えたとき、音量が大きすぎることがあります。このような現象を防止するため、DVD再生中は、その他のオーディオとは別に音量を調節することができます。音量調整のしかたについてはP.7-2を参照してください。



アドバイス

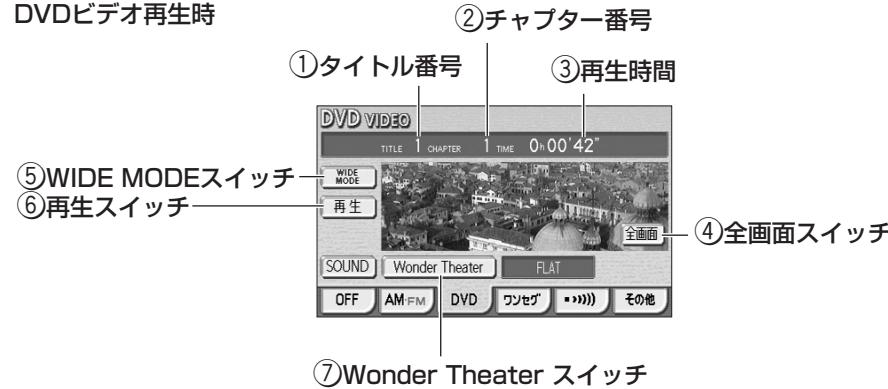
- 安全運転に支障ないように適度な音量でお聞きください。
- DVDには、メニュー項目など音声が収録されていない場面があります。そのような場合、本編再生中に音量調整してください。
- DVDでは迫力ある効果音を得るために、通常の会話のシーンの音量を小さくして録音されているものがあります。このようなディスクを再生させて会話のシーンで音量調節を行うと、効果音のシーンのときに音量が大きすぎることがありますので、注意してください。
- DVDはドルビーデジタル、マルチチャンネル音声再生に対応しています。そのため、ディスクによっては音声が出力されないスピーカーがあります。すべてのスピーカーから音声を出力したいときは、ドルビープロロジック（P.10-33参照）またはダウンミックス（P.10-31参照）をONにすることをおすすめします。
- 再生するDVDを交換する際は、最後に調整した音量で再生を開始します。このような場合、音量が大きすぎることがありますので、注意してください。

DVDの操作画面について

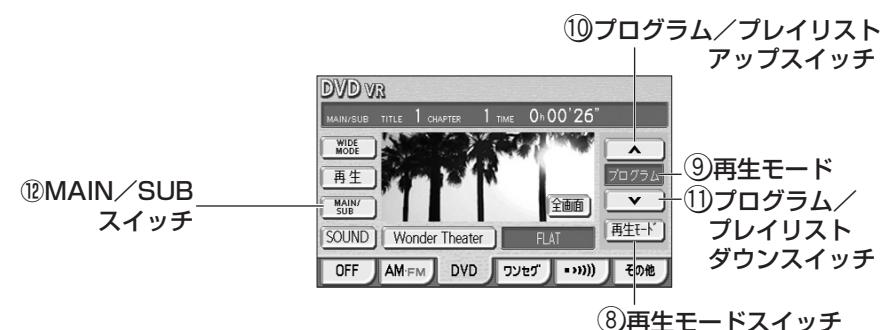
●DVD操作画面について

DVDビデオまたはDVD-VRを再生させているときに、 を押すとDVD操作画面が表示されます。

DVDビデオ再生時



DVD-VR再生時



① タイトル番号

DVDビデオでは、現在再生しているタイトル番号を表示します。

DVD-VRでは、現在再生しているプログラム番号またはプレイリスト番号を表示します。

② チャプター番号

DVDビデオでは、現在再生しているチャプター番号を表示します。

DVD-VRでは、現在再生しているエントリーポイント番号を表示します。

③ 再生時間

再生時間を表示します。

④ 全画面スイッチ

映像を表示するときにタッチします。

映像部分にタッチしても映像を表示することができます。

⑤ WIDE MODEスイッチ

WIDE MODE画面 (P.1-30参照) を表示します。

⑥ 再生スイッチ

走行中に停止または一時停止した映像を再生するときにタッチします。

⑦ Wonder Theaterスイッチ

Wonder Theaterの設定 (P.10-36参照) を行うときにタッチします。

⑧ 再生モードスイッチ^{※1}

再生モードを切り替える (P.10-24参照) ときにタッチします。

⑨ 再生モード^{※1}

現在の再生モードを表示します。

⑩ プログラム／プレイリストアップスイッチ^{※1}

次のプログラム、またはプレイリストを再生する (P.10-20参照) ときにタッチします。

⑪ プログラム／プレイリストダウンスイッチ^{※1}

前のプログラム、またはプレイリストを再生する (P.10-20参照) ときにタッチします。

⑫ MAIN/SUBスイッチ^{※1}

音声モードを切り替える (P.10-23参照) ときにタッチします。

^{※1} DVD-VR再生時のみ表示されます。

●DVD操作スイッチについて

DVDビデオまたはDVD-VRの映像を表示しているときに、画面にタッチするとDVDショートメニュー1が表示されます。

DVDビデオ再生時



DVD-VR再生時



① 前ページスイッチ^{*1}

ダイレクトタッチ切り替え画面を表示するときにタッチします。

② ボタン消スイッチ

映像画面に戻るときにタッチします。

③ 次ページスイッチ

DVDショートメニュー2を表示するときにタッチします。

④ 早送りスイッチ

映像を早送りするときにタッチします。

⑤ 再生スイッチ

映像を再生するときにタッチします。

⑥ 一時停止スイッチ

映像を一時停止するときにタッチします。

⑦ 停止スイッチ

映像を停止するときにタッチします。

⑧ 早戻しスイッチ

映像を早戻しするときにタッチします。

⑨ メニュースイッチ^{*1}

ディスクメニューを表示する（P.10-17参照）ときにタッチします。
(操作方法は、再生しているディスクに付属の取扱書をご覧ください)

⑩ トップメニュースイッチ^{*1}

ディスクメニューを表示する（P.10-17参照）ときにタッチします。
(操作方法は、再生しているディスクに付属の取扱書をご覧ください)

⑪ 画像送りスイッチ^{*2}

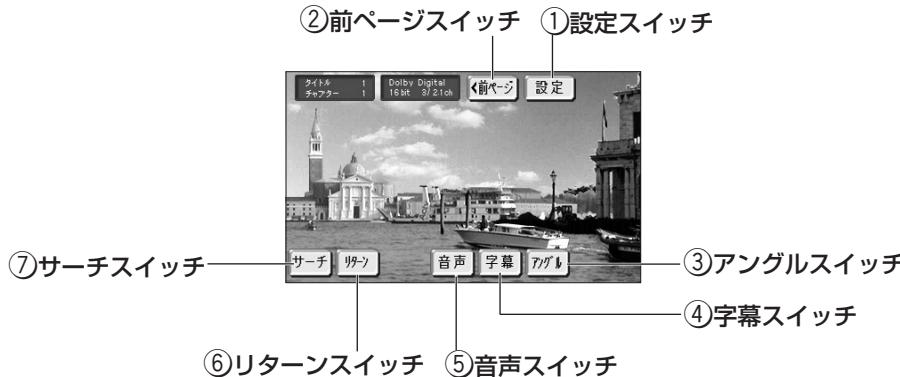
タッチするごとに静止画が切り替わります。

*1 DVDビデオ再生時のみ表示されます。

*2 DVD-VR再生時のみ表示されます。

DVDショートメニュー1で**次ページ**にタッチすると、DVDショートメニュー2が表示されます。

DVDビデオ再生時



DVD-VR再生時



①設定スイッチ

DVDプレーヤーの設定やサウンドの設定（P.10-25参照）を行うときにタッチします。

②前ページスイッチ

DVDショートメニュー1を表示するときにタッチします。

③アングルスイッチ^{※1}

映像のアングルを切り替える（P.10-21参照）ときにタッチします。

④字幕スイッチ

字幕を切り替える（P.10-22参照）ときにタッチします。

⑤音声スイッチ

音声を切り替えるとき（P.10-22参照）にタッチします。

⑥リターンスイッチ^{※1}

タッチすると、ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生されます。

⑦サーチスイッチ

タイトルサーチ（P.10-19参照）を行うときにタッチします。

※1 DVDビデオ再生時のみ表示されます。

DVDプレーヤーを使うには

DVDビデオを再生しているときにDVDショートメニュー1で [前ページ] にタッチすると、ダイレクトタッチ切り替え画面が表示されます。



① 移動スイッチ

タッチスイッチの位置を移動します。

② offスイッチ

タッチスイッチを一時的に消去します。

③ ダイレクトタッチスイッチ

DVDメニューの項目などを直接タッチして選ぶダイレクトタッチ機能のON/OFFを設定します。ダイレクトタッチ機能OFFに設定にすると、十字キーと決定ボタンが表示されます。

④ 次ページスイッチ

DVDショートメニュー1を表示するときにタッチします。

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみDVDをご覧になります（走行中にDVDモードを選択した場合、音声のみになります）。

1 DVDを見るには



●DVDが挿入されていない場合

(1) ディスク差し込み口にDVDを差し込みます。

●自動的に電源が入り、映像画面を表示して再生を開始します。

●再生中に PWR を押すとDVD操作画面が表示されます。



●DVDが挿入されている場合

(1) PWR を押します。

(2) DVD にタッチします。

●DVD映像が表示されます。

●オーディオシンプルメニューに DVD を設定していない場合は、その他にタッチしてから DVD にタッチします。



本機で対応していない音声を再生した場合、仮想センタースピーカーから出てくる会話などの音声が聞きとりにくかったり、音に違和感が生じる場合があります。

2 映像を操作するには

●映像を再生するには



(1) 映像画面（上記1の(1)参照）にタッチします。

●DVDショートメニュー1画面（P.10-9参照）が表示されます。

(2) ▶ にタッチします。

●早送り・早戻しをするには

再生している映像を早送り・早戻しすることができます。



- (1) の左または右を押し続けます。
- 右側を押し続けると早送りできます。
- 左側を押し続けると早戻しできます。



- DVDショートメニュー1画面 (P.10-9参照) で または にタッチしても早送り・早戻しできます。
- を押し続けると早送りできます。
- を押し続けると早戻しできます。

●停止するには



- (1) 映像画面 (P.10-14の1の(1)参照) にタッチします。
- DVDショートメニュー1画面 (P.10-9参照) が表示されます。



- (2) にタッチします。
- 再生するには にタッチします。

●一時停止するには



- (1) 映像画面 (P.10-14の1の(1)参照) にタッチします。
- DVDショートメニュー1画面 (P.10-9参照) が表示されます。



- (2) 一時停止するには にタッチします。
- にタッチすると再生を開始します。
- を押し続けるとスロー再生をします。



3 ディスクメニューを操作するには

ディスクに収録されているメニューに直接タッチして選択（ダイレクトタッチ機能）するかまたは十字キーを操作して選択することができます。
(DVDビデオのみ操作できます)

●メニューに直接タッチして選択する（ダイレクトタッチ機能）

(1) 映像画面 (P.10-14の①の(1)参照) にタッチします。

●DVDショートメニュー1画面 (P.10-9参照) が表示されます。

(2) **メニュー**、または **トップメニュー** にタッチします。

●ディスクメニューが表示され、ダイレクトタッチ切り替え画面が表示されます。

(3) **ダイレクトタッチ** にタッチします。

●項目に直接タッチしてメニューを選択することができます。

●ダイレクトタッチがONになっているときは、作動表示灯が点灯します。

●初期設定は、ONに設定されています。



作動表示灯



- どの項目が選ばれたかを本機が判断できなかった場合は、タッチした付近の画像が拡大表示されます。拡大表示された画面にタッチして選んでください。
- 拡大表示中も再生は継続しますが、映像は静止画になります。
- 元の画面に戻すには、戻るにタッチしてください。

●十字キーを操作してメニューを選択する

十字キーと決定ボタンで選ぶことができます。



(1) ダイレクトタッチ切り替え画面 (P.10-17の③の(3)参照) で **ダイレクトタッチ** にタッチします。

●ディスクメニューの操作スイッチが表示されます。

●ダイレクトタッチがOFFになり、作動表示灯が消灯します。

●▲ ▼ ← → にタッチするとディスクメニュー内の項目を移動します。

●**決定** にタッチすると選択されている項目を実行します。



●▼ 移動 にタッチするごとにスイッチが上下に移動します。

●再度 **ダイレクトタッチ** にタッチすると、ディスクメニューの操作スイッチが消去されます。

4 見たい映像を探すには

●チャプター番号で探すには



- (1) **◀◀** **▶▶** の左または右を押します。
- 右側を押すと次のチャプターから再生します。
 - 左側を押すと現在再生しているチャプターの先頭、または前のチャプターから再生します。

●タイトル番号で探すには



- (1) 映像画面 (P.10-14の**1**の(1)参照) にタッチします。
- DVDショートメニュー1画面 (P.10-9参照) が表示されます。

(2) **次ページ** にタッチします。

 - DVDショートメニュー2画面 (P.10-11参照) が表示されます。



- (3) **サーチ** にタッチします。



- (4) 再生したいタイトル番号を入力します。

●修正するときは **修正** にタッチすると1番号ずつ消去されます。

●**◀◀off** にタッチすると映像画面を表示します。

▶▶on にタッチするとタイトル番号を入力する画面に戻ります。



●プログラム（プレイリスト）で探すには

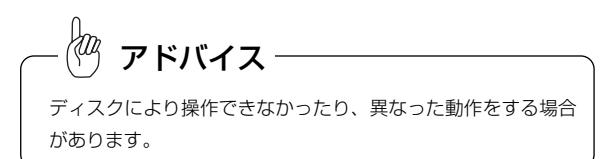
(DVD-VRのみ操作できます)



- (1) DVD操作画面 (P.10-7参照) で **▲** または **▼** にタッチします。

●**▲** にタッチすると次のプログラム（プレイリスト）から再生します。

●**▼** にタッチすると、現在再生しているプログラム（プレイリスト）の先頭、または前のプログラム（プレイリスト）から再生します。



5 タッチスイッチを非表示にするには



- (1) DVDショートメニュー1画面（P.10-9参照）で **ボタン消** にタッチすると映像のみの画面に切り替わります。



- (2) 映像画面（P.10-14の①の(1)参照）にタッチするとDVDショートメニュー1画面（P.10-9参照）に切り替わります。

6 アンダル・音声を切り替えるには

●アンダルを切り替えるには

ディスクに複数のアンダルが収録されていると、アンダルを切り替えることができます。（DVDビデオのみ操作できます）



- (1) DVDショートメニュー2画面（P.10-11参照）で **アングル** にタッチします。



- (2) **アングル切替** にタッチします。

●タッチするごとにアンダル番号が切り替わり、映像のアンダルが切り替わります。



初期設定1画面（P.10-25参照）でマルチアンダルマーク表示をONにしておくと、アンダル切り替えが可能なときに画面右上にアンダルマークが表示されます。

●字幕言語を切り替えるには

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕言語を切り替えることができます。



- (1) DVDショートメニュー2画面（P.10-11参照）で **字幕** にタッチします。

●字幕番号および言語が表示されます。



- (2) **字幕切替** にタッチします。

●タッチするごとに字幕番号および言語が切り替わります。

- **字幕消** にタッチするごとに字幕表示の表示、非表示を切り替えることができます。
字幕非表示中はスイッチが強調表示されます。



アドバイス

字幕消 および現在選択中の字幕表示は、DVD-VRには対応していません。

●音声言語を切り替えるには

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声言語を切り替えることができます。



- (1) DVDショートメニュー2画面（P.10-11参照）で **音声** にタッチします。

●音声番号および言語が表示されます。



- (2) **音声切替** にタッチします。

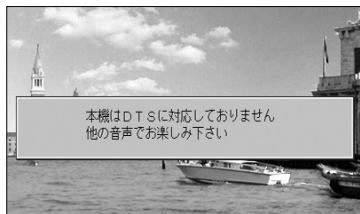
●タッチするごとに音声番号および言語が切り替わります。



アドバイス

現在選択中の音声表示は、DVD-VRには対応していません。

●DTS音声について



- (1) 本機はDTS*音声に対応しておりません。DTS音声でDVDビデオを再生すると、非対応を通知するメッセージが画面上に表示されます。
- *DTSとは、Digital Theater Systems社が開発したサラウンド方式です。



アドバイス

- 本機は、DTS音声に対応しておりません。DTS音声でDVDビデオを再生中は音声がミュート状態になりますので、本機対応の音声(P.10-5参照)に切り替えてお楽しみください。
- DTSは、米国Digital Theater Systems, Inc. の登録商標です。

●音声モードを切り替えるには

音声多重で収録されているディスクの場合、主音声/副音声を切り替えることができます。
(DVD-VRのみ操作できます)



- (1) DVD操作画面 (P.10-7参照) で **MAIN/SUB** にタッチします。
- タッチするたびに
- ```

 メイン (MAIN) → サブ (SUB)
 ↑
 メイン／サブ (MAIN/SUB) ←

```
- と切り替わります。
- 音声多重で収録されたディスクでない場合は、設定のみ切り替わります。

### 7 再生モードを切り替えるには

再生モードにはプログラムモードとプレイリストモードがあります。プログラムモードでは、ディスクに収録されたプログラム番号順に、プレイリストモードでは、ディスクに収録されたプレイリスト番号順に再生します。ディスク内にプレイリストが作成されていないときは操作できません。(DVD-VRのみ操作できます)



- (1) DVD操作画面 (P.10-7参照) で **再生モード** にタッチします。

●タッチするたびに再生モードが切り替わります。



#### アドバイス

ディスク内にプレイリストがないときは **再生モード** は表示されません。

## 8 DVDプレーヤーの設定を変更するには

### ●DVDプレーヤーの設定画面を表示するには

再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定したり、ダウンミックスのON・OFFやダイナミックレンジの設定などをすることができます。

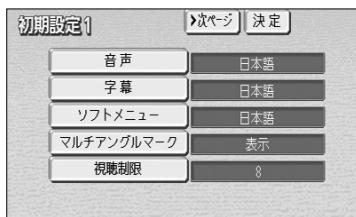


- (1) DVDショートメニュー2画面 (P.10-11参照) で **設定** にタッチします。



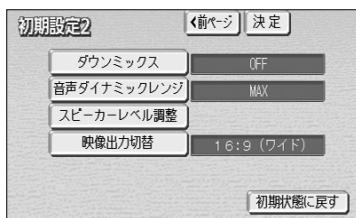
- (2) **初期設定** にタッチします。

●初期設定1画面が表示されます。



- (3) **次ページ** にタッチします。

●初期設定2画面が表示され、他の設定項目を設定することができます。



### アドバイス

初期設定画面で **決定** にタッチせずに、画面が切り替わるスイッチを押したり、走行を開始して画面が切り替わると設定した内容はキャンセルされます。

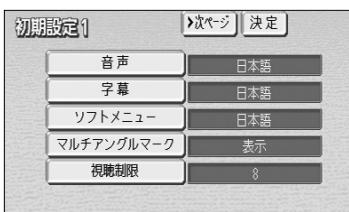
### ●設定項目について

| 機能名         | 機能                       | ページ   |
|-------------|--------------------------|-------|
| 音声※         | 再生する映像の音声言語を設定します。       | 10-26 |
| 字幕※         | 再生する映像の字幕言語を設定します。       | 10-27 |
| ソフトメニュー※    | 表示するメニューの言語を設定します。       | 10-28 |
| マルチアングルマーク※ | マルチアングルマークの表示・非表示を設定します。 | 10-29 |
| 視聴制限※       | 再生できるDVDビデオを制限します。       | 10-29 |
| スピーカーレベル調整  | 各スピーカーの音量調節をします。         | 10-30 |
| ダウンミックス     | ダウンミックスのON・OFFを設定します。    | 10-31 |
| 音声ダイナミックレンジ | 音声ダイナミックレンジの設定をします。      | 10-31 |
| 映像出力切替      | 映像の画面出力方式の切替をします。        | 10-32 |

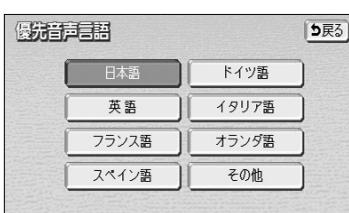
※DVDビデオのみ反映されます。

### ●優先音声言語を設定するには

音声言語の初期設定を変更することができます。



- (1) 初期設定1画面 (P.10-25参照) で **音声** にタッチします。



- (2) お好みの言語にタッチします。

●画面に表示された言語以外の言語を設定したいときは **その他** にタッチします。



### アドバイス

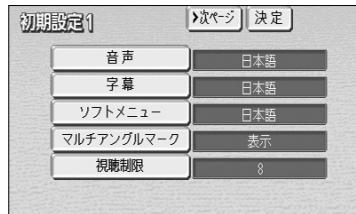
ディスクにあらかじめ優先音声言語が登録されている場合は、ディスクに登録された音声言語で再生されます。また、設定した音声言語がディスクに収録されていない場合は設定した音声言語で再生はできません。



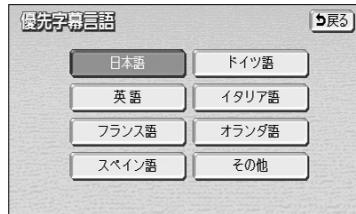
- (3) **その他**にタッチします。
- 言語コード入力画面を表示します。
  - 言語コードについては、P.10-37の**8**の言語コード一覧をご覧ください。
- (4) **完了**にタッチします。

### ●優先字幕言語を設定するには

字幕言語の初期設定を変更することができます。



- (1) 初期設定1画面（P.10-25参照）で**字幕**にタッチします。



- (2) お好みの言語にタッチします。
- 画面に表示された言語以外の言語を設定したいときは**その他**にタッチします。



### アドバイス

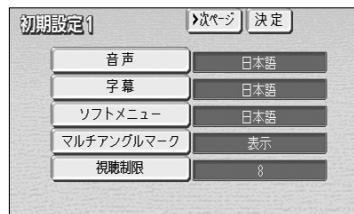
ディスクにあらかじめ優先字幕言語が登録されている場合は、ディスクに登録された字幕言語が優先されます。また、設定した字幕言語がディスクに収録されていない場合は設定した字幕言語で再生はできません。



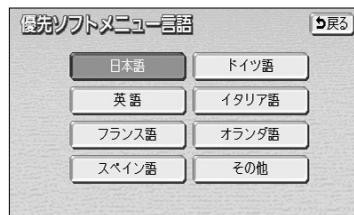
- (3) **その他**にタッチします。
- 言語コード入力画面を表示します。
  - 言語コードについては、P.10-37の**8**の言語コード一覧をご覧ください。
- (4) **完了**にタッチします。

### ●優先ソフトメニュー言語を設定するには

ソフトメニュー言語（ディスクに収録されているメニューなどの表示言語）の初期設定を変更することができます。



- (1) 初期設定1画面（P.10-25参照）で**ソフトメニュー**にタッチします。



- (2) お好みの言語にタッチします。

- 画面に表示された言語以外の言語を設定したいときは**その他**にタッチします。



### アドバイス

ディスクにあらかじめ優先ソフトメニュー言語が登録されている場合は、ディスクに登録されたソフトメニュー言語が優先されます。また、設定したソフトメニュー言語がディスクに収録されていない場合は設定したソフトメニュー言語で再生はできません。



- (3) **その他**にタッチします。

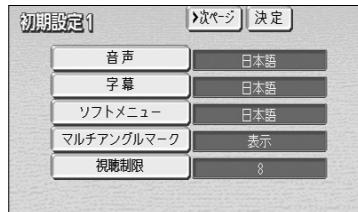
- 言語コード入力画面を表示します。

- 言語コードについては、P.10-37の**8**の言語コード一覧をご覧ください。

- (4) **完了**にタッチします。

### ●マルチアングルマークの表示を設定するには

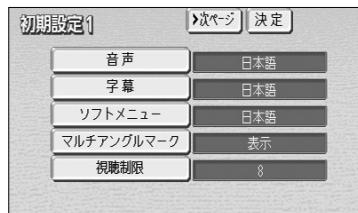
再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。



- (1) 初期設定1画面 (P.10-25参照) で **マルチアングルマーク** にタッチします。  
●タッチするごとに、表示と非表示が切り替わります。

### ●視聴制限を設定するには

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。



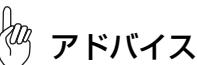
- (1) 初期設定1画面 (P.10-25参照) で **視聴制限** にタッチします。



- (2) 数字を1番号ずつタッチして暗証番号を入力します。
- (3) **完了** にタッチします。



- (4) お好みの視聴制限レベルにタッチします。

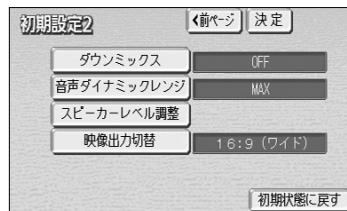


### アドバイス

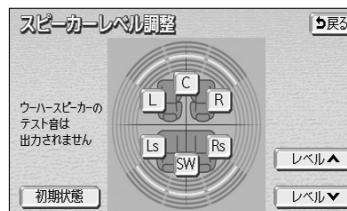
- 暗証番号は必ず入力してください。入力しないと視聴制限の設定を行うことができません。
- 暗証番号が入力されていない場合、上側に表示される暗証番号は「-----」で表示されます。
- 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないようご注意ください。もし、暗証番号を忘れた場合は、**修正** に10回タッチすると、初期化（暗証番号未設定の状態）することができます。
- 視聴制限レベルは大きく3種類に分類されます。
  - レベル1 : 子供向けのDVDビデオのみを再生します（一般向けと成人向けのDVDビデオの再生を禁止します）。
  - レベル2~7 : 子供向けと一般向けのDVDビデオのみを再生します（成人向けのDVDビデオの再生を禁止します）。
  - レベル8 : すべてのDVDビデオを再生します（初期設定）。
- 再生しているDVDビデオに視聴制限がかかると暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号を入力し、**完了** にタッチすると再生を再開します。

### ●スピーカーレベルを調整するには

テスト信号（ザーという音）を使って、各スピーカーの音量が同じレベルに聞こえるように設定することができます。



- (1) 初期設定2画面 (P.10-25参照) で **スピーカーレベル調整** にタッチします。



- (2) 調整したいスピーカースイッチにタッチします。

- **R** フロント右側スピーカー
- **L** フロント左側スピーカー
- **C** センタースピーカー
- **Rs** 右側サラウンドリアスピーカー
- **Ls** 左側サラウンドリアスピーカー
- **SW** \* サブウーハー（ウーハースピーカー）

\* テストスピーカーのスイッチが強調表示されます。  
※ウーハースピーカーはテスト信号は出力されませんが、レベル調整はできます。

(3) **レベル▲** にタッチするとスピーカーレベルが上がります。

**レベル▼** にタッチするとスピーカーレベルが下がります。

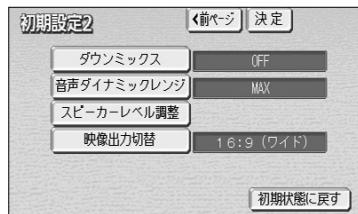


### アドバイス

- **初期状態** にタッチすると、スピーカーレベルが初期状態に戻ります。
- 本機では、フロント左右のスピーカーからの音声を合成して、擬似的にセンタースピーカーからの音声を表現しています。この仮想センタースピーカーのレベルを調整することができます。

### ●ダウンミックスのON・OFFを設定するには

マルチチャンネルで再生している音声を2チャンネルに切り替えます。



(1) 初期設定2画面 (P.10-25参照) で**ダウンミックス**にタッチします。

●タッチするごとに、ONとOFFが切り替わります。

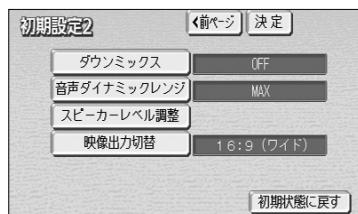


### アドバイス

- 以下の場合ダウンミックスをONにして再生することをおすすめします。
- 前後音量バランスで、リアの音量を調整したときに、フロントの仮想センタースピーカーから出てくる会話などの音声が聞きとりにくいとき。
  - ドルビーデジタル、マルチチャンネル音声再生に対応しています。そのため、ディスクによっては音声が出力されないスピーカーがあります。このとき全てのスピーカーから音声を出力したいとき。
  - 前席、後席とも同じような音響で音声を出力したいとき。

### ●音声ダイナミックレンジを設定するには

DVDの音声ダイナミックレンジ（音声の最大値と最小値の比）を設定することができます。



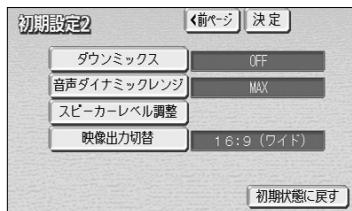
(1) 初期設定2画面 (P.10-25参照) で**音声ダイナミックレンジ**にタッチします。

●タッチするごとに、STD、MAX、MINと切り替わります。

- MAX………最大ダイナミックレンジ
- STD………標準ダイナミックレンジ
- MIN………最小ダイナミックレンジ

### ●映像出力切替を設定するには

後席ディスプレイ（別売）の画面比に合わせて映像出力的方式（ワイド、レターボックス、パンスキヤン）を設定することができます。



(1) 初期設定2画面 (P.10-25) で**映像出力切替**スイッチにタッチします。

●タッチするごとに設定が切り替わります。

16:9 4:3 4:3  
(ワイド) → (レターボックス) → (パンスキヤン)

●初期設定は16:9（ワイド）に設定されています。

●16:9（ワイド）  
後席ディスプレイが16:9の画面の場合もしくは未装着の場合に設定します。

4:3の映像を再生する場合は、左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。

●4:3（レターボックス）  
後席ディスプレイが4:3の画面の場合に設定します。16:9の映像を再生する場合は、上下部分は黒帯となります。

●4:3（パンスキヤン）  
後席ディスプレイが4:3の画面の場合に設定します。中心部分または重要部分を画面一杯に表示します。16:9の映像を再生する場合は、画面に入りきらなかった部分が切れた映像となります。



### アドバイス

●4:3（レターボックス）及び4:3（パンスキヤン）に出力映像設定すると、本機の画面では横方向に伸びた映像となる場合があります。

●本機側で設定したワイド画面モードの映像効果は、後席ディスプレイ出力には反映されません。(P.1-30)  
VTR/DVDのワイド画面モードを切り替えるには参照)



### 注意

テレビ番組や映画などの映像比率と異なるモードを選択されますとオリジナルの映像とは見え方に差が出ることをご留意下さい。また、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の（分割表示や）圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法で保護されている著作権の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

### ●ドルビープロロジックを設定するには

4チャンネル（フロントLR、センター、サラウンド（リア））の信号を2チャンネルで記録し、それをドルビープロロジックデコーダーにより再度4チャンネルに出力する方式です（サラウンドチャンネルの出力はモノラルとなります）。



- (1) DVDショートメニュー2画面 (P.10-11参照) で **設定** にタッチします。

●DVD音場設定画面が表示されます。



- (2) **ProLogic** にタッチするとドルビープロロジックの設定がONになります。

●ドルビープロロジックの設定がONになっているときはスイッチが強調表示されます。

●再度タッチすると設定が解除されます。



#### アドバイス

ドルビープロロジックは以下の条件が満たされているときに設定することができます。

- ダウンミックスOFF
- 2チャンネル音声のとき
- ドルビーデジタルで再生しているとき

### ●サラウンドスピーカーディレイタイムを設定するには

サラウンドスピーカーディレイタイムの設定をすることができます。ディレイとは遅延のことと、ディレイタイムのレベルを上げるにつれて、スピーカーが徐々に遠くにあるように音が聞こえます。



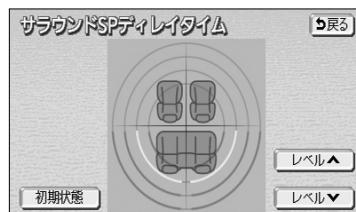
- (1) DVDショートメニュー2画面 (P.10-11参照) で **設定** にタッチします。

●DVD音場設定画面が表示されます。



- (2) **サラウンドディレイ** にタッチします。

●サラウンドディレイタイム設定画面が表示されます。



●**レベル▲** にタッチするとディレイタイムレベルが上がります。

●**レベル▼** にタッチするとディレイタイムレベルが下がります。

●**初期状態** にタッチするとディレイタイムレベルが初期設定に戻ります。



#### アドバイス

サラウンドスピーカーディレイタイムは以下の条件が満たされているときに設定することができます。

- ダウンミックスOFF (P.10-31参照)
- ドルビーデジタル (P.10-5参照) で再生しているとき

### ●センタースピーカーディレイタイムを設定するには

センタースピーカーディレイタイムの設定をすることができます。ディレイとは遅延のこととで、ディレイタイムのレベルを上げるにつれて、スピーカーが徐々に遠くにあるように音が聞こえます。



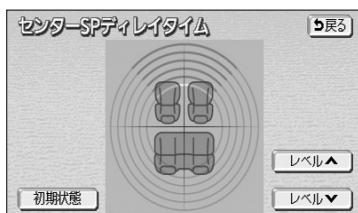
- (1) DVDショートメニュー2画面 (P.10-11参照) で **設定** にタッチします。

●DVD音場設定画面が表示されます。



- (2) **センターディレイ** にタッチします。

●センターディレイタイム設定画面が表示されます。



- **レベル▲** にタッチするとディレイタイムレベルが上がります。
- **レベル▼** にタッチするとディレイタイムレベルが下がります。
- **初期状態** にタッチするとディレイタイムレベルが初期設定に戻ります。

### アドバイス

センタースピーカーディレイタイムは以下の条件が満たされているときに設定することができます。

- ダウンミックスOFF (P.10-31参照)
- ドルビープロロジックOFF (P.10-33参照)
- ドルビーデジタル (P.10-5参照) で再生しているとき

### ●Wonder Theaterモードを設定するには

Wonder Theaterとは、DVD音声を自動で4スピーカーに振り分け、簡易的に5.1チャンネルサウンドを作り出す機能です。これにより、スピーカーの増設なしに車内で臨場感溢れるサウンドを楽しむことができます。



- (1) オーディオモードがDVDのときに **PWR** を押します。

●DVD操作画面が表示されます。

- Wonder TheaterはDVDモードのときのみ有効です。

- (2) **Wonder Theater** にタッチします。

● Wonder Theaterモード設定画面が表示されます。



- (3) Wonder Theaterモードを選択します。

- **FLAT** DVDソフトのオリジナルの音響効果が楽しむことができます。
- **Cinema 1** セリフを聞き取りやすくし、迫力を増すことで映画ソフトに適した音響効果を提供します。
- **Cinema 2** Cinema 1に加え、映画館にいるような広がり感のある音響効果を提供します。
- **Music 1** ダイナミック感を増すことで、音楽ソフトに適した音響効果を提供します。
- **Music 2** Music 1に加え、コンサート会場にいるような広がり感のある音響効果を提供します。

### アドバイス

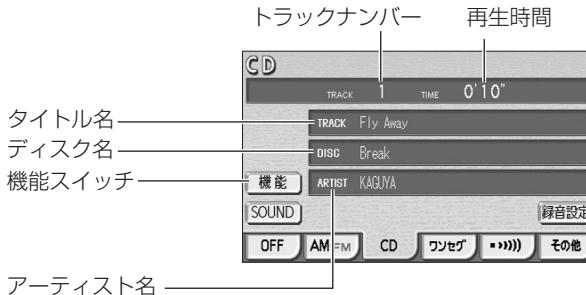
●DVDを再生すると、Wonder Theaterモードに移行します。

●Wonder Theaterが「FLAT」以外に設定されているときは、DSP/SSC、Compression、EQは設定できません。

8 言語コード一覧

| コード  | 言語名称        | コード  | 言語名称        | コード  | 言語名称      |
|------|-------------|------|-------------|------|-----------|
| 1001 | 日本語         | 0801 | ハウサ語        | 1721 | ケチュア語     |
| 0514 | 英語          | 0809 | ヒンディー語      | 1813 | レートロマン語   |
| 0618 | フランス語       | 0818 | クロアチア語      | 1814 | キルンディー語   |
| 0405 | ドイツ語        | 0821 | ハンガリー語      | 1815 | ローマ語      |
| 0920 | イタリア語       | 0825 | アルメニア語      | 1823 | キンヤルワンダ語  |
| 0519 | スペイン語       | 0901 | 国際語         | 1901 | サンスクリット語  |
| 1412 | オランダ語       | 0905 | Interlingue | 1904 | シンド語      |
| 1821 | ロシア語        | 0911 | イヌピアック語     | 1907 | サンド語      |
| 2608 | 中国語         | 0914 | インドネシア語     | 1908 | セルボクロアチア語 |
| 1115 | 韓国語         | 0919 | アイスランド語     | 1909 | セイロン語     |
| 0512 | ギリシャ語       | 0923 | ヘブライ語       | 1911 | スロバック語    |
| 0101 | アファル語       | 1009 | イディッシュ語     | 1912 | スロベニア語    |
| 0102 | アブバジャ語      | 1023 | ジャワ語        | 1913 | サモア語      |
| 0106 | アフリカーンス語    | 1101 | グルジア語       | 1914 | ショナ語      |
| 0113 | アムハラ語       | 1111 | カザフ語        | 1915 | ソマリ語      |
| 0118 | アラビア語       | 1112 | グリーンランド語    | 1917 | アルバニア語    |
| 0119 | アッサム語       | 1113 | カンボジア語      | 1918 | セルビア語     |
| 0125 | アイマラ語       | 1114 | カンナダ語       | 1919 | シスワティ語    |
| 0126 | アゼルバイジャン語   | 1119 | カシミール語      | 1920 | セストゥ語     |
| 0201 | バシキール語      | 1121 | クルド語        | 1921 | スンダ語      |
| 0205 | ベラルーシ語      | 1125 | キルギス語       | 1922 | スウェーデン語   |
| 0207 | ブルガリア語      | 1201 | ラテン語        | 1923 | スワヒリ語     |
| 0208 | ビハーリー語      | 1214 | リンガラ語       | 2001 | タミル語      |
| 0209 | ビスマラ語       | 1215 | ラオス語        | 2005 | テルグ語      |
| 0214 | ベンガル語       | 1220 | リストニア語      | 2007 | タジク語      |
| 0215 | チベット語       | 1222 | ラトビア語       | 2008 | タイ語       |
| 0218 | ブルトン語       | 1307 | マダガスカル語     | 2009 | チグリス語     |
| 0301 | カタロニア語      | 1309 | オリ語         | 2011 | ツルキ語      |
| 0315 | コルシカ語       | 1311 | マケドニア語      | 2012 | タガログ語     |
| 0319 | チェコ語        | 1312 | マラヤーム語      | 2014 | セツワナ語     |
| 0325 | ウェールズ語      | 1314 | モンゴル語       | 2015 | ニュージーランド語 |
| 0401 | デンマーク語      | 1315 | モルダビア語      | 2018 | トルコ語      |
| 0426 | ブータン語       | 1318 | マラータ語       | 2019 | ツォンガ語     |
| 0515 | エスペラント語     | 1319 | マライ語        | 2020 | タタール語     |
| 0520 | エストニア語      | 1320 | マルタ語        | 2023 | トワイ語      |
| 0521 | バスク語        | 1325 | ビルマ語        | 2111 | ウクライナ語    |
| 0601 | ペルシャ語       | 1401 | ナウル語        | 2118 | ウルドゥー語    |
| 0609 | フィンランド語     | 1405 | ネパール語       | 2126 | ウズベク語     |
| 0610 | フィジー語       | 1415 | ノルウェー語      | 2209 | ベトナム語     |
| 0615 | フェロー語       | 1503 | プロバンス語      | 2215 | ポラビュク語    |
| 0625 | フリジア語       | 1513 | オモロ語        | 2315 | ウォルフ語     |
| 0701 | アイルランド語     | 1518 | オリヤー語       | 2408 | コーサ語      |
| 0704 | スコットランドゲール語 | 1601 | パンジャブ語      | 2515 | ヨルバ語      |
| 0712 | ガルシア語       | 1612 | ポーランド語      | 2621 | ズールー語     |
| 0714 | グラニニ語       | 1619 | アフガニスタン語    |      |           |
| 0721 | グジャラート語     | 1620 | ポルトガル語      |      |           |

CDを再生し、聞くことができます。CDの出し入れについてはP.1-17を参照してください。



## 1 CDを聞くには



#### ●CDが挿入されていない場合

- (1) ディスク差し込み口にCDを差し込むと自動的に電源  
が入り、再生を始めます。

### ●CDが挿入されている場合

- (1)  PWR を押します。



## アドバイス

- 8cmディスクを再生するときは、付属の「8cmディスクアダプター」が必要です。付属以外のアダプターを使用すると、プレーヤーの故障の原因になります。取り付け方法は付属の「8cmディスクアダプター」に同梱の取扱書をご覧ください。
  - 本機では、CDエキストラの映像再生はできません。
  - マルチセッションにより複数のセッションが存在するディスクでは、最初のセッションに記録されているデータのみ再生することができます。

## アドバイス

- 録音機種によってはディスクが再生されないことがあります。
- CD操作画面に表示される文字数は以下のとおりです。  
ディスクタイトル・・・半角で最大24文字、全角文字で最大12文字まで、先頭から表示します。  
トラックタイトル・・・半角で最大24文字、全角文字で最大12文字まで、先頭から表示します。  
アーティスト・・・半角で最大24文字、全角文字で最大12文字まで、先頭から表示します。
- 録音（入力）機種によっては文字（記号）タイトルが表示されないことがあります。
- 本機に格納されているタイトルデータベースから情報を取得した場合は、CD操作画面に情報が表示されます。
- CD-TEXT情報のあるCDを再生中は、タイトルデータベース情報の有無にかかわらずCD-TEXT情報を優先して表示します。
- タイトルデータベース、CD-TEXTともに情報が無い場合には、以下のように表示します。  
アーティスト、ディスクタイトル・・・(NO NAME)  
トラックタイトル・・・TRACK1、TRACK2、…

## 2 曲を選ぶには



- (1) **◀▶** の左または右を押します。
  - 右側を1回押すと、次の曲を再生します。
  - 左側を1回押すと、曲の先頭に戻ります。
  - 左側を続けて2回押すと、前の曲を再生します。

## 3 早送り・早戻しをするには



- (1) **◀▶** の左または右を押し続けます。
  - 右側を押し続けると早送りできます。
  - 左側を押し続けると早戻しできます。
  - 手をはなすと、はなした位置から再生が開始されます。

## 4 再生中のディスクの中から希望する曲を探すには



- (1) **機能** にタッチします。
- (2) **SCAN** にタッチします。
  - **SCAN** の作動表示灯が点灯し、画面左上部に“SCAN”の文字が表示されます。
- 再生中の次の曲から、曲の始めの部分を約10秒間ずつ、次々に再生します。
- 解除するにはもう一度 **SCAN** にタッチします。  
解除されたところから再生を続けます。

## 5 同じ曲をリピート再生するには



- (1) **機能** にタッチします。
- (2) **RPT** にタッチします。
  - **RPT** の作動表示灯が点灯し、画面左上部に“RPT”的文字が表示されます。
- 解除するにはもう一度 **RPT** にタッチします。

## 6 曲の順番をランダムに聞くには

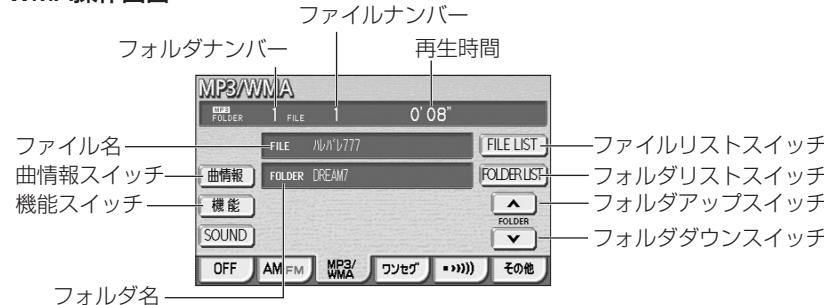


- (1) **機能** にタッチします。
- (2) **RAND** にタッチします。
  - **RAND** の作動表示灯が点灯し、画面左上部に“RAND”的文字が表示されます。
- 解除するにはもう一度 **RAND** にタッチします。

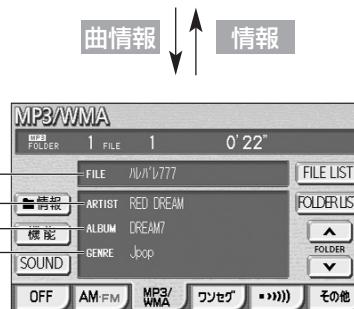
MP3/WMAプレーヤーで音楽を聞くには

CD-ROM、CD-R/RWに記録されたMP3/WMAファイルを聞くことができます。

## ●MP3/WMA操作画面



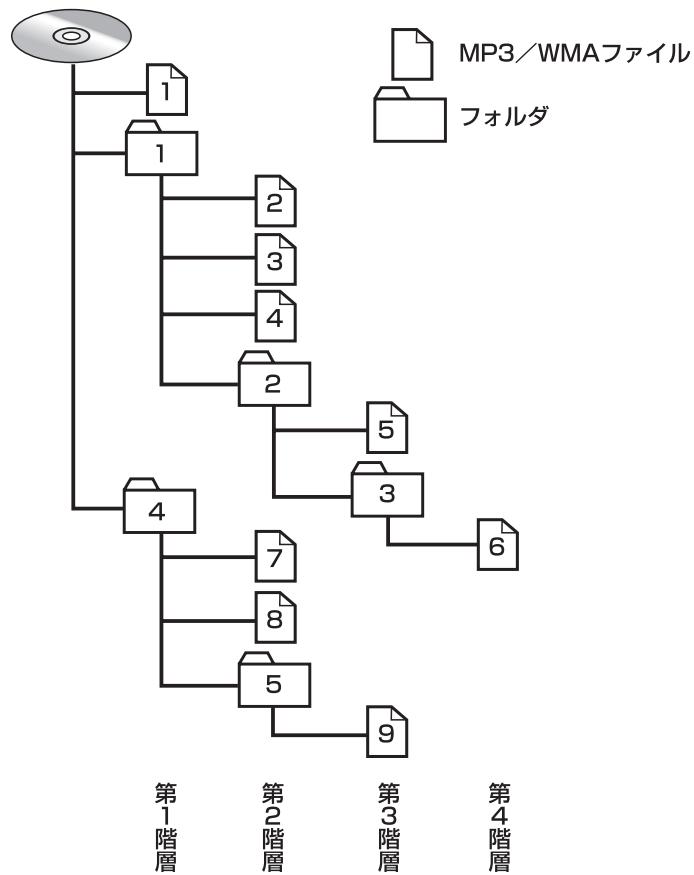
●MP3楽曲情報画面  
(WMA楽曲情報画面)



 アドバイス

- MP3/WMA操作画面で**曲情報**にタッチすると、再生中の楽曲の情報が表示されます。
  - MP3楽曲情報画面では、MP3ファイルのID3タグ情報（P.10-49参照）を表示します。
  - WMA楽曲情報画面では、WMAファイルのWMAタグ情報（P.10-49参照）を表示します。
  - MP3の楽曲情報を表示するのに、時間がかかる場合があります。
  - 画面に表示させることができるフォルダ名、ファイル名の文字数は、最大12文字（半角のみのときは24文字）までです。また、記録されている内容によっては、正しく表示されなかったり、表示自体されない場合があります。

#### ●MP3/WMA対応ディスクの構造例



## アドバイス

- フォルダに格納されずディスクに直接格納されているファイル<sup>①</sup>は、本機のMP3/WMAプレーヤーで再生する場合に“ROOT FOLDER”という架空のフォルダに格納されます。
  - MP3／WMAファイルが直接格納されていないフォルダは、本機では表示されません。
  - 同じディスク（同一セッション）に音楽CD（CDDA）データとMP3/WMAデータが混在する場合、MP3/WMAデータは再生されません。
  - 同じディスクにオーディオファイル（WAVEデータ）とMP3／WMAデータが混在する場合には、MP3／WMAデータのみ再生することができます。
  - マルチセッションにより複数のセッションが存在するディスクでは、すべてのセッションを再生できない場合があります。

## 1 MP3/WMAディスクを聞くには



### ●ディスクが挿入されていない場合

- (1) ディスク差し込み口にディスクを差し込むと自動的に電源が入り、再生を始めます。

●再生中に PWR を押すとMP3/WMA操作画面が表示されます。

### ●ディスクが挿入されている場合

- (1) PWR を押します。

●オーディオ操作画面が表示されます。

- (2) MP3/WMA にタッチします。

●MP3/WMA操作画面が表示されます。

●オーディオシンプルメニューに MP3/WMA を設定していない場合は **その他** にタッチしてから MP3/WMA にタッチします (P.7-3の 1 参照)。



- 通常は 1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7 → 8 → 9 (「●MP3/WMA対応ディスクの構造例」を参照) の順に再生します。
- 再生中のファイルのモードを、“MP3”または“WMA”で表示します。

## 2 聞きたいフォルダを選ぶには

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

### ●操作画面で選ぶには



- (1) MP3/WMA操作画面 (P.10-41参照) で または にタッチします。

●選択したフォルダに格納されている最初のファイルから再生を開始します。

### ●フォルダリスト画面で選ぶには



- (1) MP3/WMA操作画面 (P.10-41参照) で **FOLDER LIST** にタッチします。

- (2) 聞きたいフォルダ (リスト) にタッチします。

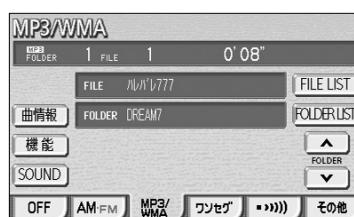
●選択したフォルダに格納されている最初のファイルから再生を開始します。

●走行中はリストのスクロール操作はできません。

## 3 聞きたいファイルを選ぶには

ディスクの中から聞きたいファイルを選ぶことができます。

### ●TUNE・TRACKボタンで選ぶには



- (1) の左または右を押します。

●右側を1回押すと、次のファイルを再生します。

●左側を1回押すと、ファイルの先頭に戻ります。

●左側を続けて2回押すと、前のファイルを再生します。

### ●フォルダリスト画面で選ぶには



- (1) 2の「●フォルダリスト画面で選ぶには」の(2)の画面で にタッチします。

●走行中は操作できません。

- (2) ファイル (リスト) にタッチします。

●選択したファイルの再生を開始します。

● **トップ画面へ** にタッチすると、MP3/WMA操作画面を表示します。

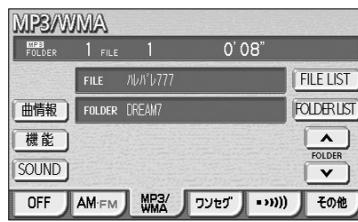


### ●ファイルリスト画面で選ぶには



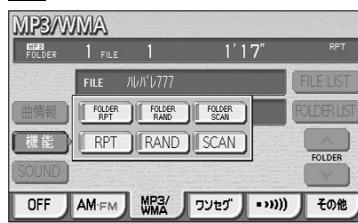
- (1) MP3/WMA操作画面 (P.10-41参照) で **FILE LIST** にタッチします。  
●走行中はリストのスクロール操作はできません。
- (2) ファイル (リスト) にタッチします。  
● 選択したファイルの再生を開始します。

### 4 早送り・早戻しをするには



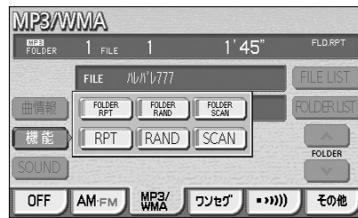
- (1) **◀◀** **▶▶** の左または右をピッと音が鳴るまで押し続けます。  
● 右側を押し続けると早送りできます。  
● 左側を押し続けると早戻しできます。  
● 手をはなすと、はなした位置から再生が開始されます。

### 5 同じファイルをリピート再生するには



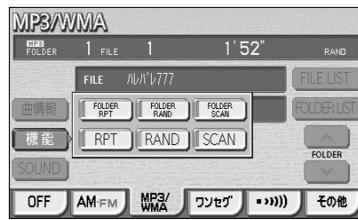
- (1) MP3/WMA操作画面 (P.10-41参照) で **機能** にタッチします。
- (2) **RPT** にタッチします。  
● **RPT** の作動表示灯が点灯し、画面右上部に “RPT” の文字が表示されます。  
● 再生中のファイルを繰り返し再生します。  
● 解除するにはもう一度 **RPT** にタッチします。

### 6 同じフォルダをリピート再生するには



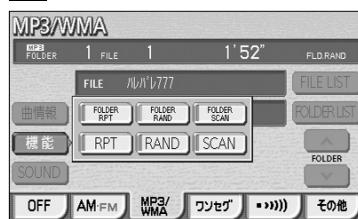
- (1) MP3/WMA操作画面 (P.10-41参照) で **機能** にタッチします。
- (2) **FOLDER RPT** にタッチします (フォルダリピート)。  
● **FOLDER RPT** の作動表示灯が点灯し、画面右上部に “FLD. RPT” の文字が表示されます。  
● 現在再生中のファイルと同じフォルダにあるファイルを繰り返し再生します。  
● 解除するにはもう一度 **FOLDER RPT** にタッチします。

### 7 再生中のフォルダの中からランダムに再生するには



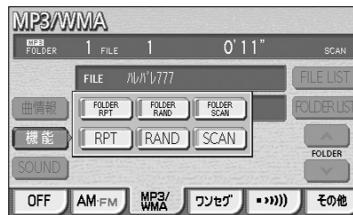
- (1) MP3/WMA操作画面 (P.10-41参照) で **機能** にタッチします。
- (2) **RAND** にタッチします。  
● **RAND** の作動表示灯が点灯し、画面右上部に “RAND” の文字が表示されます。  
● 再生中のフォルダの中からランダム (無作為) にファイルが選択され再生します。  
● 解除するにはもう一度 **RAND** にタッチします。

### 8 全フォルダの中からランダムに再生するには



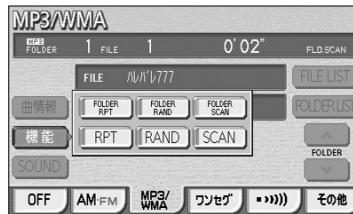
- (1) MP3/WMA操作画面 (P.10-41参照) で **機能** にタッチします。
- (2) **FOLDER RAND** にタッチします (フォルダランダム)。  
● **FOLDER RAND** の作動表示灯が点灯し、画面右上部に “FLD. RAND” の文字が表示されます。  
● ディスク内の全フォルダの中からランダム (無作為) にファイルが選択され再生します。  
● 解除するにはもう一度 **FOLDER RAND** にタッチします。

## 9 再生中のフォルダの中からファイルを探すには



- (1) MP3/WMA操作画面 (P.10-41参照) で **機能** にタッチします。
- (2) **SCAN** タッチします。
  - **SCAN** の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“SCAN”の文字が表示されます。
  - 再生中のファイルの次のファイルから、フォルダ内の全ファイルの始めの部分を、10秒間ずつ再生します。
  - 解除するにはもう一度 **SCAN** にタッチします。解除されたところから再生を続けます。
  - 全ファイルの再生が終わると自動的に解除されます。

## 10 全フォルダの中からフォルダを探すには



- (1) MP3/WMA操作画面 (P.10-41参照) で **機能** にタッチします。
- (2) **FOLDER SCAN** にタッチします (フォルダスキャン)。
  - **FOLDER SCAN** の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“FLD. SCAN”の文字が表示されます。
  - 再生中のフォルダの次のフォルダから、各フォルダ内の先頭にあるファイルの始めの部分を、10秒間ずつ再生します。
  - 解除するにはもう一度 **FOLDER SCAN** にタッチします。解除されたところから再生を続けます。
  - 全フォルダの先頭にあるファイルの再生が終わると自動的に解除されます。

### ● MP3/WMAについて

MP3 (MPEG Audio Layer3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media™Audio)はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できるMP3/WMAファイルの規格や記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

#### 再生可能なMP3ファイルの規格について

##### ● 対応規格

MP3(MPEG-1 Audio Layer3, MPEG-2 Audio Layer3 LSF)

##### ● 対応サンプリング周波数

|                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| MPEG-1 Audio Layer3     | : 32, 44.1, 48 (kHz)  |
| MPEG-2 Audio Layer3 LSF | : 16, 22.05, 24 (kHz) |

##### ● 対応ビットレート

|                         |                                                            |
|-------------------------|------------------------------------------------------------|
| MPEG-1 Audio Layer3     | : 32, 64, 80, 96, 112, 128, 160, 192, 224, 256, 320 (kbps) |
| MPEG-2 Audio Layer3 LSF | : 8, 16, 32, 64, 80, 96, 112, 128, 144, 160 (kbps)         |

※VBRに対応しています。

|              |                                 |
|--------------|---------------------------------|
| ● 対応チャンネルモード | : ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル |
|--------------|---------------------------------|

#### 再生可能なWMAファイルの規格について

##### ● 対応規格

WMA Ver. 7, 8, 9

##### ● 対応サンプリング周波数

32, 44.1, 48(kHz)

##### ● 対応ビットレート

Ver.7, 8, 9 : CBR 48, 64, 80, 96, 128, 160, 192, 256, 320 (kbps)

※VBRに対応しています。(Ver. 9の44.1, 48(kHz)のみ)

※2ch再生のみ対応しています。

### ID3タグ/WMAタグについて

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

本機では、ID3 Ver. 1.0、1.1、2.2、2.3のID3タグに対応しています。(ジャンルについてはID3タグVer. 2.2、2.3は対応しておりません。)

※Riff SIFには対応しておりません。

WMAファイルには、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3タグと同様に曲のタイトル、オーナー名(アーティスト名)を保存することができます。

### 使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-R、CD-RWおよびCD-ROMです。

なお、CD-R、CD-RW、CD-ROMは通常の音楽CD(CDDA)に使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RW、CD-ROMは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズをつけた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。

一部のCD-R、CD-RW、CD-ROMは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R、CD-RW、CD-ROMは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

### 使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記のとおりです。

#### ●ディスクフォーマット

CD-ROM Mode 1  
CD-ROM XA Mode 2 Form 1

#### ●ファイルフォーマット

ISO9660レベル1、2

Joliet

Romeo

※パケットライト方式には対応しておりません。

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

●最大ディレクトリ階層 : 8階層

●最大フォルダ名/ファイル名文字数 : 全角16文字。半角のみのときは32文字。

●最大フォルダ数 : 192(ルート含む)

●ディスク内最大ファイル数 : 255

### ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子“.mp3” / “.wma”がついたものだけです。

MP3/WMAファイルには、“.mp3” / “.wma”的拡張子をつけて保存してください。

### マルチセッションについて

本機は、マルチセッションに対応しておりません。1枚のディスクに2つ以上のセッションが記録されている場合は、全てのセッションを再生できない場合があります。

### MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが格納されているディスクを挿入すると、最初にディスク内の全てのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMAファイルを再生します。ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMAファイル以外のファイルや必要なないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

### MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※VBRで作成したファイルの早送り・早戻し動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。

### MP3/WMAファイル、フォルダのリスト表示順番について

MP3/WMAファイルおよびフォルダのリストは次のような順番で表示します。

1. MP3/WMAファイルを格納しているフォルダにフォルダナンバーが順番に付与されます。この順番は同一階層にあるフォルダよりも下位階層にあるフォルダが優先となります。

2. 次にフォルダ内のファイルがファイル名順(0~9、A~Z等)に並べられます。

3. 同一階層内に、同じファイル名でMP3とWMAファイルが存在する場合はMP3を優先して表示します。



### アドバイス

MP3/WMA以外のファイルに“.mp3” / “.wma”的拡張子をつけると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに“.mp3” / “.wma”的拡張子をつけないでください。

# メモ

## ●MP3/WMAファイルの作り方、楽しみ方について

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したもの  
は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

### インターネット上のMP3/WMA音楽配信サイトから入手する場合について

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、視聴専門のサイトや  
無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3/WMA音楽配信サイトがあります。そのサイトごとの  
ルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示どおりにダウンロードを行います。

### 音楽CDからMP3/WMAファイルに変換する場合について

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料  
配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、  
MP3/WMAエンコーダソフトの手順にしたがって音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形  
式の音楽データファイルができます。

### CD-R/CD-RWに書き込む場合について

MP3/WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介して、ライティングソ  
フトにてCD-R/RWに書き込みます。

- ・ ISO9660レベル1、2またはJolietまたはRomeoというファイルフォーマットに設定してください。
- ・ CD-RWを消去して使用する場合には、完全に消去したことを確認してからご使用ください。
- ・ CD-R/RWは、書き込みの設定でセッションとCDの終了処理を行ってください。

※使用方法などはライティングソフトで異なりますので確認してください。  
・ ライブファイルシステム形式で記録されたディスクには対応しておりません（Microsoft  
Windows 7、Windows Vistaをご使用の際は設定をご確認ください）。



### アドバイス

- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- CD-R／CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。また、本機ではディスクアットワ  
ンス、トラックアットワニスで記録されたディスクをご使用ください。
- MP3/WMAは市場にフリーウェアなど、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイ  
ルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかるたり、再生できな  
い場合があります。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその  
他の国における登録商標および商標です。

# SD AUDIOをお使いになる前に

## ■ SD AUDIOの概要

本機のSD AUDIOは、音楽CDからSDメモリーカードへSDオーディオ規格での録音とその再生および編集ができます。また本機以外で記録されたSDオーディオ規格に対応した音楽データも再生することができます。

※必ずSD AUDIO用SDメモリーカードを差し込んでご使用ください。(P.1-21~P.1-24参照)

## ■ SDオーディオ規格について

- ・「SDオーディオ規格」とは、音楽データの著作権保護を目的として使用している暗号化技術のことです。
- ・本機は、「SDオーディオ規格\*」で記録された音楽データのみ再生できます。
- \* SDアソシエーションにて制定されたSDメモリーカードのオーディオ規格です。本機で対応しているエンコード形式は、AAC、MP3です。

## ■ オーディオの著作権保護のために

- ・著作権保護と、オーディオ文化の健全な発展と、正当な購入者の権利保護のために、暗号技術を利用したSDMI（セキュア・デジタル・ミュージック・イニシアティブ）に対応しています。
- ・コピー制限情報が埋め込まれている場合、取り扱えないことがあります。

## ■ データベースについて

音楽CDをSD AUDIO用SDメモリーカードに録音した場合、本機付属の地図SDメモリーカードに収録されているGracenoteメディアデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラックタイトルを検索し、各名称がデータベースに収録されると、録音した音楽データに自動で付与します。

本機に収録されているデータベースはGracenote®のメディアデータベース情報を使用しています。

### Gracenote® 音楽認識サービスについて

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote® により提供されます。Gracenote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。 詳細については、次のWebサイトをご覧ください:[www.gracenote.com](http://www.gracenote.com) GracenoteからのCDおよび音楽関連データ: Copyright (c) 2000 - 2010 Gracenote. Gracenote Software: Copyright 2000 - 2010 Gracenote. この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります: #5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許 (#6,304,523) 用にOpen Globe, Inc. から提供されました。 Gracenote およびCDDDBはGracenoteの登録商標です。 Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは Gracenote の商標です。 Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください:[www.gracenote.com/corporate](http://www.gracenote.com/corporate)



## アドバイス

「Gracenote 音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

## オートタイトリング機能について

本機は録音した音楽データに、データベースからアルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラックタイトルを検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。



## アドバイス

●録音CDがCD-TEXTの場合は、CD-TEXTデータを優先して録音したデータに自動で付与します。

●録音時にタイトル情報が付与できなかったものは、以下のように各名称を付与します。

(2010年7月2日に1枚目を録音した場合の例)

アルバムタイトル ······ 10.07.02/0001

トラックタイトル ······ TRACK01/10.07.02/0001、TRACK02/10.07.02/0001、…

アルバム/トラックアーティスト ··· (NO NAME)

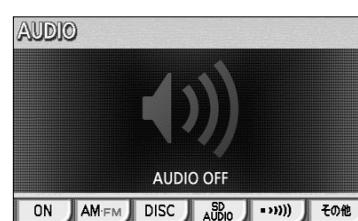
ジャンル ······ その他

## SDメモリーカードの情報表示とフォーマットについて

SDメモリーカードの空き容量や音楽データ収録数の確認、フォーマット（初期化）をすることができます。

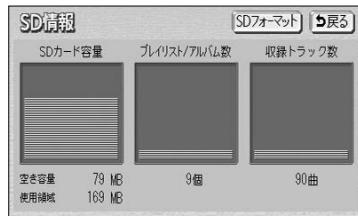
本機で初めて使用するSDメモリーカードは、フォーマットを行ってください。

## 1 SDメモリーカードの情報を表示するには



- (1) を押します。  
● オーディオ操作画面が表示されます。
- (2) **SD AUDIO** にタッチします。  
● SD AUDIO操作画面が表示されます。  
● オーディオシンプルメニューに**SD AUDIO** を設定していない場合は、**その他** にタッチしてから**SD AUDIO** にタッチします。(P.7-3の1参照)
- (3) **SD情報** にタッチします。  
● SD情報画面が表示されます。





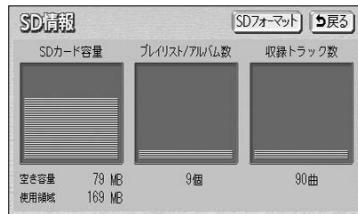
- 現在本体の差し込み口に差し込まれているSDメモリーカードの使用状況を確認することができます。



### アドバイス

容量表示は目安としてご確認ください。空き容量とほぼ同じサイズのデータは書き込めない場合があります。

## 2 SDメモリーカードをフォーマットするには



- (1) SD情報画面で「SDフォーマット」にタッチします。



- (2) 「はい」にタッチすると、SDメモリーカードをフォーマット（初期化）します。

- フォーマットを中止するときは「いいえ」にタッチします。



### 注意

- フォーマットを行うと、SDメモリーカード内の全てのデータが消去されます。大切なデータはバックアップをとるなどしてください。
- フォーマットが正常に終了するまでは、エンジンまたはACCをOFFにしたりSDメモリーカードを取り出さないでください。



### アドバイス

フォーマットを行うことでSD規格に準拠したSDメモリーカードとなります。  
また、本機以外でフォーマットする場合は以下のフォーマットソフトウェアを推奨します。  
Panasonic SDメモリーカードフォーマットソフトウェアV2.0以降

### データベースの更新とタイトル情報の取得について

本機でSDメモリーカードにCDを録音してもタイトル情報が付与されない場合、あとでタイトル情報を付与することができます。

## 1 タイトルデータベースを更新するには

販売店にて、最新版地図ソフトをご購入いただくことで、本機に収録されているタイトルデータベースが更新されます。録音時にタイトル情報が付与されなかったアルバムでも、更新タイトルデータベースに該当アルバムが収録されていれば、アルバム情報再更新操作（P.11-36参照）によりタイトル情報を付与します。



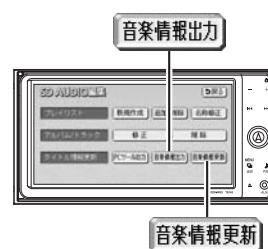
### アドバイス

最新版地図ソフトについて、詳しくは販売店にお問い合わせください。

## 2 本機で録音した任意のアルバムのタイトル情報を取得するには

タイトル情報が付与されなかったアルバムなど、本機で録音した任意のアルバムのタイトル情報を、SDメモリーカードと本機専用の検索用PC（パソコン）ツールを利用して、インターネット経由で取得することができます。

- ①ナビゲーションからSDメモリーカードに音楽情報を出力する。



- ②Gracenote サーバーにアクセスし、アルバム名/アーティスト名/曲名などの情報を取得する。

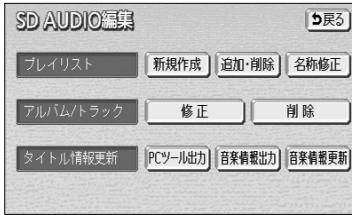


- ④タイトル情報を更新する。



- ③取得した情報をSDメモリーカードに保存する。

## ■検索用PC（パソコン）ツールをお手持ちのパソコンに導入する



- (1) SD AUDIO操作画面 (P.11-2参照) で **編集** にタッチします。  
● SD AUDIO編集画面が表示されます。
- (2) **PCツール出力** にタッチします。  
● PCツール (TFINDER.EXE)、管理情報 (REGIST.DAT)、ツール概要書 (README.TXT) がSDメモリーカードに出力されます。出力先フォルダは、右記となります。PRIVATE¥CUSTOM
- (3) ツールが出力されたSDメモリーカードをお手持ちのパソコンに挿入し、PCツール (TFINDER.EXE)、管理情報 (REGIST.DAT) をパソコンにコピーします。

SD AUDIOをお使いになる前に



### アドバイス

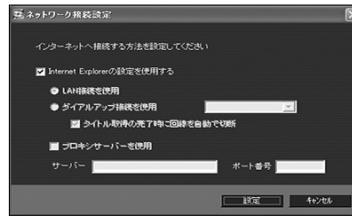
- コピー先は任意の場所で構いませんが、PCツール (TFINDER.EXE) と管理情報 (REGIST.DAT) は、必ず同じ場所に置くようにしてください。
- 本ツールを初めてご利用する際は、管理者 (Administrators のメンバー) としてWindowsにログオンしてください。管理者権限がないとご利用できません。

- 本ツールの動作環境
  - ・ OS Microsoft Windows 98SE/Me/2000 Professional Service Pack 4/XP (Home/Professional) Service Pack 3/Vista (Ultimate/Business/Home Basic/Home Premium) Service Pack 1/7 (Ultimate/Professional/Home Premium)
  - ・ CPU Intel MMX Pentium 200 MHz以上 (推奨Pentium II 300 MHz以上)
  - ・ メモリ 64 MB以上(推奨128 MB以上)
  - ・ HDD 200 MB以上の空き容量
  - ・ インターネット接続環境 推奨64 Kbps以上
  - ・ ディスプレイ/ビデオボード 解像度 推奨800 × 600ピクセル 表示色 推奨65000色以上
  - ・ その他 パソコンにSD挿入口がない場合、SDメモリーカードリーダー/ライターが別途必要です。 空き容量が4 MB以上のSDメモリーカードが別途必要です。

## ■インターネット接続の設定を行う



- (1) アイコンをダブルクリックします。  
● Gracenoteタイトル検索ソフトが起動します。
- (2) **接続設定** を選びます。



- (3) 接続の設定を行います。

### ● Internet Explorerの設定を使用する

Internet Explorerをお使いの場合にチェックします。  
Internet Explorer以外のブラウザをお使いの場合にはチェックを解除し、下記項目を設定します。

### ● LAN接続を使用

LAN接続の場合にチェックします。

### ● ダイヤルアップ接続を使用

ダイヤルアップ接続の場合にチェックします。

### ● タイトル取得の完了時に回線を自動で切断

タイトル取得が完了すると、自動的に回線を切断します。

### ● プロキシサーバを使用

プロキシサーバを使用する場合にチェックします。

- (4) **設定** を選ぶと、設定が保存されます。

## ■アルバムのタイトル情報取得までの操作

操作の流れは下記の3つに分けられます。

- ① [ナビ操作] 本機からSDメモリーカードに音楽情報を出力する。
- ② [PC操作] PCツールでアルバム情報を取得し、SDメモリーカードに保存する。
- ③ [ナビ操作] SDメモリーカードに保存したアルバム情報を用いて、タイトル情報の更新を行う。

### 1 本機からSDメモリーカードに音楽情報を出力する



- (1) SD AUDIO編集画面 (P.11-5参照) で **音楽情報出力** にタッチします。

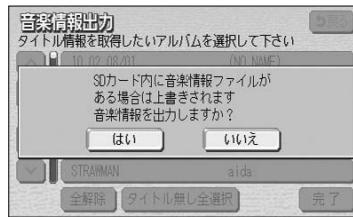
- PCツールを一度も出力されていない場合、メッセージが表示されます。この場合、**はい** にタッチするとPCツールがSDメモリーカードに出力されますので、お手持ちのパソコンに導入してください。(P.11-5参照)



- (2) タイトル情報を取得したいアルバムをリストから選択し、**完了** にタッチします。

- 複数のアルバムを同時に選択することができます。
- **タイトル無し全選択** にタッチすると、タイトルが自動付与されていないアルバムを全て選択します。

SD AUDIOをお使いになる前に

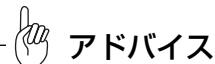


(3) [はい] にタッチします。

- 選択したアルバムのタイトル情報を取得するための情報 (EXPORT.DAT) が、SDメモリーカードに出力されます。出力先フォルダは、下記となります。

PRIVATE¥CUSTOM

- [いいえ] にタッチすると、再びアルバムを選択しながらすることができます。



### アドバイス

- 音楽情報出力中は、本機の操作を行わないでください。出力中に操作を行いますと、出力がキャンセルされますのでご注意ください。
- 音楽情報出力中は、SDメモリーカードを抜いたり、エンジンスイッチをOFFにしないでください。
- 音楽情報の容量によって、出力に時間がかかることがあります。

## 2 PCツールでアルバム情報を取得し、SDメモリーカードに保存する

### ■ 出力した音楽情報を使用してタイトル情報を取得する



(1) PCツールを起動し、[参照] を押します。



(2) ファイル選択ダイアログから、SDメモリーカードに保存した「EXPORT.DAT」を選択し、[開く(O)] を押します。



(3) [FileからCDDB検索] を押すと、Gracenoteサーバーにアクセスし、検索を開始します。

- モデム接続の場合は、ダイヤルアップ接続の確認画面が表示されます。  
“接続先”、“ユーザー名”、“パスワード”を入力し、[接続] を押してください。



(4) アルバム情報が複数ある場合のみ、アルバム名を選び [選択] を押します。



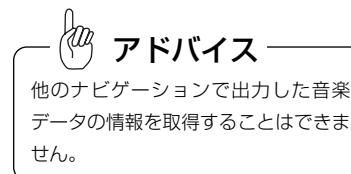
(5) [保存] を押します。

- 音楽情報ファイル「EXPORT.DAT」と同じフォルダにアルバム情報「IMPORT.DAT」が作成されます。

保存が完了するメッセージが表示されるので [OK] を押します。

(6) 「IMPORT.DAT」ファイルを、SDメモリーカードにコピーします。

- 必ずSDメモリーカードの「PRIVATE¥CUSTOM」フォルダの中にコピーしてください。それ以外の場所にコピーすると、タイトル情報を付与できません。



### ■ CDを使用してタイトル情報を取得する

お手持ちのCDよりPCツールを利用してタイトル情報を取得することができます。取得したタイトル情報を、ナビゲーションに登録しておくことで、CDを録音する際に確実にタイトル情報を付与させることができます。



(1) タイトル情報を取得したい検索対象のCDをパソコンのCDドライブに挿入します。

(2) 「検索対象となるCDドライブ」より、CDを挿入したドライブを選択します。

(3) [CDからCDDB検索] を押します。

(4) アルバム情報が複数ある場合のみ、アルバム名を選び [選択] を押します。



# 目的別早見表



(5) [保存] を押します。

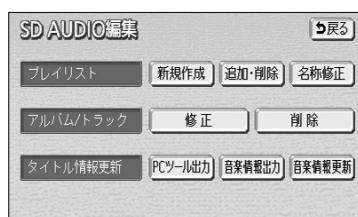


(6) アルバム情報の保存先を選択し、[OK] を押します。

(7) アルバム情報「IMPORT.DAT」ファイルを、SDメモリーカードにコピーします。

- 必ずSDメモリーカードの「PRIVATE¥CUSTOM」フォルダの中にコピーしてください。それ以外の場所にコピーすると、タイトル情報を付与できません。

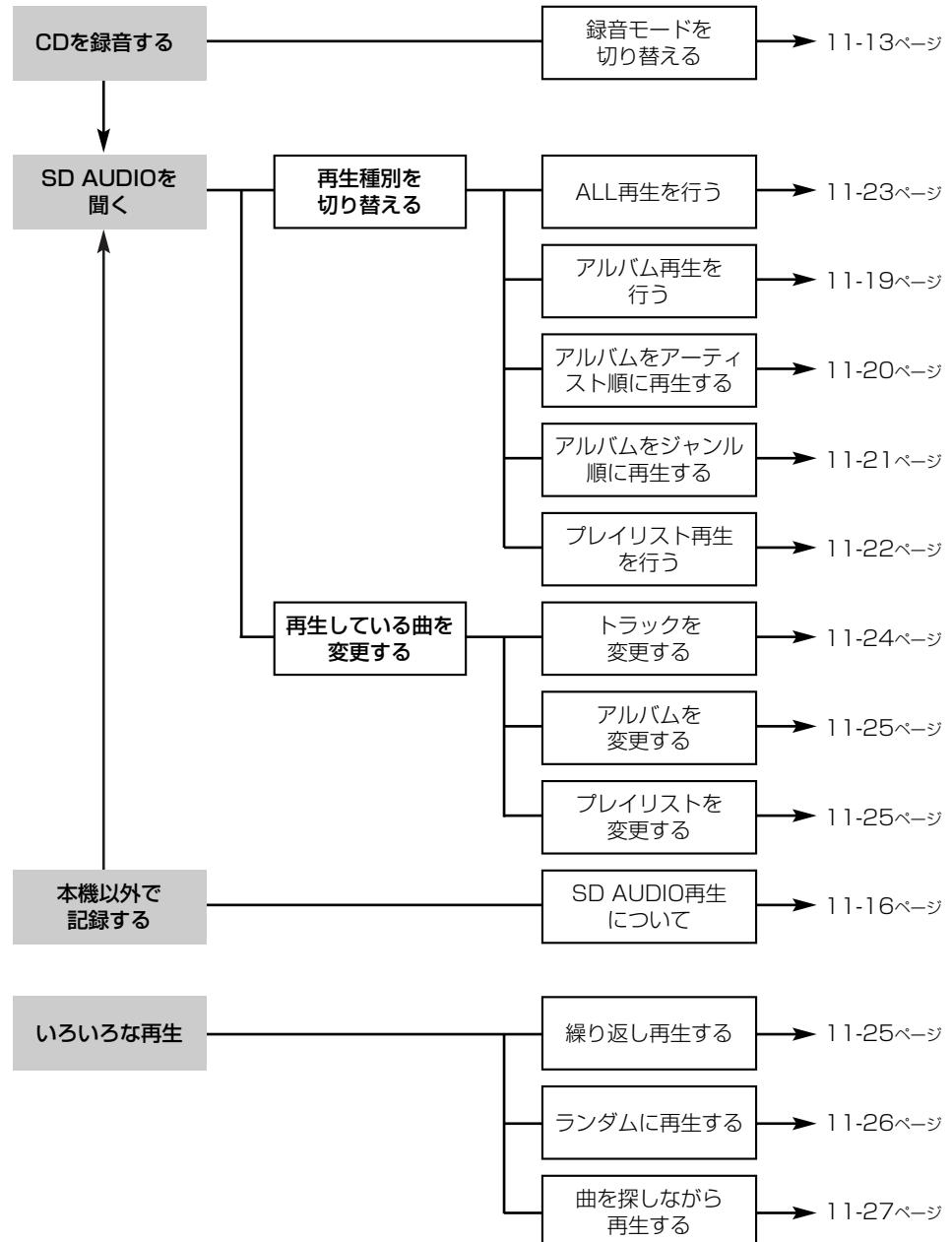
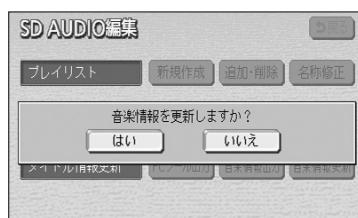
## 3 SDメモリーカードに保存したアルバム情報を用いて、タイトル情報の更新を行う



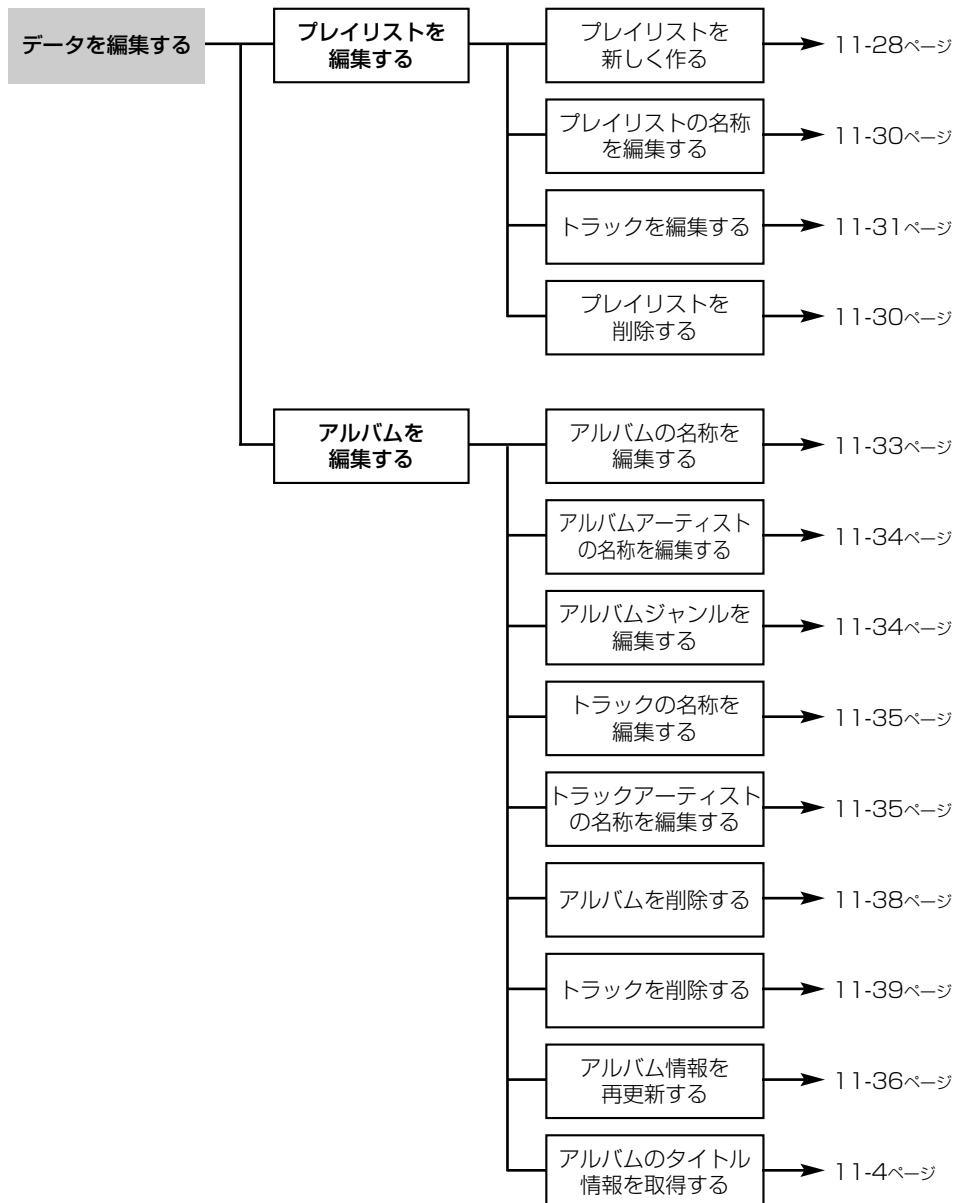
(1) SDメモリーカードを本機に差し込んで、ディスプレイを閉じます。(P.1-21参照)

(2) SD AUDIO編集画面 (P.11-5参照) で [音楽情報更新] にタッチします。

(3) [はい] にタッチすると音楽情報の更新（タイトル情報のアップデート）が開始されます。



# CDを録音するには



## ■CDの録音について

本機は、音楽CDをSDメモリーカードに録音し、聞くことができます。本機で録音した音楽データは、SDオーディオ規格に対応した著作権保護付きのAACデータになります。CDの録音には、CDの未録音トラック（曲）全てを録音するALL録音と、録音したいトラックのみを指定して録音するSELECT録音があります。  
※CD-R/CD-RWに格納したMP3、WMAを録音することはできません。

## ■録音中の表示

録音中は、CD操作画面（P.10-38参照）、現在地画面、ディスクの出し入れを行う画面（P.1-17参照）に録音中マークを表示します。



録音中マーク

### ●録音状態

- REC : 録音を行っている状態
- PAUSE : 録音の一時停止中
- STOP : 録音を停止している状態

### ●録音曲数

(録音済トラック数) / (録音対象トラック数)

### ●進捗ゲージ (10%単位)

録音停止にタッチすると録音を停止します。

## ■録音の一時停止

録音中に以下の状態になると録音を一時停止し、機能終了後に録音を再開します。

- ・ワンセグ再生
- ・SD AUDIO再生
- ・USBメモリー再生
- ・iPod再生
- ・操作説明デモ（デモンストレーション）



## アドバイス

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽データについては保障できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、録音完了後に音楽データが正しく録音されているか確認してください。
- エンジンスイッチがACCの状態で録音しているときにエンジンを始動すると、録音したデータが消失するおそれがあります。
- エンジンスイッチをOFFする場合は、録音を停止してからOFFしてください。
- ノンストップCD（曲と曲の間の無音部分が無いCD）を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音するディスクに依存しますのでご了承ください。

## アドバイス

SDメモリーカードには、最大99枚※1のCD（アルバム）を録音することができ、1つのアルバムには最大99曲※2までトラックを録音することができます。録音可能なトラックの総数は、最大999曲※1※2です。

※1：同じSDメモリーカードに、本機以外で記録されたSDオーディオ規格に対応した音楽データがある場合は合計数となります。

※2：録音時間やSDメモリーカードの容量によって録音可能なトラック数は異なります。

また、再生時間が長い曲がある場合は録音可能なトラック数は減ります。

## 1 録音モードを設定するには

録音モードの設定はCD操作画面から行います。



(1) CD操作画面を表示します。(P.10-38参照)

(2) **録音設定**にタッチします。



(3) **ALL**、または**SELECT**にタッチします。

- 初期設定は、「ALL」に設定されています。

(4) **完了**にタッチします。

- **ALL**に設定すると、CDの未録音トラック全てを録音できます。

- **SELECT**に設定すると、録音開始時にCDからお好みのトラックを選んで録音できます。

## アドバイス

録音中や録音の一時停止中は、録音モードの設定はできません。全てのトラックの録音が終了するか、録音を停止してからお使いください。

## 2 CDの収録トラック全てを録音するには（ALL録音）



(1) 録音モードが「ALL」に設定されているときに、SDメモリーカード（P.1-21参照）を差し込み、CD操作画面を表示します。(P.10-38参照)

(2) **録音開始**にタッチします。



(3) **はい**にタッチすると、録音を開始します。

- 録音を中止するときは**いいえ**にタッチします。

- 全ての未録音トラックの録音が完了すると録音を停止します。



- 録音を停止する場合は、**録音停止**にタッチします。

- 録音完了または録音停止した場合は、CDの先頭に戻って再生を再開します。

## アドバイス

- 録音はSDメモリーカードへの書き込みを行うため、SDメモリーカードの誤消去防止レバー「LOCK」状態を解除してください。

- 録音中は**|<>|**やCD操作画面（P.10-38参照）の**機能**を操作することはできません。

- 現在地画面からでも録音の開始や停止を操作することができます。ただし、特定の状態（P.11-12「■録音の一時停止」参照）では録音を開始することはできません。CD操作画面（P.10-38参照）で録音の開始を行ってください。

- 録音中はSDメモリーカードやCDを取り出さないでください。取り出す場合は、ディスクの出し入れを行う画面（P.1-17参照）で取り出す操作を行うとメッセージが表示されますので、**はい**をタッチして録音を終了させてください。

- (3) の操作は、初めて録音するCDの場合に行います。

## SD AUDIOを聞くには

### 3 CDの中からお好みのトラックを録音するには (SELECT録音)



(1) 録音モードが「SELECT」に設定されているときに、SDメモリーカード（P.1-21参照）を差し込み、CD操作画面を表示します。（P.10-38参照）

(2) **録音開始**にタッチします。

(3) 録音したいトラックにタッチします。

- **▲**・**▼**は1項目ずつ、**↑**・**↓**は1ページずつリストを動かせます。

- 選択しているトラックを再度選択すると、選択が解除されます。

- **全選択**にタッチすると録音可能トラックを全て選択し、**全解除**にタッチすると全ての選択を解除します。

(4) **完了**にタッチします。

- 選択したトラックの録音を開始します。選択した全てのトラックの録音が完了すると録音を停止します。

- 録音を停止する場合は、**録音停止**にタッチします。

- 録音完了または録音停止した場合は、CDの先頭に戻って再生を再開します。

### アドバイス

- 録音はSDメモリーカードへの書き込みを行うため、SDメモリーカードの誤消去防止レバー「LOCK」状態を解除してください。
- 録音中は**◀▶**やCD操作画面（P.10-38参照）の**機能**を操作することはできません。
- 現在地画面から録音の開始を行うとメッセージが表示されますので、CD操作画面（P.10-38参照）で録音の開始を行ってください。
- 初めて録音するCDの場合、メッセージが表示されますので**はい**をタッチして録音を開始してください。
- 録音中はSDメモリーカードやCDを取り出さないでください。取り出す場合は、ディスクの出し入れを行う画面（P.1-17参照）で取り出す操作を行うとメッセージが表示されますので、**はい**をタッチして録音を終了させてください。

### SD AUDIO再生について

SDオーディオ規格に対応した音楽データ（セキュアAACおよびセキュアMP3）を再生することができます。

本機で音楽CDからSDメモリーカードへ録音した音楽データの再生はもちろん、本機以外でSDメモリーカードに記録した音楽データの再生もできます。

本機以外で記録するには、次の方法があります。

- SDオーディオ対応オーディオ機器での録音

- インターネット配信サイトからダウンロードし、パソコンにて書き込み

- 市販ソフトウェアを使って音楽データを作成し、パソコンにて書き込み

推奨ソフトウェア : Panasonic製 SD-Jukebox (V6以降)

推奨データ形式 : データフォーマット セキュアAAC

サンプリング周波数 44.1kHz

ビットレート 128kbps



### アドバイス

- パソコンを使っての音楽データの作成・書き込みには、Panasonic製 SD-Jukebox V6以降の使用を推奨します。パソコンのハードディスクなどにある音楽データをSDメモリーカードにコピーしただけでは再生できません。

また、SD-Jukebox以外（SDオーディオ規格に準拠していない）のソフトウェアを使用して書き込んだ場合は、正常に再生できないことがあります。

- 本機にて録音したSDメモリーカードの音楽データは、SD-Jukeboxを使用してパソコンに保存することができます。

- 著作権保護機能対応のSDメモリーカード挿入口を装備したパソコン、またはパソコンがSDメモリーカード挿入口の付いていないものや著作権保護機能対応でないものの場合、著作権保護機能対応のSDリーダーライターが必要です。

- パソコンの環境によっては作成・保存ができなかったり、作成・保存した音楽データが使えないなどの不具合が発生する場合があります。お客様のデータの損失ならびにその他の直接/間接的な障害につきましては、補償いたしかねますので、予めご了承ください。

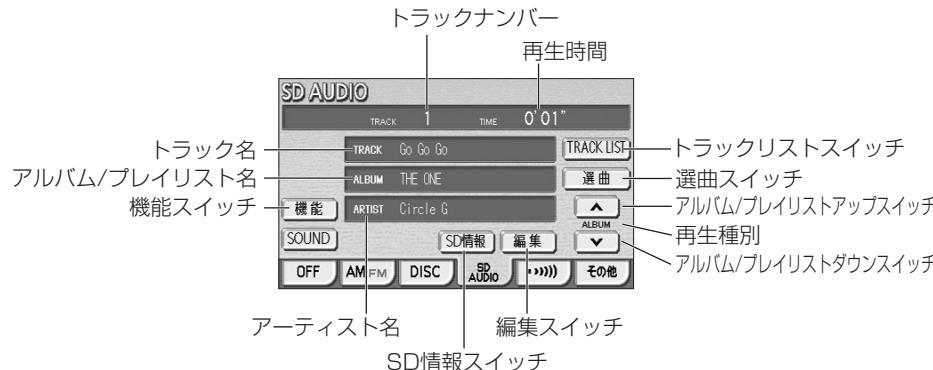
### ■本機SD AUDIOにおける音楽データの呼称について

アルバム (ALBUM) : 本機にて録音した音楽データで、録音した音楽CDごとの曲のまとめです。

プレイリスト (PLAYLIST) : SDメモリーカードに記録されている音楽データの中からお客様のお好みで集めた曲のまとめ、および本機以外で作成・記録された曲のまとめです。

## SD AUDIO操作画面について

## ●SD AUDIO操作画面



## アドバイス

- トラック名、アルバム/プレイリスト名、アーティスト名は、半角文字で最大24文字、全角文字で最大12文字まで、先頭から表示します。
- 本機以外で記録した音楽データに名称がないときは“(NO NAME)”、本機で表示できない文字コードを使用しているときは空白で表示されます。
- 再生種別は、選曲による再生対象を表します。
  - “空白”：ALL再生を表します。選曲画面で「ALL」を選択している状態です。
  - ALBUM：アルバム再生を表します。選曲画面で「アルバム」「アーティスト」「ジャンル」を選択している状態です。
  - PLAYLIST：プレイリスト再生を表します。選曲画面で「プレイリスト」を選択している状態です。
- アルバム/プレイリスト名は、再生種別がALL再生またはアルバム再生の場合にアルバム名を、再生種別がプレイリスト再生の場合にプレイリスト名を表示します。

## SD AUDIOの再生種別について

SD AUDIOには3つの再生種別があり、選曲スイッチから再生種別を切り替えます。

| 再生種別     | 特徴                                                                                                                                                                                                                                |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アルバム再生   | 本機でSDメモリーカードに録音したアルバムを再生します。<br>アルバム順、アーティスト順、ジャンル順で再生することができます。<br>アルバム順：アルバムを名称順に並べ替え再生します。<br>アーティスト順：アルバムをアーティスト名称順に並べ替え再生します。同じアーティストのアルバムはアルバムの名称順に並べ替え再生します。<br>ジャンル順：アルバムをジャンル別に並べ替え再生します。同じジャンルのアルバムはアルバムの名称順に並べ替え再生します。 |
| プレイリスト再生 | 本機で作成したプレイリストおよび本機以外で作成・記録したプレイリストを再生します。プレイリストを名称順に並べ替え再生します。                                                                                                                                                                    |
| ALL再生    | 本機でSDメモリーカードに録音した全てのトラックおよび本機以外で記録した全てのトラックを再生します。<br>SDメモリーカード収録の全てのトラックを記録が古い順に再生します。                                                                                                                                           |

## 1 SD AUDIOを起動するには



- (1) SDメモリーカードが差し込まれているときに、 PWR を押します。
  - オーディオ操作画面が表示されます。
- (2) SD AUDIO にタッチします。
  - SD AUDIO操作画面が表示され、再生を開始します。
  - オーディオシンプルメニューに SD AUDIO を設定していない場合は、その他にタッチしてから SD AUDIO にタッチします。(P.7-3の1 参照)

## アドバイス

- はじめてお使いになる場合、ALL再生を開始します。
- 再生可能な音楽データが1つもない、音楽データが読み込めない、またはSDメモリーカードのフォーマットが正しくない場合はメッセージが表示され、SD AUDIO操作画面のスイッチ(P.11-17参照)は色が反転して操作できません。ただし、「SD情報スイッチ」は操作することができます。(P.11-2参照)

## アドバイス

再生中に、他のオーディオモードに切り替えたり、エンジンスイッチをOFFにすると、再生が停止されます。この場合、再びSD AUDIOに切り替わると、その曲の停止した場所から再生されます。ただし、次のような場合は、再生種別がALL再生に変更され、最初の曲から順に再生されます。

- ・バッテリーとの接続が断たれたり、電圧が下がったとき
- ・SD AUDIOの内容を変更したとき
- ・再生中にSDメモリーカードを入れ替えたとき

## 2 聞きたい曲（アルバム）を選ぶには

アルバム、アーティスト、ジャンルから、アルバムを選択します。

### ■アルバムから選ぶには



## アドバイス

- アルバムから選曲すると、再生種別がアルバム順の「アルバム再生」になります。
- アルバム名は、半角文字で最大32文字、全角文字で最大16文字まで、先頭から表示します。

### ■アーティストから選ぶには



## アドバイス

- アーティストから選曲すると、再生種別がアーティスト順の「アルバム再生」になります。
- アーティスト名、アルバム名は、半角文字で最大32文字、全角文字で最大16文字まで、先頭から表示します。

(1) SD AUDIO操作画面（P.11-17参照）で [選曲] にタッチします。

- 選曲画面が表示されます。

(2) [アーティスト] にタッチします。

- アーティストのリストが表示されます。

(3) 再生したいアーティスト（リスト）にタッチします。

- ▲・▼ は1項目ずつ、▲・▼ は1ページずつリストを動かせます。

- 選択したアーティストのアルバム（リスト）が表示されます。

(4) 再生したいアルバム（リスト）にタッチします。

- ▲・▼ は1項目ずつ、▲・▼ は1ページずつリストを動かせます。

- 選択したアルバムの最初のトラックから再生します。

- [トップ画面へ] にタッチするとSD AUDIO操作画面（P.11-17参照）を表示します。

### ■ジャンルから選ぶには



- (1) SD AUDIO操作画面 (P.11-17参照) で [選曲] にタッチします。
- 選曲画面が表示されます。

- (2) [ジャンル] にタッチします。
- ジャンルのリストが表示されます。

- (3) 再生したいジャンル (リスト) にタッチします。

- ▲・▼ は1項目ずつ、▲・▼ は1ページずつリストを動かせます。
- 選択したジャンルのアルバム (リスト) が表示されます。



- (4) 再生したいアルバム (リスト) にタッチします。

- ▲・▼ は1項目ずつ、▲・▼ は1ページずつリストを動かせます。
- 選択したアルバムの最初のトラックから再生します。
- [トップ画面へ] にタッチするとSD AUDIO操作画面 (P.11-17参照) を表示します。



### アドバイス

- ジャンルから選曲すると、再生種別がジャンル順の「アルバム再生」になります。
- リスト表示されるジャンルは、SDメモリーカード収録のアルバムに付与されているジャンルのみです。

### 3 聞きたい曲 (プレイリスト) を選ぶには

本機で作成および本機以外で作成・記録したプレイリストから選択します。



- (1) SD AUDIO操作画面 (P.11-17参照) で [選曲] にタッチします。
- 選曲画面が表示されます。

- (2) [プレイリスト] にタッチします。
- プレイリストのリストが表示されます。



- (3) 再生したいプレイリスト (リスト) にタッチします。

- ▲・▼ は1項目ずつ、▲・▼ は1ページずつリストを動かせます。
- 選択したプレイリストの最初のトラックから再生します。



### アドバイス

- プレイリストから選曲すると、再生種別が「プレイリスト再生」になります。
- プレイリスト名は、半角文字で最大32文字、全角文字で最大16文字まで、先頭から表示します。

## 4 聞きたい曲（ALL）を選ぶには

SDメモリーカードに収録されている全てのトラックから選択します。



- (1) SD AUDIO操作画面 (P.11-17参照) で **選曲** にタッチします。

- ALL再生の選曲画面が表示されます。



- (2) 再生したいトラック（リスト）にタッチします。

- **▲**・**▼** は1項目ずつ、**↑**・**↓** は1ページずつリストを動かせます。
- 選択したトラックを最初から再生します。



### アドバイス

- ALLから選曲すると、再生種別が「ALL再生」になります。
- トラック名は、半角文字で最大32文字、全角文字で最大16文字まで、先頭から表示します。

## 5 聞きたい曲（トラック）を選ぶには

■TUNE・TRACKボタンで選ぶには



- (1) **◀◀**・**▶▶** の左または右を押します。

- 右側を1回押すと、次のトラックを再生します。
- 左側を1回押すと、トラックの先頭に戻ります。
- 左側を続けて2回押すと、前のトラックを再生します。



### アドバイス

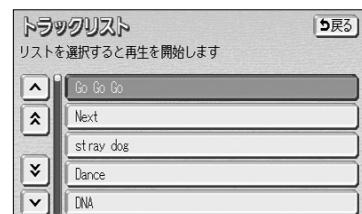
- 前のトラックの再生を行う場合は、トラックの再生時間が1秒以内に左側を押します。5曲前のトラックを再生する場合は、左側を続けて6回押します。
- 右側または左側を押し続けると、早送りまたは早戻しになります。再生するトラックを変更する場合には、短く押してください。

■トラックリスト画面で選ぶには



- (1) SD AUDIO操作画面 (P.11-17参照) で **TRACK LIST** にタッチします。

- 現在再生しているアルバム、プレイリストまたは ALL再生対象のトラック（リスト）を表示します。



- (2) 再生したいトラック（リスト）にタッチします。

- **▲**・**▼** は1項目ずつ、**↑**・**↓** は1ページずつリストを動かせます。
- 選択したトラックを最初から再生します。



### アドバイス

- 現在再生しているトラックは強調表示されます。
- リストを表示するときは、現在再生しているトラックが一番上に表示されます。
- トラック名は、半角文字で最大32文字、全角文字で最大16文字まで、先頭から表示します。

## 6 再生しているアルバム/プレイリストを変更するには



- (1) SD AUDIO操作画面 (P.11-17参照) で **▲** または **▼** にタッチします。
  - **▲** にタッチすると次のアルバムまたはプレイリストの先頭のトラックから再生します。
  - **▼** にタッチすると前のアルバムまたはプレイリストの先頭のトラックから再生します。

## 7 早送り・早戻しをするには



- (1) **◀▶** の左または右を押し続けます。
  - 右側を押し続けると、早送りできます。
  - 左側を押し続けると、早戻しできます。
  - 手をはなすと、はなした位置から再生が開始されます。



### アドバイス

- 早送りまたは早戻し中は、音が止まります。
- 早送りにより曲の最後まで送った、または早戻しにより曲の最初まで戻った場合、曲の最後または最初で止まります。

## 8 同じ曲を繰り返し再生するには



- (1) SD AUDIO操作画面 (P.11-17参照) で **機能** にタッチします。
- (2) **RPT** にタッチします。
  - **RPT** の作動表示灯が点灯し、画面左上部に “RPT” の文字が表示されます。
  - 再生中のトラックを繰り返し再生します。
  - 解除するにはもう一度 **RPT** にタッチします。

## 9 同じアルバム/プレイリストを繰り返し再生するには



- (1) SD AUDIO操作画面 (P.11-17参照) で **機能** にタッチします。
- (2) **ALBUM RPT** または **PLAYLIST RPT** にタッチします。
  - **ALBUM RPT** または **PLAYLIST RPT** の作動表示灯が点灯し、画面左上部に “ALBUM.RPT” または “PLAYLIST.RPT” の文字が表示されます。
  - 再生中のアルバム/プレイリストを繰り返し再生します。
  - 解除するにはもう一度 **ALBUM RPT** または **PLAYLIST RPT** にタッチします。

## 10 曲の再生順をランダムにするには

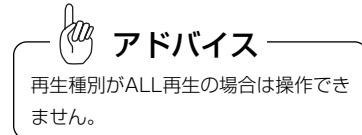


- (1) SD AUDIO操作画面 (P.11-17参照) で **機能** にタッチします。
- (2) **RAND** にタッチします。
  - **RAND** の作動表示灯が点灯し、画面左上部に “RAND” の文字が表示されます。
  - 解除するまで、再生しているアルバム/プレイリスト/ALL再生対象の中からトラックをランダム（無作為）に選んで再生します。
  - 解除するにはもう一度 **RAND** にタッチします。

## 11 全てのアルバム/プレイリストから曲をランダムに再生するには



- (1) SD AUDIO操作画面 (P.11-17参照) で **機能** にタッチします。
- (2) **ALBUM RAND** または **PLAYLIST RAND** にタッチします。
  - **ALBUM RAND** または **PLAYLIST RAND** の作動表示灯が点灯し、画面左上部に “ALBUM.RAND” または “PLAYLIST.RAND” の文字が表示されます。
  - 解除するまで、再生される全アルバム/全プレイリストに収録されているトラックの中からランダム（無作為）に選んで再生します。
  - 解除するにはもう一度 **ALBUM RAND** または **PLAYLIST RAND** にタッチします。



### アドバイス

- 再生種別がALL再生の場合は操作できません。

## SD AUDIOを編集するには

### 12 再生中のアルバム/プレイリスト/全てのトラックから曲を探すには

- (1) SD AUDIO操作画面 (P.11-17参照) で [機能] にタッチします。

(2) [SCAN] にタッチします。

- [SCAN] の作動表示灯が点灯し、画面左上部に “SCAN” の文字が表示されます。
- 再生中の次のトラックから、曲の始めの部分を約10秒間ずつ、次々に再生します。
- 解除するにはもう一度 [SCAN] にタッチします。解除されたところから再生を続けます。



### 13 全てのアルバム/プレイリストからアルバム/プレイリストを探すには

- (1) SD AUDIO操作画面 (P.11-17参照) で [機能] にタッチします。

(2) [ALBUM SCAN] または [PLAYLIST SCAN] にタッチします。

- [ALBUM SCAN] または [PLAYLIST SCAN] の作動表示灯が点灯し、画面左上部に “ALBUM.SCAN” または “PLAYLIST.SCAN” の文字が表示されます。
- 再生中の次のアルバム/プレイリストから、先頭にあるトラックの始めの部分を約10秒間ずつ、次々に再生します。
- 解除するにはもう一度 [ALBUM SCAN] または [PLAYLIST SCAN] にタッチします。解除されたところから再生を続けます。



#### アドバイス

再生種別がALL再生の場合は操作できません。

本機で録音したトラックや本機以外で作成・記録したトラックをお好みに合わせて集めたプレイリストを作成することができます。

また、録音したアルバムやトラックの情報（タイトルやアーティスト、ジャンルなど）を編集することができます。



#### アドバイス

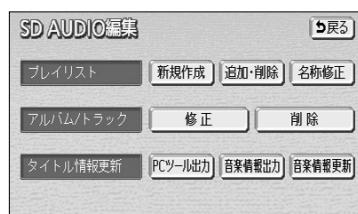
- 編集操作によりSDメモリーカードへの書き込みが発生するとメッセージを表示します。書き込み中はSDメモリーカードを取り出さないでください。
- SDメモリーカードの書き込み中は、SD AUDIO再生を停止します。また、書き込みが終了すると再生種別がALL再生に切り替わり、最初のトラックから再生を始めます。

### 1 プレイリストを作成するには



- (1) SD AUDIO操作画面 (P.11-17参照) で [編集] にタッチします。

- SD AUDIO編集画面が表示されます。



- (2) プレイリストの [新規作成] にタッチします。

- プレイリスト名称編集画面が表示されます。



#### アドバイス

- プレイリストはアルバム数と合わせ最大99個まで作成できます。
- 1つのプレイリストには99曲（トラック）まで登録できます。



- (3) 名称を入力（編集）します。

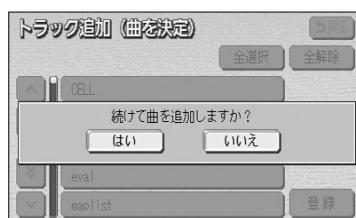
- 入力方法は、P.4-27～P.4-28を参照してください。

- (4) [完了] にタッチします。



### アドバイス

「ALL」を選択した場合は(8)の画面を表示します。



- (5) 登録したいトラックの検索方法のスイッチにタッチします。(ここではアーティストにタッチした場合を例に説明します。)
- アーティストの名称リストが表示されます。
  - ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。

- (6) プレイリストに登録したいアーティスト(リスト)にタッチします。
- アルバムのリストが表示されます。

- (7) プレイリストに登録したいアルバム(リスト)にタッチします。
- ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
  - トラックのリストが表示されます。

- (8) プレイリストに登録したいトラックを選択します。
- ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
  - トラック(リスト)にタッチするとプレイリストに追加するトラックを選択します。もう一度タッチすると選択を解除します。
  - 「全選択」にタッチすると全てのトラックを選択します。
  - 「全解除」にタッチすると全ての選択を解除します。

- (9) 「登録」にタッチすると登録した内容でプレイリストを作成します。

- (10) 「はい」にタッチすると(5)から同じ操作を繰り返してトラックを追加できます。

- (11) 「いいえ」にタッチするとプレイリスト作成を終了します。

## 2 プレイリストの名称を修正するには



- (1) SD AUDIO編集画面(P.11-28の①の(2)参照)でプレイリストの「名称修正」にタッチします。
- プレイリストのリストが表示されます。
  - ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。

- (2) 名称を修正したいプレイリスト(リスト)にタッチします。

- (3) 名称を入力(編集)します。
- 入力方法は、P.4-27～P.4-28を参照してください。

- (4) 「完了」にタッチします。



## 3 プレイリストを削除するには



- (1) SD AUDIO編集画面(P.11-28の①の(2)参照)でプレイリストの「追加・削除」にタッチします。
- プレイリストのリストが表示されます。
  - ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。

- (2) 削除したいプレイリスト(リスト)にタッチします。

- (3) 「このプレイリストを削除」にタッチします。



- (4) 「はい」にタッチします。
- プレイリストが削除されます。



## 4 プレイリストにトラック（曲）を追加するには



- (1) SD AUDIO編集画面 (P.11-28の①の(2) 参照) でプレイリストの追加・削除にタッチします。
  - プレイリストのリストが表示されます。
  - ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
- (2) トラックを追加したいプレイリスト（リスト）にタッチします。
- (3) **トラックを追加**にタッチします。
  - トラック追加画面が表示されます。
  - 以降の手順は、P.11-29の(5)～(11)と同じです。



## 5 プレイリストのトラック（曲）を削除するには



- (1) SD AUDIO編集画面 (P.11-28の①の(2) 参照) でプレイリストの追加・削除にタッチします。
  - プレイリストのリストが表示されます。
  - ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
- (2) トラックを削除したいプレイリスト（リスト）にタッチします。
- (3) **トラックを削除**にタッチします。



- (4) 削除したいトラック（リスト）にタッチします。
  - ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
  - 選択したトラックが強調表示されます。もう一度タッチすると選択を解除します。
  - **全選択**にタッチすると全てのトラックを選択します。
  - **全解除**にタッチすると全ての選択を解除します。
- (5) **削除**にタッチします。



- (6) **はい**にタッチします。
  - トラックが削除されます。

## 6 アルバム・トラックの情報を修正するには

お好みのタイトルやアーティストに、アルバムやアルバム内トラックの情報を修正することができます。また、アルバムのタイトル情報をデータベースから取得して再更新することができます。



- (1) SD AUDIO編集画面 (P.11-28の①の(2) 参照) でアルバム/トラックの**修正**にタッチします。
- (2) アルバムの検索方法のスイッチにタッチします。（ここで「アーティスト」にタッチした場合を例に説明します。）
  - アーティストの名称リストが表示されます。
  - ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
- (3) 修正したいアルバムのアーティスト（リスト）にタッチします。
  - アルバムのリストが表示されます。



- (4) 修正したいアルバム（リスト）にタッチします。
- ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。
  - アルバム修正画面が表示されます。



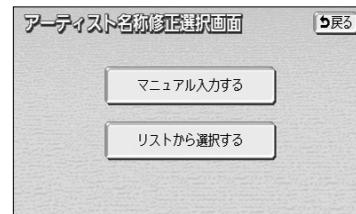
- (5) 修正したい項目のスイッチにタッチします。
- **アルバム**にタッチするとアルバム名を編集できます。（下記参照）
  - **アルバムアーティスト**にタッチするとアーティスト名を編集できます。（P.11-34参照）
  - **ジャンル**にタッチするとジャンルを変更できます。（P.11-34参照）
  - **トラック修正**にタッチするとトラック名、アーティスト名を編集できます。（P.11-35参照）
  - **アルバム情報再更新**にタッチするとタイトル情報を再更新できます。（P.11-36参照）

### ■ アルバムの名称を修正するには



- (1) アルバム修正画面（上記参照）で **アルバム**にタッチします。
- (2) 文字を入力します。
- 入力方法は、P.4-27～P.4-28を参照してください。
- (3) **完了**にタッチします。

### ■ アルバムアーティストの名称を修正するには



- (1) アルバム修正画面（P.11-33の（5）参照）で **アルバムアーティスト**にタッチします。
- (2) アーティスト名を修正する方法を選択します。
- 文字を入力する場合は **マニュアル入力する**にタッチします。
  - すでに登録されているアーティスト（CD録音による自動登録またはマニュアル入力による登録）の中から選択するには、**リストから選択する**にタッチします。
- (3) 「マニュアル入力する」を選択した場合、文字を入力します。
- 入力方法は、P.4-27～P.4-28を参照してください。
- (4) **完了**にタッチします。
- (5) 「リストから選択する」を選択した場合は、アーティスト（リスト）にタッチします。



### ■ ジャンルを修正するには



- (1) アルバム修正画面（P.11-33の（5）参照）で **ジャンル**にタッチします。
- (2) 変更したいジャンルのスイッチにタッチします。

### ■ トラックの名称を修正するには



- (1) アルバム修正画面 (P.11-33の(5)参照) で **トラック修正** にタッチします。
- (2) 名称を修正したいトラック (リスト) にタッチします。  
● ▲・▼は1項目ずつ、▲・▼は1ページずつリストを動かせます。

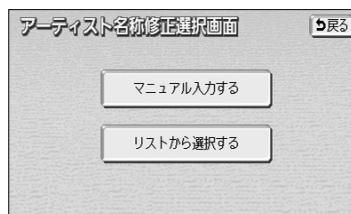


- (3) **トラック** にタッチします。



- (4) 文字を入力します。  
● 入力方法は、P.4-27～P.4-28を参照してください。
- (5) **完了** にタッチします。

### ■ トラックアーティストの名称を修正するには



- (1) 上記(3)の画面で **トラックアーティスト** にタッチします。
- (2) アーティスト名を修正する方法を選択します。
  - 文字を入力する場合は **マニュアル入力する** にタッチします。
  - すでに登録されているアーティスト (CD録音による自動登録またはマニュアル入力による登録) の中から選択するには、**リストから選択する** にタッチします。



- (3) 「マニュアル入力する」を選択した場合、文字を入力します。  
● 入力方法は、P.4-27～P.4-28を参照してください。
- (4) **完了** にタッチします。



- (5) 「リストから選択する」を選択した場合は、アーティスト (リスト) にタッチします。

### ■ アルバム情報を再更新するには

録音したアルバムのタイトル情報を、本機およびSDメモリーカードに収録されているGracenoteメディアデータベースの中から検索して、該当する情報を付与することができます。



- (1) アルバム修正画面 (P.11-33の(5)参照) で **アルバム情報再更新** にタッチします。  
● 検索が開始されます。



**アドバイス**  
検索の結果、該当する情報がない場合はメッセージが表示されます。

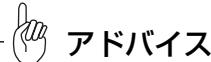


- (2) 複数候補が検索されたときは、タイトル (リスト) にタッチします。  
● 該当する候補が1つだけだったときは、P.11-37の(3)の画面を表示します。



(3) [登録] にタッチします。

- 検索結果を反映しないときは [中止] にタッチします。



### アドバイス

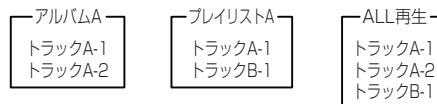
- 修正したアルバム情報、トラック情報を元に戻したいときに使用すると便利です。
- タイトル情報はアルバムのみまたはトラックのみに情報を反映することができません。(アルバムとトラックのタイトル情報を強制的に更新します)
- CD録音時にタイトル情報が間違って付与された場合でも、「アルバム情報再更新」することで正しい情報が得られる可能性があります。
- CD録音時にタイトル情報が付与されなかった場合でも、データベースの更新後 (P.11-4参照) に該当アルバム情報がデータベース収録されていれば、「アルバム情報再更新」することでタイトル情報を付与します。

### アルバム・トラックの削除とプレイリスト/ALL再生の関係

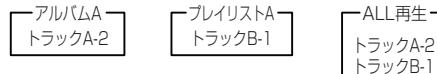
本機にてCD録音を行うと、アルバムが作成されアルバム内トラックはALL再生の対象にも登録されます。

アルバムおよびアルバム内トラックを削除すると、ALL再生のトラックも削除されます。また、アルバム内トラックをプレイリスト登録している場合もアルバムおよびアルバム内トラックを削除すると、プレイリストからトラックが削除されます。

- CD録音でアルバムAが作成され、プレイリストAにアルバム内トラックA-1を登録している状態



- アルバム内トラックA-1を削除した状態



- アルバムAを削除した状態



### 7 アルバム・トラックを削除するには

本機で録音したアルバム、アルバム内トラックを選択して削除します。



(1) SD AUDIO編集画面 (P.11-28の(1)の(2)参照) でアルバム/トラックの [削除] にタッチします。

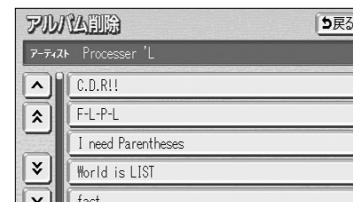
(2) アルバムの検索方法のスイッチにタッチします。(ここでは [アーティスト] にタッチした場合を例に説明します。)

- アーティストの名称リストが表示されます。

● ▲・▼ は1項目ずつ、▲・▼ は1ページずつリストを動かせます。

(3) 削除したいアルバム、トラックを含むアーティスト (リスト) にタッチします。

- アルバムのリストが表示されます。



(4) 削除したいアルバム、または削除したいトラックを含むアルバム (リスト) にタッチします。

● ▲・▼ は1項目ずつ、▲・▼ は1ページずつリストを動かせます。

- アルバムのタイトル情報が表示されます。

● [このアルバムを削除] にタッチするとアルバムを削除できます。(下記参照)



● [Track to delete] にタッチするとトラックを削除できます。(P.11-39参照)

### ■ アルバムを削除するには



(1) 上記 (4) の画面で [このアルバムを削除] にタッチします。

(2) [はい] にタッチします。

- アルバムが削除されます。

# メモ

## ■ トラックを削除するには



(1) P.11-38の(4)の画面で **「トラックを削除」** にタッチします。

(2) 削除したいトラック(リスト)にタッチします。

- **▲**・**▼**は1項目ずつ、**▲**・**▼**は1ページずつリストを動かせます。

- 選択したトラックが強調表示されます。もう一度タッチすると選択を解除します。

- **全選択**にタッチすると全てのトラックを選択します。

- **全解除**にタッチすると全ての選択を解除します。

(3) **「削除」**にタッチします。

(4) **「はい」**にタッチします。

- トラックが削除されます。



## アドバイス

- 削除を開始すると途中でキャンセルすることはできませんので、十分に注意してから実行してください。
- 削除するデータが多い場合は、処理が終わるまでに時間がかかることがあります。

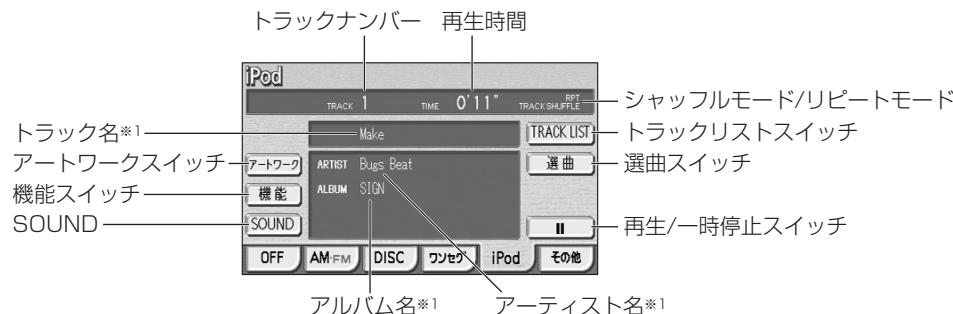
メモ

# iPod®で音楽を聞くには

別売のトヨタ純正iPod対応USB/VTRマルチアダプターを購入した場合、iPodを本機に接続して、iPodの音楽を聞くことができます。

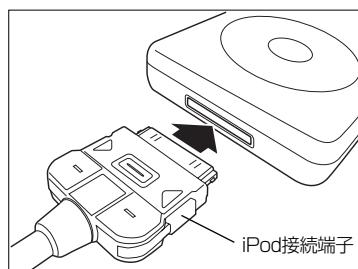
また、選曲やシャッフルモードの切り替えを、本機で操作することができます。

## ●iPod操作画面



※1 日本語および英語表示のみ対応

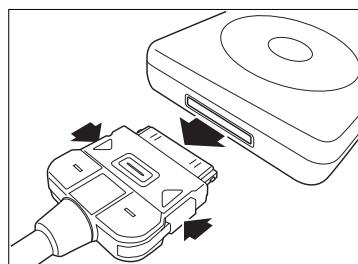
## 1 iPodを本機に接続するには



- (1) iPod本体に接続されているイヤホン、リモコン、ACアダプターなどを、すべて取りはずします。
- (2) iPod接続端子に、iPodを接続します。
  - iPod接続端子の位置は、機種によって異なります。
  - iPod再生状態に関わらず、本機に接続すると自動的に一時停止、全曲リピートモードになります。

### ●取りはずすには

- (1) iPod接続端子を矢印の方向に押しながら、取りはずします。



## アドバイス

- iPodに収録されている曲数、ソフトバージョンによっては、iPodとの通信状態により、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しないことがあります。
- iPodにイヤホンやリモコンなどのアクセサリーを挿したまま使用しないでください。その場合、動作保障対象外となります。
- iPodで音楽再生している間は、接続ケーブルを抜かないでください。iPodが故障する場合があります。
- 正しく動作しない場合、iPodを本機から取りはずし、iPod本体をリセットしてから本機に再度接続してご使用ください。iPodのリセット方法はiPodの取扱説明書をご覧ください。
- ご使用になるiPodが本機に対応しているバージョンであるか確認してください。対応しているバージョンについては、「対応iPod機種一覧」(P.12-7)を参照してください。
- iPodを本機に接続すると、iPodに“TOYOTA”が表示されます。また、“TOYOTA”が表示されている間はiPodによる操作をすることができません。
- iPodの電源をOFFにしたまま接続しても、TOYOTAマークが表示されます。
- 接続するiPodの種類によってはTOYOTAマークは表示されない場合もあります。
- 本機にiPodを接続すると、本機で表示される曲名リストの順番がiPodと異なることがあります。
- 接続したiPodを本機で操作する場合、本機の操作とiPodの動作が異なることがあります。



## 注意

- 運転中は、安全のため、ヘッドフォンまたはイヤホンを使用しないでください。
- 本機でiPodを使用しているときにiPodのデータが消去しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

## 2 iPodを聞くには

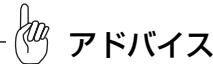


- (1) を押します。
  - オーディオ操作画面が表示されます。
- (2) **iPod** にタッチします。
  - iPod操作画面が表示されます。
  - オーディオシンプルメニューに **iPod** を設定していない場合は、**その他**にタッチしてから **iPod** にタッチします。(P.7-3の1 参照)

### 3 曲の頭出しをするには



- (1) **◀▶** の左または右を押します。
- 右側を1回押すと、次のトラック（曲）を再生します。
  - 左側を1回押すと、トラック（曲）の先頭に戻ります。
  - 左側を続けて2回押すと、前のトラック（曲）を再生します。



#### アドバイス

- 前のトラックの再生を行う場合は、トラックの再生時間が3秒以内に左側を押します。5曲前のトラックを再生する場合は、左側を続けて6回押します。
- 右側または左側を押し続けると、早送りまたは早戻しになります。再生するトラックを変更する場合には、短く押してください。

### 4 早送り・早戻しをするには



- (1) **◀▶** の左または右を押し続けます。
- 右側を押し続けると、早送りできます。
  - 左側を押し続けると、早戻しできます。
  - 手をはなすとはなしした位置から再生が開始されます。



#### アドバイス

- 早送りによりトラックの最後まで送った場合は、次のトラックに移り通常の再生を行います。
- 早戻しによりトラックの最初まで戻った場合は、トラックの先頭から通常の再生を行います。

### 5 再生を一時停止するには



- (1) **II** にタッチします。
- 一時停止中は **▶** が表示されます。
  - 通常の再生に戻すには、**▶** をタッチします。

### 6 同じ曲をリピート再生するには



- (1) iPod操作画面（P.12-1参照）で **機能** にタッチします。
- (2) **RPT** にタッチします。
- **RPT** の作動表示灯が点灯し、画面上部に“RPT”の文字が表示されます。
  - もう一度タッチすると解除されます。

### 7 曲の順番をランダムに聞くには（シャッフル再生）



- (1) iPod操作画面（P.12-1参照）で **機能** にタッチします。
- (2) **TRACK SHUFFLE** にタッチします。
- タッチするごとに設定が切り替わります。



- **TRACK SHUFFLE**
- **TRACK SHUFFLE** の作動表示灯が点灯し、画面上部に“TRACK SHUFFLE”的文字が表示されます。再生対象となっている曲全てからランダム（無作為）に並べて再生します。
- **ALBUM SHUFFLE**

**ALBUM SHUFFLE** の作動表示灯が点灯し、画面上部に“ALBUM SHUFFLE”的文字が表示されます。再生対象曲をアルバム単位でアルバムの順番をランダム（無作為）に並べて再生します。

- #### アドバイス

  - 再生される順序はiPod本体の動作に準じます。
  - iPod内の曲数が多い場合、再生まで数秒かかることがあります。

## 8 リストから曲を選ぶには



- (1) iPod操作画面（P.12-1参照）で、**選曲**にタッチします。



- (2) 表示したいタブを選んでタッチします。

- ◀ ▶ タッチでタブ画面を切り替えます。
- 選択したタブのリストが表示されます。

- (3) 表示したいリストを選んでタッチします。

- ▲ ▼ ▷ ▷ タッチでリストを動かします。
- 選択したリスト内のリストが表示されます。
- **ALL** をタッチすると選択したリスト内の全曲が表示されます。

- (4) (3) を曲のリストが表示されるまで繰り返します。

- (5) リストから曲を選びます。

- 選んだ曲の再生を開始します。
- **トップ画面へ** iPod操作画面に戻ります。



### アドバイス

- 各リスト画面に表示される文字数は、半角で最大44文字、全角文字で22文字まで、先頭から表示します。
- 曲リスト、トラックリスト画面に表示される文字数は、半角で38文字、全角文字で19文字まで、先頭から表示します。
- プレイリスト、ポッドキャスト、曲リストの場合は **ALL** リストは表示されません。
- 現在再生しているプレイリスト、アーティスト、アルバム、ポッドキャスト、ジャンル、作曲者は強調表示されます。
- リストを表示するときは、現在再生しているトラックを含むプレイリスト、アーティスト、アルバム、ポッドキャスト、ジャンル、作曲者が一番上に表示されます（再生中トラックを含まない場合は、先頭から表示します）。また、リストは再生する順に表示されます。

## 9 再生するトラックの一覧を表示するには



- (1) iPod操作画面（P.12-1参照）で、**TRACK LIST**にタッチします。

- 再生対象となっているトラックが再生順に全て表示されます。
- ▲ ▼ ▷ ▷ リストを動かします。

- (2) 表示されているトラックにタッチするとタッチしたトラックの再生を開始します。



### アドバイス

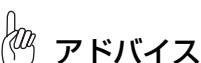
- リストは再生する順に表示されます。
- 現在再生しているトラックはリストが強調表示されます。
- リストを表示するときは、現在再生しているトラックのリストが一番上に表示されます。

## 10 アートワークを表示するには



- (1) iPod操作画面（P.12-1参照）で、**アートワーク**にタッチします。

- アートワークが表示されます。
- **曲情報**にタッチするとiPod操作画面に戻ります。



### アドバイス

- アートワークが表示されるまで、数秒かかることがあります。
- 再生時間が残り少ない場合、**アートワーク**をタッチしてもアートワークを表示できないことがあります。次曲の再生に移った後、次曲のアートワークを表示します。
- 選曲リスト、トラックリストを表示させた後はiPod操作画面に戻ります。アートワークを表示させたいときは、再度**アートワーク**をタッチしてください。

# USBメモリーで音楽を聞くには

## II 対応iPod機種一覧

| 機種           | 世代       | ファームウェア | 備考                     |
|--------------|----------|---------|------------------------|
| iPod         | 第5世代     | 1.3     | 第1～第4世代については対応しておりません。 |
| iPod classic | 第1世代     | 1.1.2   | —                      |
|              | 第1世代'08  | 2.0.1   |                        |
|              | Late2009 | 2.0.4   |                        |
| iPod nano    | 第1世代     | 1.3.1   | —                      |
|              | 第2世代     | 1.1.3   |                        |
|              | 第3世代     | 1.1.3   |                        |
|              | 第4世代     | 1.0.4   |                        |
|              | 第5世代     | 1.0.2   |                        |
| iPod touch   | 第1世代     | 1.1.5   | —                      |
|              |          | 2.2.1   |                        |
|              |          | 3.1.2   |                        |
|              | 第2世代     | 2.2.1   |                        |
|              |          | 3.1.2   |                        |
| iPhone       | 3G、3GS   | 3.1.2   | —                      |

※iPod shuffleは対応しておりません。

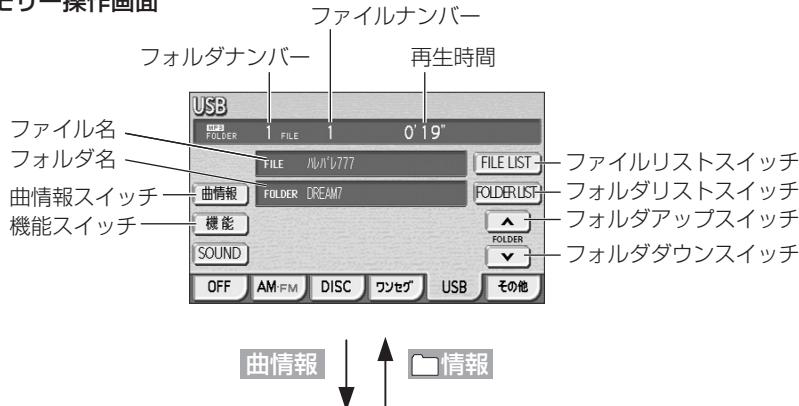


## アドバイス

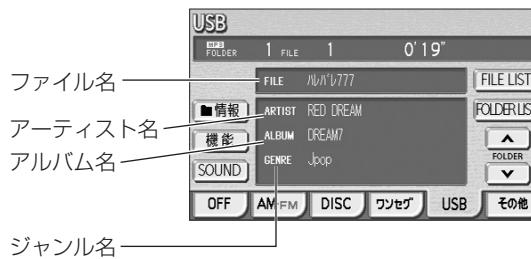
- iPodのバージョン情報は、iPod本体で確認できます。詳しくは、iPodの取扱書をご覧ください。
- 本機は、音声データの再生およびアルバムアートワークの表示が可能です。  
iPod classic、iPod nano（第3世代）は本機に接続してもアルバムアートワークを表示できません。
- iPodで再生できる動画や静止画は、本機では再生できません。
- オーディオブック機能には対応していません。
- iPodは、米国及び他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPodは著作権の無いマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。  
著作権の侵害は法律上禁止されています。

別売のトヨタ純正iPod対応USB/VTRマルチアダプターを購入した場合、USBメモリーを本機に接続して、USBメモリーに記録されたMP3/WMAファイルを聞くことができます。

## ●USBメモリー操作画面



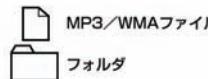
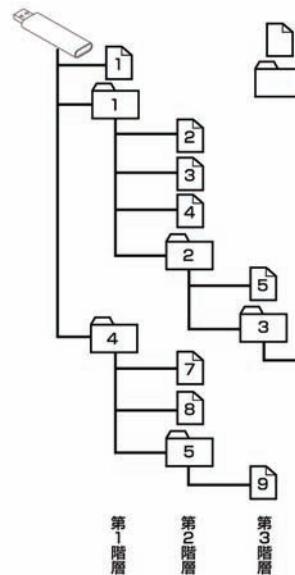
## ●USBメモリー楽曲情報画面



## アドバイス

- USBメモリー操作画面で「曲情報」にタッチすると、再生中の楽曲の情報が表示されます。
- USBメモリー楽曲情報画面では、再生中のMP3/WMAファイルのタグ情報（P.12-16参照）を表示します。
- MP3の楽曲情報を表示するのに、時間がかかる場合があります。
- 画面に表示させることができるフォルダ名、ファイル名の文字数は、最大12文字（半角のみのときは24文字）までです。また、記録されている内容によっては、正しく表示されない場合があります。

### ●USBメモリーの構造例



MP3/WMAファイル  
フォルダ

### 2 USBメモリーを聞くには



(1) を押します。

● オーディオ操作画面が表示されます。

(2) **USB** にタッチします。

● USBメモリー操作画面が表示されます。

● オーディオシンプルメニューに **USB** を設定していない場合は、**その他** にタッチしてから **USB** にタッチします。(P.7-3の1参照)



#### アドバイス

- 通常は 1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7 → 8 → 9 (「●USBメモリーの構造例」を参照) の順に再生します。
- 再生中のファイルのモードを、“MP3” または “WMA” で表示します。

### 3 聞きたいフォルダを選ぶには

USBメモリーの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

#### ●操作画面で選ぶには



(1) USBメモリー操作画面 (P.12-8参照) で ▲ または ▼ にタッチします。

● 選択したフォルダに格納されている最初のファイルから再生を開始します。

#### ●フォルダリスト画面で選ぶには



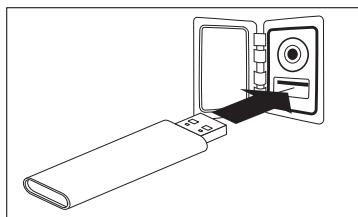
(1) USBメモリー操作画面 (P.12-8参照) で **FOLDER LIST** にタッチします。

(2) 聞きたいフォルダ (リスト) にタッチします。

● 選択したフォルダに格納されている最初のファイルから再生を開始します。

● 走行中はリストのスクロール操作はできません。

### 1 USBメモリーを接続する（取りはずす）



- (1) USB端子にUSBメモリーを接続します（取りはずします）。



#### アドバイス

お車によって取り付け位置が異なります。  
詳しくは販売店にお確かめください。

## 4 聞きたいファイルを選ぶには

USBメモリーの中から聞きたいファイルを選ぶことができます。

### ●TUNE・TRACKボタンで選ぶには



(1) **◀◀** **▶▶** の左または右を押します。

- 右側を1回押すと、次のファイルを再生します。
- 左側を1回押すと、ファイルの先頭に戻ります。
- 左側を続けて2回押すと、前のファイルを再生します。

### ●フォルダリスト画面で選ぶには



(1) ③の「●フォルダリスト画面で選ぶには」の(2)の画面で **▶▶** にタッチします。

- 走行中は操作できません。



(2) ファイル（リスト）にタッチします。

- 選択したファイルの再生を開始します。
- **トップ画面へ** にタッチすると、USBメモリー操作画面を表示します。

### ●ファイルリスト画面で選ぶには



(1) USBメモリー操作画面（P.12-8参照）で **FILE LIST** にタッチします。

- 走行中はリストのスクロール操作はできません。
- ファイル（リスト）にタッチします。
- 選択したファイルの再生を開始します。

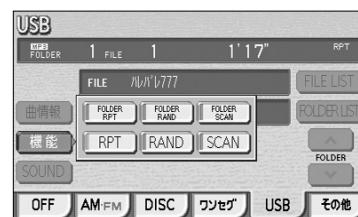
## 5 早送り・早戻しをするには



(1) **◀◀** **▶▶** の左または右をピッと鳴るまで押し続けます。

- 右側を押し続けると早送りできます。
- 左側を押し続けると早戻しできます。
- 手をはなすと、はなした位置から再生が開始されます。

## 6 同じファイルをリピート再生するには



(1) USBメモリー操作画面（P.12-8参照）で **機能** にタッチします。

(2) **RPT** にタッチします。

- **RPT** の作動表示灯が点灯し、画面右上部に "RPT" の文字が表示されます。
- 再生中のファイルを繰り返し再生します。
- 解除するにはもう一度 **RPT** にタッチします。

## 7 同じフォルダをリピート再生するには

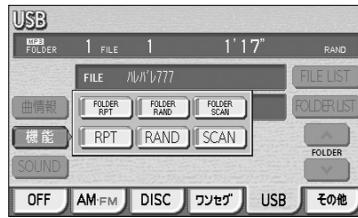


(1) USBメモリー操作画面（P.12-8参照）で **機能** にタッチします。

(2) **FOLDER RPT** にタッチします（フォルダリピート）。

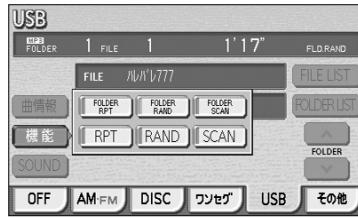
- **FOLDER RPT** の作動表示灯が点灯し、画面右上部に "FLD.RPT" の文字が表示されます。
- 現在再生中のファイルと同じフォルダにあるファイルを繰り返し再生します。
- 解除するにはもう一度 **FOLDER RPT** にタッチします。

## 8 再生中のフォルダの中からランダムに再生するには



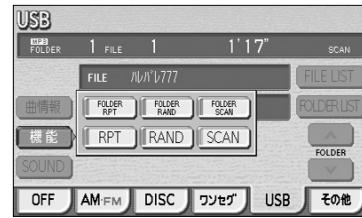
- (1) USBメモリー操作画面 (P.12-8参照) で **機能** にタッチします。
- (2) **RAND** にタッチします。
  - **RAND** の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“RAND”の文字が表示されます。
  - 再生中のフォルダの中からランダム（無作為）にファイルが選択され再生します。
  - 解除するにはもう一度 **RAND** にタッチします。

## 9 全フォルダの中からランダムに再生するには



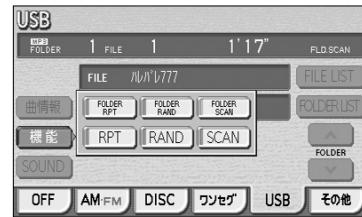
- (1) USBメモリー操作画面 (P.12-8参照) で **機能** にタッチします。
- (2) **FOLDER RAND** にタッチします（フォルダランダム）。
  - **FOLDER RAND** の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“FLD. RAND”の文字が表示されます。
  - USBメモリー内の全フォルダの中からランダム（無作為）にファイルが選択され再生します。
  - 解除するにはもう一度 **FOLDER RAND** にタッチします。

## 10 再生中のフォルダの中からファイルを探すには



- (1) USBメモリー操作画面 (P.12-8参照) で **機能** にタッチします。
- (2) **SCAN** にタッチします。
  - **SCAN** の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“SCAN”の文字が表示されます。
  - 再生中のファイルの次のファイルから、フォルダ内の全ファイルの始めの部分を、10秒間ずつ再生します。
  - 解除するにはもう一度 **SCAN** にタッチします。解除されたところから再生を続けます。
  - 全ファイルの再生が終わると自動的に解除されます。

## 11 全フォルダの中からフォルダを探すには



- (1) USBメモリー操作画面 (P.12-8参照) で **機能** にタッチします。
- (2) **FOLDER SCAN** にタッチします（フォルダスキャン）。
  - **FOLDER SCAN** の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“FLD.SCAN”的文字が表示されます。
  - 再生中のフォルダの次のフォルダから、各フォルダ内の先頭にあるファイルの始めの部分を、10秒間ずつ再生します。
  - 解除するにはもう一度 **FOLDER SCAN** にタッチします。解除されたところから再生を続けます。
  - 全フォルダの先頭にあるファイルの再生が終わると自動的に解除されます。

## ●MP3/WMAについて

MP3 (MPEG Audio Layer3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media™Audio)はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できるMP3/WMAファイルの規格や記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

### 再生可能なMP3ファイルの規格について

#### ●対応規格

MP3(MPEG-1 Audio Layer3、MPEG-2 Audio Layer3 LSF)

#### ●対応サンプリング周波数

|                         |                     |
|-------------------------|---------------------|
| MPEG-1 Audio Layer3     | : 32、44.1、48 (kHz)  |
| MPEG-2 Audio Layer3 LSF | : 16、22.05、24 (kHz) |

#### ●対応ビットレート

|                         |                                                      |
|-------------------------|------------------------------------------------------|
| MPEG-1 Audio Layer3     | : 32、64、80、96、112、128、160、192、224、<br>256、320 (kbps) |
| MPEG-2 Audio Layer3 LSF | : 8、16、32、64、80、96、112、128、<br>144、160 (kbps)        |
| ※VBRに対応しています。           |                                                      |
| ●対応チャンネルモード             | : ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノ<br>ラル                  |

### 再生可能なWMAファイルの規格について

#### ●対応規格

WMA Ver. 7、8、9

#### ●対応サンプリング周波数

32、44.1、48(kHz)

#### ●対応ビットレート

Ver.7、8、9 : CBR 48、64、80、96、128、160、192、256、320 (kbps)  
※VBRに対応しています。(Ver. 9の44.1、48(kHz)のみ)  
※2ch再生のみ対応しています。

## ID3タグ／WMAタグについて

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

本機では、ID3 Ver. 1.0、1.1、2.2、2.3のID3タグに対応しています。(ジャンルについてはID3タグVer. 2.2、2.3は対応しておりません。)

※Riff SIFには対応しておりません。

WMAファイルには、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3タグと同様に曲のタイトル、オーナー名(アーティスト名)を保存することができます。

## ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子“.mp3” / “.wma”がついたものだけです。

MP3/WMAファイルには、“.mp3” / “.wma”的拡張子をつけて保存してください。

## MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが格納されているUSBメモリーを接続し、オーディオモードをUSBに切り替えると最初のフォルダ内の全てのファイルをチェックします。

最初のフォルダ内のファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMAファイルを再生します。

残りのフォルダ内のファイルは再生中にファイルのチェックをします。

ファイルのチェック中は一部のボタンが反転して操作が行えません。

USBメモリー内に大量のファイルがある場合や、MP3/WMAファイル以外のファイルや必要なないフォルダなどがある場合は、ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。

## MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※VBRで作成したファイルの早送り・早戻し動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。

## MP3/WMAファイル、フォルダリストの表示順番について

MP3/WMAファイルおよびフォルダのリストは次のような順番で表示します。

- 1.MP3/WMAファイルを格納しているフォルダにフォルダナンバーが順番に付与されます。  
この順番は同一階層にあるフォルダよりも下位階層にあるフォルダが優先となります。
- 2.次にフォルダ内のファイルに対して、USBメモリーに書き込まれた順番でファイルナンバーが付与されます。
- 3.同一階層内に、同じファイル名でMP3/WMAファイルが存在する場合はUSBメモリーに書き込まれた順番で表示します。

## ポータブルオーディオ機器を接続して使う (AUX)

### アドバイス

MP3/WMA以外のファイルに“.mp3” / “.wma”的拡張子をつけると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに“.mp3” / “.wma”的拡張子をつけないでください。

### ●MP3/WMAファイルの作り方、楽しみ方について

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したもののは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

### 使用できるUSBメモリーのフォーマットについて

使用できるUSBメモリーのフォーマットは下記のとおりです。

#### ●USBコミュニケーションフォーマット

USB2.0 (12Mbps)

#### ●ファイルシステム

FAT 16、32

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

●最大ディレクトリ階層 : 8階層

●最大フォルダ名／ファイル名文字数 : 全角16文字。半角のみのときは32文字。

●最大フォルダ数 : 192 (ルート含む)

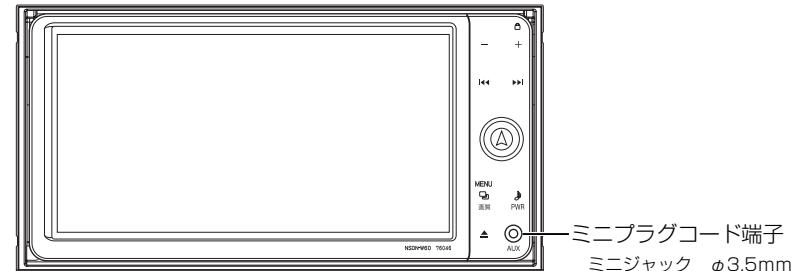
●最大ファイル数 : 255

### アドバイス

- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- MP3/WMAは市場にフリーウェアなど、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- USBメモリーにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、USBメモリーの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- USBメモリの特性により読み取れない場合があります。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

市販のポータブルオーディオを接続すると、本機でポータブルオーディオに収録された音楽を聞くことができます。

ポータブルオーディオを接続する場合は、市販の「ミニプラグコード」をご使用ください。  
※本機でポータブルオーディオ機器をご使用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱説明書をよくお読みになり、本機での使用に問題がないことをご確認のうえご使用ください。



### ●ポータブルオーディオをお使いになる前に

#### 警告



SRSエアバッグ展開部



ミニプラグコード

●接続したポータブルオーディオやミニプラグコードを、SRSエアバッグの展開を妨げるような場所に設置しないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグが展開したときにポータブルオーディオが飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。

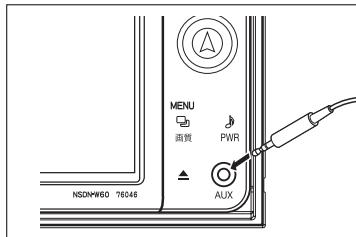
※ SRSエアバッグ展開場所については、お車の取扱書をご覧ください。

●ポータブルオーディオやミニプラグコードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、または邪魔にならない場所で仮固定するなどしてください。

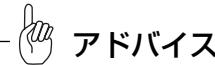
運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。

## 1 ポータブルオーディオを接続する（取りはずす）

- ポータブルオーディオの電源が切れていることを確認してください。
- オーディオのモードがAUX以外になっている、または本機の電源がOFFになっていることを確認してください。



(1) ミニプラグコードを接続します（取りはずします）。



### アドバイス

- 抵抗付きコードは使用できません。
- モニター開閉時、コードを挟み込まないように注意してください。
- 今後発売される機器に関しては、動作の保証はいたしません。
- ステレオミニプラグコードを使用してください。ステレオミニプラグコード以外を使用すると、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。



### 注意

- ディスプレイが開いている、または傾いた状態（P.1-25参照）では、ミニプラグコードの抜き挿しはしないでください。
- ミニプラグコードに手を引っ掛けたりしないよう注意してください。
- 運転中はポータブルオーディオの接続・操作・取りはずしをしないでください。

## 2 ポータブルオーディオを聞く

ポータブルオーディオ側の操作は、ポータブルオーディオに添付されている取扱説明書をご覧ください。

(1) 接続したポータブルオーディオの電源を入れ、再生します。

(2) PWR を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。

(3) AUX にタッチします。

- AUX操作画面が表示されます。
- オーディオシンプルメニューに AUX を設定していない場合は、その他にタッチしてから AUX にタッチします（P.7-3の1参照）。
- ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されます。



## 3 ポータブルオーディオを終わる

(1) オーディオ操作画面（P.7-1参照）の OFF にタッチするか、 PWR を押し続けるか、または他のオーディオモードに切り替えます。



● ON にタッチするか、 PWR を押し続けるか、または AUX にタッチすると再生が再開されます。



### アドバイス

- AUXモード中にミニプラグコードを抜き差しすると、雑音が発生しスピーカー破損の原因になる場合があります。必ず本機の電源をOFFにするか、他のモードに切り替えてから行ってください。
- AUXモード中にポータブルオーディオの電源を切り替えると、雑音が発生しスピーカー破損の原因になる場合があります。必ず本機の電源をOFFにするか、他のモードに切り替えてから行ってください。
- 接続された機器によって出力レベルが異なりますので、音量にご注意ください。
- 接続した機器の入力音量が大きい場合は、音が歪む場合があります。この場合は、接続した機器側で音量を調整してください。
- AUXモード中に音量を調整すると、AUXモード用の音量レベルとして記憶させることができます。
- 本機の電源がONの状態の時にミニプラグコード端子からコードを抜く、または本機の電源がOFFの状態の時にミニプラグコード端子からコードを抜いてそのまま本機の電源をONした場合も記憶した音量レベルは保持されます。
- 本機に接続したポータブルオーディオの音量を変更したときは、本機との接続を解除したあと、音量をもとに戻してください。
- ポータブルオーディオの電源は、ポータブルオーディオに付属されているバッテリーなどを使用してください。お車に装着されているシガライタソケットやアクセサリーソケットなどで充電しながら再生すると、雑音が出ることがあります。

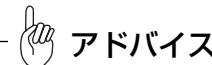
## 後席ディスプレイを使うには

本機の後席ディスプレイ出力端子に別売の後席ディスプレイを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。また、後席ディスプレイに付属のリモコン操作により映像の切り替えやオーディオの操作が行えます。

詳しくは、後席ディスプレイの取扱書をご覧ください。

### 1 後席ディスプレイに表示される画面について

- 後席ディスプレイには、テレビ・DVD・ビデオ（映像機器）の映像のみ表示します。
- テレビ・DVD・ビデオ以外のオーディオモードをご使用になっている場合は、本機の映像は表示されません。
- オーディオOFFの場合は、本機の映像は表示されません。
- ナビゲーション画面、カメラ映像は表示されません。



#### アドバイス

後席ディスプレイでは、走行中／停車中に関わりなく映像が表示されるため、走行中でもテレビ・DVD・ビデオ（映像機器）の映像をご覧になることができます。



#### 注意

この製品をトヨタ純正品以外のディスプレイに接続されると、オリジナル映像とは異なった見え方で映像が表示されますので、このような接続はお控えください。

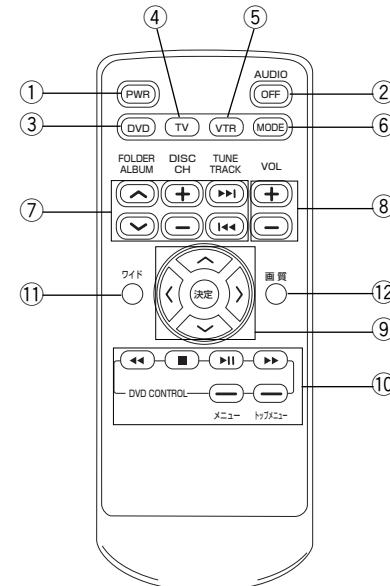
この製品と画面切り替え機能のないディスプレイと接続した場合の画面表示につきましては、一切の責任を負わないものとします。

### 2 後席ディスプレイの操作

#### ●リモコン操作のしかた

後席ディスプレイ本体の受光部に向けて操作してください。

#### ●リモコンのおもな働き



|                                              |                                        |
|----------------------------------------------|----------------------------------------|
| ①後席PWRスイッチ                                   | 後席ディスプレイの電源をOFF/ONするときに押します。           |
| ②AUDIO OFFスイッチ                               | オーディオをOFFするときに押します。                    |
| ③DVDスイッチ                                     | CD、MP3/WMAディスク、DVDを再生するときに押します。        |
| ④TVスイッチ                                      | テレビを受信するときに押します。                       |
| ⑤VTRスイッチ                                     | ビデオなどの映像機器を接続している状態で、その映像を表示するときに押します。 |
| ⑥MODEスイッチ                                    | オーディオモードを切り替えるときに押します。                 |
| ⑦DISC/CHスイッチ、TUNE/TRACKスイッチ、FOLDER/ALBUMスイッチ | 曲の選曲やラジオの放送局、テレビのチャンネルを変えるときに押します。     |
| ⑧VOLUMEスイッチ                                  | スピーカーから出力される音量を調整するときに押します。            |
| ⑨カーソル操作スイッチ                                  | 画質調整画面やDVDメニューのカーソル操作をするときに押します。       |
| ⑩DVD操作スイッチ                                   | DVDを操作するときに押します。                       |
| ⑪画面モードスイッチ                                   | 画面モードを切り替えるときに押します。                    |
| ⑫画質スイッチ                                      | 後席ディスプレイの画質を調整するときに押します。               |

⑪⑫について、詳しくは後席ディスプレイの取扱書をご覧ください。

### ③ 各オーディオの操作

#### ●共通操作

| スイッチ                | 名称                | 機能                                                                                                                                                                   | 操作説明                     |
|---------------------|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| (DVD)               | DVDスイッチ           | 挿入されているDISCモード (CD、MP3/WMA、DVD) に切り替わります。                                                                                                                            | 「テレビ・オーディオの切り替え方」 …P.7-3 |
| (VTR)               | VTRスイッチ           | 接続されているVTRモード (VTR1、VTR2) に切り替わります。                                                                                                                                  | 「テレビ・オーディオの切り替え方」 …P.7-3 |
| (TV)                | TVスイッチ            | ワンセグまたはデジタルテレビ*に切り替わります。<br>* 地上デジタルTVチューナー接続時のみ切り替え可能                                                                                                               | 「テレビ・オーディオの切り替え方」 …P.7-3 |
| (MODE)              | MODEスイッチ          | ・オーディオモードが切り替わります。<br>FM→DISC(DVD,CD(MP3/WMA))→テレビ(ワンセグ、デジタルテレビ*)→AUX*→SD AUDIO*→USB/iPod*→VTR1*→VTR2*→AM→FMに戻る<br>* 各機器接続時のみ切り替え可能<br>・スイッチを押しつづけると、オーディオがOFFになります。 | 「テレビ・オーディオの切り替え方」 …P.7-3 |
| (AUDIO OFF)         | AUDIO OFF<br>スイッチ | オーディオがONのとき、スイッチを押すとオーディオがOFFになります。オーディオがOFFのとき、スイッチを押してもONにできません。                                                                                                   | 「電源の入れ方」 …P.7-1          |
| VOLUME<br>(+) · (-) | 音量スイッチ            | 押すごとに1ステップずつ音量が変わります。                                                                                                                                                | 「音量調整のしかた」 …P.7-2        |

#### ●ラジオの操作

| スイッチ                         | 名称     | 機能                                                | 操作説明            |
|------------------------------|--------|---------------------------------------------------|-----------------|
| DISC/CH<br>(+) · (-)         | 選局スイッチ | プリセットスイッチに記憶させた放送局を順に呼び出します。                      | 「選局するには」 …P.9-2 |
| TUNE/TRACK<br>( <> ) · (>> ) | 選局スイッチ | ・押すごとに手動で周波数を選局できます。<br>・スイッチを押しつづけると、自動選局を開始します。 | 「選局するには」 …P.9-2 |

12  
外部機器

後席ディスプレイを使うには

#### ●テレビ (ワンセグ・デジタルテレビ) の操作

| スイッチ                         | 名称     | 機能                                                         | 操作説明                                              |
|------------------------------|--------|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| DISC/CH<br>(+) · (-)         | 選局スイッチ | プリセットスイッチに記憶させた放送局を順に呼び出します。                               | 「見たいチャンネルを選ぶには」<br>ワンセグ …P.8-6<br>デジタルテレビ …P.8-16 |
| TUNE/TRACK<br>( <> ) · (>> ) | 選局スイッチ | ・プリセットスイッチに記憶させた放送局を順に呼び出します。<br>・スイッチを押しつづけると、自動選曲を開始します。 |                                                   |

#### ●CD・MP3/WMAの操作

| スイッチ                          | 名称                 | 機能                                             | 操作説明                                        |
|-------------------------------|--------------------|------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| TUNE/TRACK<br>( <> ) · (>> )  | 早送り/早戻し<br>/選曲スイッチ | ・次曲・前曲に切り替えます。<br>・スイッチを押しつづけると、早送り・早戻しを開始します。 | 「曲を選ぶには」<br>CD …P.10-39<br>MP3/WMA …P.10-44 |
| FOLDER/<br>ALBUM<br>(^) · (^) | FOLDER切り<br>替えスイッチ | 次または前のフォルダに切り替えて再生します。<br>※MP3/WMAのみ有効         | 「聞きたいフォルダを選ぶには」<br>MP3/WMA …P.10-43         |

#### ●iPodの操作

| スイッチ                         | 名称                 | 機能                                             | 操作説明                        |
|------------------------------|--------------------|------------------------------------------------|-----------------------------|
| TUNE/TRACK<br>( <> ) · (>> ) | 早送り/早戻し<br>/選曲スイッチ | ・次曲・前曲に切り替えます。<br>・スイッチを押しつづけると、早送り・早戻しを開始します。 | 「曲の頭出しをするには」<br>iPod…P.12-3 |

#### ●USBメモリーの操作

| スイッチ                          | 名称                 | 機能                                             | 操作説明                                |
|-------------------------------|--------------------|------------------------------------------------|-------------------------------------|
| TUNE/TRACK<br>( <> ) · (>> )  | 早送り/早戻し<br>/選曲スイッチ | ・次曲・前曲に切り替えます。<br>・スイッチを押しつづけると、早送り・早戻しを開始します。 | 「聞きたいファイルを選ぶには」<br>USBメモリー …P.12-11 |
| FOLDER/<br>ALBUM<br>(^) · (^) | FOLDER切り<br>替えスイッチ | 次または前のフォルダに切り替えて再生します。                         | 「聞きたいフォルダを選ぶには」<br>USBメモリー …P.12-10 |

後席ディスプレイを使うには

12  
外部機器

### ●SD AUDIOの操作

| スイッチ                          | 名称                          | 機能                                                 | 操作説明                                                |
|-------------------------------|-----------------------------|----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| TUNE/TRACK<br>(I<<) · (I>>)   | 早送り/早戻し/<br>選曲スイッチ          | ・次曲・前曲に切り替えます。<br>・スイッチを押しつづけると、早送<br>り・早戻しを開始します。 | 「聞きたい曲（トラック）<br>を選ぶには」<br>SD AUDIO …P.11-24         |
| FOLDER/<br>ALBUM<br>(A) · (V) | アルバム/<br>プレイリスト切り<br>替えスイッチ | 次または前のアルバム/プレイリストに<br>切り替えて再生します。                  | 「再生しているアルバム/プレ<br>イリストを変更するには」<br>SD AUDIO …P.11-25 |

### ●DVDの操作

| スイッチ                                        | 名称                            | 機能                                                                | 操作説明                                 |
|---------------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| (UP)<br>(DOWN)<br>(LEFT)<br>(RIGHT)<br>(決定) | カーソル操作<br>スイッチ                | 十字キーと決定ボタンでメニューを選<br>択します。<br>※DVDビデオ再生時のみ有効                      | 「十字キーを操作してメ<br>ニューを選択する」<br>…P.10-18 |
| TUNE/TRACK<br>(I<<) · (I>>)                 | 早送り/早戻し/<br>チャプター切り<br>替えスイッチ | ・次のチャプター・前のチャプターに<br>切り替えます。<br>・スイッチを押しつづけると、早送<br>り・早戻しを開始します。  | 「見たい映像を探すには」<br>…P.10-19             |
| FOLDER/<br>ALBUM<br>(A) · (V)               | プログラム（ブ<br>レイリスト）切<br>り替えスイッチ | 次のプログラム（プレイリスト）・前<br>のプログラム（プレイリスト）に切り<br>替えます。<br>※DVD-VR再生時のみ有効 | 「プログラム（プレ<br>イリスト）で探すには」<br>…P.10-20 |
| DVD<br>CONTROL<br>(<<) · (>>)               | 早送り/早戻し<br>スイッチ               | 早送り・早戻しを開始します。                                                    | 「早送り・早戻しをする<br>には」<br>…P.10-15       |
| (■)                                         | 停止スイッチ                        | 映像を停止します。                                                         | 「停止するには」<br>…P.10-15                 |
| (>  )                                       | ポーズ/再生<br>スイッチ                | 映像を一時停止・再生します。                                                    | 「一時停止するには」<br>…P.10-16               |
| (メニュー) ·<br>(トップメニュー)                       | DVDメニュー<br>スイッチ               | ディスクメニューを表示します。<br>※DVDビデオ再生時のみ有効                                 | 「DVD操作スイッチにつ<br>いて」<br>…P.10-9       |

## ステアリングスイッチ

ステアリングスイッチ装着車は、手元にあるステアリング部スイッチでテレビ・オーディオなどの主要操作をすることができます。

※車両によりスイッチの仕様が違います。詳しくは販売店にご相談ください。

### ●各部の機能名称と概要

#### 1 共通操作

| スイッチ            | 名称              | 機能                                                                                                                                                                                                                                    | 操作説明                                                                                                |
|-----------------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (+)<br>·<br>(-) | 音量スイッチ          | 押すごとに1ステップずつ音量が<br>変わります。<br>押し続けると音量が連続して変<br>わります。*                                                                                                                                                                                 | 「音量調整のしかた」<br>…P.7-2<br>「着信音量を調整するには」<br>…P.13-22<br>「受話音量を調整するには」<br>…P.13-23<br>※ハンズフリー中は操作できません。 |
| (MODE)          | モード切り替え<br>スイッチ | ・電源がオフのとき、スイッチを<br>押すと電源がオンになります。<br>・オーディオモードが切り替わ<br>ります。<br>FM→DISC(DVD,CD(MP3/WMA))→<br>テレビ（ワンセグ、デジタルテレビ*）→<br>AUX*→SD AUDIO*→USB*/iPod*<br>→VTR1*→VTR2*→AM→FMに戻<br>る<br>* 各機器接続時のみ切り替え可能<br>・スイッチを“ピッ”と音がするま<br>で押すと、電源がオフになります。 | 「テレビ・オーディオ<br>の切り替え方」<br>…P.7-3                                                                     |

#### 2 ラジオ・テレビ（ワンセグ・地上デジタルテレビ）の操作

| スイッチ            | 名称     | 機能                                                                            | 操作説明                                                  |
|-----------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| (A)<br>·<br>(V) | 選局スイッチ | ・プリセットスイッチに記憶させ<br>た放送局を順に呼び出します。<br>・スイッチを“ピッ”と音がするま<br>で押すと、自動選局を開<br>始します。 | 「選局するには」<br>ラジオ…P.9-2<br>ワンセグ…P.8-6<br>デジタルテレビ…P.8-16 |

**3 CDの操作**

| スイッチ            | 名称     | 機能            | 操作説明                   |
|-----------------|--------|---------------|------------------------|
| (^)<br>·<br>(V) | 選曲スイッチ | 次曲・前曲に切り替えます。 | 「曲を選ぶには」<br>CD…P.10-39 |

**4 MP3/WMA/USBメモリーの操作**

| スイッチ            | 名称                  | 機能                                                           | 操作説明                                                                                                                   |
|-----------------|---------------------|--------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (^)<br>·<br>(V) | 選曲/フォルダ<br>切り替えスイッチ | ・次曲・前曲に切り替えます。<br>・スイッチを“ピッ”と音がするまで押すと、次のフォルダ、前のフォルダに切り替えます。 | 「聞きたいファイルを<br>選ぶには」<br>MP3/WMA…P.10-44<br>USBメモリー…P.12-11<br>「聞きたいフォルダを<br>選ぶには」<br>MP3/WMA…P.10-43<br>USBメモリー…P.12-10 |

**5 iPodの操作**

| スイッチ            | 名称     | 機能            | 操作説明                        |
|-----------------|--------|---------------|-----------------------------|
| (^)<br>·<br>(V) | 選曲スイッチ | 次曲・前曲に切り替えます。 | 「曲の頭出しをするには」<br>iPod…P.12-3 |

**6 SD AUDIOの操作**

| スイッチ            | 名称                             | 機能                                                               | 操作説明                                                                                         |
|-----------------|--------------------------------|------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| (^)<br>·<br>(V) | 選曲/アルバム<br>/プレイリスト<br>切り替えスイッチ | ・次曲・前曲に切り替えます。<br>・スイッチを“ピッ”と音がするまで押すと、次または前のアルバム、プレイリストに切り替えます。 | 「聞きたい曲（トラック）を選ぶには」<br>SD AUDIO…P.11-24<br>「再生しているアルバム<br>/プレイリストを変更するには」<br>SD AUDIO…P.11-25 |

**7 DVDの操作**

| スイッチ            | 名称                | 機能                                                                                                         | 操作説明                     |
|-----------------|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| (^)<br>·<br>(V) | チャプター<br>切り替えスイッチ | ・次のチャプター・前のチャプターに切り替えます。<br>・スイッチを“ピッ”と音がするまで押すと、次のプログラム（プレイリスト）・前のプログラム（プレイリスト）に切り替えます。<br>※DVD-VR再生時のみ有効 | 「見たい映像を探すには」<br>…P.10-19 |

**8 ハンズフリーの操作**

| スイッチ          | 名称            | 機能                                                                       | 操作説明                                                         |
|---------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| (OFF<br>HOOK) | オフフック<br>スイッチ | 着信中や応答保留中に押すと、通話を開始することができます。また電話の待ち受け時にスイッチを押すと、ハンズフリーの電話番号入力画面が表示されます。 | 「ダイヤル発信するには」<br>…P.13-13<br>「電話をうけるには」<br>…P.13-20           |
| (ON<br>HOOK)  | オンフック<br>スイッチ | 通話中や応答保留中に押すと、通話を終了することができます。                                            | 「通話を終了するには」<br>…P.13-23<br>「電話を保留するには<br>(応答保留)」<br>…P.13-21 |

# ハンズフリーをお使いになる前に

## 1 ハンズフリーについて

動作確認済みのBluetooth携帯電話（以下「携帯電話」）を本機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。

本機に接続する携帯電話は、次の仕様に対応した携帯電話である必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店または  
<http://toyota.jp> でご確認ください。

### ■対応Bluetooth仕様

Bluetooth Specification Ver.2.1 + EDR (Enhanced Data Rate) 準拠

### ■対応Profile

- OPP (Object Push Profile)
- HFP (Hands Free Profile)

### ■サポート機能

セキュア・シンプル・ペアリング (SSP)



BluetoothはBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

BluetoothワードとロゴはBluetooth SIG所有であり、ライセンス取得者「パナソニック株式会社」のマーク使用は、許可を得ています。その他のトレードマーク及びトレーディネームは各所有者のものです。

本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。



### 警告

- 安全のため、運転者は走行中に電話機の接続や、携帯電話本体のご使用はさけてください。
- 運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときには、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。どうしても受けなければいけないときは、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してからかけ直してください。



### 注意

携帯電話は車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となる場合があります。

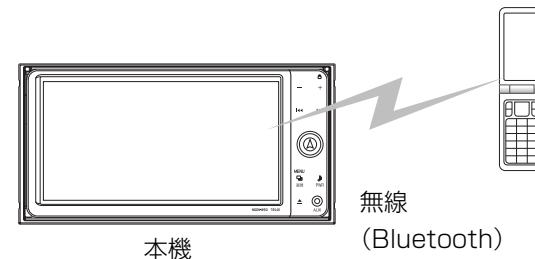
### ■Bluetooth携帯電話について

Bluetooth携帯電話は、他の機器との間の通信を無線（Bluetooth）を使用して行う携帯電話です。

従来の携帯電話では、ハンズフリーを利用するため、別途ハンズフリーキットなどのケーブルを用意して、接続する必要がありました。これに対し、Bluetooth携帯電話では、どこにも接続することなく、ハンズフリーを利用することができます。

例えば、胸ポケットに携帯電話を入れたままでも、そのままの状態でハンズフリーがご利用いただけます。

Bluetooth携帯電話



※本機では、有線（ケーブル）接続の携帯電話はご利用になれません。



### アドバイス

- Bluetooth携帯電話を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。
- Bluetooth携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth携帯電話は、Bluetooth接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。

### ■ハンズフリーが使用できないとき

次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。

- ・通話エリア外のとき
- ・回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
- ・携帯電話から電話帳データを転送中のとき
- ・携帯電話がダイヤルロックされているとき
- ・データ通信中など、携帯電話が使用中のとき
- ・携帯電話が故障しているとき
- ・携帯電話が本機にBluetooth接続されていないとき
- ・携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
- ・携帯電話の電源がOFFのとき
- ・携帯電話の設定がハンズフリーモードでないとき
- ・本機側で電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき  
(切り替え中は本機のBluetooth接続状態が表示されません)
- ・その他、携帯電話自体が使えないとき



### アドバイス

- 携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチがONのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFFにしてください。(設定については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。)
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- 接続する携帯電話によっては、動作や音量が異なることがあります。
- 通話中にエンジンスイッチをOFF(LOCK)にすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になります。
- 割込通話(キャッチホン)や三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で割込通話(キャッチホン)や三者通話を解除してからお使いください。

### ■マイクについて

通話時に、お車に本機とともに装着されたハンズフリー用マイクを使用します。

### ■ハンズフリー操作について

本機の画面に表示されるタッチスイッチを操作することにより、ハンズフリーのさまざまな機能が利用できます。また、ステアリングスイッチ装着車ではステアリング部のスイッチを操作して、電話を受ける、切る、音量を調整するなどハンズフリーの基本的な機能が使用できます。

### ■音声について

- ・発信後および着信後は、マイクおよびスピーカーを通して通話できます。
- ・着信通知や通話時などの音声出力は、前席両側のスピーカーから出力されます。
- ・ハンズフリーで音声や呼出音などが出力されると、オーディオ音声やナビゲーション案内音声などはミュート(消音)されます。



### アドバイス

- 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。(故障ではありません。)
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。通話相手側にエコーが聞こえることがあります。また、音声は大きくはっきりとお話し下さい。
- 次のような場合は、通話相手にこちらの音声が聞こえにくなることがあります。
  - ・悪路走行時
  - ・高速走行時
  - ・窓を開けているとき
  - ・エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
  - ・エアコンのファンの音が大きいとき
  - ・携帯電話をマイクに近づけたとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化(ノイズ、エコーなど)することがあります。

## 2 本機を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。

本機を手放すときには、Bluetooth設定の初期化を行ってください。（P.13-48参照）

なお、Bluetooth設定の初期化を行うと、二度ともとの状態に戻すことはできません。

間違えて消去してしまわないよう、ご注意ください。

次の情報が初期化されます。

- 電話帳データ
- 発信履歴および着信履歴
- ワンタッチダイヤル
- Bluetooth電話機の登録情報
- PASS-KEY
- ロックNo.

## 3 Bluetooth機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します。）

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。

変調方式としてスペクトラム拡散方式（周波数ホッピング方式）を採用しています。

電波与干渉距離は10m以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。



### アドバイス

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

## 4 各種表示について



### ■受信レベル表示

電波の受信レベルの目安を表示します。

- 「圏外」の表示が出ているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。
- 「圏外」の表示が消えるところまで移動してください。
- 受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。

|     |    |   |   |
|-----|----|---|---|
| 表示  | 圏外 | 弱 | 強 |
| レベル | 圏外 | 弱 | 強 |

### ■電池残量表示

携帯電話の電池残量の目安を表示します。

- 電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- 本機には携帯電話の充電機能はありません。

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 表示 | 無 | 少 | 多 |
| 残量 | 無 | 少 | 多 |

## ハンズフリーの準備をするには

### ■Bluetooth接続状態表示

本機と携帯電話とのBluetooth接続状態を表示します。



Bluetooth接続されていることを示しています。この状態で携帯電話をご使用ください。

### ■未接続表示

本機と携帯電話が接続されていないか、接続範囲外に離れていると「未接続」を表示します。本機と携帯電話を接続するか、表示が消える距離まで本機と携帯電話を近づけてください。



### アドバイス

- 本機側のBluetooth通信用アンテナはディスプレイ内に内蔵されています。

次のような場所や状態でBluetooth携帯電話を使用すると、Bluetooth接続状態が良好にならないことや、Bluetooth接続ができないことがあります。

- ・ 携帯電話がディスプレイから隠れる場所にあるとき  
(携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど)
- ・ 携帯電話が金属製のものに接したり、覆われているとき  
Bluetooth携帯電話を使用するときは、Bluetooth接続状態表示が出るよう、携帯電話の場所を移動させてください。
- 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的にBluetooth接続が切断されてしまうことがあります。  
この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

ハンズフリーを使用する前に、まず使用する携帯電話の登録・設定を行います。

### 1 本機に携帯電話を登録するには

携帯電話は、本機に2台まで登録することができます。

携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。

- (1) 情報画面 (P.5-1参照) で、**TEL** にタッチします。

- 電話画面が表示されます。



- (2) **設定** にタッチします。

- 電話設定画面が表示されます。



- (3) **Bluetooth** にタッチします。

- Bluetooth設定画面が表示されます。



- (4) **登録** にタッチします。

- Bluetooth接続中画面が表示されます。



- (5) 携帯電話からBluetooth登録します。携帯電話本体で、本機に表示されているDevice Nameを選択し、PASS-KEYを入力します。

- 携帯電話側の登録操作は、必ずこのBluetooth接続中画面を表示させて行ってください。
- 中止したいときは、**[中止]**にタッチします。



- (6) 接続完了のメッセージが表示されます。
- 2台の携帯電話を使用する場合は、登録を繰り返します。

#### ■接続失敗画面が表示されたとき



「接続できませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。



#### アドバイス

- PASS-KEYとは、Bluetooth携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することができます。(P.13-48参照)
- 登録する携帯電話によっては、PASS-KEYの入力をする必要がない場合があります。(セキュア・シンプル・ペアリング機能)
- 携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が本機で使用する携帯電話として選択されます。
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- HFPに対応していない携帯電話は、本機に登録ができません。また、そのような携帯電話では、OPPのみのサービスは利用できません。
- 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。

## 2 携帯電話を接続するには

Bluetooth携帯電話の本機への接続は、自動と手動の2通りの方法があります。なお、携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。

### 携帯電話を自動で接続するには



- (1) 携帯電話を登録すると、自動接続ON状態になります。(電話設定画面の**自動接続**の作動表示灯が点灯します。)

これにより、エンジンスイッチをOFFからACCまたはONにするたびに本機は選択されている携帯電話と自動的にBluetooth接続します。

- 通常はこの状態で使用してください。
- 携帯電話はBluetooth接続可能な状態にしておいてください。
- **自動接続**にタッチするたびに、自動接続ON状態とOFF状態が切り替わります。

#### ■Bluetooth接続確認表示



#### ■Bluetooth接続確認表示

電話画面設定ACC-ON時のBluetooth接続確認表示(P.13-33参照)で「する」を選択しているときは、Bluetooth接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示されます。

- Bluetooth接続されたかどうかは、Bluetooth接続状態でも確認できます(P.13-7参照)。



#### アドバイス

- 接続完了の表示は、エンジンスイッチをOFFからACCまたはONにしたあと、初めて携帯電話とBluetooth接続完了したときに1回のみ表示されます。接続失敗の表示がそれでもその後接続できれば、接続完了の表示が1回のみ表示されます。
- 携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチがACCまたはONのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFFに設定してください。(設定については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。)

# 電話をかけるには

## 携帯電話を手動で接続するには

携帯電話の自動接続が失敗したときや自動接続OFF状態にしているときにBluetooth接続するときは、手動でBluetooth接続操作をします。



- (1) 携帯電話をBluetooth接続可能な状態にします。
- (2) 電話設定画面で [接続] にタッチします。



- (3) 接続完了のメッセージが表示されます。  
これで携帯電話が使用できます。

## 2 Bluetooth接続の再接続について

エンジンスイッチがACCまたはONのときに、一度接続が成立したBluetooth接続がBluetoothネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、自動的に再接続処理を行います。この場合、接続完了しても表示はありません。

### ■Bluetooth接続が意図的に切断された場合

携帯電話側からBluetooth接続をOFFにするなど、一度接続が成立したBluetooth接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

この場合は、次のいずれかの方法で再接続してください。

- ・手動で接続する（上記の「携帯電話を手動で接続するには」参照）
- ・改めて携帯電話を選択する（P.13-45参照）

本機では様々な方法で電話番号を呼び出し、電話をかけることができます。

## 1 電話画面を表示するには



電話画面

- (1) 情報画面（P.5-1参照）で、[TEL] にタッチします。

- 電話画面が表示されます。  
走行中に操作した場合は、ワンタッチダイヤル画面が表示されます。

この画面から、次のいずれかの方法で電話をかけることができます。

- **ダイヤル発信** : 電話番号を入力して電話をかけます。（P.13-13参照）
- **電話帳発信** : 本機の電話帳から電話をかけます。（P.13-14参照）
- **履歴発信** : 発信履歴または着信履歴から電話をかけます。（P.13-16参照）
- **ワンタッチ発信** : ワンタッチダイヤルから電話をかけます。（P.13-17参照）

その他、次の方法で電話をかけることもできます。

- **ナビからの発信** : ナビゲーションに収録（または登録）されているデータから電話をかけます。（P.13-18参照）
- **携帯電話本体からの発信** : 携帯電話本体から電話をかけます。（P.13-19参照）

### アドバイス

- ハンズフリーを使用して電話をかけるときの通話料は、お客様のご負担になります。
- ハンズフリーを使用する場合は、次の点に注意してください。
  - ・ Bluetooth携帯電話は、本機に携帯電話を登録してBluetooth接続しないとハンズフリーが使用できません。ハンズフリーを使用するときは、ままで使用になる携帯電話の登録を行ってください。（P.13-8参照）
  - ・ 携帯電話はBluetooth機能を使用できる状態にしてご使用ください。  
携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。
  - ・ 各種表示（P.13-6参照）が「未接続」の場合は、ハンズフリーはご使用になれません。
- 走行中は安全のため画面に電話番号などが表示されず、一部の操作ができなくなります。
- 電話をかけると同時に着信があると、画面表示と携帯電話の動作が異なることがあります。

## 2 ダイヤル発信するには

電話番号を入力して電話をかけることができます。

電話画面を表示しているときに走行を開始すると、10キーが灰色になり、操作できなくなります。この場合は、電話番号入力済みであれば、発信することはできます。



- (1) 電話画面 (P.13-12参照) で、数字を1番号ずつタッチして入力します。

- **修正** にタッチすると、最後の番号が消去できます。  
タッチし続けると、最後から1番号ずつ順に消去できます。
- **□** にタッチすると、最後に発信した電話番号が入力されます。



- (2) **通话** にタッチします。

- (3) 発信できると、発信中画面が表示されます。

- 発信音が鳴った後、呼出音が鳴ります。



- (4) 相手が電話に出ると、通話中画面が表示されます。  
この画面で通話ができます。



### アドバイス

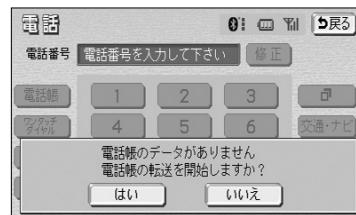
- 携帯電話の機種によっては、発信音、呼出音が鳴らず、無音になることがあります。
- 画面に表示される通話時間は、通話時間の目安を表示します。そのため、携帯電話の表示と一致しないことがあります。

## 3 電話帳発信するには

あらかじめ電話番号を本機の電話帳に登録しておくことにより (P.13-34参照)、登録した電話番号を呼び出して電話をかけることができます。



- (1) 電話画面 (P.13-12参照) で、**電話帳** にタッチします。



- 電話帳データが登録されていないときはメッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、電話帳設定画面 (P.13-34参照) が表示されます。



ショートカットスイッチ

- (2) 必要に応じて、電話帳の表示を切り替えます。

(P.13-15参照)

- ショートカットスイッチは、**その他** にタッチすると英数字ショートカット、**50音** にタッチすると50音ショートカットに切り替わります。

- 英数字ショートカットを表示しているときは、任意のアルファベットが選択できます。

(例) **ABC** に2回タッチすると、Bで始まるデータのリストが先頭に表示されます。



- (3) 希望の通話相手にタッチします。

- (4) 電話番号が2件登録してあるときは、希望の電話番号を選択しタッチします。

- (5) **通话** にタッチすると、発信されます。

### 電話帳の表示を切り替えるには

電話帳は電話帳（50音）画面と電話帳（グループ）画面のどちらかが表示できます。



#### ■電話帳（50音）画面

電話帳に登録されている全てのデータを各データの名称読みにより50音順に並べて表示します。

- (1) 電話帳（グループ）画面で [50音検索] にタッチすると、電話帳（50音）画面に切り替わります。



#### ■電話帳（グループ）画面

選択したグループに登録されているデータを、各データの名称読みにより50音順に並べて表示します。

- (1) 電話帳（50音）画面が表示されているときは [グループ検索]、電話帳（グループ）画面が表示されているときは [グループ選択] にタッチします。
  - グループ選択画面が表示されます。
- (2) 希望のグループを選択しタッチします。
  - 選択したグループの電話帳（グループ）画面が表示されます。



### 4 履歴発信するには

過去に発信または着信した電話番号を、それぞれ最大5件記憶しています。それぞれの履歴は5件以上になると、古い履歴から自動で削除されます。履歴に登録されている電話番号を呼び出して電話をかけることができます。



- (1) 電話画面 (P.13-12参照) で、[履歴] にタッチします。



- (2) 必要に応じて、[発信履歴] または [着信履歴] にタッチして、履歴の表示を切り替えます。



着信拒否アイコン  
不在着信アイコン



- (4) [通話] にタッチすると、発信されます。

## アドバイス

- 着信履歴画面では、不在着信および着信拒否の電話番号の場合、それぞれアイコンが表示されます。
- 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  - ・本機の電話帳またはナビゲーションに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も発信履歴に登録されます。
  - ・同じ電話番号を連続して発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。
- 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  - ・本機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も着信履歴に登録されます。
  - ・不在着信および着信拒否も着信履歴として登録されます。
  - ・相手先電話番号の情報がない場合は、着信履歴に「通知不可」と表示されます。
- 履歴を削除したいときは、P.13-41の「履歴を削除するには」を参照してください。

## 5 ワンタッチ発信するには

電話帳に登録してある任意の電話番号をワンタッチダイヤルとして登録しておくことにより（P.13-28参照）、簡単な操作で電話をかけることができます。  
また、ワンタッチ発信は走行中でも使用することができます。



- (1) 電話画面（P.13-12参照）で、**ワンタッチダイヤル** にタッチします。
- ワンタッチダイヤル画面が表示されます。



- (2) 希望の電話番号にタッチすると、発信されます。
- ページを切り替えるときは、**ワンタッチ1**、**ワンタッチ2**、**ワンタッチ3** のいずれかにタッチします。

## ■走行中に電話をかけるとき

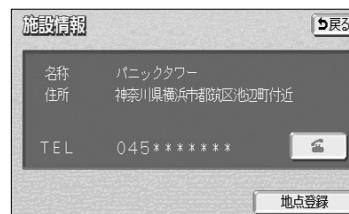
走行中に電話画面を呼び出すと、ワンタッチダイヤル画面になり、ワンタッチで発信することができます。

## アドバイス

- 走行中にワンタッチ発信する場合、タッチスイッチに電話番号は表示されません。
- ワンタッチ1の6件目は発信履歴（リダイヤル）になります。

## 6 ナビから発信するには

ナビゲーション画面で が表示されているときは、ナビゲーションに登録されているデータの電話番号に電話をかけることができます。



- (1) が表示されている画面を表示します。
- (2) にタッチすると、発信されます。

## ■電話画面の **交通・ナビ** から発信するには

- (1) 電話画面（P.13-12参照）で、**交通・ナビ** にタッチすると、ナビゲーションの交通・ナビ関連画面が表示され、電話をかけることができます。  
詳しくは、P.5-17の「電話帳を見るには」を参照してください。



## 電話を受けるには

### 7 携帯電話本体から発信するには

本機にBluetooth接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

#### ■ハンズフリー画面を表示するには

携帯電話本体から発信しても、Bluetooth接続中であれば、次のいずれかの操作をすると、ハンズフリー画面が表示されます。

- ・情報画面（P.5-1参照）で、[TEL] にタッチする。
- ・ステアリングスイッチ（P.12-26参照）装着車の場合は、「オフック」スイッチを押す。

この場合、[通話転送] 以外のタッチスイッチが灰色になり、操作できません。タッチスイッチを使用したいときは、通話転送の操作をしてください。（P.13-25参照）



#### 警告

安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。



#### アドバイス

- 携帯電話本体から発信した場合、次の点がハンズフリーと異なります。
  - ・携帯電話側で直接操作して発信した場合は、発信履歴に登録されません。
  - ・単独で通話中の携帯電話が本機に接続された場合、相手先電話番号は発信履歴または着信履歴に登録されません。
- 携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。

### 8 発信を中断するには

発信中画面で [ ] にタッチすると、発信を中断できます。

- 携帯電話本体で電話を切った場合も、発信を中断します。
- 発信が中断されると、ハンズフリー画面が解除されます。

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、画面にタッチスイッチが表示されないため、タッチスイッチでの操作ができなくなります。（P.13-26参照）

### 1 電話を受けるには



- (1) 表示中の画面に関わらず、電話がかかってくると着信音を鳴らして着信中画面を表示し、着信を通知します。
- (2) [ ] にタッチします。
  - 通話中画面が表示され、通話を開始します。
  - 通話終了後は、ハンズフリー画面が解除されます。



#### アドバイス

- 着信したら、ハンズフリー以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリーより優先される音声の場合は、ミュートされません。
- 電話画面設定画面で自動着信応答を「する」に設定しておくと、自動で電話を受けることができます。（P.13-33参照）
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。
  - 携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。
  - ・ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
  - ・携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定すると、着信音が聞こえない場合があります。
  - ・着信音については、①車両のスピーカーから聞こえる、②携帯電話から聞こえる、③両方から聞こえるなど、機種によって異なります。また、携帯電話の着信音が鳴らないときは、本機に登録されている着信音が鳴ることがあります。
  - ・機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
  - ・携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。

## 2 着信中画面で操作するには

ここでは、電話を受ける以外に着信中画面で操作できることを説明します。

### ■電話を保留するには（応答保留）



- (1) 着信中、**通話**にタッチします。

- 応答が保留されます。



- (2) **通話**にタッチすると、応答保留を解除して通話できるようになります。

- 応答保留中、**小**または**大**にタッチすると音量を調整できます。
- 応答保留中、**通話**にタッチすると、電話を切って、ハンズフリー画面が解除されます。
- 応答保留中、**通話転送**にタッチすると、通話を転送することができます。（P.13-25参照）



### アドバイス

- 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
- 携帯電話の機種によっては、本機の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
- Bluetooth接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または携帯電話本体で応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わります。



### ■着信音量を調整するには

着信中、次のいずれかの方法で調整します。

- 着信中画面で、**小**または**大**にタッチする。
- ステアリングスイッチの音量スイッチで調整する。（ステアリングスイッチ装着車の場合）



### アドバイス

着信音は携帯電話で選択している着信音を鳴らします。ただし、機種によっては、選択している音以外の着信音が鳴ることや着信音が聞こえないことがあります。



### ■着信を拒否するには

- (1) 着信中画面で、**通話**にタッチし続けると、着信を拒否します。

- 携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。
- 着信拒否すると、ハンズフリー画面が解除されます。

# 通話中に操作するには

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、画面にタッチスイッチが表示されないため、タッチスイッチでの操作ができなくなります。(P.13-26参照)

## 1 通話中画面で操作するには



通話中画面

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。

- 受話音量の調整
- 通話の終了
- 10キー入力
- 送話音のミュート
- 通話の転送



### アドバイス

- 単独で通話中の携帯電話が本機に接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのままで通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、機種によって異なります。
- ハンズフリーで通話中にエンジンスイッチをOFF (LOCK) にする、またはエンジンをかけると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、エンジンスイッチがACCまたはONであれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。(P.13-25参照)

### ■受話音量を調整するには

通話中、次のいずれかの方法で調整します。

- 通話中画面で、**小** または **大** にタッチする。
- ステアリングスイッチの音量スイッチで調整する。  
(ステアリングスイッチ装着車の場合)



### ■通話を終了するには

- (1) 通話中画面で、**通話終了ボタン** にタッチすると、通話を終了します。
- 携帯電話本体で電話を切った場合も、通話は終了します。通話が終了すると、ハンズフリー画面が解除されます。



### ■10キー入力するには

通話中に10キー入力が必要な場合は、次の手順で10キーを表示させます。

- (1) 通話中画面で、**トーン** にタッチします。

- トーン (10キー入力) 画面が表示されます。



- (2) 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- **通話終了ボタン** にタッチすると、通話を終了します。



### アドバイス

走行中は10キーが反転し、操作できません。



### ■送話音をミュート（消音）するには

お客様の音声を通話相手に聞こえなくすることができます。(この場合でも、通話相手の声はお客様に聞こえます。)

- (1) 通話中画面で、**ミュート** にタッチします。

- ミュート状態のときは、作動表示灯が点灯します。
- ミュート解除したいときは、再度 **ミュート** にタッチします。

作動表示灯

## 簡易画面で操作するには

### ■通話を転送するには

Bluetooth携帯電話では、本機と携帯電話の間で、通話を転送することができます。  
ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えられます。



#### ● 画面で操作するには

- 通話中画面または応答保留中画面で、  
**通話転送**にタッチします。
- ・走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。

#### ● 携帯電話本体で操作するには

発信中、通話中、着信中、応答保留中に通話を転送することができます。

- ・携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、タッチスイッチおよびステアリングスイッチ※(P.12-26参照)での操作ができます。
- ・携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱書をご覧ください。

※ステアリングスイッチ装着車のみ



### アドバイス

- 応答保留中の携帯電話本体の通話をハンズフリー通話に切り替えると、携帯電話は応答保留中のままで本機には通話中画面が表示されます。ステアリングスイッチ(P.12-26参照)装着車の場合は、「オフフック」スイッチを押すと、ハンズフリー通話を続けることができます。
- 画面で通話転送の操作をした場合、転送に失敗して音声が聞こえなくなることがあります。

電話画面設定の着信割り込み表示(P.13-32参照)で「簡易」を選択している場合のハンズフリー以外の画面では簡易表示画面が、着信中・通話中・応答保留中のオーディオ操作画面(P.7-5参照)ではTEL音声画面が表示され、電話がつながっていることをお知らせします。

### 1 簡易画面で操作するには

※ステアリングスイッチ(P.12-26参照)装着車のみ



簡易表示画面



TEL音声画面



画面にタッチスイッチは表示されませんが、ステアリングスイッチでの操作は通常通りすることができます。

電話が切れる、または電話を切ると、簡易表示やTEL音声画面は解除されます。

- 通話中画面で操作したいときは、ステアリングスイッチの「オフフック」を押すと、通話中画面が表示され、通話中画面での操作ができます。

# ハンズフリーの設定をするには

ここでは、ハンズフリーの各種設定方法について説明しています。  
お客様の使用状況に応じて、ご利用ください。

## 1 電話設定画面を表示するには



- (1) 電話画面 (P.13-12参照) で、[設定] にタッチします。

● 電話設定画面が表示されます。



- (2) 設定したい項目のタッチスイッチにタッチします。

● 電話設定画面から下記の操作を行うことができます。

| 項目(タッチスイッチ) | 機能                            | ページ        |
|-------------|-------------------------------|------------|
| ワンタッチ       | ワンタッチダイヤルの登録・削除               | 13-28      |
| 音量設定        | ハンズフリーの各音量の設定                 | 13-31      |
| 画面設定        | ハンズフリー画面の設定                   | 13-32      |
| 電話帳         | 電話帳の転送・削除                     | 13-34      |
| セキュリティ      | ロックNo.の変更、制限機能の設定             | 13-42      |
| 電話機選択       | 使用する携帯電話の選択                   | 13-45      |
| Bluetooth   | 携帯電話の登録・削除、PASS-KEYの変更、設定の初期化 | 13-8、13-47 |
| 自動接続        | 携帯電話の自動接続の設定                  | 13-10      |
| 接続          | 携帯電話の手動接続                     | 13-11      |

## ワンタッチダイヤルの設定をするには

電話帳に登録してある任意の電話番号を、最大17件までワンタッチダイヤルに登録することができます。1ページ目の6件目には、自動的に最新の発信履歴（リダイヤル）が登録されます。

## 1 ワンタッチダイヤルを登録するには



- (1) 電話設定画面 (P.13-27参照) で、[ワンタッチ] にタッチします。

● ワンタッチ編集画面が表示されます。



- (2) [登録] にタッチします。

● 電話帳画面が表示されます。



- (3) 登録したいデータにタッチします。

● 必要に応じて、電話帳の表示を切り替えてください。(P.13-15参照)



- (4) 登録したい電話番号にタッチします。

● 登録先選択画面が表示されます。

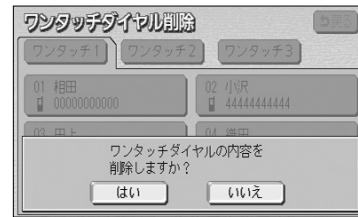


- (5) **01 ~ 17** (WanTack 1の6件目を除く) を選択しタッチします。

● **WanTack 1**、**WanTack 2**、**WanTack 3**にタッチするとページを切り替えることができます。



- (6) 登録済スイッチを選択したときは、置き換え確認のメッセージが表示されます。置き換えしてもよいときは**はい**にタッチします。



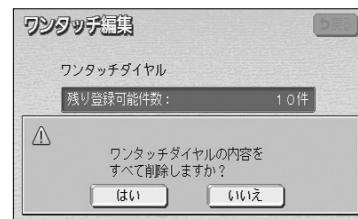
- (3) **はい**にタッチすると、WanTack Dialが削除されます。

● 削除を中止するときは**いいえ**にタッチします。



### ■ WanTack Dialをすべて削除するには

- (1) WanTack編集画面 (P.13-28参照) で、**全削除**にタッチします。



- (2) **はい**にタッチすると、WanTack Dialがすべて削除されます。

● 削除を中止するときは**いいえ**にタッチします。

## 2 WanTack Dialを削除するには

WanTack Dialの01~17は、個別に選択して削除できます。  
全削除すると、17件すべてが削除できます。

### ■ WanTack Dialを個別に削除するには



- (1) WanTack編集画面 (P.13-28参照) で、**削除**にタッチします。



- (2) 削除したいWanTack Dialのスイッチにタッチします。



- WanTack Dialの01~17は、対応する電話帳のデータが削除されると、同時に削除されます。  
● WanTack Dialのリダイヤルは、発信履歴をすべて削除した場合に削除されます。

## 音量の設定をするには

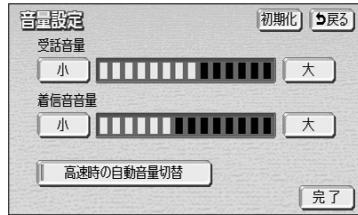
ハンズフリーの受話音量、着信音音量を設定することができます。

### 1 音量の設定をするには



- (1) 電話設定画面 (P.13-27参照) で、**音量設定**にタッチします。

● 音量設定画面が表示されます。



- (2) 各音量の**小**または**大**にタッチして調整します。

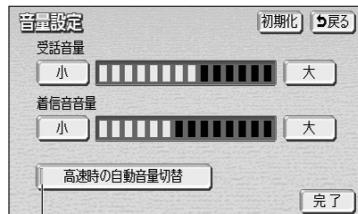
受話音量：通話相手の音声の音量が調整できます。

着信音音量：着信音の音量が調整できます。

- (3) **完了**にタッチします。

### 2 高速走行時の自動音量切替を設定するには

自車が80km/h以上で走行時に、設定した音量を自動的に1段階上がるようになります。



- (1) 1の(2)の画面で、**高速時の自動音量切替**にタッチすると、自動音量切替を「設定する」または「設定しない」に切り替えることができます。

●「設定する」にしたときは、作動表示灯が点灯します。

- (2) **完了**にタッチします。

作動表示灯



#### アドバイス

- 受話音量は、発信中画面、通話中画面、応答保留中画面でも調整できます。
- 着信音音量は、着信中画面でも調整できます。
- 受話音量は、できるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。
- 初期化**にタッチすると、音量設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

## 画面の設定をするには

ハンズフリーの画面に関する設定を行うことができます。

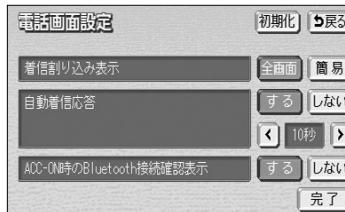
### 1 着信割り込み表示の設定をするには

ハンズフリー以外の画面が表示されているときに電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を選択できます。



- (1) 電話設定画面 (P.13-27参照) で、**画面設定**にタッチします。

● 電話画面設定画面が表示されます。



- (2) 着信割り込み表示の**全画面**または**簡易**にタッチして設定します。

全画面：電話がかかってきたときに着信中画面を表示します。

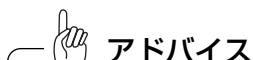
簡易：電話がかかってきたときに簡易表示（メッセージ表示）画面を表示します。

簡易画面での操作は、P.13-26を参照してください。



簡易表示画面

- (3) **完了**にタッチします。



#### アドバイス

ステアリングスイッチ (P.12-26参照) 装着車でない場合は、「全画面」に設定してタッチスイッチでハンズフリーの操作をしてください。

## 2 自動着信応答の設定をするには

自動着信応答を設定しておくと、電話がかかってきたときに、あらかじめ設定した待ち時間を経過すると、自動で通話中画面に切り替わり通話することができます。



- (1) P.13-32の①の(2)の画面で、自動着信応答の「する」にタッチします。
- (2) ▶または◀にタッチして、自動応答するまでの待ち時間を1~60秒の間で設定します。  
● 設定を解除するときは、「しない」にタッチします。
- (3) 「完了」にタッチします。

## 2 ACC - ON時のBluetooth接続確認表示の設定をするには

エンジンスイッチをOFF (LOCK) からACCまたはONにしたとき、携帯電話とのBluetooth接続確認結果を通知するかしないかを選択できます。



- (1) P.13-32の①の(2)の画面で、ACC - ON時のBluetooth接続確認表示の「表示」または「しない」にタッチして設定します。
- (2) 「完了」にタッチします。



**初期化**にタッチすると、各設定の項目が初期設定の状態に戻ります。

## 電話帳の設定をするには

携帯電話に登録してある電話帳を本機の電話帳に転送し、電話番号（電話帳データ）を登録しておくことができます。

この電話帳は1名につき最大2件の電話番号が登録でき、最大500名分のデータが登録できます。

また、各データはグループでまとめることができ、2つのグループが使用できます。



### アドバイス

低温時は、転送した電話帳データが保存されないことがあります。

## 1 電話帳設定画面を表示するには



- (1) 電話設定画面 (P.13-27参照) で、「電話帳」にタッチします。
- 電話帳設定画面が表示されます。



- 電話帳設定画面から、以下の操作を行うことができます。
  - ・携帯電話から本機への電話帳データの転送
  - ・電話帳データの削除

## 2 携帯電話の電話帳データを転送するには

携帯電話に登録してある電話番号（電話帳データ）を、本機に転送することができます。本機の電話帳は、1名につき最大2件の電話番号が登録でき、最大500名分のデータが登録できます。

転送するときは、エンジンスイッチをONの状態にして行ってください。

この機能は、OPP（Object Push Profile）に対応していない携帯電話では使用できません。

また、携帯電話によって、携帯電話からの電話帳データの転送方法が異なります。  
詳しくは、携帯電話に添付の取扱書を合わせてご覧ください。

(1) 電話帳設定画面（P.13-34参照）で、**電話帳転送**

にタッチします。

● グループ選択画面が表示されます。

(2) 登録したいグループにタッチします。



(3) 選択したグループにすでに電話帳データがある場合は、転送方法の確認メッセージが表示されます。

**上書き** にタッチすると、そのグループに登録されている電話帳データを全て消去して、電話帳データを上書きします。

**追加** にタッチすると、そのグループに登録されている電話帳データは残したまま、電話帳データを追加します。



(4) 電話帳データ転送画面が表示されたら、携帯電話を操作して電話帳データを転送します。

● 携帯電話側の転送操作は、必ずこの画面を表示させた状態で行ってください。

● 転送中は、転送完了のメッセージが表示されるまで、そのままお待ちください。

● 転送を中止したいときは、**中止** にタッチします。

● 転送が完了すると、転送完了のメッセージが表示され、電話画面に戻ります。



● 転送失敗のメッセージが表示されたときは、転送操作を最初からやり直してください。




**アドバイス**

- 転送が1件ずつで、転送完了すると電話帳データ転送画面で待機する機種の場合は、転送したい電話帳データの数だけ転送操作を繰り返してください。
- 転送が1件ずつで、転送完了ごとに電話画面に戻る機種の場合は、転送したい電話帳データの数だけP.13-35の(1)～P.13-36の(4)の転送操作を繰り返してください。
- 電話帳データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
  - ・携帯電話の電話帳で1つの名称に3件以上の電話番号が登録されている場合、本機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
  - ・電話番号と同時に名称・名称読みも転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
  - ・通常はシークレットメモリの読み出しが行いません。(携帯電話の仕様により可能な場合もあります。)
  - ・携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
  - ・携帯電話に登録されているアイコンは転送されません。
- 電話帳データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは"1234"を入力してください。
- 一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、次のような特徴があります。
  - ・転送には数分かかる場合があります。
  - ・電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。この場合、電話帳データ転送は継続されます。
- 電話帳データ転送中は、次のように対応します。
  - ・電話帳データ転送中に着信があった場合は、状況によりどちらかが優先されます。着信が優先された場合、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。この場合は、通話終了後、再度転送操作をやり直してください。
  - ・電話帳データ転送中に発信操作をした場合、転送を継続して発信を中止します。
  - ・電話帳データ転送中にエンジンスイッチをOFF (LOCK) にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジンスイッチをONにして、再度転送操作をやり直してください。
- 次の場合、転送済みの電話帳データは本機の電話帳に保存されます。
  - ・本機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき
  - ・何らかの原因で転送が中断されたとき
- 本機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。

## 2 電話帳のデータを削除するには

電話帳データは、個別に選択して削除、または全削除ができます。

### ■電話帳のデータを個別に削除するには ①



- (1) 電話帳設定画面 (P.13-34参照) で、**削除** にタッチします。

● 電話帳画面が表示されます。



- (2) 削除したいデータにタッチします。

● 必要に応じて、電話帳の表示を切り替えてください。(P.13-15参照)



- (3) **はい** にタッチすると、電話帳データが削除されます。

● 削除を中止するときは **いいえ** にタッチします。

### ■電話帳のデータを個別に削除するには ②

次の方法でも電話帳データの削除ができます。



- (1) 電話画面 (P.13-12参照) で、**電話帳** にタッチします。

● 電話帳画面が表示されます。



- (2) 削除したいデータにタッチします。
- 必要に応じて、電話帳の表示を切り替えてください。(P.13-15参照)



- (3) 電話帳内容画面で、**削除**にタッチします。



- (4) **はい**にタッチすると、電話帳データが削除されます。  
● 削除を中止するときは**いいえ**にタッチします。



- (1) 電話帳設定画面 (P.13-34参照) で、**全削除**にタッチします。

- 電話帳削除画面が表示されます。



- (2) 削除方法を選択しタッチします。

**グループ一括削除**：グループを選択して削除します。

**電話帳全削除**：電話帳のデータを全て削除します。



- (3) **グループ一括削除**を選択した場合、グループ選択画面が表示されます。  
削除したいグループを選択しタッチします。



- (4) **はい**にタッチすると、電話帳データが削除されます。  
● 削除を中止するときは**いいえ**にタッチします。

## ■電話帳のデータを全て削除するには①

次の方法でも電話帳データの削除ができます。



- (1) 電話画面 (P.13-12参照) で、**電話帳**にタッチします。

- 電話帳画面が表示されます。



- (2) 電話帳の表示を切り替え、電話帳 (50音) 画面を表示します。(P.13-15参照)

- (3) **全削除**にタッチします。



- (4) **はい**にタッチすると、電話帳データが削除されます。

- 削除を中止するときは**いいえ**にタッチします。

### 履歴を削除するには

発信履歴および着信履歴のデータは、個別に選択して削除、または全削除ができます。

#### ■履歴のデータを個別に削除するには



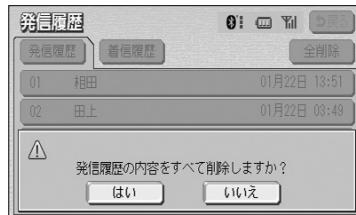
- (1) P.13-16の④の(2)の画面で、削除したい履歴にタッチします。
  - 履歴内容画面が表示されます。
- (2) **削除**にタッチします。
- (3) **はい**にタッチすると、選択したデータが削除されます。
  - 削除を中止するときは**いいえ**にタッチします。



#### ■履歴のデータを全て削除するには



- (1) P.13-16の④の(2)の画面で、**全削除**にタッチします。
- (2) **はい**にタッチすると、履歴が全て削除されます。
  - 削除を中止するときは**いいえ**にタッチします。



### アドバイス

お車を手放すときには、本機に登録されているデータを削除してください。

### セキュリティの設定をするには

#### 1 セキュリティについて

セキュリティを設定すると、電話帳に関するハンズフリーの一部機能を使用できなくすることができます。ホテルで車を預けるときなど、他人に登録してあるデータを見られたくないときにご利用になると便利です。

セキュリティを使用するときは、必ずロックNo.を変更してからご使用ください。

#### 2 ロックNo.を変更するには

セキュリティの設定および解除をするには、ロックNo.の入力が必要です。

ロックNo.は4桁の数字で、初期設定は「0000」になっています。

セキュリティを使用するときは、必ずロックNo.を変更してからご使用ください。  
なお、ロックNo.を変更するときは、他人にわかりにくい番号にしておいてください。

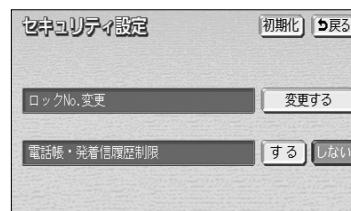


### 注意

ロックNo.を変更するときは、ロックNo.を忘れないように管理してください。ロックNo.を忘れると、販売店でもセキュリティ設定を解除することができません。



- (1) 電話設定画面（P.13-27参照）で、**セキュリティ**にタッチします。
  - セキュリティ設定画面が表示されます。



- (2) ロックNo.変更の**変更する**にタッチします。
    - ロックNo.入力画面が表示されます。
- ハンズフリーの設定をするには
- 13  
ハンズ  
フリー
- ハンズフリーの設定をするには
- 13  
ハンズ  
フリー
- 13-41
- 13-42



- (3) 数字にタッチして、現在設定しているロックNo.を入力します。

- はじめて設定するときは、ここで「0000」を入力します。  
すでに設定してあるときは、設定してあるロックNo.を入力します。

- 修正するときは「修正」にタッチすると1番号ずつ消去されます。

- (4) 「完了」にタッチします。

- (5) 数字にタッチして、新しいロックNo.を入力します。

- (6) 「完了」にタッチします。



- (7) 「はい」にタッチすると、新しく入力したロックNo.に変更されます。

- 「いいえ」にタッチすると、変更を中止して(2)の画面に戻ります。

## 2 電話帳・発着信履歴制限をするには

電話帳・発着信履歴制限を設定すると、次の機能を使用できなくすることができます。

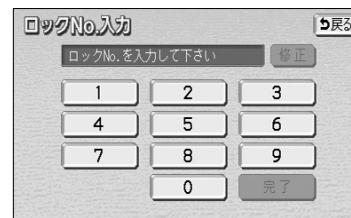
- 電話帳画面の表示、電話帳データの転送・削除、電話帳発信
- ワンタッチダイヤル画面の表示、ワンタッチダイヤルの登録・削除、ワンタッチダイヤル発信
- 発信時および着信時の相手先名称の表示
- 発信履歴画面および着信履歴画面の表示、履歴の削除、履歴発信
- 電話機詳細情報画面の表示
- ロックNo.の変更



- (1) セキュリティ設定画面 (P.13-42参照) で、電話帳・発着信履歴制限の「する」にタッチします。

- ロックNo.入力画面が表示されます。

- 設定を解除するには、「しない」にタッチします。



- (2) 数字にタッチして、ロックNo.を入力します。

- (3) 「完了」にタッチします。

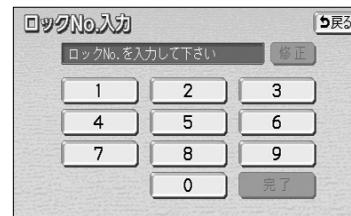
## 4 セキュリティ設定を初期化するには

各設定を初期設定の状態に戻すことができます。



- (1) セキュリティ設定画面 (P.13-42参照) で、「初期化」にタッチします。

- ロックNo.入力画面が表示されます。



- (2) 数字にタッチして、ロックNo.を入力します。

- (3) 「完了」にタッチします。



- (4) 「はい」にタッチすると、設定を初期化します。

- 初期化を中止するときは「いいえ」にタッチします。

## Bluetoothの設定をするには

## 1 使用する電話機を選択するには

携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が本機で使用する携帯電話として選択されます。2台の携帯電話を使用するときは、必要に応じて携帯電話を選択する必要があります。



(1) 電話設定画面 (P.13-27参照) で、[電話機選択] にタッチします。

- 電話機選択画面が表示されます。
- 携帯電話側をBluetooth接続可能状態にしておきます。



(2) 使用する携帯電話を選択しタッチします。



Bluetoothマーク



(3) [完了] にタッチします。

- 他の携帯電話がBluetooth接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。  
切断してよければ、[はい] にタッチします。



(4) 接続完了のメッセージが表示されます。

## 2 電話機詳細情報を表示するには

本機に登録されている携帯電話に関する詳細情報を表示することができます。

- Device Name (デバイス名称) : 本機に表示される携帯電話の名称です。
- Bluetooth Device Address : 機器固有のアドレスです。
- 自局電話番号 : 携帯電話の電話番号です。



(1) P.13-45の1の(2)の画面で、[詳細情報表示] にタッチします。



(2) 電話機詳細情報画面が表示されます。

### 3 Bluetooth設定を表示するには

本機に関するBluetooth設定情報の表示と設定の変更をすることができます。

#### ●Bluetooth電話設定

: 携帯電話の登録 (P.13-8参照)・削除をすることができます。

#### ●Device Name (デバイス名称)

: Bluetoothネットワーク内での本機の名称です。

#### ●PASS-KEY

: 携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。  
4~8桁の任意の数字に変更することができます。

#### ●Bluetooth Device Address

: 本機に登録されている機器固有のアドレスです。  
Device NameやPASS-KEYが他のBluetooth機器と同じになってしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。



- (1) 電話設定画面 (P.13-27参照) で、[Bluetooth] にタッチします。



- (2) Bluetooth設定画面が表示されます。

### 4 PASS-KEYを変更するには

- (1) Bluetooth設定画面 (P.13-47参照) で、PASS-KEYの [変更] にタッチします。

● PASS-KEY変更画面が表示されます。



- (2) 数字にタッチして、4~8桁の範囲でPASS-KEYを入力します。

● 修正するときは [修正] にタッチすると1番号ずつ消去されます。

- (3) [完了] にタッチします。

### 5 Bluetooth設定を初期化するには

Bluetoothの設定を初期状態に戻すことができます。

詳しくは、P.13-5 「**2 本機を手放すとき**」を参照してください。



- (1) Bluetooth設定画面 (P.13-47参照) で、[初期化] にタッチします。



- (2) [はい] にタッチすると、設定を初期化します。

● 初期化を中止するときは [いいえ] にタッチします。

## メモ

## 6 Bluetooth電話機の登録を削除するには



(1) Bluetooth設定画面 (P.13-47参照) で、

Bluetooth設定の [削除] にタッチします。

- 電話機削除画面が表示されます。



(2) 削除する携帯電話を選択しタッチします。

- 詳細情報表示 にタッチすると、選択されている

携帯電話の詳細情報画面が表示されます。

(3) [完了] にタッチします。



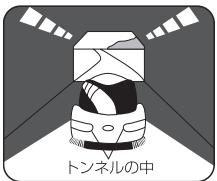
(4) [はい] にタッチすると、携帯電話の登録を削除します。

- 削除を中止するときは [いいえ] にタッチします。

## 自車位置精度について

### GPSを受信できない場所

GPS衛星からの電波は直進性が強いため、次のような場所では受信できないことがあります。



トンネルの中



高層ビルなどの間



高架道路の下

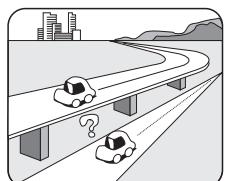


樹木の間

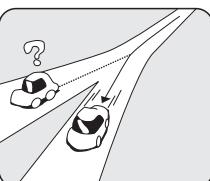
- ルーフキャリアなど使用時にはGPS衛星の電波がさえぎられて自車位置を測位できなくなることがあります。
- GPS衛星はアメリカの国防総省により管理されており、衛星自体が故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは、自車マークがズレることができます。

本システムは、以下のような走行環境やGPS衛星の状態により自車マークが正しい位置を表示しないときがありますが、故障ではありません。また新設道路など地図データが実際の道路形状と異なっている道路を走行後、地図データ上の道路に戻ると自車マークがズレることができます。

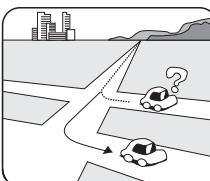
そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して現在位置を自動的に補正します。



高速道路を走行しているのに、その側道に自車マークがのる場合があります。また、その逆の場合もあります。



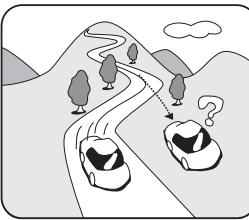
角度の小さなY字路を走行しているとき他方の道に自車マークがのる場合があります。



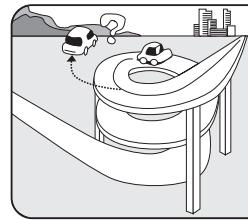
碁盤目状の道路を走行しているとき、隣の道路上に自車マークがのる場合があります。



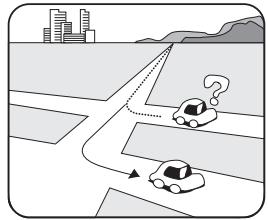
フェリー、車両運搬車などで移動したあと、GPSの受信ができない時、自車マークが移動前の位置になっている場合があります。



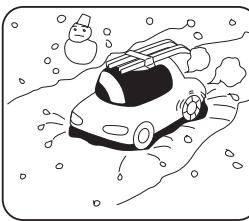
勾配の急な山岳などを走行しているとき、自車マークがズレる場合があります。



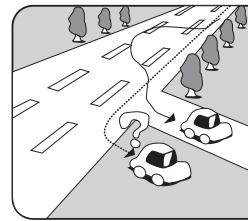
ら旋状の道路などを走行しているとき、自車マークがズレる場合があります。



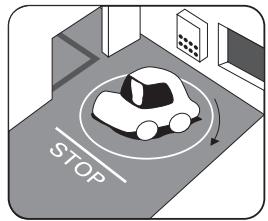
直線路を長い間走行したあと、右左折した時、手前または先の道路上に自車マークがのる場合があります。



雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行している時、自車マークがズレることがあります。



道幅の広い道路で蛇行運転すると、距離が合わなくなったり、自車マークがズレることがあります。



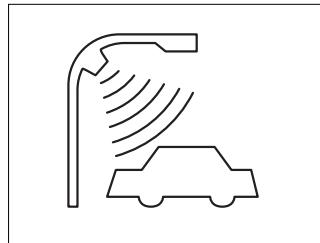
地下駐車場や立体駐車場で、ら旋状の道路を走行したあとや回転したあと一般道にでると、自車マークがズレる場合があります。イグニッションキーのACC OFFの状態で、ターンテーブルなどでの旋回をおこなうと自車マークの向きが異なることがあります。

- タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤ使用時に自車マークがズレることがあります。
- 実際の向きと自車マークの向きが異なった場合はGPS衛星による位置修正が行なわれると自動的に方位修正されます。
- 車庫入れ時の後退や、切り返しにより自車マークがズレることができます。
- 坂道では、自車マークがズレることができます。

## VICS各メディアの特性・受信について

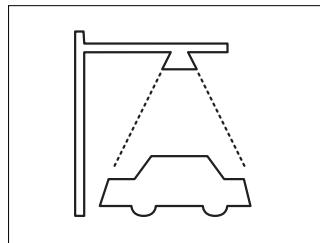
VICSはそれぞれ特性の異なる3つのメディアがあります。

### 電波ビーコン



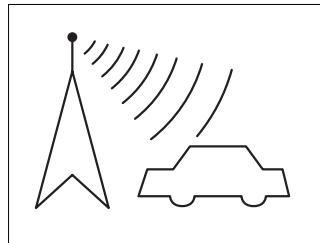
電波ビーコンは、主に高速道路の路側に設置され、その地点を通過する車両に情報の提供をおこないます。

### 光ビーコン



光ビーコンは、主に一般道路上の各レーンごとに設置され、そのレーンを通過する車両に情報の提供をおこないます。  
(現在地がズレている場合、光ビーコン受信後現在地が自動的に修正されます)

### FM多重放送



FM多重放送は、放送局からの電波が届く広い範囲の車両に情報の提供をおこないます。

### 電波ビーコンの受信について

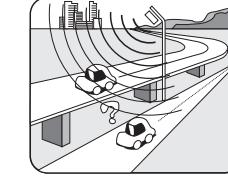
次のような状況では受信できないことや、誤って受信してしまう場合があります。



大型車と並走



アンテナの前に物を置く



高速高架道路の下

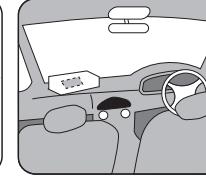
注：高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路の電波ビーコンを受信してしまう場合があります。

### 光ビーコンの受信について

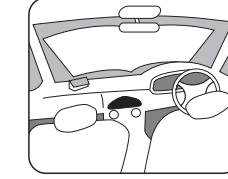
次のような状況では受信できないことがあります。



雪などの悪天候



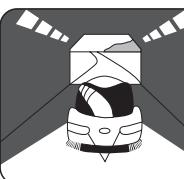
アンテナの前に物を置く



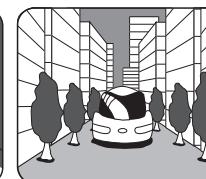
アンテナ受光部の汚れ  
フロントガラスの汚れ

### FM多重放送の受信について

次のような場所では受信出来ないことがあります。



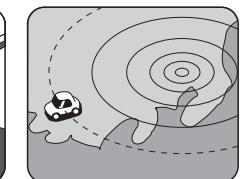
トンネルの中



密接するビルなどの間



高架道路の下



サービスエリア外

注：FM多重の場合、一定周期で情報が更新されますので揃うのに時間がかかる場合があります。  
(約3分程度)

30分以上経過した古い情報は自動的に消去されますのでご注意ください。

## ルート探索について

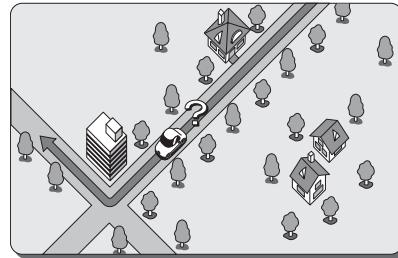
●次の条件のような場合故障ではありません。

※ ■■■■ を実際は表示しません。

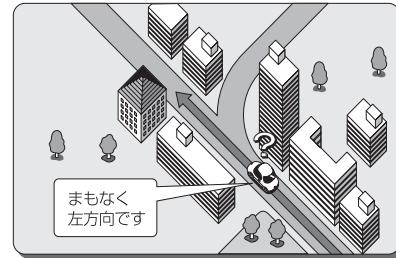


## ルート案内について

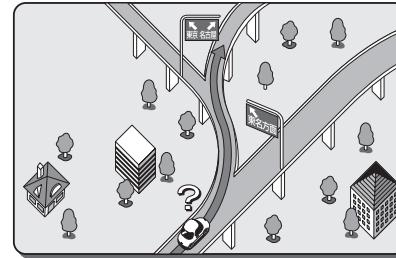
●次のような場合故障ではありません。



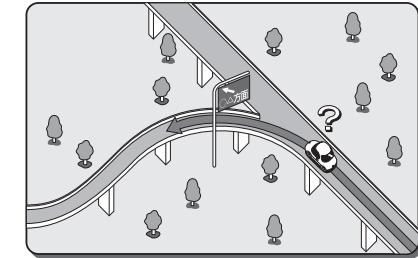
交差点で曲がるときに案内がされない場合があります。



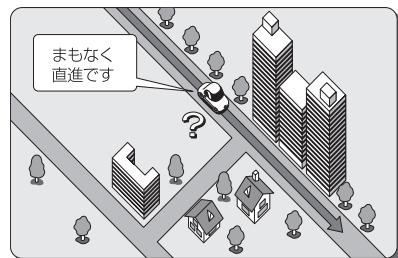
右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。



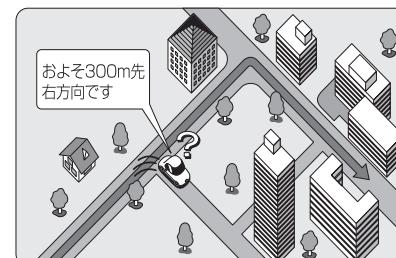
方面案内でいくつもの方面名を表示することがあります。



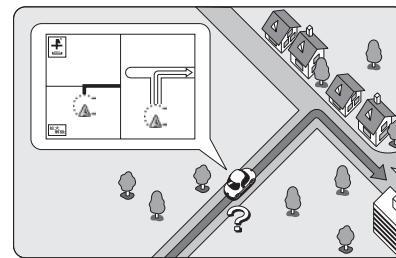
方面案内が表示されない高速道路・有料道路があります。



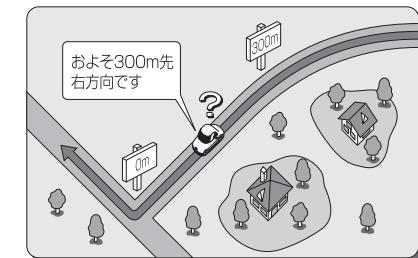
直線道路走行中に、直進案内がされる場合があります。



案内ルートを外れて手前の交差点などで曲がったときなど音声案内がされる場合があります。



交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。



案内距離が多少ズレることがあります。

## 情報の保持について

お車の点検やバッテリーの交換などによりバッテリーとの接続が断たれた場合、本機に保存されている情報（設定）が一部消去（初期化）される場合があります。予めご了承ください。

| 情報が消去される項目                      |  |
|---------------------------------|--|
| 本機（SDナビゲーション）のプログラム             |  |
| ナビゲーション                         |  |
| 目的地履歴                           |  |
| 目的地・通過道路・乗降IC指定・案内ルート           |  |
| 走行軌跡表示                          |  |
| オーディオ                           |  |
| 音の調整（サウンド設定）                    |  |
| プリセット情報（ラジオ）                    |  |
| (最後に選択していた) オーディオモード            |  |
| オーディオの音量（ボリューム）                 |  |
| DVD設定（音声、字幕、初期設定）               |  |
| その他                             |  |
| バックガイドモニター/マルチビューバックガイドモニター設定※1 |  |
| バックモニター距離目安線設定※1                |  |
| ブラインドコーナーモニター/サイドモニターシステムの設定※2  |  |
| ハンズフリーの音量（着信音量、受話音量）            |  |

※1：のせかえの確認メッセージで「いいえ」を選択した場合は保持されます。

※2：カメラ表示優先設定を含む。

## こんなメッセージが表示されたとき

### ナビゲーション部

| メッセージ                                 | メッセージが表示される場合                                                                   | 処置方法                                                               |
|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 地図SDカードが入っていません<br>地図SDカードを入れて下さい     | 地図SDメモリーカードの差し込み口に地図SDメモリーカードが入っていない場合                                          | 地図SDメモリーカードを入れてください。                                               |
| 地図データが読みません<br>地図SDカードが正しいかご確認下さい     | 地図SDメモリーカードの差し込み口に地図SDメモリーカード以外のSDメモリーカードが入っている場合、または、地図SDメモリーカードの内部データが壊れている場合 | 専用の地図SDメモリーカードに入れかえてください。それでも解消されないとときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。      |
| 該当する電話番号が検索できません<br>確認して修正して下さい       | 電話番号入力で入力したデータが地図データに登録されておらず、地図表示ができない場合                                       | 入力した番号に間違いがないか、ご確認ください。番号を再入力・検索しても地図が表示できない場合は、他の方法で地図を表示させてください。 |
| 該当する郵便番号が収録されています<br>確認して修正して下さい      | 郵便番号入力で入力したデータが地図データに登録されておらず、地図表示ができない場合                                       | 入力した番号に間違いがないか、ご確認ください。番号を再入力・検索しても地図が表示できない場合は、他の方法で地図を表示させてください。 |
| ルートが探索できませんでした                        | 案内できるルートがない場合                                                                   | 他に目的地を設定するか、あるいは地図を参考に走行してください。                                    |
| 新しいルートが探索できませんでした<br>前回のルートでご案内します    | 案内中のルート以外に適切なルートが見つからなかった場合                                                     | 表示しているルートで走行していただくか、地図を参考にして走行してください。                              |
| メモリ地点が登録されていません<br>メモリ地点を登録してからお使い下さい | メモリ地点が1ヵ所も登録されていないときに、メモリ地点から地図を表示しようとした場合                                      | メモリ地点の登録を1ヵ所以上行ってからお使いください。                                        |

### テレビ・オーディオ部

| メッセージ        | メッセージが表示される場合                            | 処置方法                                       |
|--------------|------------------------------------------|--------------------------------------------|
| ディスクが入っていません | ディスクの差し込み口に音楽CD、MP3/WMAディスク、DVDが入っていない場合 | 音楽CD、MP3/WMAディスク、DVDを入れてください。              |
| ディスクをお確かめ下さい | 音楽CD、MP3/WMAディスクまたはDVDが裏返しになっている場合       | ディスクを正しく入れ直してください。                         |
|              | ディスクが汚れているまたは傷がある場合                      | 汚れているときはクリーニングしてください。傷があるときは傷のないものにしてください。 |
| 接続状態をお確かめ下さい | ミニプラグコードがしっかり接続されていない場合                  | ミニプラグコードをしっかり接続してください。                     |
| リージョンコードエラー  | 再生しているDVDソフトのリージョンコードが「2」、「ALL」以外の場合     | 対応しているDVDを入れてください。(P.10-4参照)               |

| メッセージ                            | メッセージが表示される場合                               | 処置方法                                                             |
|----------------------------------|---------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 入力番号が正しくありません                    | DVDに対応していない言語コードを入力したまたは暗証番号が正しく入力されなかった場合  | 正しい言語コード(P.10-37参照)または暗証番号を入力してください。                             |
| 異常検知でDISC停止中です                   | 何らかの原因でDVDプレーヤーが動作しない場合                     | DVDプレーヤーからディスクを取り出してください。                                        |
| SDカードが挿入されていません                  | SD AUDIO用SDメモリーカードの差し込み口にSDメモリーカードが入っていない場合 | SDメモリーカードを入れてください。                                               |
| サポートしているデータが存在しません               | サポートしている音楽データが1件も存在していない場合                  | SDメモリーカードを確認ください。                                                |
|                                  | 本機でSDメモリーカードのフォーマットを行った場合                   | 録音してお楽しみください。                                                    |
| ファイルが正しく読めません                    | 書き込み途中でSDメモリーカードを抜くなどして、データが壊れている場合         | SDメモリーカードをフォーマットしてください。                                          |
| SDカードが正しく読めません<br>SDカードをご確認下さい   | 規格外のメディアを挿入している場合(マルチメディアカードなど)             | 規格外のカードはご使用できません。(P.1-23参照)                                      |
|                                  | 規格外フォーマット済みのSDメモリーカードを使用している場合              | 本機でフォーマットしてください。(P.11-3参照)                                       |
|                                  | SDメモリーカードが正しく差し込まれていない場合                    | いったんSDメモリーカードを抜いて、再度差し込んでください。                                   |
| SDカードの容量がありません<br>録音を停止します       | 録音中にSDメモリーカードの容量がなくなった場合                    | SD AUDIO編集画面からデータを消去してからお使いください。SDメモリーカード内の不要なデータを消去してからお使いください。 |
| これ以上録音できません<br>削除してからお使い下さい      | 録音可能な最大数(アルバム数99、トラック数999)に達した場合            | SD AUDIO編集画面からデータを消去してからお使いください。(P.11-38参照)                      |
| 高温または低温のため録音を停止します<br>しばらくお待ち下さい | 本機の温度が異常に高いまたは低いため録音が不可能な場合                 | 温度が適温になるまで、しばらくお待ちください。                                          |
| USBポートで過電流を検出しました<br>電源供給を停止します  | USBポートに過電流が発生した場合                           | USBポートに接続した機器を外してください。                                           |
| USBメモリーとの通信に失敗しました               | 本機とUSBメモリーとの通信が正常に行われなかっただけの場合              | いったん接続を解除し、再度本機に接続してください。                                        |
| iPodとの通信に失敗しました                  | 本機とiPodとの通信が正常に行われなかっただけの場合                 | いったん接続を解除し、再度本機に接続してください。                                        |

## VICS/FM多重部

| メッセージ                                          | メッセージが表示される場合                               | 処置方法                                        |
|------------------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| VICSの文字(图形)情報を受信中です<br>しばらくお待ち下さい              | 文字情報、图形情報のメニューを受信中の場合                       | メニューの受信が完了するまでお待ちください。                      |
| 最新のVICS割込情報はありません                              | 割り込み情報を再表示しようとしたときに受信した割り込み情報がない場合          | 割り込み情報受信後、30分以内ご利用ください。                     |
| VICSの文字(图形)情報を受信していません<br>VICS選局で周波数をご確認下さい    | FM多重放送を行っている放送局を選局していないか、または情報を受信していない場合    | 選局しなおしてVICSの情報を受信してください(P.4-53~4-54参照)。     |
| 受信中です<br>しばらくお待ち下さい                            | FM多重放送のメニューを受信中の場合                          | メニューの受信が完了するまでお待ちください。                      |
| FM多重放送を受信できません                                 | 選局したが、FM多重放送番組を一つも受信できなかった場合                | 受信感度の良い所に車を移動してからご利用ください。                   |
| この情報は停車中にご覧になります                               | 連動情報番組表示中に車が走行した場合                          | 車を安全な所に停車させてからご利用ください。                      |
| モーターアンテナ車に設定されています<br>オーディオOFF中はVICS情報を受信できません | オーディオOFFかつモーターアンテナ車設定がONの状態でVICS選局画面を表示した場合 | VICS情報を受信したい場合は、オーディオをONに設定してください(P.7-1参照)。 |

## ハンズフリー部

| メッセージ                        | メッセージが表示される場合                                                        | 処置方法                                                     |
|------------------------------|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 電話機をご確認下さい                   | ・携帯電話に異常がある(携帯電話の電源OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障)場合<br>・携帯電話が動作確認済みの機種ではない場合 | 次の点を確認してください<br>・携帯電話が動作確認済みの機種であるか。<br>・携帯電話の充電は十分であるか。 |
| 電話機が接続されていません                | 携帯電話がBluetooth接続されていない場合                                             | 携帯電話をBluetooth接続してください。(P.13-10参照)                       |
| 電話機が使用中です<br>通話を終了してご利用下さい   | ハンズフリー通話中に電話をかけようとした場合                                               | 通話を終了してからご利用ください。                                        |
| 通話エリア外です<br>通話エリアに移動してご利用下さい | サービスエリア圏外で電話をかけようとした場合                                               | しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。                              |

## 故障とお考えになる前に

本機が正常に作動しなくなった時は、下表にしたがって確認していただき、それでも作動しない時は、お買い上げの販売店にご相談ください。

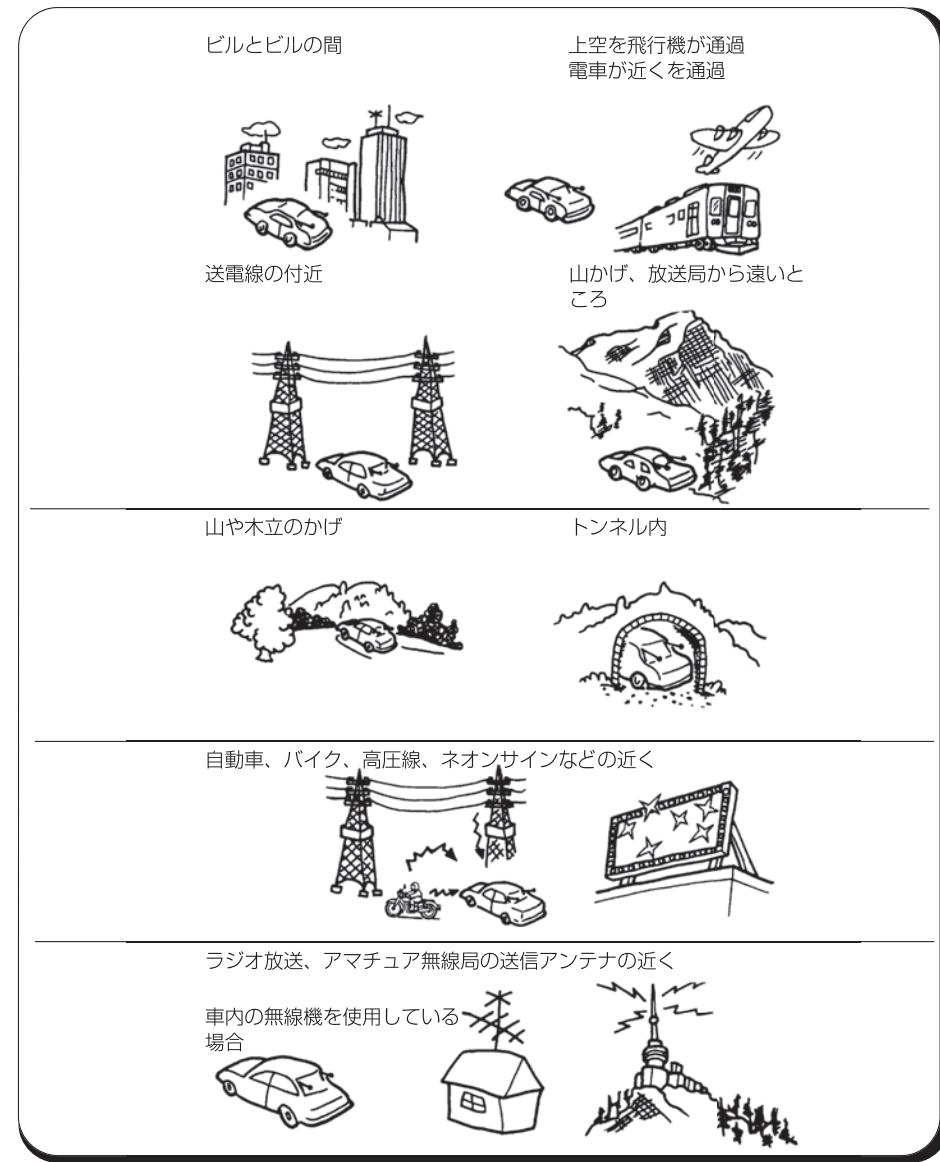
万一異常（ヒューズ溶断など）が起こりましたら、必ずお買い上げの販売店に修理依頼をしてください。ご自身でヒューズの取り換えや修理をされますと、思わぬことで故障の範囲を大きくすることがありますので特にご注意ください。

| 症 状                                                                                                    | 確 認 項 目                                                                                                                                                                                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 画面が次の何れかの状態になっている場合<br>●真っ暗で全く光らない<br>●光っているが、画面が表示されない<br>●画像が乱れる<br>●画像の色がおかしい<br>●ライトを点灯しても夜画面にならない | 画面消し設定されていますか?<br>⇒Ⓐ MENU などを押してください。<br>画質の設定は適切ですか?<br>⇒MENU を押し続け、設定を確認してください(P.1-29参照)。<br>解消されないときは、エンジンスイッチをOFF→ACCまたはONにしてください。<br>それでも解消されないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。                 |
| テレビの画面が表示されない場合                                                                                        | 車の電源のスイッチは入っていますか?<br>⇒エンジンスイッチをACCまたはONにしてください。<br>ヒューズは切れていませんか?<br>⇒ヒューズの位置は、車の取扱書を参照してください。<br>パーキングブレーキはしっかりとかかっていますか?<br>⇒パーキングブレーキはしっかりとかけてください。<br>車は完全に停止していますか?<br>⇒車を完全に停止させてください。 |
| ナビゲーションの画面が表示されない場合                                                                                    | 専用の地図SDメモリーカードが正しく入っていますか?<br>⇒地図SDメモリーカードを確認してください。                                                                                                                                          |
| 自車を移動させても地図がスクロールしない場合                                                                                 | 現在地画面になっていますか?<br>⇒「基本編」を参照して、現在地表示にすると地図がスクロールします。                                                                                                                                           |
| 自車マークが表示されない場合                                                                                         | 現在地画面になっていますか?<br>⇒「基本編」を参照して、現在地表示にすると自車マークが表示されます。                                                                                                                                          |
| 目的地が接近しても音声案内がない場合                                                                                     | 案内中になっていますか?<br>⇒応用編を参照して、案内中にしてください。<br>音量が消音になっていますか?<br>⇒応用編を参照して、聞きやすい音量に設定してください。                                                                                                        |
| 地図をタッチしてそのまま押し続けても、連続して地図がスクロールしない場合                                                                   | 走行中に地図をタッチしていませんか?<br>⇒走行中は安全のため、連続操作はできません。<br>停車してお使いください。                                                                                                                                  |
| 地図をタッチしても、地図がスクロールしない場合                                                                                | 地図をタッチした時に、地図データの読み込みが発生すると、地図データの読み込みが完了するまでの間、しばらくスクロールが停止します。故障ではありませんので、地図をタッチしたまま、しばらくお待ちください。                                                                                           |

| 症 状                                    | 確 認 項 目                                                                                                                                                  |
|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地図をタッチして、地図スクロール中に途中で地図が止まる場合          | スクロール中に地図データの読み込みが発生すると、地図データの読み込みが完了するまでの間、しばらくスクロールが停止します。<br>故障ではありませんので、そのままご使用ください。                                                                 |
| モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある場合                 | 故障ではありませんので安心してご使用ください。<br>⇒液晶特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じことがあります。                                     |
| エンジンスイッチをONにした後しばらく画面にムラがある、または画面が暗い場合 | 寒冷時、液晶のバックライトの特性上、光ムラが発生することもあります。エンジンスイッチをONにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。                                                                                     |
| 画面がみにくい場合                              | 画面の明るさ、コントラスト調整は適正ですか?<br>⇒P.1-29を参照して明るさ、コントラストを調整してください。<br>ディスプレイの角度調整は適正ですか?<br>⇒P.1-25を参照して画面の向きを見やすい位置にしてください。                                     |
| 音声は出るが、映像は出ない(停車中)場合                   | パーキングブレーキを引いていますか?<br>⇒パーキングブレーキを引いてください。                                                                                                                |
| ディスクを入れることができない場合                      | 車の電源スイッチは入っていますか?<br>⇒車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。                                                                                                       |
| 音飛びをしてしまう場合                            | 結露していませんか?<br>⇒換気してからご使用ください。<br>ディスクがひどく汚れていませんか?<br>⇒ディスクをクリーニングして入れてください。                                                                             |
| ディスクを取り出せない場合                          | お買い上げの販売店にお問い合わせください。                                                                                                                                    |
| 片側のスピーカーしか音が出ない場合                      | 音量の調節は正しいですか?<br>⇒左右音量調節をして確認してください。                                                                                                                     |
| 音質調整をしても音質が変化しない場合                     | 調整した音質が放送、ディスクに含まれていますか?<br>⇒放送、ディスクを変更して確認してください。                                                                                                       |
| ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されない場合         | ポータブルオーディオの電源は入っていますか?<br>⇒ポータブルオーディオの電源を入れてください。<br>ポータブルオーディオは再生されていますか?<br>⇒ポータブルオーディオを再生してください。<br>抵抗付きミニプラグコードを使用していませんか?<br>⇒抵抗無しミニプラグコードをご使用ください。 |

| 症 状                        | 確 認 項 目                                                                                                                                               |
|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| SDメモリーカードがSDスロットに差し込めない場合  | SDメモリーカードの差し込み方向は正しいですか?<br>⇒SDメモリーカードの差し込み方向を確認して正しい方向で差し込んでください。<br>SDスロット内に異物が混入していませんか?<br>⇒SDスロット内に異物が混入していないか確認してください。                          |
| SDメモリーカードがSDスロットから取り出せない場合 | SDメモリーカードを押さずに取り出そうとしていませんか?<br>⇒SDメモリーカードを押して取り出してください。                                                                                              |
| ディスプレイが閉まらない場合             | ディスクが奥まで差し込まれていますか?<br>⇒ディスクが奥まで差し込まれているか確認してください。(P.1-17参照)<br>SDメモリーカードが奥まで差し込まれていますか?<br>⇒SDメモリーカードは「カチッ」と音がするまで差し込んでください。差し込み口は2ヵ所あります。(P.1-21参照) |

地上デジタル放送の電波について  
つぎのような場所では、映像が静止したり音声が途切れる場合があります。



## 地図データベースについて

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部、または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

この地図の作成に当たっては、国土地理院発行の2.5万分の1地形図および5万分の1地勢図を使用しました。

この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。

この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。

©財団法人 日本デジタル道路地図協会

©株式会社 ゼンリン & 株式会社 トヨタマップマスター & 株式会社 昭文社

### 交通規制データの出展について

この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、株式会社 トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

### 道路交通規制の優先について

このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示などにしたがってください。

### 交通事故多発地点マークについて

地図SDメモリーカードに収録されている事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータをもとに作成しています。

### ボトルネック踏み切りデータについて

地図SDメモリーカードに収録されているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省のデータを参考に作成しています。

©株式会社 トヨタマップマスター

## Gracenote音楽認識サービスのご利用について

### Gracenote®エンドユーザー使用許諾契約書

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote社のソフトウェア (以下「Gracenoteソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenoteデータ」)などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenoteサーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenoteデータを使用することができます。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenoteとして行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。

GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーがエラーのない状態であることや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。

Gracenoteは、Gracenoteが将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。

Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

©Gracenote 2010

## アンテナのお手入れについて

- フィルムアンテナ及びケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。表面処理を傷める原因になります。
- 掃除をするときは、タオルや柔らかい布などで軽く押さえるようにして拭いてください。爪などでこするとアンテナパターン線がはがれる原因となります。
- アンテナ部からコードを取り外すことはできません。無理にはがすと動作できなくなり、再使用もできません。
- コードのコネクタ部に力をかけないでください。
- カーウィンドフィルムの上からフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナをはがす際にカーウィンドフィルムを傷めることができますのでご注意ください。

## 商標について

- 車載機に含まれるMicrosoft Windows Automotive Operating Systemの著作権は米国 Microsoft Corporationに帰属します。MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- SDHCロゴはSD-3C,LLCの商標です。

## アフターサービスについて

### 1. 保証

- 1) トヨタの販売店、またはトヨタ指定サービス工場でトヨタ車にお取付けして製造上の不具合が発生した場合、下記に示す期間と条件に従ってこれを無償修理いたします。無償修理は部品の交換あるいは補修により行います。また取り外した不具合部品はトヨタの所有となります。
- 2) 無償修理を受けられる期間は、商品をトヨタ車にお取付けした日をご使用開始日として起算し3か年間とします。ただし、その期間内でも走行距離が60,000 kmまでとします。無償修理をお受けになる場合はトヨタの販売店、またはトヨタ指定サービス工場へ自動車に取付けた状態でお持ちください。
- 3) 保証期間内でも下記に起因する不具合は無償修理いたしません。
  - ①トヨタの販売店、またはトヨタ指定サービス工場以外でのお取付け、修理およびトヨタが認めていない改造など。
  - ②取扱書に示す取扱方法と異なる使用および不適切な保管などおよび、地震、台風、水害などの天災並びに事故、火災。
- 4) 次に示すものの費用は負担いたしません。
  - ①消耗部品および油脂類など。(ベルト、ヒューズ各種電球など)
  - ②商品を使用できなかった事による不便さおよび損失など。
- 5) 無償修理の継承として期間が残っているものは無償修理をいたしますが点検および取り外し、取付け費用は有料となります。
- 6) この無償修理は日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。
- 7) 無償修理期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 8) 商品の上蓋または底蓋に貼ってあるシール（モデルNo. シリアルNo. 明記）の剥がれたものについては無償修理いたしません。

### 2. 補修用性能部品の最低保有期間

このSDナビゲーションの補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

# 仕様

## ●ディスプレイ

|        |                                       |
|--------|---------------------------------------|
| 液晶パネル  | : 7 V型低反射タッチパネル                       |
| 画面寸法   | : 156.2 mm×176.6 mm×82.4 mm (幅×対角×高さ) |
| ドット数   | : 33万6960 ドット (縦 234 × 横 480 × 3)     |
| 有効画素数  | : 99.99 %                             |
| 表示方式   | : 透過型カラーフィルタ方式                        |
| 駆動方式   | : TFT (薄膜トランジスター) アクティブマトリクス方式        |
| タッチパネル | : 抵抗膜式タッチパネル                          |

## ●ラジオ・チューナー部

|         |                                                          |
|---------|----------------------------------------------------------|
| 受信周波数範囲 | : AM 522 kHz～1629 kHz<br>FM 76.0 MHz～90.0 MHz            |
| 実用感度    | : AM 25 dB ( $\mu$ V)<br>FM 8 dB ( $\mu$ V)              |
| 信号対雑音比  | : AM 42 dB (30 kHzL.P.F.使用)<br>FM 55 dB (30 kHzL.P.F.使用) |

## ●デジタルテレビチューナー部

|           |                               |
|-----------|-------------------------------|
| 受信可能放送    | : ワンセグ放送                      |
| 受信周波数     | : 470～770 MHz (UHF13～62チャンネル) |
| 入力信号レベル   | : -75 dBm～-20 dBm             |
| 入力インピーダンス | : 75 $\Omega$                 |

## ●CD部

|        |                          |
|--------|--------------------------|
| 信号雑音比  | : 70 dB (IHF-A使用)        |
| 全高調波歪率 | : 0.08 % (IHF-A使用、1 kHz) |
| 周波数特性  | : 20 Hz～20 kHz (-3 dB)   |

## ●SDリッピング/SD AUDIO部

|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 対応フォーマット | : AAC、MP3 (再生のみ)        |
| 信号雑音比    | : 70 dB (IHF-A使用)       |
| 全高調波歪率   | : 0.3 % (IHF-A使用、1 kHz) |
| チャンネル数   | : ステレオ                  |
| 周波数特性    | : 20 Hz～20 kHz (-3 dB)  |

## ●USBメモリ再生部

|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 対応フォーマット | : MP3、WMA               |
| 信号雑音比    | : 70 dB (IHF-A使用)       |
| 全高調波歪率   | : 0.3 % (IHF-A使用、1 kHz) |
| チャンネル数   | : ステレオ                  |
| 周波数特性    | : 20 Hz～20 kHz (-3 dB)  |

## ●Bluetooth

|                |                           |
|----------------|---------------------------|
| 変調方式           | : スペクトラム拡散方式 (周波数ホッピング方式) |
| 通信周波数          | : 2402 MHz～2480 MHz       |
| 出力POWER        | : CLASS2                  |
| Bluetoothバージョン | : Bluetooth Ver.2.1+EDR   |
| 対応プロファイル       | : HFP Ver.1.5 OPP Ver.1.1 |

## ●共通部

|                |                                       |
|----------------|---------------------------------------|
| 外形寸法           | : 205.5 mm×104 mm×163.6 mm (幅×高さ×奥行き) |
| 質量             | : 2290 g                              |
| 供給電源電圧         | : DC 12 V (試験電圧14.4 V) ⊖アース           |
| 消費電流           | : 4 A以下 (電源電圧13.2 V、FMモード定格出力時)       |
| 動作温度           | : -20 °C～+ 55 °C                      |
| 最大出力           | : 43 W×4 ch                           |
| 定格出力           | : 18 W×4 ch (10 %T.H.D)               |
| 適合スピーカーインピーダンス | : 4 $\Omega$                          |

製品の仕様および外観などの変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

# 用語さくいん

## 【あ行】

|            |      |
|------------|------|
| 案内再開       | 3-24 |
| 案内中止       | 3-24 |
| イコライザー     | 7-9  |
| 一般優先       | 2-36 |
| 居眠り防止案内    | 4-15 |
| 迂回メモリ      | 4-33 |
| オーディオ操作画面  | 7-5  |
| 音量設定       | 3-25 |
| オンルートスクロール | 3-20 |

## 【か行】

|              |           |
|--------------|-----------|
| カーブ警告        | 4-13      |
| 拡大表示         | 2-25      |
| 画質調整         | 1-28      |
| 画面設定         | 1-32      |
| カレンダー        | 5-18      |
| 簡単初期設定ガイド    | 2-1       |
| 季節規制メッセージ    | 4-15      |
| 季節規制回避       | 2-32      |
| 距離補正         | 4-58      |
| 距離優先         | 2-36      |
| 緊急警報放送 (EWS) | 8-14      |
| 県境案内         | 4-13      |
| 現在地画面        | 2-14      |
| 交差点拡大図       | 2-39、4-4  |
| 高速時の自動音量切替   | 2-2、3-25  |
| 高速分岐模式図      | 2-41、4-4  |
| 高速略図         | 2-27、4-51 |
| 交通事故多発地点マーク  | 4-10      |
| 交通情報         | 9-4       |
| 後席ディスプレイ     | 12-21     |
| 合流警告         | 4-13      |

## 【さ行】

|                |           |
|----------------|-----------|
| 再探索            | 3-15      |
| サラウンドディレイ      | 10-34     |
| シーズンレジャーランドマーク | 4-9       |
| 市街図            | 2-26      |
| 自車マーク          | 2-14、4-7  |
| 施設ランドマーク       | 3-45      |
| 自宅に帰る          | 2-34      |
| 自宅の登録          | 2-2、4-30  |
| 自動再探索          | 4-15      |
| 自動補正           | 4-58      |
| 使用データ          | 4-59      |
| 車両情報設定         | 2-6、4-16  |
| 周辺迂回           | 3-15      |
| 周辺施設           | 3-40、4-3  |
| 乗降 IC          | 2-35、3-13 |
| 渋滞考慮探索         | 4-15      |
| ショートカット設定      | 4-19      |
| 推薦             | 2-36      |
| スケール表示         | 2-14、2-17 |
| ステアリングスイッチ     | 12-26     |
| セキュリティ         | 1-34      |
| センターディレイ       | 10-35     |
| 全ルート           | 2-35、2-38 |
| 走行軌跡           | 3-23      |

## 【た行】

|               |               |
|---------------|---------------|
| ダウンミックス       | 10-31         |
| タッチスイッチ       | 1-16、2-14     |
| 他モード時の案内      | 4-14          |
| 地上デジタルテレビ放送   | 8-15          |
| 地図カスタマイズ      | 1-9、4-7       |
| 地図スクロール時の地名表示 | 2-16、4-10     |
| 通過道路          | 3-8           |
| 提携駐車場         | 3-27          |
| デモ            | 3-19、5-16     |
| テレビ           | 8-1           |
| 電話帳           | 5-17、13-14    |
| 到着予想時刻        | 2-35、2-37、4-3 |
| 特別メモリ地点       | 4-30          |
| 時計表示          | 2-14、4-11     |
| 都市高マップ        | 2-43          |

## 【な行】

|        |      |
|--------|------|
| ナビ設定   | 4-1  |
| ナビ補正   | 4-17 |
| ナビメニュー | 2-8  |
| ノースアップ | 2-20 |

## 【は行】

|               |           |
|---------------|-----------|
| ハートフル音声       | 4-14      |
| バックガイドモニター    | 6-6       |
| バックモニター       | 6-53      |
| 販売店           | 5-13      |
| 番組表           | 8-10、8-22 |
| パンスキャン        | 10-32     |
| ビジュアルシティマップ表示 | 4-7       |
| 昼画表示          | 1-28、4-7  |
| ヒント           | 1-35、2-12 |
| 踏切警告          | 4-13      |
| フロントワイド       | 4-5、4-6   |
| ヘディングアップ      | 2-20      |
| 方位マーク         | 2-14、2-20 |
| 方面名称          | 2-41      |

## 【ま行】

|            |           |
|------------|-----------|
| マップコード     | 3-39      |
| 右画面        | 2-24      |
| メニュークスタマイズ | 4-18      |
| メモリ地点      | 3-37、4-20 |
| メモリ地点読み込み  | 4-42      |
| メンテナンス     | 5-6       |
| 目的地        | 2-31、3-1  |
| 目的地消去      | 3-6       |
| 目的地設定画面    | 2-33      |
| 目的地履歴      | 3-38、4-17 |

## 【や行】

|        |               |
|--------|---------------|
| 有料優先   | 2-36          |
| よく行く場所 | 2-3、2-34、4-30 |
| 夜画表示   | 1-28、4-7      |

## 【ら行】

|            |                |
|------------|----------------|
| ラジオ        | 9-1            |
| 履歴         | 6-4            |
| 立体交差点拡大図   | 2-40           |
| 立体ランドマーク表示 | 4-9            |
| 料金案内       | 2-40、4-11      |
| 料金所レーン案内   | 2-41、4-12      |
| ルート案内      | 2-29、3-24、14-7 |
| ルート情報画面    | 3-18           |
| ルート探索      | 2-31、6-2、14-5  |
| レーンリスト     | 2-40、4-2       |
| レーター ボックス  | 10-32          |

## 凡例

| 表示①   | 表示②   | 内 容             |
|-------|-------|-----------------|
| (紫色)  | (紫色)  | 高速・都市高・有料道路     |
| (赤色)  | (赤色)  | 国道              |
| (緑色)  | (緑色)  | 主要地方道           |
| (橙色)  | (橙色)  | 一般都道府県道         |
| (灰色)  | (灰色)  | その他の道路(巾5.5m以上) |
| (灰色)  | (灰色)  | その他の道路(巾3.0m以上) |
| ---   | ---   | JR              |
| ---   | ---   | 鉄道              |
| (水色)  | (水色)  | 水域              |
| ----- | ----- | 都道府県界・市区町村界     |
| (緑色)  | (緑色)  | 緑地              |
| (灰色)  | (灰色)  | 駅舎・敷地           |
| ●     | ●     | 官公庁             |
| ■     | ■     | 都道府県庁           |
| ○     | ○     | 市役所・東京23区役所     |
| □     | □     | 町村・東京以外区役所      |
| ◎     | ◎     | 警察署             |
| ×     | ×     | 消防署             |
| ■     | ■     | 郵便局             |
| IC    | IC    | スマートインターチェンジ    |
| IC    | IC    | インターチェンジ        |
| SA    | SA    | サービスエリア         |
| PA    | PA    | パーキングエリア        |
| ■     | ■     | 信号機             |
| P     | P     | 駐車場             |
| ●     | ●     | 駅               |
| ■     | ■     | フェリーターミナル       |
| ●     | ●     | 港湾              |
| ●     | ●     | 空港・飛行場          |
| ●     | ●     | 学校              |
| ●     | ●     | 道の駅             |
| ●     | ●     | 幼稚園             |

| 表示①  | 表示②  | 内 容           |
|------|------|---------------|
| ■    | ■    | 病院・医院         |
| ○    | ○    | 電力会社・発電所      |
| ○    | ○    | 電話局           |
| ○    | ○    | 銀行・信用金庫・農協    |
| ○    | ○    | デパートなど        |
| ○    | ○    | ホテル・旅館など      |
| ○    | ○    | ビル            |
| ○    | ○    | 工場            |
| ○    | ○    | 灯台            |
| ○    | ○    | 神社            |
| ○    | ○    | 寺院            |
| ○    | ○    | 教会            |
| △    | △    | 墓園・墓地         |
| △    | △    | 城跡            |
| △    | △    | 名所・観光地など      |
| △    | △    | ゴルフ場          |
| △    | △    | スキー場          |
| △    | △    | 海水浴場          |
| △    | △    | アイススケート場      |
| △    | △    | マリーナ・ヨットハーバー  |
| △    | △    | 陸上競技場・体育館     |
| △    | △    | キャンプ場         |
| △    | △    | 公園            |
| △    | △    | 温泉            |
| △    | △    | 山             |
| ●    | ●    | その他の施設        |
| ●    | ●    | トヨタ販売店・トヨタ共販店 |
| ●    | ●    | ネッツ店          |
| ●    | ●    | ダイハツ販売店       |
| ●    | ●    | トヨタL&F        |
| ●    | ●    | ボトルネック踏切      |
| ●    | ●    | 踏切            |
| ●    | ●    | 交通事故多発地点      |
| (紫色) | (紫色) |               |
| (黄色) | (黄色) |               |
| (黄色) | (黄色) |               |

## シリアルNoラベル貼り付け欄

この欄にシリアルNoラベルを貼付のうえ、大切に保管してください。

## NSDN-W60取付け記録簿

|                      |  |
|----------------------|--|
| 取付け販売店名および取付け店名      |  |
| 取付け日                 |  |
| 取付け時走行キロ             |  |
| 備考<br>(修理メモ・保証継承情報等) |  |

保証期間を判定する記録簿です。必ず記載し大切に保管してください。

- 表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。
- 表示①はビジュアルシティマップ(P.4-7参照)で表示され、表示②は通常地図で表示されるマークです。

## SD-AUDIOの楽曲をバックアップをするときの注意事項

SD-Jukeboxを利用して

SDカードに録音した楽曲をパソコンにバックアップすることができます。

### ■推奨ソフトウェアとバージョン

Panasonic製 SD-Jukebox Ver.6 SE

### ■購入方法

#### ●ダウンロード版

ダウンロード版は「CLUB Panasonic」の「PanaSense(パナセンス)」にて販売しています。

<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>

#### ●パッケージ版

パッケージ版は家電量販店、または「CLUB Panasonic」の「PanaSense(パナセンス)」にて販売しています。

商品名：SDオーディオPCレコーディングソフト (SD-Jukebox Ver.6 SE)

商品品番：SH-SS60

### ■必要な機器・環境

パソコン、著作権保護機能付きSDカードリーダーライター、インターネット

### ■SD-Jukeboxの設定

(1) 「設定」→「音楽設定」メニューの「SD」タブを開きます。

(2) 「再生デバイスの選択 機種(品番)」で「Other」を選択して「自動設定」を押します。

(3) 「SD書き込み設定」の「AAC-->(MPEG4)」は「AAC(MPEG2)」を選択します。

### ■バックアップ後の動作について

本機で録音した楽曲をパソコンに移動し、その後パソコンからSDカードへ書込み、本機で再生する場合（本機以外で録音した曲も含む）は、以下の動作になります。

#### ●選曲画面

プレイリストとALLのリストからのみ選曲できます。

#### ●編集画面

プレイリストのみ編集できます。

アルバム/トラック名の修正/削除やタイトル情報更新はできません。

※SD-Jukeboxの使用方法については、SD-Jukeboxの取扱説明書をご覧ください。